

機 密 性 2 情 報
事 務 連 絡
令 和 6 年 3 月 2 9 日

各事務所用地（担当）課長 殿

用 地 補 償 課 長

非木造建物調査積算要領の解説（改訂版）の改訂について

標記について、令和6年3月29日付け事務連絡にて、不動産・建設経済局土地政策課公共用地室用地調整官から用地補償課長あて、別紙のとおり発出されましたので、送付します。

機 密 性 2 情 報
事 務 連 絡
令 和 6 年 3 月 2 9 日

土砂処分管理官 殿

用 地 補 償 課 長

非木造建物調査積算要領の解説（改訂版）の改訂について

標記について、令和6年3月29日付け事務連絡にて、不動産・建設経済局土地政策課公共用地室用地調整官から用地補償課長あて、別紙のとおり発出されましたので、送付します。

事務連絡
令和6年3月29日

各地方整備局用地部用地補償課長 殿
北海道開発局開発監理部用地補償課長補佐 殿
沖縄総合事務局開発建設部用地課長 殿

不動産・建設経済局 土地政策課
公共用地室 用地調整官

非木造建物調査積算要領の解説（改訂版）の改訂について

非木造建物調査積算要領の解説（改訂版）を別紙のとおり改訂したので送付します。

制定	平成 26 年 4 月
改訂	平成 28 年 4 月
改訂	平成 29 年 4 月
修正	平成 29 年 9 月
改訂	令和 2 年 4 月
修正	令和 3 年 3 月
改訂	令和 6 年 3 月

非木造建物調査積算要領 の解説（改訂版）

令和6年3月

不動産・建設経済局
土地政策課公共用地室

Q & A 目次

1 非木造建物調査積算要領

Q1-1【非木造建物とは】	6
Q1-2【非木造建物の構造】	6
Q1-3【非木造建物の移転工法】	8
Q1-4【非木造建物の曳家の可否の判断】	9
Q1-5【不可視部分とは】	9
Q1-6【建築工法とは】	10
Q1-7【建築確認申請書類が紛失している場合の確認方法】	10
Q1-8【構造計算とは】	11
Q1-9【改造工法における構造計算の計算基準時点】	13
Q1-10【改造工法における構造計算の精度】	13
Q1-11【プレハブ建物とは】	14
Q1-12【非木造建物と木造建物が混在している場合の取扱い】	15
Q1-13【木造建物の一部が非木造で建築されている場合の取扱い】	15
Q1-14【建物又は附帯工作物の判定基準】	16
Q1-15【数量算出の単位における通常使用されている例とは】	19

2 非木造建物図面作成基準

Q2-1【矩計図とは】	20
Q2-2【構造詳細図(断面図)などに基礎関係が記載されていない理由】	20
Q2-3【図面に記載する寸法の数値】	21

3 非木造建物数量計測基準

Q3-1【計測基準の数量とは】	22
Q3-2【非木造建物要領に定めのない数量の計測方法】	22
Q3-3【面積や仕上材等の数量の取扱い】	23
Q3-4【砂利・割石敷及び捨コンクリート統計数量の有効桁数】	23
Q3-5【仮設工事において必要となる仮設の種類】	24
Q3-6【補償額積算において標準としている足場の種別】	25
Q3-7【登り桟橋の必要性の判断】	26
Q3-8【く体とは】	27

Q3-9【RC・SRC造の基礎コンクリート統計数量表の留意点】	27
Q3-10【コンクリート中の鉄筋や鉄骨などの差引き】	28
Q3-11【型枠の種類】	28
Q3-12【普通型枠と特殊型枠の数量の取扱い】	29
Q3-13【ラーメン構造と壁式構造の違い】	29
Q3-14【鉄骨の積算方法】	30
Q3-15【間仕切部分の数量の取扱い等】	30
Q3-16【階段室内壁施工面積について】	32
Q3-17【塗装材における適切な統計値とは】	32
Q3-18【補償上の建築設備の取扱い】	32
Q3-19【建築設備や建物附随工作物のみが支障となった場合の取扱い】	33
Q3-20【地下(床下・ピット)の電線管などの配管の積算方法】	33
Q3-21【移設可能な照明器具などの取扱い】	34
Q3-22【移設が困難な設備の取扱い】	34
Q3-23【同一敷地内に複数棟の建物が存する場合の給水設備の取扱い】	36
Q3-24【解体工事における仮設工事の計上】	36
Q3-25【解体するときに発生する市場価値のある材の取扱い】	37
Q3-26【解体するときに発生する廃棄材の処理の取扱い】	37
Q3-27【統計数量表の数値の根拠】	37
Q3-28【公衆浴場や劇場等の取扱い】	38
Q3-29【複合用途の場合の統計数量表及び耐用年数の取扱い】	38
Q3-30【統計数量表の面積区分最大値の取扱い】	39
Q3-31【各階の用途や面積が異なる場合の階層などの取扱い】	39
Q3-32【1階にピロティーなどがある場合の階層認定】	40
Q3-33【将来増築の予定がある構造で建築されている建物の取扱い】	40
Q3-34【多雪地区又は地震対策地域等の建物の取扱い】	40
Q3-35【地下階の有る建物の数量の別途算出方法】	41
Q3-36【地下階の有る建物の統計数量表の取扱い】	41
Q3-37【平家建工場等の建物に一部2階が存する場合の取扱い】	42
Q3-38【杭地業の有無の判断】	42
Q3-39【統計数量表(4)の「地盤状況」の判断が困難な場合の取扱い】	42
Q3-40【基礎関係の統計数量値の範囲】	43
Q3-41【基礎形態別による統計数量値の補正の必要性】	43
Q3-42【残土処分量及び埋戻し量の算出方法】	44
Q3-43【土間コンクリートと統計数量の関係】	44
Q3-44【床面積に算入していないピロティー等の取扱い】	45

Q3-45【RC・SRC 造の基礎部分の統計数量表(5)(6)の取扱い】	46
Q3-46【RC・SRC 造の共同住宅のベランダ等の床面積の取扱い】	47
Q3-47【土間コンクリートを別途個別計算としている理由】	48
Q3-48【地下階の床コンクリートの取扱い】	48
Q3-49【RC 造建物等の階高が異なる場合の階高補正】	49
Q3-50【異種材料で施工されている場合のコンクリート量の減量】	50
Q3-51【SRC 造の建物のコンクリート量の計算】	53
Q3-52【SRC 造建物の用途が専用住宅の場合の取扱い】	53
Q3-53【RC 造と SRC 造の外観による見分け方】	54
Q3-54【鉄骨の統計数量値の基準となる「平均階高」の判断】	54
Q3-55【平家建の建物に一部 2 階が存する場合の鉄骨量の算出方法】	55
Q3-56【S 造建物で、一部部材が木材等異種材料の場合の取扱い】	57
Q3-57【走行クレーンが設置されている場合の鉄骨数量の補正方法】	58
Q3-58【鉄骨造建物における鋼材の肉厚の判断方法】	60
Q3-59【S 造の共同住宅建物のベランダ等の鉄骨量の取扱い】	62
Q3-60【学校などの自転車置場の鉄骨などの数量の取扱い】	62
Q3-61【用途が不明確な場合の統計数量表の取扱い】	63
Q3-62【ガソリンスタンドのキャノピーの取扱い】	63
Q3-63【機械工作物の取り付け台やピットの取扱い】	64
Q3-64【吹き抜けなどがある建物の統計数量表の取扱い】	64
Q3-65【統計数量表を適用できない建物の積算】	65
Q3-66【S 造の一部が木造の場合の鉄骨の統計数量値の取扱い】	65
Q3-67【低温倉庫に使用してある冷却装置の取扱い】	66
Q3-68【専門家とは】	66
Q3-69【統計数量表に記載のない石造の積算】	67
Q3-70【統計数量値と構造計算の関係】	67
Q3-71【RC・SRC 造のホテルや旅館の統計数量表上の用途区分】	68
Q3-72【仮設工事における外部足場の設置期間】	68

4 非木造建物工事内訳明細書式[別添 3]

Q4-1【書式内にある頭番号の取扱い】	69
---------------------	----

5 非木造建物補償標準単価表

Q5-1【複合単価、合成単価とは】	70
Q5-2【コンクリート強度の単位】	70

6 非木造建物補償諸率表

Q6-1【共通仮設費、諸経費とは】	71
Q6-2【木造・非木造が同一敷地に存する場合の共通仮設費の取扱い】	71
Q6-3【解体工事費に伴う共通仮設費と諸経費の取扱い】	72
Q6-4【同一敷地内で移転工法が異なる建物の諸経費の取扱い】	75
Q6-5【補償標準単価表未掲載単価の取扱い】	75
Q6-6【見積徴収の方法】	76
Q6-7【見積書を徴した場合の諸経費の取扱い】	76
Q6-8【統計数量値適用上の逆転現象】	77
建物見積依頼要領（案）について	78
建物見積依頼要領（案）	79
見積依頼書	81

7 非木造建物再築補償諸率

Q7-1【再築補償率の要素】	82
Q7-2【腐食性を有する液体又は気体を使用している工場、倉庫とは】	83
Q7-3【建物の実態的耐用年数を定めることができる場合】	83
Q7-4【価値補正開始時期が標準耐用年数5割経過より前の場合】	84
Q7-5【時期を問わず実態的耐用年数又は価値補正を適用する場合】	85
Q7-6【価値補正率(α)を定めることができる補修工事の例】	86
Q7-7【価値補正率(α)を定めることができる場合の算定方法】	87
Q7-8【30%を超える価値補正率の取扱い】	91
Q7-9【補修工事の調査項目】	91

8 その他

Q8-1【建物移転料算定要領第6条第2項の趣旨とは】	92
Q8-2【建物の現在価額がないものとみなす判断とは】	92
Q8-3【適用する建物について】	93
Q8-4【意見書の徴収】	93
意見書（例）	94
ガイドライン（参考資料編）	96
Q8-5【現在価額がないものとみなす建物の算定方法】	97

9 非木造建物算定事例集

非木造建物算定事例集	98
------------	----

留意事項

- 「運用方針」… 国土交通省の公共用地の取得に伴う損失補償基準の運用方針
- 「取扱要領」… 国土交通省損失補償取扱要領
- 「建物算定要領」… 建物移転料算定要領（国土用第76号）
- 「非木造建物要領」… 建物移転料算定要領（国土用第76号）
別添二 非木造建物調査積算要領
- 「図面作成基準」… 建物移転料算定要領（国土用第76号）
別添二 非木造建物調査積算要領
別添1 非木造建物図面作成基準
- 「計測基準」… 建物移転料算定要領（国土用第76号）
別添二 非木造建物調査積算要領
別添2 非木造建物数量計測基準
- 「明細書式」… 建物移転料算定要領（国土用第76号）
別添二 非木造建物調査積算要領
別添3 非木造建物工事内訳明細書式
- 「仕様書」… 地方整備局用地関係業務請負基準準則
別記様式2 用地調査等業務共通仕様書
- 「補償標準単価表」… 起業者が別途定める補償金算定標準書等の単価表

1 非木造建物調査積算要領

Q1-1【非木造建物とは】

非木造建物とは、どのような建物をいうのか。

A1-1

通常「鉄骨造」「鉄筋コンクリート造」「鉄骨鉄筋コンクリート造」「石造」「コンクリートブロック造」の木造以外の建物を総称して、非木造建物と呼んでいる。

〔建物算定要領 第2条〕

Q1-2【非木造建物の構造】

建物などの本によく「RC造」「S造」「SRC造」「LGS造」「CB造」と書いてあるが、その意味を教えてください。

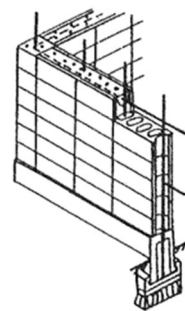
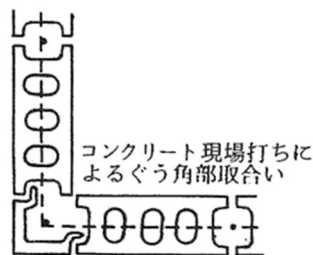
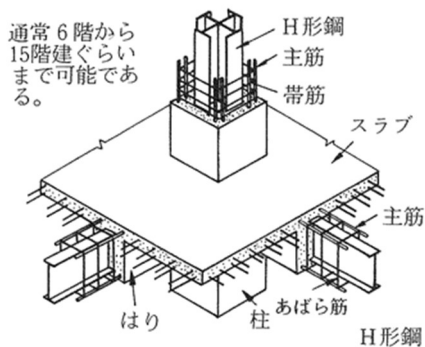
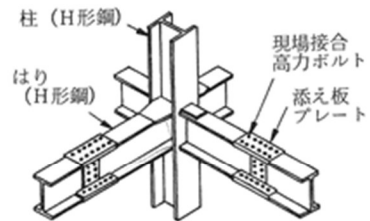
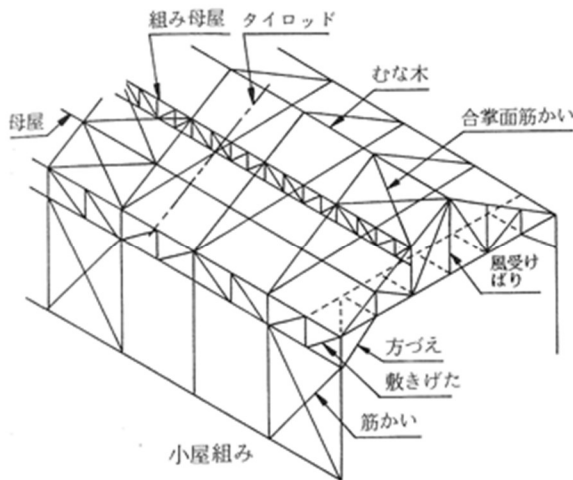
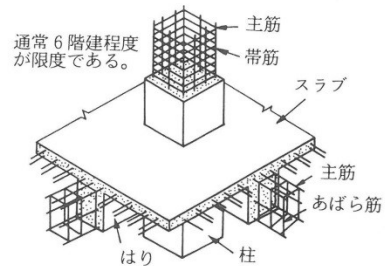
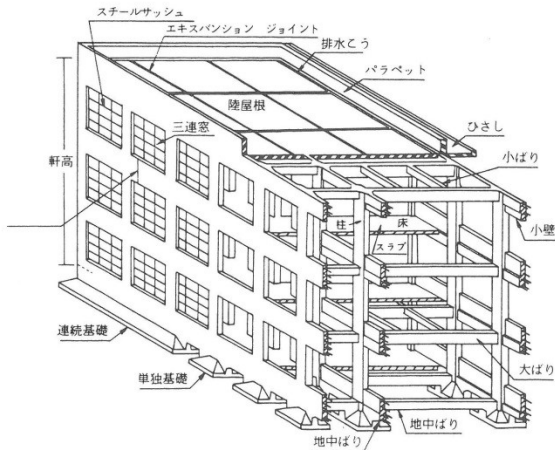
〔計測基準統計数量表など〕

A1-2

- **RC造**とは、主体構造を鉄筋コンクリートで構築する構造の略語である(reinforced concrete construction)。特徴は、耐震・耐火・耐久的であり、自由な形状の設計ができるが、自重が大きく工期が長くなるのが欠点である。一般的には1階～6階程度の建物に多くみられる。通常「鉄筋コンクリート造」と呼んでいる。
- **S造**とは、主要構造部に、普通の鋼材を用いて組み立てた構造の略語である(steel structure)。鋼構造とも言い、構造上主要な部材に形鋼・鋼板・鋼管などの鋼材をリベット・ボルト・高力ボルト・溶接などで接合し、組み立てた構造物のことである。強さが大きく、ねばりが強いので、高層建築や大スパン建築に適している。また、RC造と比べ安価なため小規模な工場などにもよくみられ、通常「鉄骨造」と呼んでいる。
- **SRC造**とは、鉄骨骨組のまわりに鉄筋を配置し、コンクリートで一体化した構造の略語である(steel framed reinforced concrete structure)。比較的小さな断面でじょうぶな骨組をつくることができ、ねばり強さがあるため高層建築に多く利用されている。一般的には7階以上の建物に多くみられる。通常「鉄骨鉄筋コンクリート造」と呼んでいる。
- **LGS造**とは、軽量形鋼を使用した鉄骨構造で、軽量鉄骨構造の略語である(light gauge steel structure)。主に住宅・工場など小規模な建物に用いられる。「軽量

鋼構造」とも呼んでいる。

- **CB 造**とは、コンクリートのブロック(単体)を積み上げて構造体としたものの略語である(concrete block construction)。鉄筋で補強し、基礎などとして一体として建築される。比較的安価なため車庫や公舎などによくみられる。



Q 1－3 【非木造建物の移転工法】

非木造建物の移転工法は、どのように決めるのか。

A 1－3

非木造建物の移転工法は、木造建物の際に行う工法検討と何ら変わるところはない。「残地の有無」「残地が合理的な移転先となりうるか」をまず判断し「有形的検討」「機能的検討」「経済的検討」「法制的検討」を行い、より合理的な工法を決定する。工法は、“運用方針第 16”により次のように定められている。

- 再築工法 残地外の他の土地又は残地内に従前の建物と同種同等の建物を建築することが合理的であると認められるとき。
- 曳家工法 建物を残地に曳家することができると認められるとき。
- 改造工法 建物の一部(残地内にあっても取得(使用)地上の部分と構造又は機能上切り離せない部分があるときは、この部分を含む。)を切り取り、残地内で残存部分の一部を改造し、又は増築することにより、従前の機能が維持できると認められるとき。
- 除却工法 取得する土地の上にある建物の一部が、当該建物に比較してわずかであり、かつ重要な部分でなく従前の機能にほとんど影響を与えないと認められるとき、又は建物を再現する必要がないと認められるとき。
- 復元工法 文化財保護法等により指定された建築物で、建物を原形で復元することが妥当と認められるとき。

Q 1-4 【非木造建物の曳家の可否の判断】

非木造建物を曳家することは可能か。

A 1-4

一般的には、鉄骨造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造については、物理的に曳家が可能である。鉄骨造の場合は、基礎のアンカーボルトを外し、柱等にゆがみがこないよう鉄骨等で補強を行い曳家を行う。また、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造については、柱部分と基礎が一体となっていることにより、基礎の下まで掘削し、基礎ごと曳家を行う方法が多く見受けられる。

曳家工事により建物に与える歪みなどの影響は、鉄骨造の方が多く生じるため工事は、より慎重に行われる。なお、石造、コンクリートブロック造の建物は、構造上ゆれに弱いため、曳家を行うことは難しいものとされている。移転工法の決定にあたっては、各々の建物により構造が異なるので専門家等の意見を聞き決定されたい。

Q 1-5 【不可視部分とは】

不可視部分とはどのような部分のことをいうのか。また、どのように調査するのか。

A 1-5

不可視部分とは、「建物の調査を行う場合に剥離及び破壊等を行わなければ容易に調査できない部分をいう」と定義され、例えばコンクリート内の鉄筋や地中の基礎、見えない天井裏などが該当する。

これら不可視部分については、既存図による調査や所有者、設計者又は施工者からの聞き込み等にて調査することとなる。なお、これらの調査によっても分からない部分については、専門家の意見により、建物の品等などを考慮し、通常施されている仕様をもって認定することとなる。

〔不可視部分：非木造建物要領第 2 条 2 項〕

〔不可視部分の調査：非木造建物要領第 6 条〕

Q 1-6 【建築工法とは】

「建築工法」については、具体的にどのように記載したらよいか。

A 1-6

建築工法については、鉄鋼系プレハブ工法（軽量鉄骨造）等により建築された建物を、従来の工法により建築された建物と区分するために記載する必要がある。様々な名称が存在すると思われるが、以下の記載例を参考にされたい。

〔非木造建物要領 第4条〕

記載例

- ・ 軽量鉄骨造 → 在来工法
- ・ 鉄鋼系プレハブ工法（軽量鉄骨造）※ユニット系も含む → プレハブ工法
- ・ 重量鉄骨造 → 在来工法
- ・ 鉄鋼系プレハブ工法（重量鉄骨造） → プレハブ工法
- ・ 鉄筋コンクリート造（※ラーメン式、壁式） → 在来工法
- ・ コンクリート系プレハブ工法 → プレハブ工法

Q 1-7 【建築確認申請書類が紛失している場合の確認方法】

建物を建ててから年数がたち、建築確認申請書に添付した建物図面を紛失してしまった場合、確認申請の窓口である市役所等に行って閲覧することはできるか。

A 1-7

建築確認申請書の閲覧は、認められていない。ただし、建築計画概要書の閲覧は可能である。建築計画概要書は建築確認の際に提出された書類で、主に建築主（設計者・施工者等）の名前や所在地等のほか、建築物の主要用途、建築面積、延べ面積、工事着手・完了予定年月日などの諸情報が記載されている。

調査対象建物の所有者が建物図面を紛失している場合や、建物所有者の変遷等により建築当時の諸情報が不明な場合などにおいては、建築計画概要書を閲覧することにより、建築確認当時の諸情報を得ることも有効と考えられるため、状況に応じて活用されたい。なお、建築計画概要書の閲覧方法や閲覧できる建築物は各自治体によって異なるため、予め担当窓口、HPなどにて確認されたい。

〔非木造建物要領 第4条〕

Q1-8 【構造計算とは】

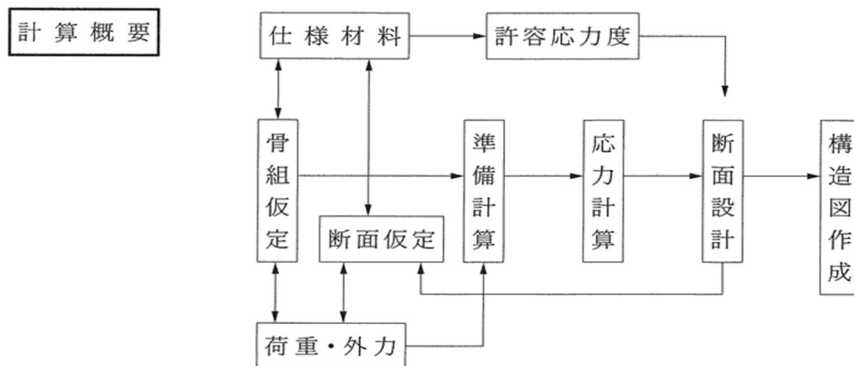
非木造建物の調査、積算を行う際によく「構造計算」という言葉がでてくるが、どのような計算をいうのか。

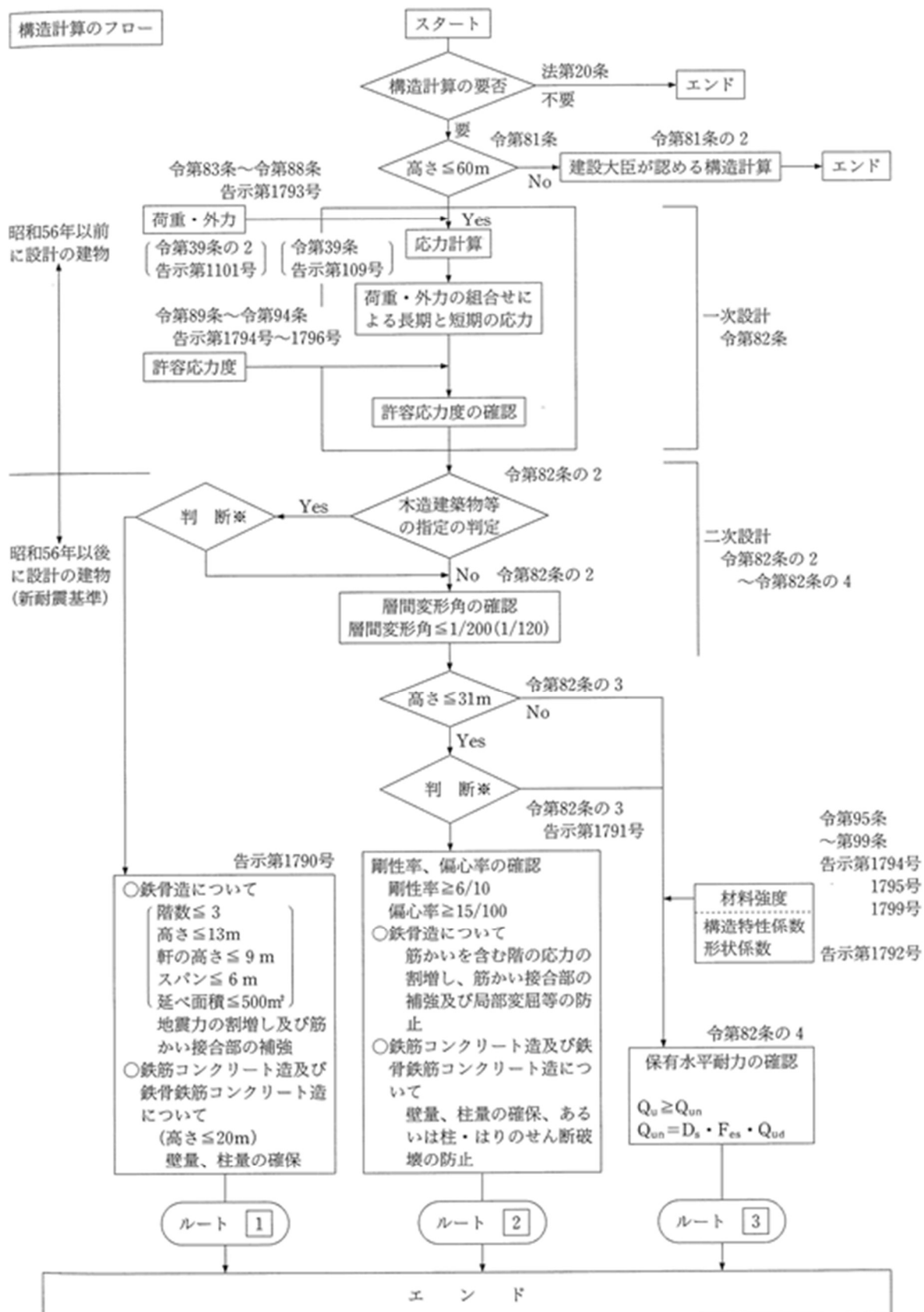
A1-8

建築基準法(構造耐力)第20条に「・・・その構造方法は、地震力によって建築物の地上部分の各階に生ずる水平方向の変形を把握することその他の政令で定める基準に従った構造計算で、国土交通大臣が定めた方法によるもの又は国土交通大臣の認定を受けたプログラムによるものによって確かめられる安全性を有すること。」とされ、計算の方法は、同法施行令第81条から99条までに規定されている。簡単に説明すると、構造計画で決めた骨組みが、それに加わる固定荷重・積載荷重・積雪荷重・風圧力・地震力・土圧・水圧などの外力に対して、安全かどうかを確かめるために行う数値計算のことをいう。

なお、高度な構造計算を要する一定規模以上の建築物（同法第20条第2号に規定されている建築物など）については、都道府県知事又は指定構造計算適合性判定機関による構造計算適合性判定が義務付けられている。

〔非木造建物要領 第7条〕





※判断とは設計者の設計方針に基づく判断のことである。例えば、高さ31m以下の建築物であっても、より詳細な検討を行う設計法であるルート3を選択する判断等のことを示している。

Q 1-9 【改造工法における構造計算の計算基準時点】

改造工法の積算を行う際の構造計算は、対象となる建物の建築時に遡って計算をするのか。

A 1-9

現時点で補償を行うことより、構造計算は現時点の基準に従って計算することになる。ただし、補償を行うにあたっては、他の工法との経済的比較など十分に考慮して行われたい。

〔非木造建物要領 第7条〕

Q 1-10 【改造工法における構造計算の精度】

改造工法等の積算に伴う構造計算は、どの程度の精度を求められるのか。

A 1-10

建築確認申請時における精度と同等の精度を求める。

〔非木造建物要領 第7条〕

Q1-11【プレハブ建物とは】

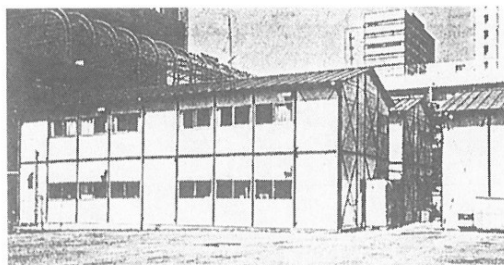
プレハブ建物は非木造建物か。

A1-11

プレハブ建物(prefabricated building)の特徴は、柱や壁、屋根の部材があらかじめ工場で量産され、現場で組み立てる建物のことをいう。

く体材料としては、木質系、鉄鋼系、コンクリート系などがある。木質系以外は大きくくりとして非木造建物となるが、写真①のような工事用などの仮設建物については、現場あわせの仮設なので建物としての概念で補償するのではなく、仮設費と撤去・運搬費をもって移転補償額とすべきだと考える。

また、ハウスメーカー等により施工されているメーカー独自の工法（クローズド工法）のうち、写真②のような鉄鋼系プレハブ工法（軽量鉄骨造）の建物については、非木造建物〔Ⅰ〕として対応することとなるが、非木造建物〔Ⅱ〕に区分される鉄鋼系プレハブ工法（重量鉄骨造）及びコンクリート系プレハブ工法により建築されている建物は、非木造建物要領における統計数量表などの適用はできないので注意されたい。



工事用仮設プレハブ（写真①）



本設プレハブ（写真②）

Q 1-12【非木造建物と木造建物が混在している場合の取扱い】

鉄骨建物と木造建物が混在している場合は、どのように取り扱うのか。

A 1-12

非木造と木造が構造物として混在している建物の場合、各々の構造で自立していれば非木造建物要領や木造建物調査積算要領により統計数量値を用い簡便に積算を行うことは可能だが、各々の構造で自立していない場合については、統計数量値の適用ができないため、構造計算を行う場合と同様に積み上げ積算となり、調査もまた積み上げ計算に耐え得る精度が必要となる。

ただし、RC造の主要構造物の一部が異種材料の場合は、Q3-50を参考に、また、S造の一部の部位が異種材料の場合は、Q3-56を参考に統計数量値を補正して、積算することができる。

〔非木造建物要領 第1条〕

Q 1-13【木造建物の一部が非木造で建築されている場合の取扱い】

積雪対策などのため木造建物のコンクリート基礎が高くなっており、一部は車庫などにも使われている。基礎を非木造建物として取り扱ってよいか。

A 1-13

木造建物の基礎部が特殊な形で建築されている場合の取扱いについては、基本的には非木造建物要領の統計数量表等により積算することは困難である。

統計数量表等による数値は、あくまでも単体とした建物の補償事例等からの統計数値であることより、基礎部のみを適用させることには無理が生じる。よって、積み上げにより積算を行われたい。なお、基礎部の取扱いについては原則的には建物の推定再建築費に含めることとし、当然ながら再築補償の場合は補償率が乗じられることとなる。

〔非木造建物要領 第1条〕



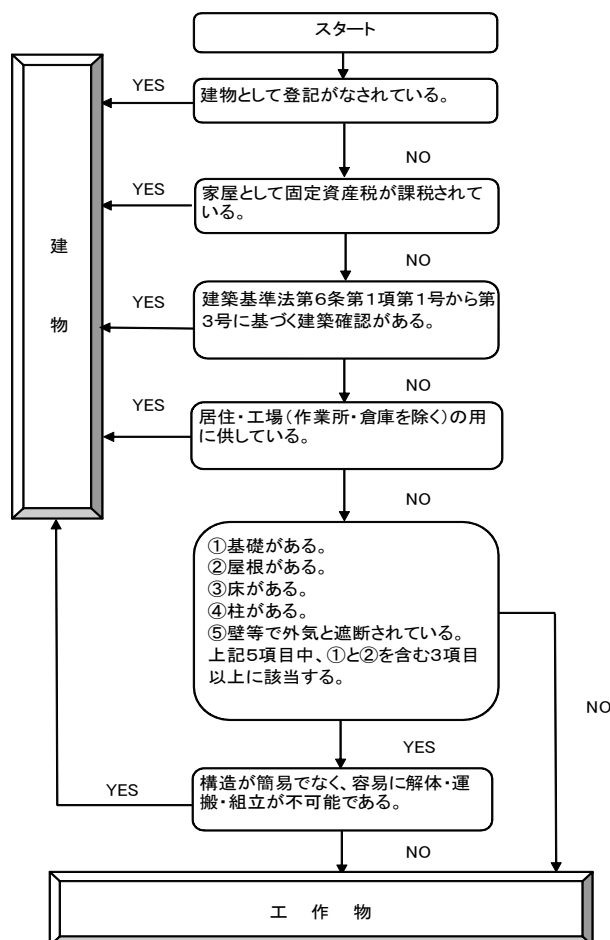
Q1-14【建物又は附帯工作物の判定基準】

例えば、建物として登記されているが床が施工されていない物置や、基礎はあるが構造が簡素である倉庫などに対し、建物算定要領又は附帯工作物調査算定要領のどちらの要領を用いるか判断に迷った場合、どのように判断を行えばよいか。

A1-14

判断にあたっては、まず、下記「建物又は附帯工作物の判定基準の検討フロー」を参考にして判断することになる。なお、フローによる判断過程の中で「構造の簡易」（簡易な構造か否か）、「解体・運搬・組立の難易」の判断が行えないような場合やフローによる判断結果に疑義があるものについては専門家等の意見により判断することになる。

建物又は附帯工作物の判定基準の検討フロー

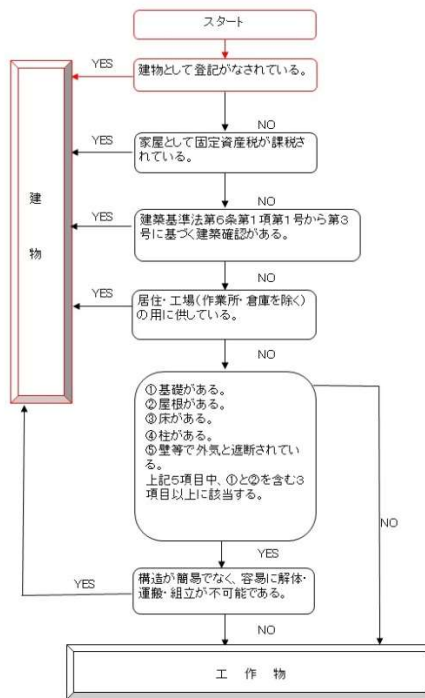


※ このフローは、補償区分（建物 or 工作物）の判断に迷った場合に参考として用いるものである。なお、フローによる判断過程の中で「構造の簡易」（簡易な構造か否か）、「解体・運搬・組立の難易」の判断が行えないような場合やフローによる判断結果に疑義があるものについては専門家等の意見により判断するものとする。

建物登記があるCB造倉庫



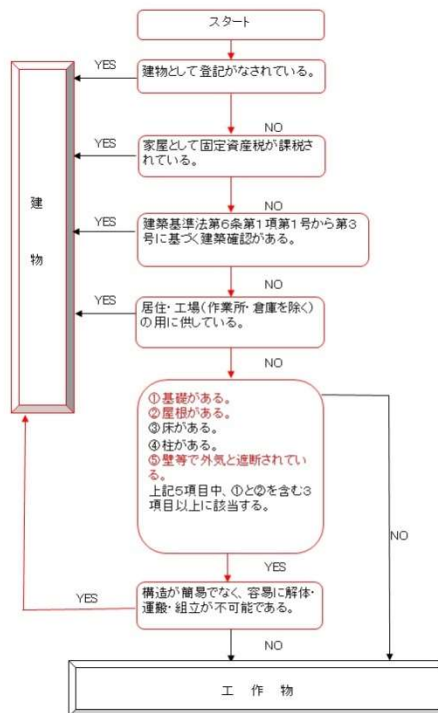
建物又は附帯工作物の判定基準の検討フロー



基礎、屋根、壁があるCB造倉庫



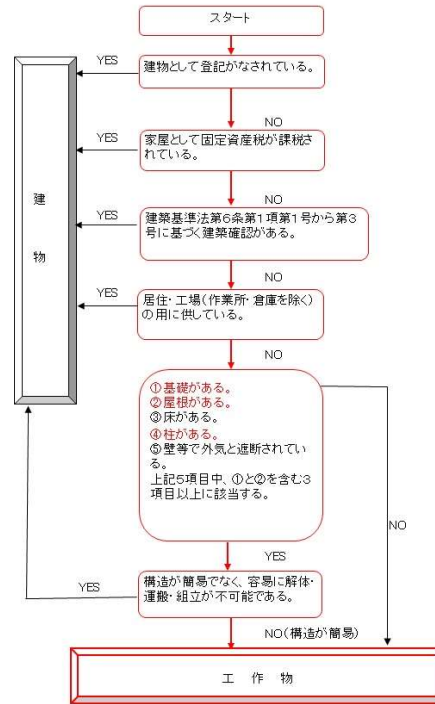
建物又は附帯工作物の判定基準の検討フロー



簡易な構造の非木造車庫



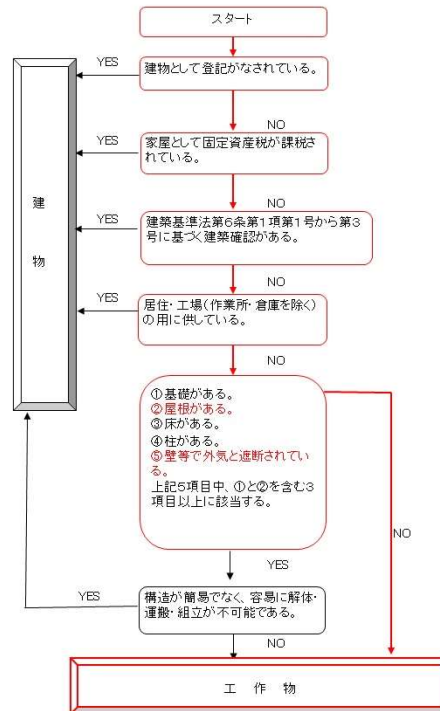
建物又は附帯工作物の判定基準の検討フロー



基礎が施工されていない非木造プレハブ建物



建物又は附帯工作物の判定基準の検討フロー



Q 1-15 【数量算出の単位における通常使用されている例とは】

「補償金の積算に必要となる構造材、仕上げ材等の数量算出の単位は、通常使用されている例によるものとする。」（非木造建物要領第12条）とあるが、通常使用されている例とはどのようなことか。

A 1-15

補償標準単価表の単価歩掛及び数量計測基準は、基本的には、公共建築工事標準単価積算基準及び公共建築数量積算基準を根拠に作成されており、数量算出の単位もこれらに準じているため、通常使用されている例として考えられる。ただし、補償標準単価表の単価歩掛の中の一部には、積算の合理化が図られ、統計数量を用いて歩掛構成された統計単価の数量算出の単位が設定されている。この統計単価を適用する場合の通常使用されている単位は、次による。

【例】

●電気（電灯）設備工事

「配管配線」：器具（照明器具、コンセント、スイッチ、分電盤）1ヶ所当り

「電話用屋内配線管」：電話差込口1ヶ所当り

●給水給湯（屋内）設備工事

「屋内給水（湯）配管」：水栓1ヶ所（栓）当り

●排水（屋内）設備工事

「屋内排水配管」：水栓1ヶ所当り

2 非木造建物図面作成基準

Q2-1 【矩計図とは】

建築関係の図書によく矩計図がでてくるが、どのような図面をいうのか。

A2-1

建物の基準になる部分の詳細図のことをいう。地盤面、基礎、床、柱、壁、開口部、天井、屋根などの寸法、構造材、仕上げ材などを記載した図面である。

非木造建物要領の図面の作成基準には矩計図の作成は求めているが、断面図として地盤(GL)・最高高さ・軒高・階高・天井高・床高を記載することになっている。この断面図は、内外装の仕上高などを計るために必要な重要な図面となる。

〔図面作成基準 別表〕

Q2-2 【構造詳細図(断面図)などに基礎関係が記載されていない理由】

図面作成基準において、構造詳細図(断面図)などのなかに、基礎関係が記載されていないのはなぜか。

A2-2

基礎関係の数量調査にあたっては、不可視部分として統計数量表によって土工、砂利・割石敷、捨コンクリート、基礎コンクリートなどの数量を求めることとしているので、基礎関係の図面は必要ない。ただし、統計数量表にそぐわない特殊なものについては、当然、基礎関係の図面が必要となる。

〔図面作成基準 別表〕

Q2-3 【図面に記載する寸法の数値】

図面に記載する寸法の数値を教えてください。

A2-3

図面などに記載する数値は、次の表のとおりである。

	建物の大きさ・長さ・高さ	構造材・仕上材の厚さ・幅・長さ
建物等の調査図面に表示する数値	メートル 小数点以下2位（小数点以下第3位四捨五入） ただし、排水管等で小数点以下第2位までの計測が困難なものは、この限りでない。	ミリメートル ただし、通常メートル又はセンチメートルが単位として使用されているものについては、その例による。
	○○. ○○m	○○mm

建物の面積計算	①上表による数値（小数点以下第2位）により、②小数点以下第4位まで算出し、③各階別に累計し、 小数点以下第2位（小数点以下第3位を切捨て）とする。
	○階 $○○.○○ \times ○○.○○ + 0.○○ \times 0.○○ = ○○○○.○○○○ \Rightarrow ○○○○.○○$
	○階 $○.○○ \times ○○.○○ + 0.○○ \times 0.○○ = ○○○.○○○○ \Rightarrow ○○○.○○$
	○階 $○.○○ \times ○○.○○ + 0.○○ \times 0.○○ = ○○○.○○○○ \Rightarrow ○○○.○○$
建物の延面積計算	○階 ○○○○.○○
	○階 ○○○.○○
	○階 ○○○.○○
	延床面積 ○○○.○○

〔図面作成基準 9〕

3 非木造建物数量計測基準

Q3-1 【計測基準の数量とは】

計測基準でいう数量とは、どのような数量のことか。

A3-1

計測基準の数量とは、設計数量のことをいう。

設計数量とは、設計寸法に基づく計算数量のことをいう。なお、建築の世界では、“計画数量”や“所要数量”という用語があり、計画数量は、施工計画に基づく数量のことをいい、所要数量は、市場寸法による切り無駄及び施工上のやむを得ない損耗などを含む予測数量をいう。なお、“計画数量”や“所要数量”を積算する場合も非木造建物要領によるものとしている。※統計数量は所要数量となっている。

〔計測基準 I.2〕

Q3-2 【非木造建物要領に定めのない数量の計測方法】

非木造建物の積算に当たって、非木造建物要領などに記載のないところはどのような基準で積算すればいいのか。

A3-2

非木造建物要領に定めのない数量の計測などは、「建築数量積算基準・同解説((一財)建築コスト管理システム研究所発行)」「公共建築工事標準仕様書((一社)公共建築協会)」によって積算するものとする。

Q3-3【面積や仕上材等の数量の取扱い】

面積や仕上材等の数量はどのように取り扱うのか。

A3-3

項 目	数 量	説 明
建物の延面積	小数点以下第 2 位 〇〇〇. 〇〇	・各階ごとに小数点以下第 4 位まで算出し、各階ごとに累計し、小数点以下第 2 位(小数点以下第 3 位を切捨)をもって各階面積とする。延面積は、各階面積の合計とする。
工作物などの長さなどの数量	小数点以下第 2 位 〇〇〇. 〇〇	・メートル単位とした小数点以下第 2 位(センチメートル)とする。排水管等で小数点以下第 2 位までの計測が困難なものは、小数点以下第 1 位とすることができる。
構造材、仕上げ材その他の数量	小数点以下第 2 位 〇〇〇. 〇〇	・換算を行った場合には、小数点以下第 3 位を四捨五入

Q3-4【砂利・割石敷及び捨コンクリート統計数量の有効桁数】

土木(基礎)関係の統計数量のうち、砂利・割石敷及び捨コンクリートの 1 階床面積 1 m²当たりの統計数量が、小数点以下 3 位まで求めているのは何故か。

A3-4

計測基準における材料の数量は、小数点以下第 3 位を四捨五入して小数点以下第 2 位まで求めることに定めているが、基礎関係の砂利・割石敷及び捨コンクリート量は、単位当たり数量は少量であり、四捨五入による数量格差を緩和するため、小数点以下第 3 位までを統計数量としたものである。なお、全体数量の算定は、計測基準に従い小数点以下第 3 位まで求め、四捨五入して小数点以下第 2 位までを数量とされたい。

Q3-5 【仮設工事において必要となる仮設の種類】

非木造建物を建築するに当たっては、どのような仮設が必要なのか。

A3-5

仮設工事とは、建築工事に必要な一時的な施設や設備の工事のことをいう。当然ながら建築工事が終われば撤去されることとなる。

仮設工事	<ul style="list-style-type: none"> — (共) 敷地等の測量 — (共) 地盤の調査 — 縄張り — 水盛り — やりかた — (共) 現場事務所 — (共) 各種下小屋 — (共) 材料倉庫 — (共) 動力・照明・給排水・通信設備 — 足場 — 栈橋 — 養生 	<p>建築物の設計等の資料を得るために地層、土質、地下水の状態等を調査する。</p> <p>敷地の中に建物の建設位置を定めるために細縄を張って確認すること。</p> <p>建設工事に際して基準となる平面図を定めること。</p> <p>地業・基礎工事の着手のまえに、柱芯・壁芯又は水平位置を表示する主として木製の仮設物</p>
		<p>工事を行う際に作業員の作業床や通路となる仮設物</p> <p>作業員の通路や資材運搬のためにパイプ・丸太・角材などで主軸を組み立て、足場板・道板などを敷いた仮設物</p>

〔計測基準 Ⅱ〕

Q3-6 【補償額積算において標準としている足場の種別】

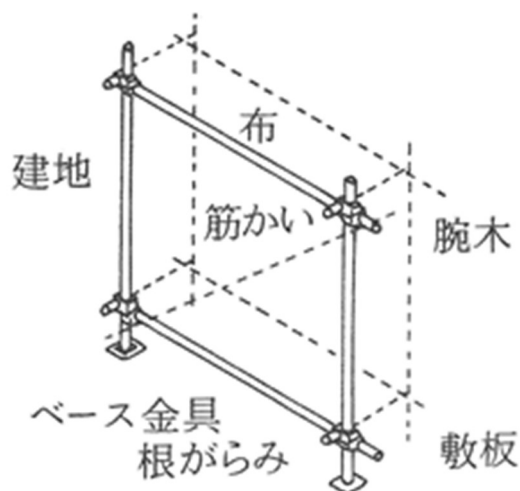
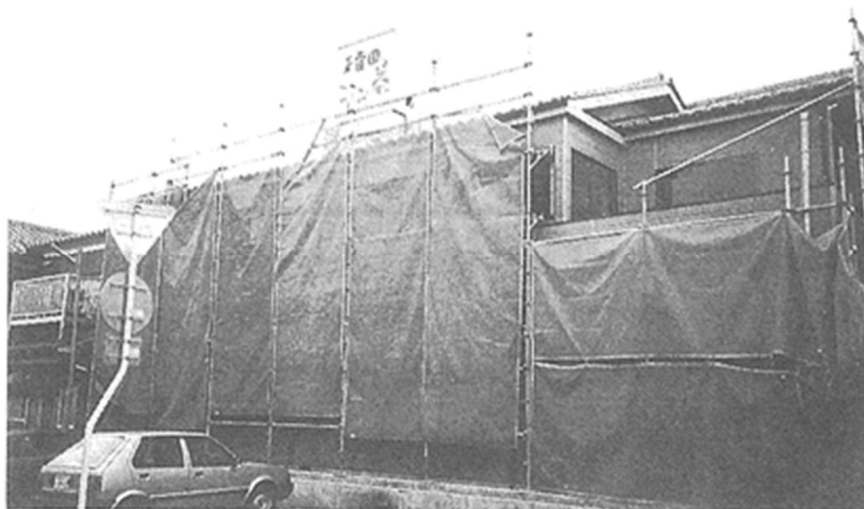
外部足場は、現場では枠組本足場以外の足場が使用されることもあるが、なぜ補償額の積算は枠組本足場を標準としているのか。

A3-6

足場の種類については、労働安全衛生規則の改正（R6.4）により、幅が1メートル以上の場所においては、本足場の使用が義務付けられる。

なお本足場は、枠組本足場と単管本足場が該当するが、公共建築工事積算基準では外部足場は枠組本足場を標準としていることから、補償額の積算については、建築も解体も共に枠組本足場を標準とすることとした。

〔計測基準 II.2.(4)〕



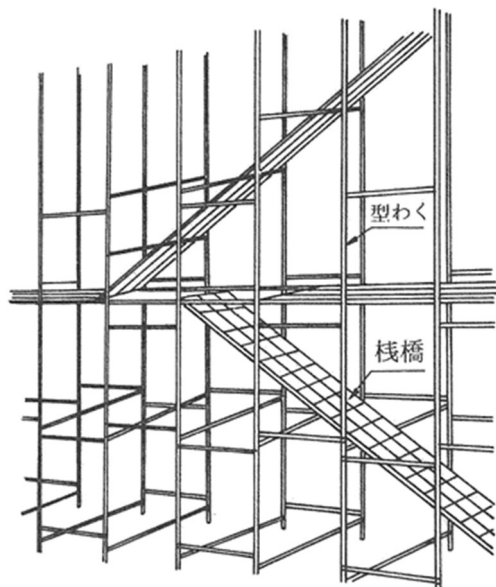
Q3-7 【登り栈橋の必要性の判断】

非木造建物で登り栈橋は原則として3階以上の建物で必要のある場合としているが、必要のある場合とはどのような場合か、また、2階以下の建物には、登り栈橋が必要ないのか。

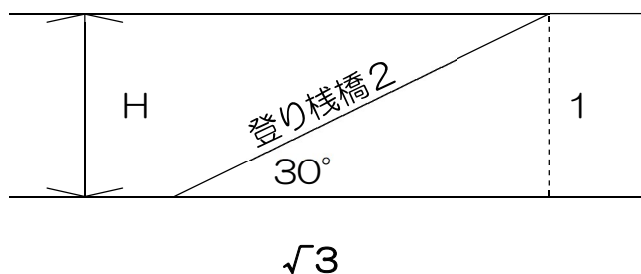
A3-7

登り栈橋は、建物の建築に伴い、高所への昇降・運搬を行うための仮設栈橋のことをいう。

登り栈橋の設置について計測基準では「原則として3階以上の建物で必要である場合に設ける。」としている。これは、鉄骨造建物の場合に、鉄骨などの加工とあわせ、内部階段を工場制作し、現場でく体の建方と同時に階段を設置する場合や作業の工程上クレーンなどを使う場合などに登り栈橋の設置が不要となる場合が生じるからである。また反面、平家建や2階建の建物の場合でも鉄筋コンクリート造やコンクリートブロック造の場合には、施工の条件によっては登り栈橋を設置する場合もあり、登り栈橋の必要の有無は、専門家の意見により判断を行われたい。



※登り栈橋の勾配は、30度以下と定められているため、高さを2倍にすることにより登り栈橋の長さが求められる。



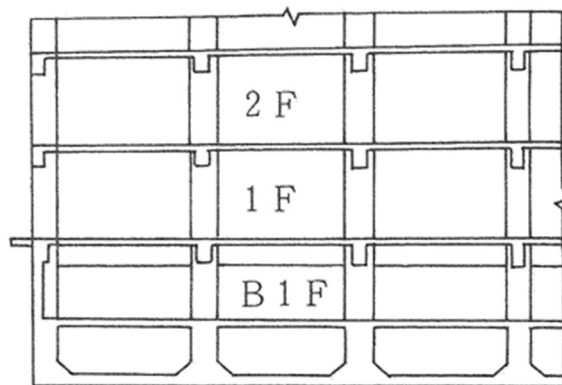
〔計測基準 II.1.(6)〕

Q3-8 【く体とは】

建物の話によく「く体」という用語がでてくるが、その意味は。

A3-8

く体(軀体)は、建築物の建具、造作、仕上、設備などを除いた基礎、柱等の骨組で主として強度を受け持つ部分である。



Q3-9 【RC・SRC 造の基礎コンクリート統計数量表の留意点】

鉄筋コンクリート造(RC 造)・鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC 造)の建物は、基礎と一体となっているのに、なぜ統計数量表に基礎コンクリートの数値が表示されているのか。

A3-9

RC 造・SRC 造の基礎関係統計数量表には、根切、砂利・割石敷、捨コンクリート、基礎コンクリートの数値が表示されているが、これは基礎とく体に区分してコンクリート単価を設定したり、あるいは基礎部分を除いた撤去工事費を積算するとき、又は、残土処分等の算定を行う場合に適用する数値である。なお、く体コンクリートの統計数量表には基礎コンクリート量も含まれているので留意されたい。

Q3-10 【コンクリート中の鉄筋や鉄骨などの差引き】

鉄筋コンクリート造(RC 造)や鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC 造)の建物のコンクリート数量を積算するときに、コンクリートの中にある鉄筋や鉄骨などを統計数量から差し引く場合はどのようにするのか。

A3-10

まず、コンクリートの中にある異種物の差引を計測基準では「欠除」という言葉で表している。

計測基準では、欠除について次のように取り扱うこととしている。

- ①鉄筋及び小口径管類（一般的な設備配管）による欠除はないものとする。
- ②鉄骨によるコンクリートの欠除は鉄骨数量 7.85 t を 1m^3 として換算した体積とする。

計算式

$$\text{く体コンクリート量} = \text{く体コンクリート総量} - [\text{鉄骨量} \times 0.127 \text{ m}^3]$$

(建築数量積算基準・同解説 (一財)建築コスト管理システム研究所発行)

※計算例は、Q3-51 参照

Q3-11 【型枠の種類】

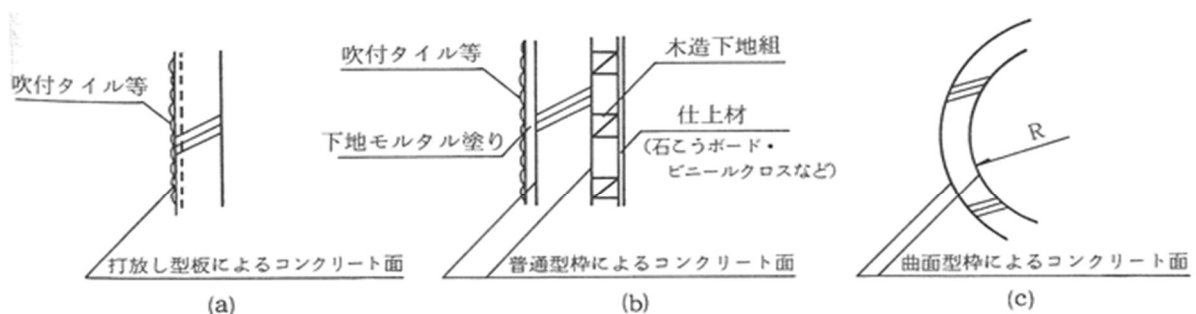
型枠の数量を計算する際に、普通型枠、打放し型枠、曲面型枠に区分することとなっているが、型枠の種類の違いを教えてください。

A3-11

- (a)打放し型枠 コンクリートの打上がり面を仕上げとしたり、吹付等の直接下地となるようなコンクリート面に使用する型枠
- (b)普通型枠 コンクリートの打上がり面にモルタル塗りをしたり、木造下地組などによって直接仕上げをしないコンクリート面に使用する型枠
- (c)曲面型枠 円弧のコンクリート面を作る時に使用する型枠

いずれの場合にも合板(木製)を使う。

〔計測基準 V.2〕



〔計測基準 V. 2〕

Q3-12【普通型枠と特殊型枠の数量の取扱い】

型枠の数量を計算する際に、普通型枠、打放し型枠、曲面型枠に区分することとなっているが、統計数量表にはどのように適用させるのか。

A3-12

型枠の数量計算の区分については、特殊型枠(打放し型枠、曲面型枠)を実面積で計算し、統計数量表により求めた全体数量からの差引で普通型枠の数量を求める。

普通型枠＝全体数量(統計数量表)－特殊型枠(実面積)

〔計測基準 V〕

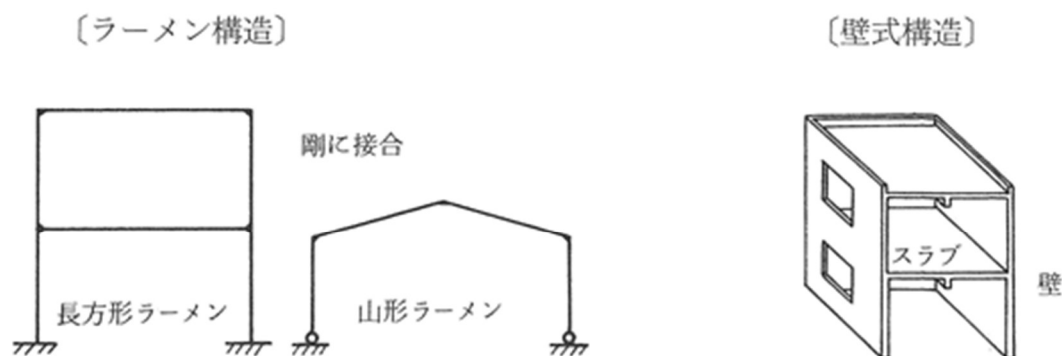
Q3-13【ラーメン構造と壁式構造の違い】

統計数量表の構造区分にでてくるラーメン構造と壁式構造の違いを教えてください。

A3-13

ラーメン構造とは、柱と梁で外力を負担する構造をいう。壁式構造とは壁で外力を負担する構造をいう。壁式 RC 造の建物については、設計基準を地上 5 階以下、軒高 16m 以下、階高 3m 以下にするなどの規模規定が定められている。

〔計測基準 V.2.(2)、V.3.(2)〕



〔計測基準 V. 2.(2)、V. 3.(2)〕

Q3-14【鉄骨の積算方法】

鉄骨の積算にあたっての、ボルト、工場塗装、工場加工、現場溶接、現場建方が全て鋼材数量で積算することとなっているが、各々の数量を求めなくてよいのか。

A3-14

非木造建物要領では、全ての鋼材の数量で積算ができるよう補償標準単価表が作られている。また、鉄骨の数量は統計数量表により建物の延床面積で積算することになっているので、従前のような鋼材別に図面から鋼材重量を積算するなどの手間のかかる作業が必要なくなった。

〔計測基準 V.4〕

Q3-15【間仕切部分の数量の取扱い等】

間仕切に伴うく体、間仕切下地(壁の骨組下地)、下地(板)、仕上の区分を説明してほしい。

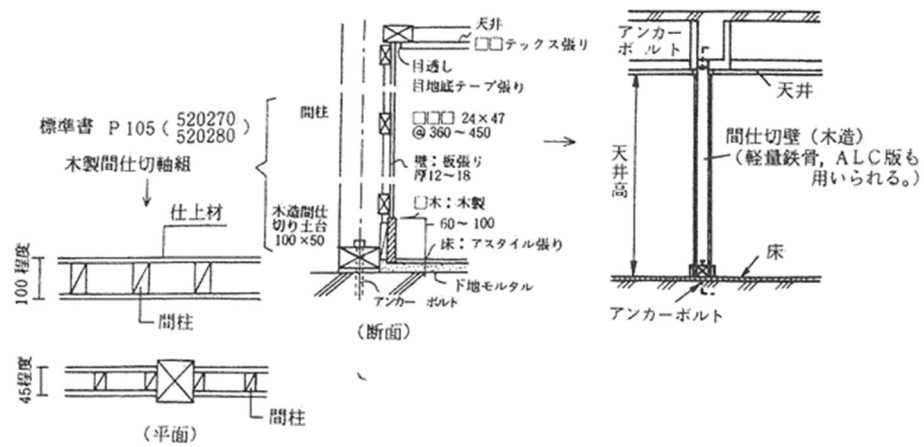
A3-15

間仕切とは、建築物の内部を区画するための壁のことで、く体の構造と同じ鉄筋コンクリート及び鉄骨等の間仕切部分の数量は、統計数量に含まれているので区分する必要はないが、異種の間仕切下地については個別計算となる。

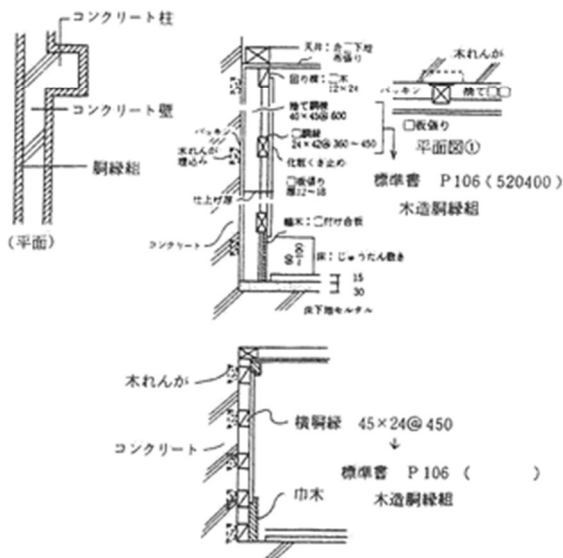
なお、下地などの区分については、下図を参考にされたい。

〔計測基準 VI.1〕

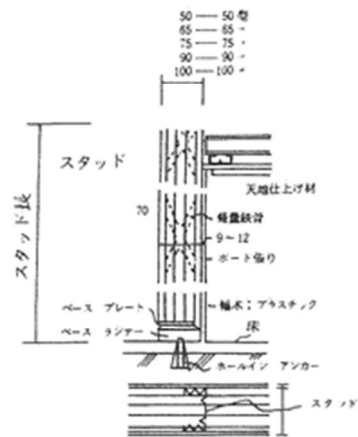
(1) 木製自立間仕切



(2) く体 (コンクリート) 面につく
間仕切下地 (仕上げ下地)



(3) 鋼製壁下地



Q3-16 【階段室内壁施工面積について】

住宅用途に係る階段室の内壁施工面積について、「木造建物数量積算基準第8第2項と同様に、次表に掲げる面積を標準とする。」ことができるようになっているが、3階建の建物の場合の2階部分にも適用することは可能か。

A3-16

木造建物〔I〕においては、平家建又は2階建の建物が調査算定の対象となる建物とされているため、木造建物数量積算基準第8第2項では2階建の建物の「1階床より2階床までの面積」と限定されている。ただし、住宅用途に係る直階段、廻り階段、折り返し階段の階段室の内壁施工面積については、各階層共に同程度の面積となることから、最上階を除く各階層毎に適用可能とする。

〔計測基準 VI.2.(2).②.ア.(エ)〕

Q3-17 【塗装材における適切な統計値とは】

塗装材による表面処理の数量計算にあたり、建具又は鉄骨などの塗装材による表面処理についての計測は「適切な統計値」によることができることになっているが、「適切な統計値」とはどのような数値か。

A3-17

「適切な統計値」とは 建築数量積算基準・同解説（（一財）建築コスト管理システム研究所発行）掲載の“参考資料 表7 仕上参考表”を指す。

〔計測基準 VI.2.(3).⑬.ア・イ.(イ)〕

Q3-18 【補償上の建築設備の取扱い】

非木造建物の建築設備の補償は新設補償となるのか。

A3-18

非木造建物の建築設備については、木造建物と同様に建物の一部として建物の推定再建築費に含めて計算することになっている。

〔計測基準 VIII〕

Q3-19 【建築設備や建物附随工作物のみが支障となった場合の取扱い】

建物本体は直接支障とならず、建築設備や建物附随工作物のみが支障となった場合はどのように取り扱うのか。

A3-19

Q3-18 のとおり、建築設備や建物附随工作物は建物の一部のため、これら設備等のみが支障となった場合も、建物として取り扱うことが妥当であり、建物の移転工法に則した補償内容を検討することとなる。

その結果として、例えば改造工法を採用した場合には、再築補償率を乗じることなく建物移転料を算定することとなるが、これは建築設備や建物附随工作物のみが更新（新設）されても、建物全体の耐用年数の延長、建物の機能的価値増には影響しないと判断されるためである。

Q3-20 【地下(床下・ピット)の電線管などの配管の積算方法】

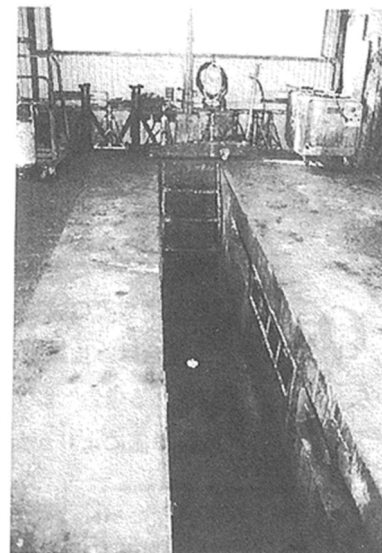
地下(床下・ピット)の電線管などの配管はどのように積算するのか。

A3-20

ピットなどの特殊な設備や構造部分の配管については、個々に積み上げ積算となる。

また、大規模なものであれば土間コンクリート等の積算に影響があるので注意されたい。

〔計測基準 VII.VIII〕



Q3-21【移設可能な照明器具などの取扱い】

移設可能な照明器具などの取扱いはどのようにするのか。

A3-21

照明器具等は、原則として推定再建築費の一部として計算することとなっているが、シャンデリア等の特殊器具で移設可能なものは動産扱いとされたい。

〔計測基準 VII〕

Q3-22【移設が困難な設備の取扱い】

システムキッチン、業務用冷蔵庫、エアコン及び太陽光発電設備などは、移設の困難性により建築設備と判断してもかまわないか。

A3-22

建築設備と判断するには、『機能性』及び『効用』に着目し、建物と一体となって機能を発揮し、建物の効用に直接寄与していることが基本である。これに加え、『用途』及び『構造』に着眼した次の判断要素を移転対象物毎に適用させ、個別に判定を行う必要がある。

A 施工一体性(移設困難性)

建物との一体性がある(造りつけで容易に取り外しができない) → 建築設備

建物との一体性がない(容易に取り外しができる) → 機械設備・附帯工作物等

B 所有形態

所有者が建物と同一 → 建築設備

所有者が建物と異なる → 機械設備・附帯工作物等

C 資産形態

自家用 → 建築設備

業務用 → 機械設備・附帯工作物等

例えば、一般的な住宅等に設置されているシステムキッチンは、建物と一体として施工され、造り付けのような状況で建物に組み込まれており、かつ、容易に取り外しができないような場合は、建物と一体となって機能を発揮し、建物の効用に直接寄与していると考えられるので、建築設備となるが、それ単独でも独立した機能を持ち、個別の効用を有すると考えられる業務用厨房設備については、機械設備、附帯工作物又は動産と判断できる場合があるので、個々の設置状況や有している機能等から適切に判断する必要がある。

また、業務用冷蔵庫においては、建物と一体となって機能を発揮し、建物の効用に直接寄与しており、容易に取り外しができない場合は、建築設備と判断できるだろうが、取り外しができ、単独でも独立した機能を持ち、個別の効用を有する資産として減価償却の対象となりうるような場合は、機械設備と判断することになる。ただし、固定されることなく容易に移動ができるような場合は、動産として取り扱える場合もあるので、留意が必要である。

さらに、エアコンにおいては、セパレート型、窓用縦型、パッケージ型、天井埋込カセット型等のタイプがあるが、どのタイプにおいてもこれらが設置されている建物と所有形態が同一であり、かつ、建物と一体となって機能を発揮し、建物の効用に直接寄与していると考えられるので、建築設備と判断することになる。ただし、セパレート型や窓用縦型で借家人等の建物所有者以外の者が設置している場合は所有形態が異なる点を考慮し、移設が可能な場合は附帯工作物として積算することができる。なお、エアコン以外にエアコンと同じように所有形態が判断要素の1つとなるものには、インターホン設備、警備設備、ガス瞬間湯沸器、電気温水器などが考えられる。

住宅等の屋根材または外壁材等として機能を有し、建物と一体として組み込まれており、かつ、容易に取り外しができない太陽光発電設備（建材型）については、建物と一体となって機能を発揮し、建物の効用に直接寄与しているため、建築設備と判断することになる。一方、屋根設置型等の容易に取り外しができ、個別の効用を有する資産となる太陽光発電設備は、生産設備と判断することになる。なお、土地に自立して設置されるメガソーラーのような売電や大規模施設への給電等を目的に大規模に設置されている太陽光発電設備（地上設置式）についても、生産設備と判断することになる。

〔計測基準 VIII〕

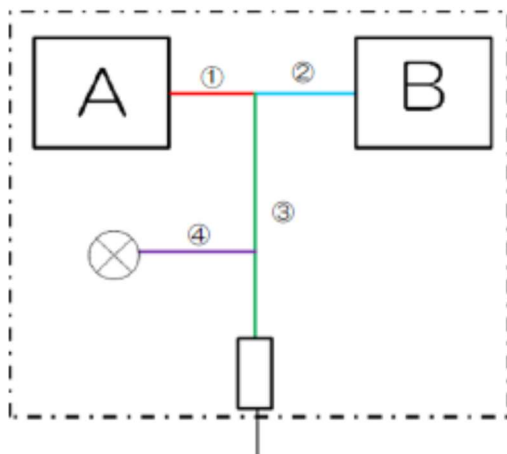


Q3-23 【同一敷地内に複数棟の建物が存する場合の給水設備の取扱い】

同一敷地内に複数棟の建物が存する場合の給水設備はどの建物の建築設備とすればよいか。

A3-23

建築設備とする判断の基本は A3-22 で説明したとおりであるが、下記図のように同一敷地内に複数棟の建物が存する場合における給水管③④は建物 A 及び B どちらの効用にも寄与していると言える。このような場合においては、全部事項証明書等公的資料や利用実態を確認し、総合的に主従判断を行ったうえで主たる建物の建築設備と判断することになる。



Q3-24 【解体工事における仮設工事の計上】

解体工事の仮設はどのようなものを計上するのか。

A3-24

解体工事に伴う仮設工事には、原則として外部足場及び養生を計上するものとする。その他の項目については、専門家の意見を聞き必要な都度計上するものとする。

〔計測基準 IX〕

Q3-25【解体するときに発生する市場価値のある材の取扱い】

非木造建物を解体するときに市場価値のある材が発生するが、補償額算定にあたってどのように取り扱えばよいか。

A3-25

建物などの解体工事にともない発生する市場価値のある材料のことを、発生材という。市場価値があるということは、処分により利益が生じることとなるため、補償額から控除することになる。通常は、鉄骨造の鉄骨などが発生材として計上される。

〔計測基準 IX〕

Q3-26【解体するときに発生する廃棄材の処理の取扱い】

非木造建物を解体するときに発生する廃棄材の処理は通常どのように行われているのか。

A3-26

建物などを解体すると様々な残材が発生する。その中で価値のある鉄骨については、発生材として問屋倉庫又は店頭持込により廃品回収業者に買い取られ、価値のないコンクリートガラなどについては、廃棄材処理現場に持込み処理することになる。当然ながらこの際には、処理費を支払わなければならない。

〔計測基準 IX〕

Q3-27【統計数量表の数値の根拠】

統計数量表の数値はどのように定められたのか。

A3-27

関係団体より入手した約280件のアンケート調査結果（非木造建物の積算事例）及び17件の非木造建物の既存図面データを分析して統計数量の数値が定められている。

〔計測基準 統計数量表〕

Q3-28 【公衆浴場や劇場等の取扱い】

公衆浴場や劇場等について(統計数量表(1)注書きでは)、原則として別途個別に各数量を積算することになっているが、なぜ統計数量の適用が困難なのか。

A3-28

統計数量表は多数の事例を調査し、求めた統計数量値が基本となり作成されている。

この事例は、専用住宅、共同住宅など統計数量表に掲載された用途の建物が主となっており、公衆浴場や劇場など特殊な建物は想定していないので、統計数量表で求めることはできない。よって積み上げにより数量を求めることになる。

なお型枠や鉄筋については、コンクリート量を基に数量を求めることになっており、統計数量表の用途に類似すると判断される場合は、統計数量表により積算することは可能である。〔計測基準 統計数量表〕

Q3-29 【複合用途の場合の統計数量表及び耐用年数の取扱い】

1棟の建物に二つ以上の用途(店舗付住宅等)がある場合は、統計数量表(1)の「用途の取扱い」及び耐用年数の認定はどのような取扱いになるか。

A3-29

複合用途の建物の場合は、原則として、最も床面積の多い用途の統計数量値を適用することになる。ただし、単に用途による判断のみでなく、当該建物の構造く体の類似性等についても判断の基準となる。例えば、本来専用住宅として建築された建物を一部事務所に改造した場合には専用住宅の統計数量値を適用することが妥当な方法である。また、耐用年数の認定も同様の取扱いとなる。

〔計測基準 統計数量表〕

Q3-30 【統計数量表の面積区分最大値の取扱い】

統計数量表の面積区分では、用途区分により延床面積の最大値が異なっているが、例えば用途区分「工場・倉庫」13,000 m²以上の建物でも10,000 m²以上の統計数量値を使用してよいか。

A3-30

各用途毎の統計数量の延床面積にあつては、「建築着工統計」により分析を行った結果、建築着工の面積が当該用途毎の延床面積の最大値内に概ね該当するよう設定を行っている。なお、一般的には大規模建物になれば単位面積あたりく体数量には、ほとんど変化は生じないものといわれている。

よって、用途区分「工場・倉庫」の大規模な建物についても統計数量表の10,000 m²以上の統計数量を適用することとした。

Q3-31 【各階の用途や面積が異なる場合の階層などの取扱い】

各階の用途や面積が異なる場合の階層などの取扱いはどのようにすればよいか。

A3-31

各階の面積が異なる場合は、階層の認定については統計数量表(2)により、用途区分については最も床面積の多い用途により統計数量値を適用することになる。

例えば、延床面積2,800 m²の6階建の建物の1階と2階が各1,000 m²の店舗で3階から6階までが各200 m²の共同住宅の場合は〔2,800 m²÷1,000 m²=2.8〕となり適用階層が3階となるので、3階の統計数量値を適用することになる。

この場合の用途は、最も床面積の多い「店舗」を適用することになる。

〔計測基準 統計数量表〕

Q3-32【1階にピロティーなどがある場合の階層認定】

1階に床面積に含まれないピロティーなどがある場合の階層の認定はどのようになるか。

A3-32

階層認定は各階の面積が異なる場合の構造体の平均的な階層を求めるために行う。通常は、ピロティーなどを含まず1階床面積により計算することになるが、このため、1階床面積がその他の階より小さい場合に適用階層が実質の階層を超えることがある。その場合には実質の階層による統計数量値を適用することになる。

例えば、延面積 2,800 m²の3階建の建物の1階が800 m²で2階と3階が各1,000 m²の場合の階層は〔2,800÷800=3.5〕となり適用階層4階となるが、実質の階層である3階を適用することになる。

〔計測基準 統計数量表〕

Q3-33【将来増築の予定がある構造で建築されている建物の取扱い】

最上階に将来増築の予定がある構造で建築されている建物については、それを明確となる設計図書等がある場合には、予定された階層の統計数量値を採用してよいか。

A3-33

増築計画の有無にかかわらず、原則として現地調査時点の階層の統計数量値を適用することが妥当と思われる。

〔計測基準 統計数量表〕

Q3-34【多雪地区又は地震対策地域等の建物の取扱い】

多雪地区又は地震対策地域等の建物については、本統計数量値を補正する必要があるか。

A3-34

本統計数量値は、全国から収集した事例を基に分析を行った結果である。したがって、多雪地区又は地震対策地域の建物も含めた統計数量値と判断されるべきである。

〔計測基準 統計数量表〕

Q3-35 【地下階の有る建物の数量の別途算出方法】

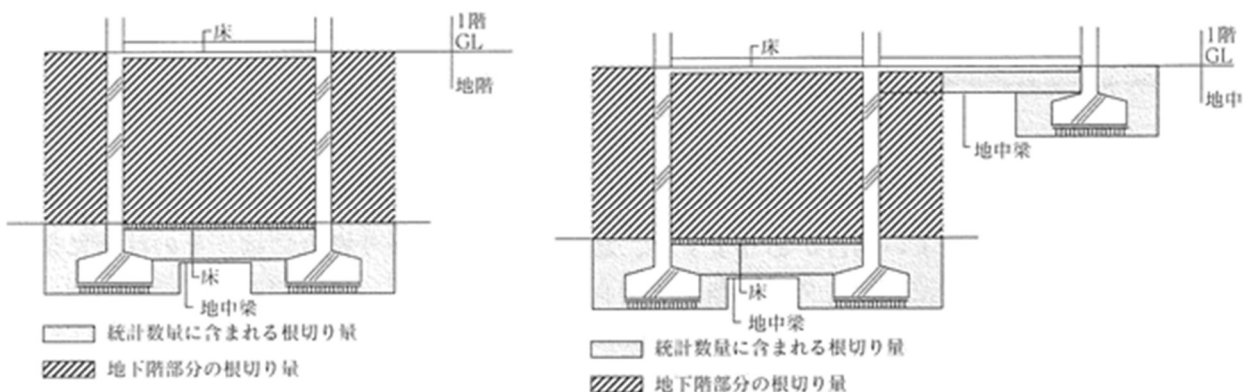
統計数量値には、地下階の数量を含まないとしているが、地下階の有る場合の別途算出の方法は、どのようにすればよいか。

A3-35

地下階を有する場合は、下図のとおり地下階が存しない場合の基礎本体を地下階に移行したものと見なす。

したがって、地下階が存する場合の取扱いは、原則としてGLから地下階の床下端までの根切量を算出して統計数量値に加算する必要がある。

なお、土工(基礎)関係以外の地下部分のく体コンクリート量、型枠量、鉄筋量及び鉄骨量についても、同様に別途積算し加算することになる。



Q3-36 【地下階の有る建物の統計数量表の取扱い】

地下階のある場合の、基礎関係、く体コンクリート量、鉄骨量関係の、階層、面積、階高等の統計数量の適用にあたっては、地下階も含めて判断するのか。

A3-36

統計数量の認定基礎データには、地下階の存する事例を採用していないことから、すべての統計数量の適用条件は地上部分から判断されたい。

Q3-37【平家建工場等の建物に一部2階が存する場合の取扱い】

平家建の工場等の建物に、一部2階が存する場合(一部2階層)の土工(基礎)関係の統計数量の適用にあたっては、Q3-55の鉄骨量計算と同様に2階が存する部分と存しない部分に区分して計算し、それぞれの数量を合算するのか。

A3-37

一部2階が存する部分の基礎は、一般的には特に強度を必要としない場合が多く、基礎全体に占める割合も低く統計数量値との差異は僅かで、原則として一部2階が存しないものとして統計数量を適用することとしている。

Q3-38【杭地業の有無の判断】

杭地業の有無の判断はどのようにすればよいか。

A3-38

杭地業は、不可視部分の代表であるが、その確認については、既存図又は建物所有者、設計者、施工業者等からの聞き取り等によって判断する必要がある。[非木造建物要領第6条参照]

[計測基準 統計数量表]

Q3-39【統計数量表(4)の「地盤状況」の判断が困難な場合の取扱い】

統計数量表(4)の「地盤状況」の判断が困難な場合の取扱いは、どのようにすればよいか。

A3-39

地盤状況は、表注書きのとおり定めているが、具体には、既存図に添付されている構造計算書を原則として、構造計算書で確認が困難な場合には、市町村の建築主事(建築課等)に備えつけてある資料又は近隣地域の地盤状況の聞き取り調査結果等を参考として総合的な判断によるものとする。

[計測基準 統計数量表]

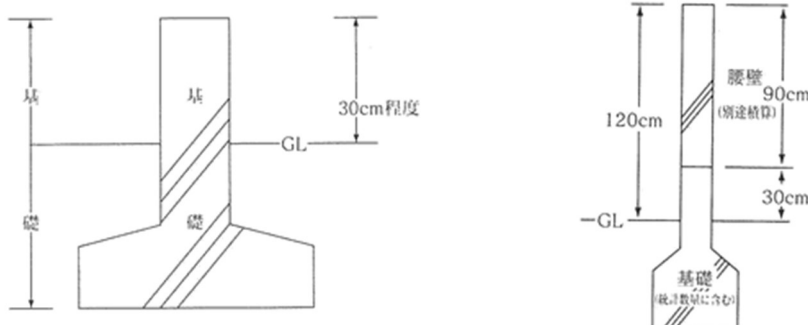
Q3-40 【基礎関係の統計数量値の範囲】

基礎関係の統計数量値の範囲はどこまでか、また、基礎コンクリートは地盤面 (GL) までか、それとも天端までか。

A3-40

土工(基礎)関係の統計数量値は、基礎本体(地中梁を含む。)に係る数量値であり、基礎コンクリートについては、下図のとおり基礎柱を含む地上 30 cm 程度までを含んでいる。なお、鉄骨造(S 造又は LGS 造)又はコンクリートブロック造(CB 造)の建物で、基礎と一体で施工されている腰壁等については、地盤面(GL)より 30 cm 上の部分を壁と認定して別途数量を算出し計上する必要がある。しかし、鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC 造)又は鉄筋コンクリート造(RC 造)の場合は、上部く体と基礎の境界は GL とする。

[計測基準 統計数量表]



Q3-41 【基礎形態別による統計数量値の補正の必要性】

基礎の形態、例えば、独立基礎とべた基礎又は布基礎では、根切、基礎く体コンクリート等の使用数量が異なると思われるが、補正を必要とは思わないのか。

A3-41

本統計数量値は、補償対象となった事例を収集しており、事例には独立基礎、べた基礎又は布基礎を含めて分析を行った結果である。したがって、原則として独立基礎、べた基礎又は布基礎等の基礎の形態によつての補正は必要ないものと考えられる。なお、S 造、LGS 造、CB 造の基礎立上がりの 30 cm 部分は基礎全体数量から比較し僅かな数量のため、残土処分量、埋戻し量の計算にあたっては、立上がり部分は統計数量から控除しないこととして取り扱う。

[計測基準 統計数量表]

Q3-42【残土処分量及び埋戻し量の算出方法】

残土処分量及び埋戻し量は、統計数量を適用すればよいのか。

A3-42

原則として、統計数量により算出した数量を基に計算するものとし、計算式は次のとおりとなる。また、地下階が存する場合には、地下階部分として算出した根切量を加算するものとする。

残土処分量＝(砂利・割石敷＋捨てコンクリート＋基礎コンクリート)

埋戻し量＝(根切量－残土処分量)

なお、工事費の積算に関してはその状況を十分考慮する必要がある。例えば、建築面積に比較して敷地が過少な場合で、構内において根切土の置き場所の確保が困難であると判断されるときは、根切量の全てを構外搬出とし、購入土により埋戻しが必要となる。また、敷地が広いときは、根切土を場内に仮置きし埋戻しに使用する場合もある。

[計測基準 統計数量表]

Q3-43【土間コンクリートと統計数量の関係】

土間コンクリートとはどのようなものか。また、統計数量表(5)注書きで、「基礎コンクリートには、土間コンクリート分が含まれていないので、施工されている場合には、別途個別に算出して計上する。」としているのはなぜか。

A3-43

土間コンクリートとは、地盤に直接打設し施工される床のことである。建物の1階床に土間コンクリートを打設する場合、その打設状況は建物によって大きく異なるため、構造・用途を問わず土間コンクリートは統計数量に含めず、別途個別に計上することとしたものである。

なお、別途積算する場合は、根切(すき取り)量、残土処分量、割石敷量、コンクリート量を、また、必要に応じて鉄筋(溶接金網)量、型枠量等を積算する必要がある。

[計測基準 統計数量表]

Q3-44 【床面積に算入していないピロティー等の取扱い】

基礎の数量算出の基準となる「1 階床面積」は、建築基準法に基づき算定した面積か。また、床面積に算入していないピロティー、ポーチ等で、基礎が施工されている場合の取扱いはどのようなになるか。

A3-44

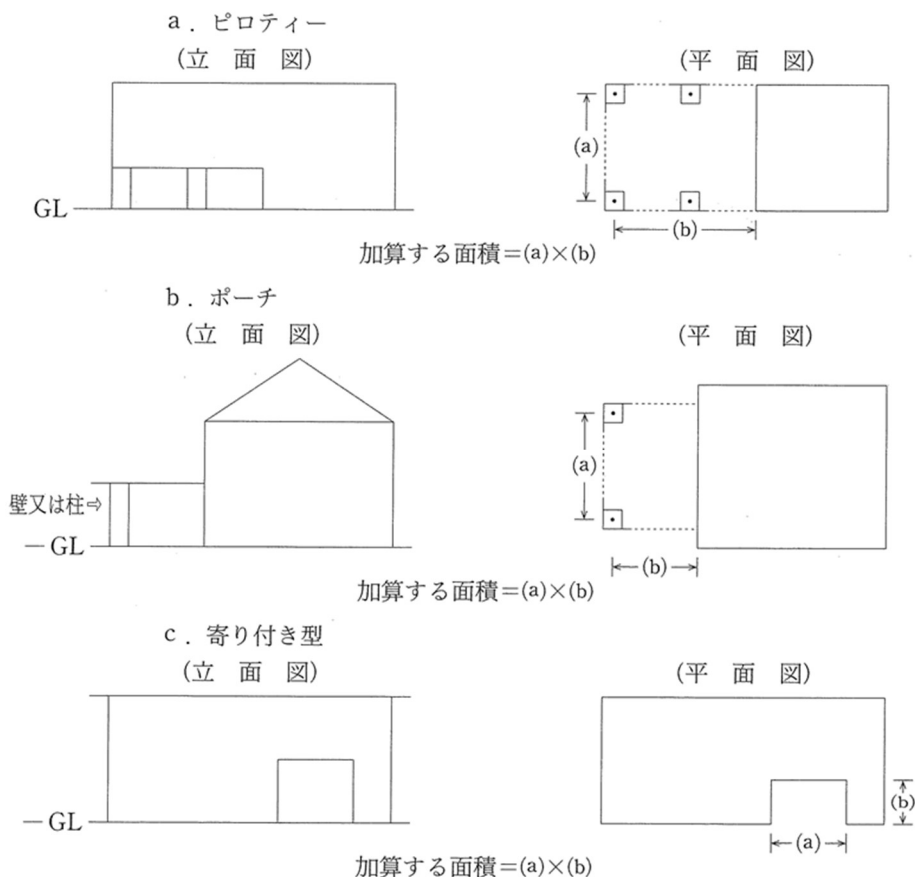
通常は、建築基準法に基づき算定した 1 階床面積を基本とするが、床面積に算入していないピロティー、ポーチ等については、基礎関係数量算出の際は、次の算式で算出した面積を加算し数量算出基本面積とする。

なお、屋外階段の基礎については、統計数量に含まれている。

算式 (ピロティー、ポーチ等の実面積) + 1 階床面積 = 数量算出基本面積

※上部く体の数量を計算する際は、取扱いが異なるので注意されたい。

(Q3-46 参照)



Q3-45 【RC・SRC 造の基礎部分の統計数量表(5)(6)の取扱い】

「統計数量表(5)及び(6)の鉄筋コンクリート造(RC 造)・鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC 造)のラーメン式及び壁式の基礎コンクリートは、表(12)及び(13)のく体コンクリートに含まれている。」は、どのような取扱いになるのか。

A3-45

RC 造、SRC 造の建物におけるく体コンクリート量は、基礎部分と、上部く体を含めて、統計数量表(12)及び(13)の統計数量値で算出することになる。したがって、統計数量表(5)及び(6)に掲載する「基礎コンクリート量」は、当該建物の解体費等の算出の場合の参考数値とするものである。

よって、解体費の算定にあっては、統計数量から基礎部分を控除した上部く体コンクリート量のみを解体量とすることにした。

[参考計算]

構造 ラーメン式

階層 3階

階高 3m未満

延床面積 300 m² [各階 100 m²]

用途 専用住宅

く体コンクリート量 [表(12)から] $0.95 \text{ m}^3 \times 300 \text{ m}^2 = 285.00 \text{ m}^3$

基礎部分のコンクリート量 [表(5)から] $0.81 \text{ m}^3 \times 100 \text{ m}^2 = 81.00 \text{ m}^3$

当該建物に使用されている全体コンクリート量は、285.00 m³ のうち基礎コンクリート量が 81.00 m³ であり、結果として上部く体のコンクリート量は、204.00 m³ [285.00 - 81.00 = 204.00] となる。

また、上記建物の階高が例えば3m以上4m未満で、階高補正を要する場合は、上記計算結果で得られた上部く体コンクリート量に、階高補正率[表(10)から 1.06] を乗じた 216.24m³ [204.00 × 1.06 = 216.24] が上部く体のコンクリート量となる。

[計測基準 統計数量表]

Q3-46 【RC・SRC 造の共同住宅のベランダ等の床面積の取扱い】

鉄筋コンクリート造(RC 造)又は鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC 造)の共同住宅建物のベランダ等の数量算出に際し、床面積の取扱いはどのようなになるのか。

A3-46

共同住宅等のベランダ、バルコニー、開放型片廊下、ピロティー、ポーチ等で、通常建物面積（建築基準法上の床面積）に加えていない部分については、コンクリートの数量計算の基礎となる面積は、次の算式で算定した面積を加算し、数量算出基本面積とする。

なお、く体と同種構造の階段は内外を問わず統計数量に含まれているが、異種構造の階段は別途積算することとする。

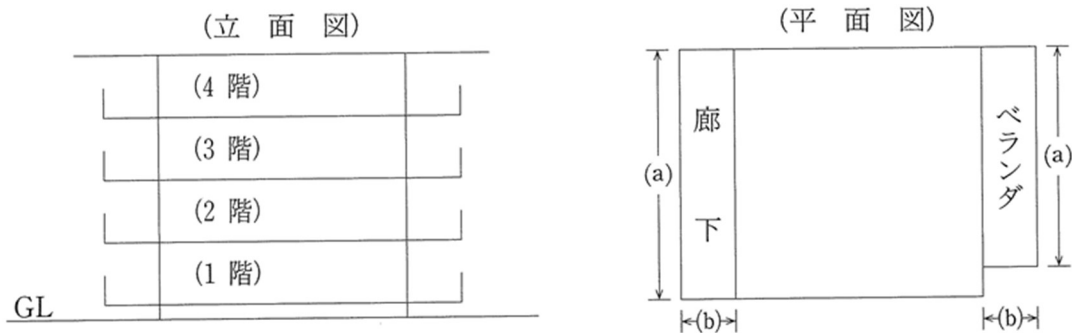
算式

(ベランダ、開放型片廊下等の実面積÷2) + 延床面積 = 数量算出基本面積

※基礎の場合と取扱いが異なるので注意すること。(Q3-44 参照)

加算する面積 = $(a) \times (b) \times 1/2$

(各階層に存する廊下及びベランダ面積を集計し、加算面積を計算する。)



Q3-47【土間コンクリートを別途個別計算としている理由】

鉄筋コンクリート造（RC造）・鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC造）の建物の1階床は、構造体であるスラブにて施工されることが通常であり、Q3-43で説明されている土間コンクリートでの施工は少ないと考えられるが、あえて統計数量表（12）注書きに、「土間コンクリートは含まれていないため、別途個別計算して計上する。」とあるのはなぜか。

A3-47

Q3-43のとおり、土間コンクリートは構造・用途を問わず別途個別に計上する必要があり、これはRC造・SRC造の建物であっても同様である。

しかし、RC造・SRC造の一階床は、用途が工場・倉庫の場合は、通常土間コンクリートによる施工が多いため、く体コンクリートの統計数量にスラブ部分が含まれておらず、土間コンクリートは別途個別に計上する必要がある。

これに対し、用途が工場・倉庫以外の場合は、通常構造体であるスラブ施工が多いため、く体コンクリートの統計数量にスラブ部分が含まれており、土間コンクリートを別途個別に計上する必要がないという違いがある（用途が工場・倉庫以外で1階床が構造体であるスラブ施工の場合は、土間コンクリートとスラブの重複施工は想定されないため。ただし、スラブ天端上に施工されたコンクリート部分は統計数量に含まれないため、別途個別計上となることに留意すること。）。

統計数量表（12）注書きは、RC造・SRC造であっても、用途が工場・倉庫の場合及び用途が工場・倉庫以外の場合で土間コンクリート施工が明らかな部分がある場合には、土間コンクリートを別途個別計上する必要があることを注意喚起するものである（※用途が工場・倉庫以外で土間コンクリート部分を別途個別計上する場合は、異種材料としてく体コンクリート量を減量補正すること（Q3-50参照）。）。

[計測基準 統計数量表]

Q3-48【地下階の床コンクリートの取扱い】

地下階のく体コンクリート量は個別積算となっているが、1階の床と地下の床についても個別積算となるか。

A3-48

1階の床については、統計数量値に含まれているが、地下階の床については統計数量値には含まれていないので、地下階の床コンクリートは別途積算し加算するよう取り扱うものとする。

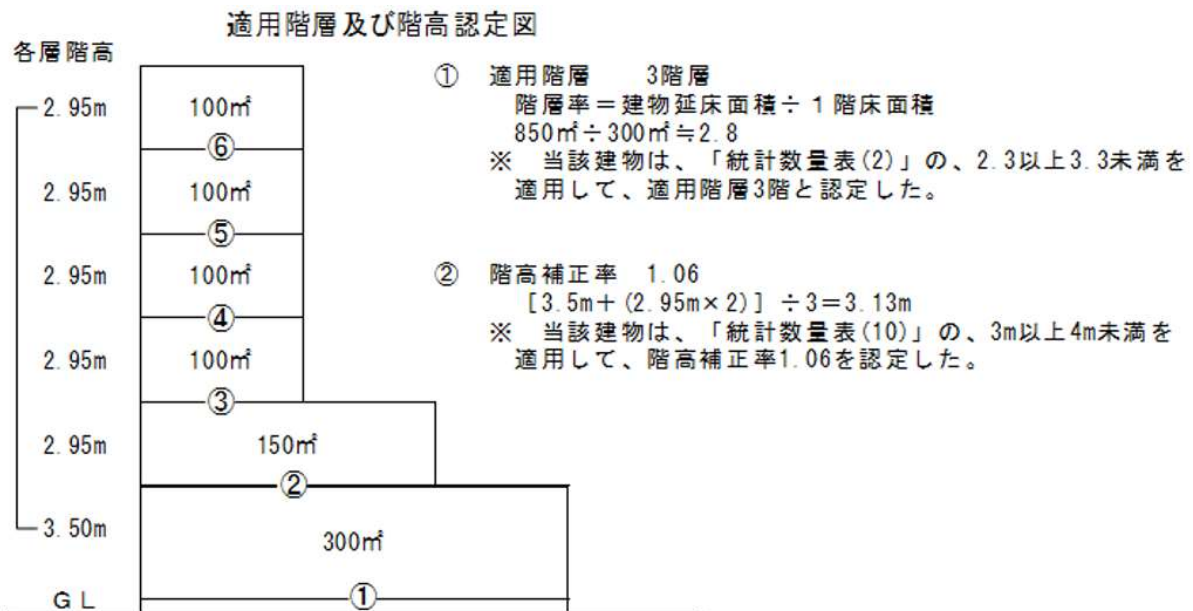
Q3-49 【RC 造建物等の階高が異なる場合の階高補正】

鉄筋コンクリート造(RC 造)の建物などの階層によって階高が異なっている場合の階高補正はどのようなになるのか。

A3-49

基本的な考え方は、鉄骨造建物の Q3-54 と同様に平均階高により行う。

例えば、実質が6階で適用階層が3階となる建物の1階の階高が3.5m、2階から6階まで各々2.95mのときは、適用階層3階までの平均の階高により、補正を行うことになり具体的な計算は、次のとおりである。



コンクリート量計算例

条件：RC 造（ラーメン式）・共同住宅・適用階層 3 階・1 階床面積 300 ㎡・延べ床面積 850 ㎡・階高補正率 1.06（表（10））

○基礎コンクリート量 基礎コンクリート量統計数量値 0.75（表（5））

$$1 \text{ 階床面積 } 300 \text{ ㎡} \times \text{統計数量値 } 0.75 = 225.00 \text{ ㎡}$$

○上部く体コンクリート量 く体コンクリート量統計数量値 0.84（表（12））

（延べ床面積 × 統計数量値 - 基礎コンクリート量） × 階高補正

$$= (850 \text{ ㎡} \times 0.84 - 225.000 \text{ ㎡}) \times \text{階高補正 } 1.06$$

$$= 518.34 \text{ ㎡}$$

（※Q3-45、算定例1 数量計算書参照）

Q3-50 【異種材料で施工されている場合のコンクリート量の減量】

主要構造部の一部(壁、梁、床又は屋根)が異種材料で施工されている場合のコンクリート量の取扱いはどのようにすればよいのか。

A3-50

通常 RC 造で施工されていると考えられる部位が、異種材料で施工されている場合、又は施工されていない場合で、その規模が大きく補正の必要があると判断される場合は、次表の部位別コンクリート割合を参考に、コンクリート量を減量するものとする。

その減量したコンクリート量を基に、鉄筋量は統計数量値を適用し算出することとなるが、型枠については、壁面がすべて RC 造でない場合を 20%、1/2 の場合は 10%として、壁長の減少割合に応じて統計数量値を補正する必要がある。

なお、異種材料で施工されている部分については、別途積算し計上するものとする。

※補正率 20%については、想定設計建物から認定したものである。

※壁面がコンクリートブロックの場合は、ラーメン式の統計数量表を適用するものとする。

部位別コンクリート(RC 造)割合表

構造・部位	基礎関係	柱	梁	壁	床又は屋根
ラーメン式	(23.0%)	9.0%	22.0%	19.0%	27.0%
壁式	(20.0%)	—	4.0%	41.0%	35.0%

※本表は、想定設計建物の各部位毎に占めるコンクリート量を参考とした部位別割合である。異種材料部分の積算にあたっては建物全体に占める割合を認定し、適宜本表を補正してコンクリート量の減量計算を行うものとする。

[算定例]

①屋根(屋上の床)が RC 造でない場合

用途 工場

構造 RC 造平家建 ラーメン式

階高 3m 未満

床面積 300 m²

統計数量 コンクリート=1.04 m³ / m²

型枠=5.04 m² / m³

鉄筋=0.129 t / m³

◎コンクリート量の補正計算

$$1.04 \text{ m}^3 / \text{m}^2 \times (1 - 0.27) = 0.7592 \approx 0.759 \text{ m}^3 / \text{m}^2$$

(屋根部分)

◎数量計算

コンクリート量 $0.759 \text{ m}^3 / \text{m}^2 \times 300 \text{ m}^2 = 227.70 \text{ m}^3$
 型枠量 $5.04 \text{ m}^2 / \text{m}^3 \times 227.7 \text{ m}^3 = 1,147.608 \div 1.147.61 \text{ m}^2$
 鉄筋量 $0.129 \text{ t} / \text{m}^3 \times 227.7 \text{ m}^3 = 29.3733 \div 29.37 \text{ t}$

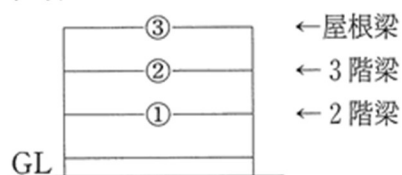
②3階建て最上階の梁、屋根(床)がRC造でない場合

用途 専用住宅
 構造 RC造 3階建 ラーメン式
 階高 3m 未満
 床面積 450 m^2
 統計数量 コンクリート = $0.95 \text{ m}^3 / \text{m}^2$
 型枠 = $6.28 \text{ m}^2 / \text{m}^3$
 鉄筋 = $0.141 \text{ t} / \text{m}^3$

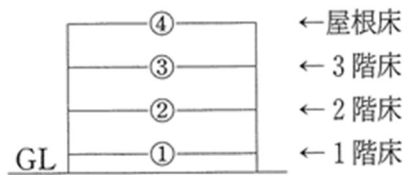
◎コンクリート量の補正計算

$0.95 \text{ m}^3 / \text{m}^2 \times [1 - \{(0.22 \div 3) + (0.27 \div 4)\}] = 0.817 \text{ m}^3 / \text{m}^2$
 (梁部分) (屋根(床)部分)

「梁部分の3層認定参考図」



「床部分の4層認定参考図」



※工場、倉庫以外の建物は、1階部分の床コンクリートが統計数量に含まれています。

※用途が工場、倉庫以外の場合は、1階床スラブ部分のコンクリートが統計数量に含まれている。(Q3-47 参照)

◎数量計算

コンクリート量 $0.817 \text{ m}^3 / \text{m}^2 \times 450 \text{ m}^2 = 367.65 \text{ m}^3$
 型枠量 $6.28 \text{ m}^2 / \text{m}^3 \times 367.65 \text{ m}^3 = 2,308.842 \text{ m}^2 \div 2,308.84 \text{ m}^2$
 鉄筋量 $0.141 \text{ t} / \text{m}^3 \times 367.65 \text{ m}^3 = 51.84 \text{ t}$

③壁(壁のすべて)及び床の一部がRC造でない場合

用途 専用住宅
 構造 RC造 3階建 ラーメン式
 階高 3m 未満
 床面積 250 m^2
 1階 100 m^2 (うち、床がスラブ施工でない(例:土間コンクリート施工など)部分 70 m^2)

2階 100 m²
 3階 50 m²
 計 250 m²

統計数量 コンクリート=0.95 m³ / m²
 型枠=6.28 m² / m³
 鉄筋=0.141 t / m³

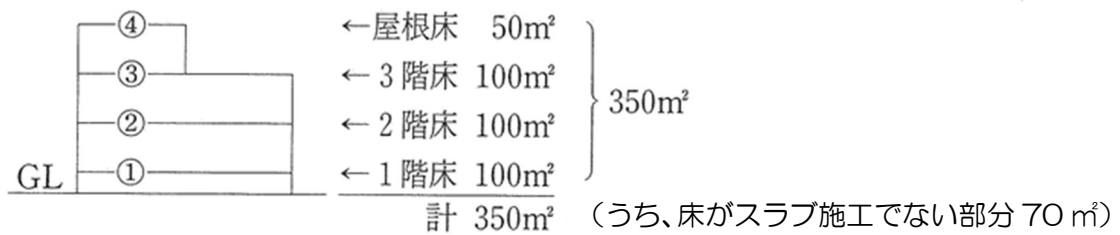
◎コンクリート量の補正計算

$0.95 \text{ m}^3 / \text{m}^2 \times [1 - \{0.19 + (0.27 \times 70 / 350)\}] = 0.7182 \div 0.718 \text{ m}^3 / \text{m}^2$
 (壁部分) (屋根(床)部分)

◎数量計算

コンクリート量 $0.718 \text{ m}^3 / \text{m}^2 \times 250 \text{ m}^2 = 179.50 \text{ m}^3$
 型枠量 $(6.28 \text{ m}^2 \times 0.8) \text{ m}^2 / \text{m}^3 \times 179.50 \text{ m}^3 = 901.808 \div 901.81 \text{ m}^2$
 鉄筋量 $0.141 \text{ t} / \text{m}^3 \times 179.50 \text{ m}^3 = 25.3095 \div 25.31 \text{ t}$

「床部分及び屋根床の面積計算図」



Q3-51 【SRC 造の建物のコンクリート量の計算】

鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC 造)の建物のコンクリート量の計算の方法は、どのようなになるのか。

A3-51

別表統計数量表(表(12))に定めているとおりであるが、例えば、次のとおりである。

用途＝共同住宅

構造＝ラーメン式 [SRC 造]

階層＝5 階

階高＝3m未満

延床面積＝900.00 m²

コンクリート量の基本統計数量値＝0.81 m³ / m²

コンクリート量計算

$$0.81 \text{ m}^3 / \text{m}^2 \times 900.00 \text{ m}^2 = 729.00 \text{ m}^3$$

鉄骨量計算

$$0.053 \text{ t} / \text{m}^2 (\text{表-11}) \times 900.00 \text{ m}^2 = 47.70 \text{ t}$$

実質コンクリート量

$$729.00 \text{ m}^3 - [47.40 \text{ t} \times 0.127 \text{ m}^3 = 6.057 \text{ m}^3] = 722.943 \div 722.94 \text{ m}^3$$

型枠量

$$6.01 \text{ m}^2 / \text{m}^3 \times 729.00 \text{ m}^3 = 4,381.29 \text{ m}^2$$

鉄筋量

$$0.149 \text{ t} / \text{m}^3 \times 722.943 \text{ m}^3 = 107.718507 \div 107.72 \text{ t}$$

Q3-52 【SRC 造建物の用途が専用住宅の場合の取扱い】

別表統計数量表の表(11)には、専用住宅の数値が掲載されていないが、どの用途を採用すればよいか。

A3-52

一般的に鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC 造)は、建物の規模(延床面積)及び階層が一定以上の場合で、建物の用途が専用住宅での SRC 造は通常では予想できないことから、具体的な数値の掲載を行っていない。しかし、現実に補償の対象となった場合には、当該建物のく体の類似性等を考慮して「共同住宅」の数値を適用することになる。

Q3-53 【RC 造と SRC 造の外観による見分け方】

鉄筋コンクリート造(RC 造)と鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC 造)の外観による見分け方があったら教えてほしい。

A3-53

RC 造と SRC 造を外観で見分けることは、専門家でも困難とされている。当然ながら調査にあたっては、既存図や建物登記簿で構造の確認をしてから行うことになる。

なお、一般的には耐震構造などの関係から大規模な建物や 8 階建以上の建物の大部分は SRC 造が占めている。

Q3-54 【鉄骨の統計数量値の基準となる「平均階高」の判断】

鉄骨の統計数量値の基準となる「平均階高」は、どのように判断すればよいか。

A3-54

平均階高の判断は、基礎の上端から桁又は 2 階床までの高さとして、次の方法によって行うものとする。

① 1 階の場合

(左の図)

A=平均階高

(中の図)

$(A+B) \div 2 = \text{平均階高}$

(右の図)

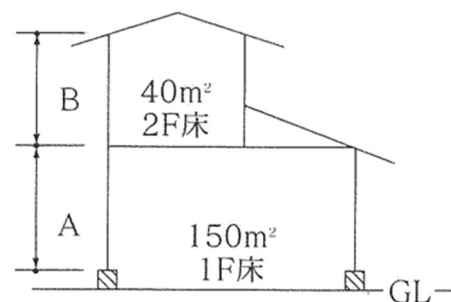
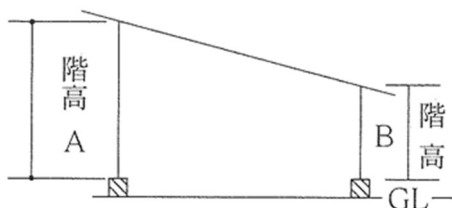
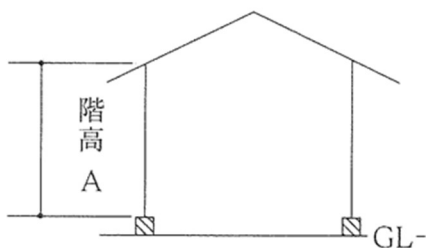
階層率 = 延床面積 ÷ 1 階床面積

$190 \text{ m}^2 \div 150 \text{ m}^2 \approx 1.26$

(「表(2)」から、階層率 1.3 未満となるので、1 階層と認定する。)

階層認定 = 1 階

平均階高 = A



②2 階の場合

(左の図)

階層率＝延床面積÷1 階床面積

$$150 \text{ m}^2 \div 100 \text{ m}^2 \doteq 1.50$$

(「表(2)」から、階層率 1.3 以上 2.3 未満となるので、2 階層と認定する。)

階層認定＝2 階

$$\text{平均階高} = (A+B) \div 2$$

(中の図)

階層＝2 階(本例は、各階の床面積が等しいので、2 階層となる。)

$$\text{平均階高} = (A+B) \div 2$$

(右の図)

階層率＝延床面積÷1 階床面積

$$220 \text{ m}^2 \div 100 \text{ m}^2 \doteq 2.2$$

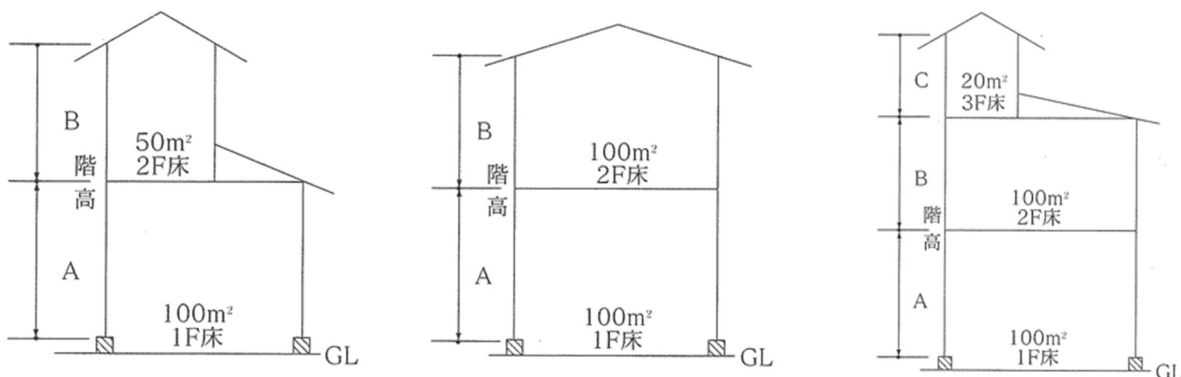
(「表(2)」から、階層率 1.3 以上 2.3 未満となるので、2 階層と認定する。)

階層認定＝2 階

$$\text{平均階高} = (A+B) \div 2$$

③3 階以上の場合

「②2 階の場合」に準じて算出するものとする。



Q3-55【平家建の建物に一部 2 階が存する場合の鉄骨量の算出方法】

平家建工場等の建物に一部 2 階が存する場合の鉄骨量は、どのように算出するのか。

A3-55

平家建工場等の建物に一部 2 階が存する場合の鉄骨量は、原則として次の算出方法によるものとする。

計算事例

用途＝工場

区分＝肉厚 4 mm を超え 9 mm 未満のもの

階高 A＝9m 一部 2 階が存しない部分の階高

B＝3m } 一部 2 階が存する部分の平均階高

C＝6m } $(3m + 6m) \div 2 = 4.5m$

面積 D＝700 m² 一部 2 階が存しない部分の 1 階床面積

E＝400 m² 一部 2 階が存する部分の延床面積 (200 m² + 200 m²)

計算式

(イ) 一部 2 階が存しない部分の計算

$$700 \text{ m}^2 \times 127 \text{ kg/m}^2 = 88,900 \text{ kg} (88.90 \text{ t})$$

※統計数量適用条件 ①階層＝1 階

②階高＝9m

③面積規模＝500 m² 以上 1,000 m² 未満

(ロ) 一部 2 階が存する部分の計算

$$400 \text{ m}^2 \times 76 \text{ kg/m}^2 = 30,400 \text{ kg} (30.40 \text{ t})$$

※統計数量適用条件 ①階層＝2 階

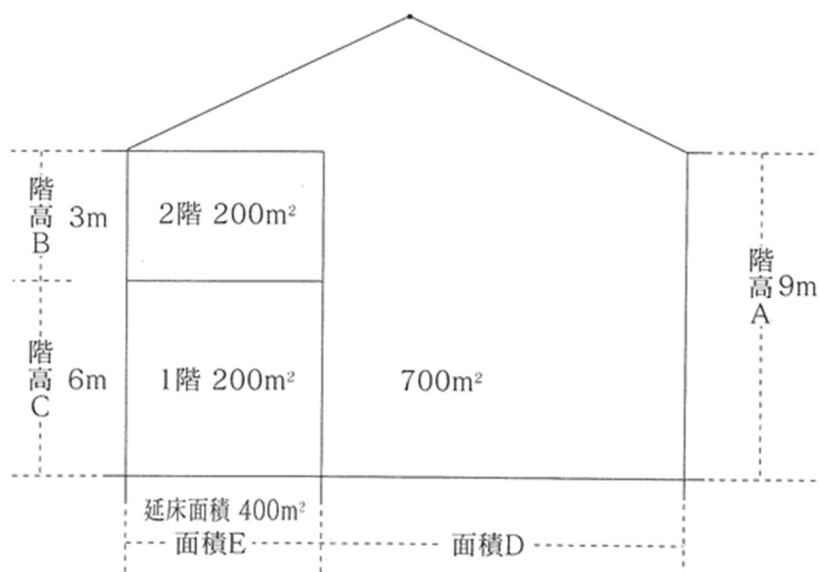
②平均階高＝4.5m

③面積規模＝200 m² 以上 500 m² 未満

鉄骨総量＝(イ)＋(ロ)

$$88.90 \text{ t} + 30.40 \text{ t} = 119.30 \text{ t}$$

注：面積規模は(イ)(ロ)毎に区分した統計数量表を適用するものとする。



Q3-56 【S造建物で、一部部材が木材等異種材料の場合の取扱い】

鉄骨造建物で、一部部材が木材等異種材料の場合は、どのように取り扱えばよいか。

A3-56

母屋、胴縁等が鉄骨以外の材料で施工されている場合、全体数量のなかに占める割合が高いので、補正が必要と思われる。次表を参考に考慮されたい。

工種 \ 階	1階	2階	3階
胴縁	10%		
母屋	8%	3%	2%

※本表は、想定設計建物の各部位毎に占める鉄骨量を参考とした部位別割合である。

※胴縁とは、外壁材等を取り付けるための水平材の事である。

※母屋とは、小屋組において棟あるいは軒桁に平行して、垂木または裏板を支える部材の事である。

異種材料使用の場合の算定例

用途 専用住宅

構造 重量鉄骨造 肉厚 4 mm を超え 9 mm 未満のもの

階層 2 階建

平均階高 3m 以上 4m 未満

延床面積 300 m²

異種材料の使用部位 胴縁・母屋(建物全体の胴縁・母屋部分が異種構造)

鉄骨量の基本的統計数量値 89 k g / m²

減量計算(減量による延床面積 1 m²あたり鉄骨量)

$$89 \text{ k g / m}^2 \times [1.00 - (0.10 \text{ 胴縁分} + 0.03 \text{ 母屋分})] = 77.43 \text{ kg / m}^2$$

$$\approx 77 \text{ kg / m}^2$$

実質鉄骨量

$$77 \text{ kg / m}^2 \times 300 \text{ m}^2 = 23,100 \text{ kg} (23.10 \text{ t})$$

※異種材料部分については、別途積上により積算し推定再建築費に加算するものとする。

※建物の一部(例えば、一面だけ)が異種材料の場合は、建物全体に占める割合を認定し、表率を補正して鉄骨量の減量計算を行うものとする。

Q3-57【走行クレーンが設置されている場合の鉄骨数量の補正方法】

走行クレーンが設置されている場合の鉄骨数量の具体的な補正の方法は、どのようになるのか。

A3-57

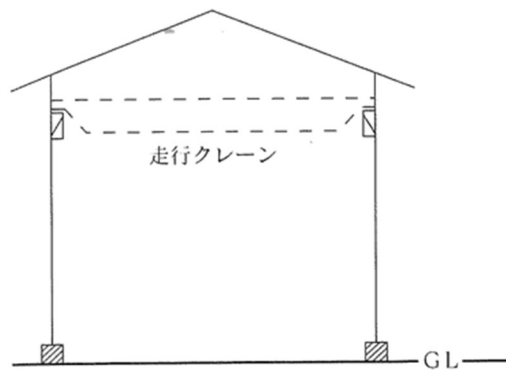
走行クレーンが設置されている場合の補正は、次の方法によって行うものとする。

なお、補正によって加算される鉄骨は、構造本体の増加部分とクレーン受け部分（走行架台を含む）である（走行レール、走行桁等は、別途機械設備で計上すること。）。

- ① 1階(平家建)の場合で建物の全部に設置されているとき

計算例 建物延床面積×[V×1.1]＝鉄骨量

V＝当該建物に該当する統計数量値



- ② 1階(平家建)の場合で建物の一部に設置されているとき

計算例 鉄骨数量＝{[S¹×(V×1.1)]＋[S²×V]}

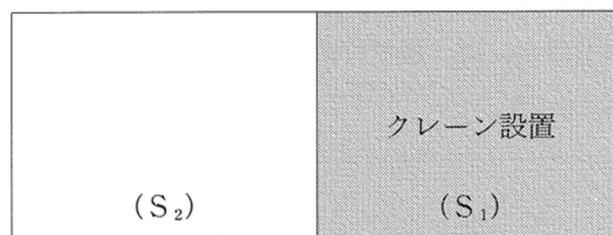
V＝統計数量値

S¹＝走行クレーンの可動(設置)する床面積

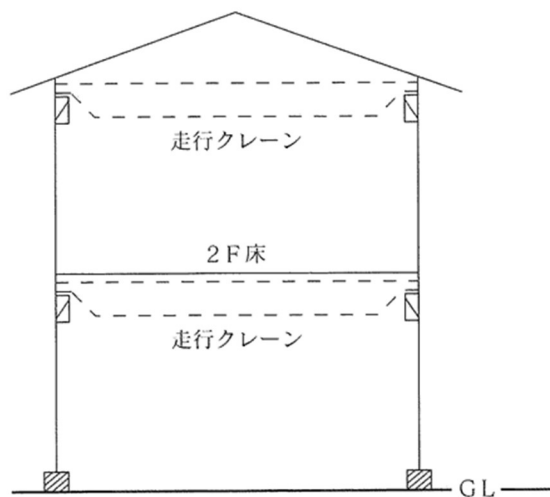
S²＝走行クレーンの可動(設置)しない床面積

ただし、S¹＋S²＝床面積

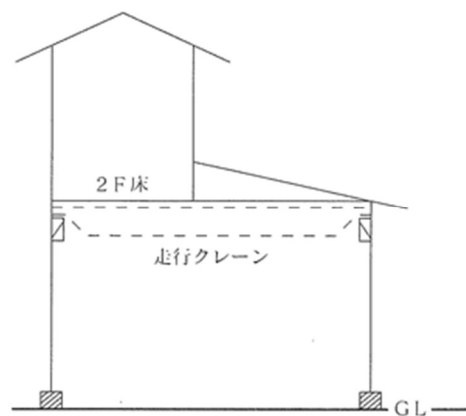
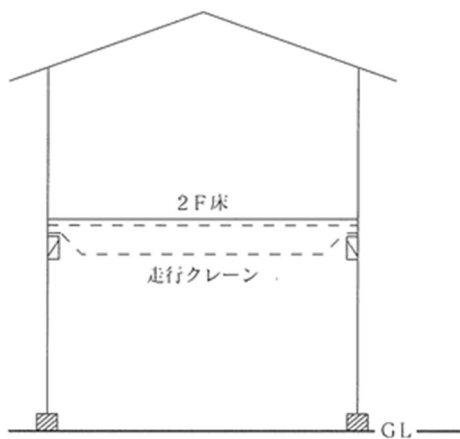
建物の平面



- ③ 2階建てで1階及び2階のいずれにも設置されている場合
 計算例 ①に準じて算出する。



- ④ 2階建てで1階又は2階のいずれかに設置されている場合
 計算例 ②に準じて算出する。



- ⑤ 3階以上でいずれかの階に設置されている場合
 計算例 ④に準じて算出する。

Q3-58 【鉄骨造建物における鋼材の肉厚の判断方法】

鉄骨量の統計数量値は、構造及び鉄骨の肉厚によって区分されているが、建物の構造材として使用されている場合には、鋼材の肉厚は不可視部分であり、具体の判断が困難ではないか。

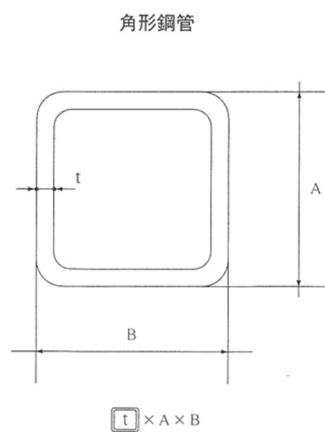
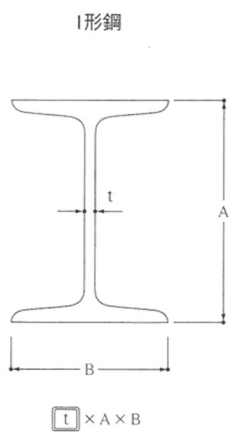
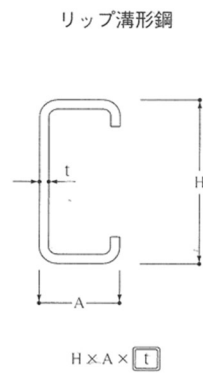
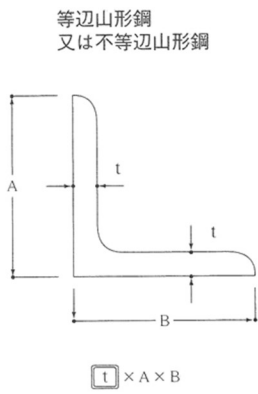
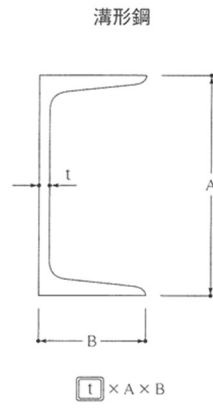
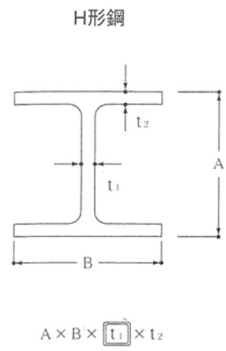
A3-58

構造の区分は、「重量鉄骨造(S造)」と「軽量鉄骨造(LGS造)」とし、S造を「肉厚9mm以上のもの」と「肉厚4mmを超え9mm未満のもの」に再区分しているが、この部分は、取扱要領第6条に記載の「等級別標準耐用年数表」の区分に準拠している。この区分では、S造が「肉厚4mmを超え9mm未満のもの」であり、LGS造は「肉厚4mm未満のもの」であり、厳密には「4mmのもの」の取扱いが問題となるが、市場では4mmの鋼材については生産を行っていないことから特に問題は生じない。

なお、各鋼材の肉厚の判断については、以下の図示の部位のうち、 t_1 もしくは t を計測することにより行うことになる。

次に鋼材区分の判断(肉厚)については、通常の建物の場合には、区分した鋼材のみで建築されているものではなく、柱、梁等に肉厚9mm以上のものを使用している場合、その他の部材にはそれ以下の部材を使用するのが一般的である。したがって、統計数量値の具体の適用方法については、当該建物の柱、梁、桁等の主要な構造部に使用している鋼材の肉厚によって判断することになるが、肉厚の計測が困難な場合には、建物の規模、鋼材の形状を考慮し調査担当者の技術力をも加え総合的に判断するものとする。

鋼材の肉厚判断箇所



Q3-59 【S 造の共同住宅建物のベランダ等の鉄骨量の取扱い】

鉄骨造(S 造)の共同住宅建物のベランダ等の鉄骨量は、どのように取扱うのか。

A3-59

共同住宅建物には、ベランダ、バルコニー、開放型片廊下等が施工されているのが一般的であり、統計数量値認定の分析事例には、これらの鉄骨量も含まれているので、数量算出にあたっては、ベランダ等を除く通常の建物面積を適用するものとする。

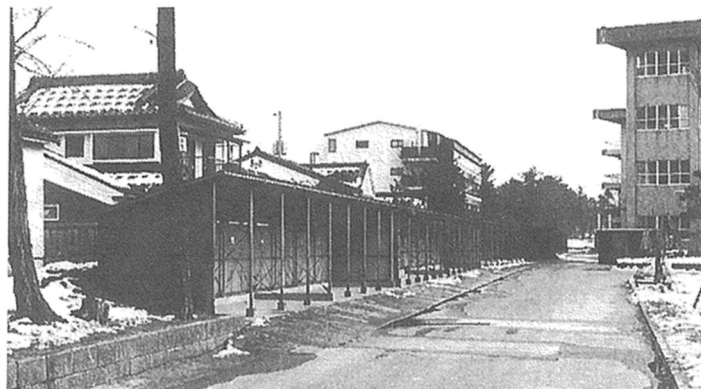


Q3-60 【学校などの自転車置場の鉄骨などの数量の取扱い】

学校などの自転車置場を統計数量表により鉄骨などの数量を求めることは可能か。

A3-60

統計数量表は、建物を基本として作成されている。よって、自転車置場などの簡易な構造物については統計数量表を適用することはできない。



Q3-61【用途が不明確な場合の統計数量表の取扱い】

工場と倉庫、工場と事務所など用途が不明確な場合の統計数量表の取り扱いについて教えてほしい。

A3-61

利用実態や構造等を調査したうえで、登記簿等を参考に総合的に用途を判断して対応することとなる。

[計測基準 統計数量表]

Q3-62【ガソリンスタンドのキャノピーの取扱い】

ガソリンスタンドのキャノピーは鉄骨造建物(S 造)の適用で統計数量表を用いてよいか。

A3-62

ガソリンスタンドのキャノピーや碎石場のヤードなどは、その構造から原則として建物としての取り扱いはできない。また、統計数量表は用途分類による事例などにより作成されているため、建物以外へ適用させることはできないので注意されたい。ただし、ガソリンスタンドのキャノピーにおいてスタンド事務所の庇のような状況になっているなどして、建物として登記されている場合、家屋として固定資産税が課税されている場合、または、建築基準法第6条第1項第1号から第3号に基づき建築確認申請がなされている場合には建物と判断できる場合があるが、この場合においてもキャノピーに対しては統計数量表は適用できない。なお、特殊な物件については、QA1-14で説明した「建物又は附帯工作物の判定基準の検討フロー」を適用せずに専門家の意見を聞き対応されたい。

[計測基準 統計数量表]



Q3-63【機械工作物の取り付け台やピットの取扱い】

工場にある機械工作物のための取り付け台やピットの取扱いは統計数量表のなかの土工やコンクリートで対応できるのか。

A3-63

とくに統計数量表では、機械工作物のための数値は考慮していない。よって、特殊な機械の据え付けなどにかかる規模の大きい掘削やコンクリートは別途積み上げ計算で対応されたい。

[計測基準 統計数量表]

Q3-64【吹き抜けなどがある建物の統計数量表の取扱い】

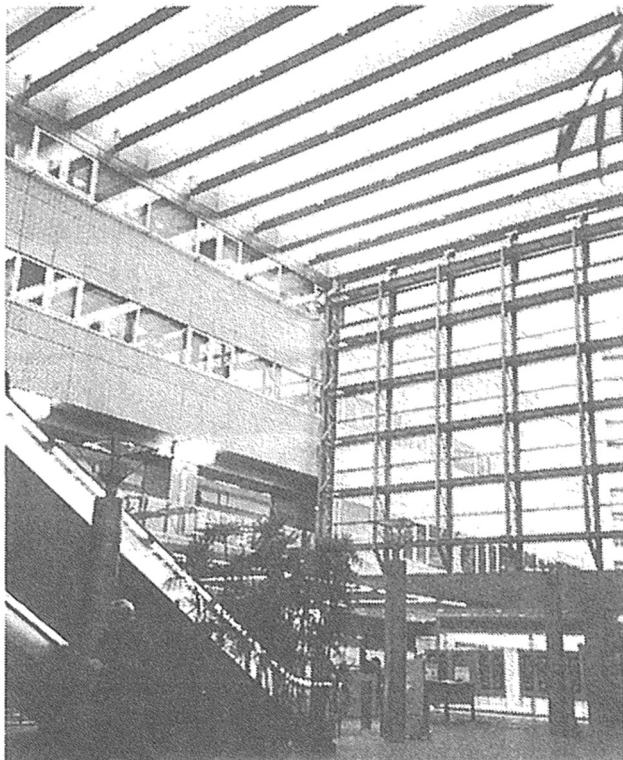
吹き抜けなどがある建物の統計数量表の適用は、吹き抜け部分を考慮し、想定床面積などを計算し適用するのか。

A3-64

基本的には、床面積の想定などし、統計数量表を適用させることはできない。構造上に特異なものでなければ、実際の床面積で対応されたい。

このことは、想定の数値を使うことにより他の部分の歩増などが生じ適正な補償額の算定ができなくなるためである。

[計測基準 統計数量表]



Q3-65 【統計数量表を適用できない建物の積算】

統計数量表を適用できない建物の積算は、どのように行うのか。

A3-65

統計数量表を適用できない建物の積算は、明細書式の6に規定する別記非木造建物補償諸率表は適用しないものとし、非木造建物要領第3章の規定を準用した積み上げによるか、又は専門メーカー等の見積を徴することにより行うことになる。

なお、建物の見積の依頼方法や見積の記載方法については、別添の「建物見積依頼要領(案)」を参考とすることとする。

[計測基準 統計数量表]

Q3-66 【S造の一部が木造の場合の鉄骨の統計数量値の取扱い】

鉄骨造建物(S造)の一部が木造となっている場合に、鉄骨を統計数量値により積算することは可能か。

A3-66

一部木造の仕様内容で取扱いが違ふ。まず、構造材(建物のく体)として木材が使われている場合は、鉄骨部と木造部が構造的に独立し各々で建物が構成されているのであれば鉄骨部については統計数量値により鉄骨数量を求めることは可能である。ただし、建物の構成で木部と鉄骨部が混在している場合は、統計数量値の適用はできない。また、一部木部の内容が造作材(間仕切りや仕上げ)として使用されているのであれば、鉄骨の積算は当然ながら統計数量値で積算することは可能である。

[計測基準 統計数量表]

Q3-67【低温倉庫に使用してある冷却装置の取扱い】

低温倉庫に使用してある冷却装置は、建物の建築設備として取り扱うのか。

A3-67

建物に造り付けられていて容易に取り外しができないなど、建物算定要領第2条注)に規定する状況に合致するようなものについては建築設備、それ以外の場合は機械設備として取り扱うものとする。

[計測基準 VIII]



Q3-68【専門家とは】

解説書や説明会などでよく「専門家に意見を聞いて判断する」という言葉を耳にするが、専門家とはどのような資格をもった人のことか。

A3-68

非木造建物の推定再建築費(新築費)の積算にあたっての専門家とは、一級建築士又は二級建築士を言う。なお、補償額の算定を前提としているから、(一社)日本補償コンサルタント協会会員の活用も一方法である。

また、特殊な工法(曳家等)や施設については、曳家専門業の技術者や機械メーカーの技術者からも専門家として意見を聞くことがある。

[計測基準 統計数量表]

Q3-69 【統計数量表に記載のない石造の積算】

統計数量表に石造がないのだが、積算の方法を教えてください。

A3-69

石造の建物は相当の経過年数を経た物が多く、また、事例数も乏しいため、統計数量値による対応がなされていない。よって、積算にあたっては、積み上げにより行われたい。

[計測基準 統計数量表]

Q3-70 【統計数量値と構造計算の関係】

統計数量表にある統計数量値は、構造計算が行われているものなのか。

A3-70

統計数量表に掲載してある統計数量値は、いずれも構造計算を経た建物の統計数量値である。

[計測基準 統計数量表]

Q3-71 【RC・SRC 造のホテルや旅館の統計数量表上の用途区分】

鉄筋コンクリート造(RC 造)や鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC 造)のホテルや旅館は、どの用途で統計数量表を適用させるのか。

A3-71

ホテルや旅館の場合は、比較的構造が単純な場合が多いので、一般的には学校園舎を適用するものとする。また、ロビーなどで大規模な吹き抜けになっていたり、特殊な構造になっている場合は、原則として別途積上げによる積算とする。

[計測基準 統計数量表]



Q3-72 【仮設工事における外部足場の設置期間】

仮設工事における外部足場の設置期間はどのように決めればよいか。

A3-72

非木造建物要領に定める工事内訳明細書の様式(工事工程表)に基づき、建物の階層や規模に応じて外部足場の設置期間を認定するものとする。

なお、補償標準単価の適用に際しては、設置期間を月単位とし、工程表において月末満の端数が認定されている場合は直近上位月の単価を適用することとする。

4 非木造建物工事内訳明細書式

Q4-1 【書式内にある頭番号の取扱い】

書式内にある“1.2 足場”とか“2.1.1 土の処理”の番号は常に固定して考えるのか。

A4-1

大科目○. 中科目○.○ 小科目○.○.○が大科目から一連して整理されていればよい。建物ごとに大科目の番号を設定されたい。

[明細書式 4]

5 非木造建物補償標準単価表

Q5-1【複合単価、合成単価とは】

補償標準単価表に掲載している単価は「複合単価」と「合成単価」だと聞いているが、どのような単価のことか。

A5-1

「複合単価」とは、材料・労務・機械器具等複数の原価要素を含んだ細目の単価をいい、「合成単価」とは、複数の細目の複合単価から構成される単価をいう。

[非木造建物要領 第2条第4項、第5項]

Q5-2【コンクリート強度の単位】

コンクリートの単価表の細目内容の単位 N/m^3 の N は何をあらわしているのか。

A5-2

コンクリートの強度を表す単位である。コンクリート打設後 28 日目の強度とされている。

6 非木造建物補償諸率表

Q6-1【共通仮設費、諸経費とは】

共通仮設費と諸経費の内容を教えてください。

A6-1

共通仮設費とは、直接仮設費の“やりかた”“墨出し”や“原寸型板”のように直ちに数量が求められる仮設とは異なり、工事全般にかかる仮設費のことをいい、一般的には直接工事費に率を乗じて算出することとしている。

[明細書式 6①]

諸経費とは、現場管理費と一般管理費等配賦額で構成され、共通仮設費と直接工事費の合計額に率を乗じて算出することとしている。

[明細書式 6②]

Q6-2【木造・非木造が同一敷地に存する場合の共通仮設費の取扱い】

同一敷地内に木造建物と非木造建物がある場合の共通仮設費の取り扱いはどうすればよいか。

A6-2

木造建物と非木造建物それぞれ積算した後、それぞれの直接工事費の合計金額(例えば非木造建物が複数棟ある場合はその合計金額)に対応する率により共通仮設費を積算するものとする。

[共通仮設率表 諸経费率表]

算定例

木造建物	1棟	直接工事費	1000万円(A棟)
非木造建物	2棟	直接工事費	2000万円(B棟)
			1500万円(C棟)の場合

共通仮設费率

木造建物	一律 3%
非木造建物	5.81%(B棟、C棟の直接工事費の合計金額 3500万円に対応する率)

共通仮設費の算定

- A 棟 $1000 \text{ 万円} \times 3\% = 30 \text{ 万円}$
 B 棟 $2000 \text{ 万円} \times 5.81\% = 116 \text{ 万 } 2000 \text{ 円}$
 C 棟 $1500 \text{ 万円} \times 5.81\% = 87 \text{ 万 } 1500 \text{ 円}$

Q6-3【解体工事費に伴う共通仮設費と諸経費の取扱い】

解体工事費にともなう共通仮設費と諸経費はどのように積算するのか。

A6-3

諸経費については、建築純工事費、解体純工事費及び廃材運搬費の合算額をもって諸経费率表により積算するものとする。

共通仮設費については、建築工事にあつては移転先ごとの建築直接工事費の合計額に対応する共通仮設費率を適用し、解体工事にあつては解体直接工事費の合計額に対応した共通仮設費率を適用することとなる。なお、鉄鋼系プレハブ工法（軽量鉄骨造）の建物についても同様の取扱いとする。

また、共通仮設費は移転工法によっても取扱いが異なる。

構内再築工法、改造工法及び構内復元工法については、建築工事の共通仮設を解体工事でも共用できるため、解体工事には共通仮設費は計上しないものとする。

ただし、同一敷地内に複数の建物が存する場合は建物毎に共通仮設費の計上の要否を判断することとなる（【参考1】【参考2】参照）。

構外再築工法及び構外復元工法については、建築工事と解体工事が別の場所で行われるため、建築工事と解体工事に係る共通仮設費をそれぞれ計上する必要がある。

なお、除却工法については、建物移転料として現在価額を算定する必要があるため、建築工事と解体工事にそれぞれ共通仮設費を計上することとしている。この場合の共通仮設費率は、建築工事にあつては当該建物の建築直接工事費に対応する額に対応した率を適用し、解体工事にあつては解体直接工事費の合計額に対応した率を適用することとなる。

[共通仮設率表 諸経费率表]

【参考1】 移転工法毎の共通仮設費の計上について

工法	建築・解体の別	計上の要否
構内再築工法	建築	○
	解体	×
構外再築工法	建築	○
	解体	○
改造工法	建築	○
	解体	×
構内復元工法	建築	○
	解体	×
構外復元工法	建築	○
	解体	○
除却工法（一部切り取り）	建築	○
	解体	○
除却工法（再現の必要なし）	建築	○
	解体	○

※「解体直接工事費」の共通仮設費率は、上記表における計上の要否を「○」とした解体工事費の合計額に対応する率を適用する。

【参考2】 共通仮設費率の対象となる直接工事費の例

例1) 移転対象となる建物が1棟のみで構内再築工法が採用された場合

A棟：構内再築工法（建築直接工事費 2,000 万円、解体直接工事費 100 万円）

A棟の建築工事の共通仮設費率に対応する額＝2,000 万円

A棟の解体工事の共通仮設費率に対応する額＝計上しない

例2) 移転対象となる建物が2棟で構内再築工法と一部除却工法が採用された場合

A棟：構内再築工法（建築直接工事費 2,000 万円、解体直接工事費 100 万円）

B棟：除却工法（建築直接工事費 75 万円、解体直接工事費 50 万円）

A棟の建築工事の共通仮設費率に対応する額＝2,000 万円

A棟の解体工事の共通仮設費率に対応する額＝計上しない

B棟の建築工事の共通仮設費率に対応する額＝75 万円

B棟の解体工事の共通仮設費率に対応する額＝50 万円

例3) 移転対象となる建物が2棟で構外再築工法と一部除却工法が採用された場合

A棟：構外再築工法（建築直接工事費 2,000 万円、解体直接工事費 100 万円）

B棟：除却工法（建築直接工事費 75 万円、解体直接工事費 50 万円）

A棟の建築工事の共通仮設費率に対応する額＝2,000 万円

B棟の建築工事の共通仮設費率に対応する額＝75 万円

A棟及びB棟の解体工事の共通仮設費率に対応する額＝150 万円

例4) 移転対象となる建物が2棟で構外再築工法と改造工法が採用された場合

A棟：構外再築工法（建築直接工事費 2,000 万円、解体直接工事費 100 万円）

B棟：改造工法（建築直接工事費 500 万円、解体直接工事費 50 万円）

A棟の建築工事の共通仮設費率に対応する額＝2,000 万円

A棟の解体工事の共通仮設費率に対応する額＝100 万円

B棟の建築工事の共通仮設費率に対応する額＝500 万円

B棟の解体工事の共通仮設費率に対応する額＝計上しない

例5) 移転対象となる建物が2棟で共に構外再築工法が採用された場合

A棟：構外再築工法（建築直接工事費 2,000 万円、解体直接工事費 100 万円）

B棟：構外再築工法（建築直接工事費 1,500 万円、解体直接工事費 75 万円）

A棟及びB棟の建築工事の共通仮設費率に対応する額＝3,500 万円

A棟及びB棟の解体工事の共通仮設費率に対応する額＝175 万円

Q6-4【同一敷地内で移転工法が異なる建物の諸経費の取扱い】

同一敷地内に複数の建物が存する場合、当該敷地の支障状況によっては各々の建物の移転工法が異なることもあり得るが、諸経費の取扱いはどうすればよいか。

A6-4

各々の移転工法が異なるとしても（曳家工法、除却工法も含む）、被補償者が全棟一括発注することが妥当と考えられることから、原則として、各建物の純工事費（建築＋解体）と廃材運搬費の合計額に対応する率により諸経費を積算することとなる。なお、軸組工法により建築されている建物、ツーバイフォー工法又は木質系プレハブ工法により建築されている専用住宅及び非木造建物が同一敷地内に存する場合も同様の取扱いとする。

ただし、総価見積もり（例：非木造建物〔Ⅱ〕）に区分される建物の推定再建築費、取りこわし工事費及び曳家工事費等を徴する建物については、単独で一発注として取り扱うため、その見積書掲載の額を採用することになる（共通仮設費の取扱いも同様である。）。

[関連：Q6-7]

Q6-5【補償標準単価表未掲載単価の取扱い】

補償標準単価表にない単価を「建設物価」などで求める場合にどのように求めればよいか。

A6-5

補償標準単価表にない単価を求める場合には、「建設物価」「積算資料」又はこれらと同等であると認められる公刊物に記載されている単価などで求めることが考えられる。

このうち、「建設物価」及び「積算資料」に掲載されている単価が公表価格の場合、並びに「積算ポケット手帳」、「積算資料ポケット版」及びカタログ価格を採用する場合は補正を行うものとし、補正係数 0.8 を乗じて単価を求め、公表価格で割引率が掲載されているものについては、その率を採用するものとする。

また、掲載価格が税込価格の場合は、掲載価格÷(1+消費税率)×0.8 とする。

[非木造建物要領 第10条]

Q6-6 【見積徴収の方法】

補償標準単価表に掲載のない単価を見積で積算する場合に、何社程度の見積が必要か、またその場合に見積額を補正する必要があるか。

A6-6

原則として、複数の見積を徴収するものとし、補正等は行わず安価な方を採用するものとする。

例外として、他に競争性を有しない特許製品又は専売製品であり、当該社でしか製造していない、商標権等により当該社でしか販売できない等の場合は、1社からの見積でもやむを得ないものとするが、徴収した見積については、見積額の妥当性について、より慎重に検証するものとする。

また、当該品の仕様が旧品のため現在市場に流通していない、製造メーカー等が倒産している等して既に製造されない品目については、当該品の機能、グレード、市場占有率等を調査し、同業他社も含めて類似或いは近似した品目の見積を複数徴収するなどして、適正な見積額を把握するものとする。

なお、原則として、被補償者又はその利害関係人である等適正な見積を徴することの妨げとなる恐れのある者からは見積を徴しないこととする。

Q6-7 【見積書を徴した場合の諸経費の取扱い】

見積書を徴した場合の、諸経費の取扱いはどうすればよいか。

A6-7

見積書を徴した場合の諸経費の取扱いについては、補償基準上、明文化されている規定等はないものの、実務上の運用としては、以下の考え方にに基づき、重複補償等の疑念が生じないように留意するものとする。

建物移転料の算定において補償標準単価表の単価を使用するものについては、非木造建物要領上の諸経費率を適用するというのが原則である以上、建築設備等で補償標準単価表に掲載のない単価の見積もりを徴するケースでは、諸経費を除く見積依頼を行い、非木造建物要領の諸経費率にて積算することが妥当である。

ただし、諸経費を除く見積もり依頼条件にも関わらず、諸経費込みの直接工事費の見積書が提出されるケースも存在する。（例：一部地区における都市ガス単価等。）この場合、見積書掲載の額を採用するが、建築直接工事費の積算には含めず、推定再建築費に別途加算する等、諸経費の重複計上がないように適切に算定する必要がある。

なお、見積書掲載の額が「対元請業者取引価格」の場合（諸経費が下請経費等で直

接工事費に含んで記載されている場合）は、見積書掲載の額を採用し、非木造建物要領の諸経費率にて積算することとなるので注意が必要である。

《参考》

工事費全体の見積もり（＝総価見積もり）を徴するケース（例：非木造建物〔Ⅱ〕に区分される建物の推定再建築費並びに取りこわし工事費、石綿除去処分費用等の差額加算及び曳家工事費等）については、一発注として取り扱うため、諸経費についても、その見積書掲載の額を採用することになる（共通仮設費の取扱いも同様である。）。

〔関連：Q6-4〕

Q6-8 【統計数量値適用上の逆転現象】

最高値を限度とした補正とは、どのように補正するのか。

A6-8

例えば、「く体コンクリート量等関係統計数量表」「構造：鉄筋コンクリート造（RC造）・鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC造）」「区分：ラーメン式」「用途：専用住宅」「階層：1」の「種別：コンクリート」により全体コンクリート量を算出する場合、

延床面積が「200.00 m²」のときは、全体コンクリート量は「198.00 m³」となるが、延床面積が「199.99 m²」のときには、全体コンクリート量は「203.99 m³」になり、延床面積が小さい場合のほうが全体コンクリート量が多くなるという場合があり得る。

延床面積	統計数量値	全体コンクリート量
200.00 m ² ×	0.99〔200 m ² 以上 500 m ² 未満〕	= 198.000 m ³
199.99 m ² ×	1.02〔200 m ² 未満〕	= 203.989 m ³

このため、本規定では、このような場合にのみ補正することができるものとされており、この場合における延床面積が「200.00 m²」の建物の場合は、全体コンクリート量を「198.00 m³～203.99 m³」の間で補正することとなるが、具体の補正については、実務上、最高値（203.99 m³）を補正值として採用することになる。

事 務 連 絡
令和 6 年 3 月 2 7 日

各 地 方 整 備 局	用 地 部	用 地 企 画 課 長	殿
四 国 地 方 整 備 局	用 地 部	用 地 補 償 課 長	殿
北 海 道 開 発 局	開 発 監 理 部	用 地 課 長 補 佐	殿
沖 縄 総 合 事 務 局	開 発 建 設 部	用 地 課 長	殿

不動産・建設経済局土地政策課
公共用地室用地企画官

建物見積依頼要領（案）について

標記について、別紙のとおり、要領（案）を取りまとめたので参考とされたく通知する。
本要領（案）は、建物調査算定に関する業務発注にあたって、特記仕様書の内容とするなどして活用されたい。
なお、「プレハブ建物及びツーバイフォー建物見積依頼要領（案）について」（平成 24 年 4 月 24 日付け土地・建設経済局地価調査課公共用地室課長補佐事務連絡）については廃止する。

建物見積依頼要領（案）

1 趣旨

建物移転料算定要領（平成 28 年 3 月 11 日付け国土用第 76 号土地・建設産業局総務課長通知）第 2 条に定めのある建物区分に該当する木造及び非木造建物において、起業者が別途定める補償金算定標準書等を用いて積算できない建物の推定再建築費及び取りこわし工事費等の積算に必要な見積を建築会社等から徴する場合においては、本要領の定めるところによるものとする。

2 見積依頼先及び見積徴収

見積は、原則として、2 社以上から徴するものとする。見積依頼先を選定するときは、実績、経験、技術水準等を勘案して行うとともに、見積依頼先が妥当であるとした理由を記載した書面を作成するものとする。

プレハブ建物の場合は、原則として、建設時の建築会社 1 社から徴するものとする。なお、当該建築会社が既に倒産しているなど、見積を徴することができない場合においては、監督職員と事前に協議するものとする。

3 見積依頼方法

(1) 見積依頼先に関する情報（代表者、所在地、連絡先等）について調査するものとする。

(2) 見積の依頼は、別添「見積依頼書」に次に掲げる資料を添付して行うものとする。

- ① 建物の位置図
- ② 建物配置図
- ③ 建物平面図（建築設備関係を含む。）
- ④ 建物立面図
- ⑤ 建物写真（写真撮影方向図を含む。）
- ⑥ その他参考となる資料

(3) 見積の依頼の際には、次に掲げる事項を説明するものとする。

- ① 見積内訳書は、木造建物調査積算要領〔軸組工法〕及び木造建物調査積算要領〔ツーバイフォー及び木質系プレハブ工法〕又は非木造建物調査積算要領に準じて、できるだけ詳細に作成すること。
- ② 建築直接工事費、共通仮設費及び諸経費は区分すること。
- ③ 取りこわし工事費は、解体工事費、運搬費及び廃材処分費に区分すること。
- ④ 発生材があるときは、発生材価額を記載すること。
- ⑤ 製造中止等により同種同等のプレハブ建物の見積が困難な場合は、理由を付記して近似建物の見積とすること。
- ⑥ 設計監理及び建築確認申請費用等は、見積価格には含めないこと。
- ⑦ 見積依頼に際して使用する資料は、建物移転料算定の基礎となるものであり、個人情報に該当するため、その取扱いには注意すること。

4 見積書の記載事項

- ① 宛名
- ② 受渡場所
- ③ 見積有効期限
- ④ 見積金額（消費税及び地方消費税を含む。）
- ⑤ 見積内訳書
- ⑥ その他参考となる事項

5 見積書の検証

見積を徴したときは、見積書が、見積条件に適合しているとした理由を記載した書面を作成し、見積書と共に調査報告書に添付するものとする。

(別添)

令和 年 月 日

見積依頼書

〇〇建設株式会社 御中

〇〇コンサルタント株式会社
代表取締役社長 〇〇 〇〇
〒000-0000 △△県△△市△△町 567-8
TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000

下記のとおり、見積書の提出を依頼いたします。

記

- 1 見積書宛名
〇〇コンサルタント株式会社
- 2 受渡し場所
打合せの上で決定
- 3 見積を依頼する建物の概要
 - ①所在地 〇〇県〇〇市〇〇町 1 2 3 - 4
 - ②所有者の住所 国土 太郎
及び氏名
 - ③建築年月 平成〇〇年 〇月
 - ④構造 鉄筋コンクリート造 2階建 (コンクリート系プレハブ建物)
 - ⑤延面積 1 2 3 . 4 5 m²
 - ⑥用途 専用住宅
- 4 見積条件
 - ①見積有効期限を記載して下さい。
 - ②当方の提示資料及び説明内容に基づき見積書を作成して下さい。
 - ③建築直接工事費、共通仮設費及び諸経費に区分し、できるだけ詳細に見積書を作成して下さい。
 - ④取りこわし工事費 (解体工事費、運搬費及び廃材処分費に区分) 及び発生材価額の見積書も作成して下さい。
 - ⑤同種同等の建物の見積書を作成して下さい。ただし、同種同等の建物の見積が困難なときは、その理由を付記して近似建物の見積書を作成して下さい。
 - ⑥設計監理及び建築確認申請費用等は、見積価格には含めないようにして下さい。
- 5 添付資料
 - ①建物の位置図
 - ②建物配置図
 - ③建物平面図 (建築設備関係を含む。)
 - ④建物立面図
 - ⑤建物写真 (写真撮影方向図を含む。)
 - ⑥その他参考となる資料

7 非木造建物再築補償諸率

Q7-1 【再築補償率の要素】

再築工法については、運用方針第16第1項(6)において、「建物の現在価額＋運用益損失額」を「従前建物の推定再建築費」×「再築補償率」に置き換えて算定することとなっている。再築補償率の要素はどのような内容か。

A7-1

式中の記号	解説・参照規定等
n (従前の建物の経過年数)	既存建物の建築から補償額算定の時期までの年数をいうものとする。 なお、経過年数に1年未満の端数があるときは、それが6ヶ月未満の場合は切り捨てとし、6ヶ月以上の場合は1年とする。(例: 4月建築の場合は、9月30日までが切り捨て、10月1日からが1年)
N (従前の建物の標準耐用年数)	木造建物・・・取扱要領第6条(1)木造建物等級別標準耐用年数表 非木造建物・・・取扱要領第6条(2)非木造建物等級別標準耐用年数表 をそれぞれ適用する。 なお、標準耐用年数に依ることが適当でないと思われる場合は、一級建築士等からの意見を聴取するなど、その他適切な方法により、その従前の建物のもつ実態的耐用年数を定めることができるものとする。
α (価値補正率)	取扱要領第7条第1項参照
r (年利率)	取扱要領第21条(1)に規定の率

Q7-2【腐食性を有する液体又は気体を使用している工場、倉庫とは】

非木造建物の耐用年数表について1等級にある腐食性を有する液体又は気体を使用している工場、倉庫とはどのような業種か。

A7-2

1等級にある工場及び倉庫（塩素、塩酸、硝酸等の腐食性を有する液体又は気体を使用しているもの）とは、例えば製紙工場とか養鶏場のような建物をいう。しかし、近年は、公害対策などの設備が充実されたことにより2等級にある工場及び倉庫（一般的なもの）として判断できる場合もあるので単純には判断しないこと。なお、判断が困難な場合には専門家（建築士等）の意見を求めるものとする。

Q7-3【建物の実態的耐用年数を定めることができる場合】

建物の実態的耐用年数を定めることができる場合は、取扱要領第6条ただし書きの「標準耐用年数によることが適当でないと認められるとき」と取扱要領第7条第2項の「従前の建物が、経過年数が標準耐用年数を超えている建物である場合」の2つが規定されているが、どういった場合に一級建築士等の意見を聴取し、又はその他の適切な方法により建物の実態的耐用年数を定めることができるのか。

A7-3

取扱要領第6条ただし書きの「標準耐用年数によることが適当でないと認められるとき」は、建物の経過年数の時期を問わず①取扱要領第6条の非木造建物等級別標準耐用年数表の「建物の用途」「建物の構造」のみで区分すると実態に合わない場合、②標準耐用年数表の年数では実態に合わない場合などが考えられる。

なお、標準耐用年数表の区分に該当しないような特殊な建物は、非木造建物において、該当するケースは基本的にはないと考えられる。

- ① 取扱要領第6条の非木造建物等級別標準耐用年数表の「建物の用途」「建物の構造」のみで区分すると実態と合っていない場合としては、例えば、Q7-2のように「建物の用途」が「工場及び倉庫（塩素、塩酸、硝酸等の腐食性を有する液体又は気体を使用しているもの）」と判断されるものであっても、腐食を防止するための措置が施されている等の場合で、「工場及び倉庫（一般的なもの）」と同等の耐用年数と判断することが妥当と認められる場合については、その耐用年数に区分を見直す場合などが考えられる。

- ② 標準耐用年数表の年数では実態に合わない場合としては、標準耐用年数経過前に特別大規模な補修（建物の基礎及び躯体のみを残した全面的な改修等）を施した場合など特に限定的な場合に限られるものと考えられる。

上記の「標準耐用年数によることが適当でない認められる場合」については、標準耐用年数が適当でないとして実態的耐用年数を定めているため、価値補正の開始時期についても原則、経過年数が実態的耐用年数の5割以上からとなると考える。

一方、取扱要領第7条第2項の「従前の建物が、経過年数が標準耐用年数を超えている建物である場合」は、標準耐用年数を経過した場合についてのみ、その建物の状態によって実態的耐用年数を定めることができる場合となる。この場合は、もともとの標準耐用年数の認定は適当であったため、価値補正の開始の時期についても原則、経過年数が標準耐用年数の5割以上からとなると考える。

Q7-4【価値補正開始時期が標準耐用年数5割経過より前の場合】

取扱要領第7条第1項ただし書き後段に価値補正率は、「従前の建物の経過年数が標準耐用年数の5割未満であっても特に価値補正を考慮する必要があると認められるときは、一級建築士等の意見を聴取し、又はその他適切な方法により定めることができるものとする。」と規定されているが、価値補正開始時期を従前建物の経過年数が標準耐用年数の5割経過より前でも可能な場合とはどのような場合か。

A7-4

標準的な補修の実態を調査し木造・非木造建物とも従前建物の経過年数が標準耐用年数の5割経過時から価値補正を開始することとしたため、標準的な補修でない特別大規模な補修（建物の基礎及び躯体のみを残した全面的な改修等）を施した場合など特に限定的な場合にのみ例外的に「特に価値補正を考慮する必要があると認められるとき」として経過年数が標準耐用年数の5割未満であっても補修による価値補正を考慮することができるものとする。

Q7-5【時期を問わず実態的耐用年数又は価値補正を適用する場合】

標準耐用年数によることが適当でなく時期を問わず実態的耐用年数を定めることもでき、また、価値補正も経過年数が耐用年数の5割未満でも考慮できる場合とは、どのような場合で、その際の実態的耐用年数と価値補正の適用関係はどのようなになるのか。

A7-5

標準耐用年数によることが適当でない認められ実態的耐用年数を定めることができるときは、標準耐用年数表で区分すると実態と合っていない場合、特別大規模な補修（建物の基礎及び躯体のみを残した全面的な改修等）を施した場合などが考えられる（取扱要領第6条ただし書き、Q7-3参照）。

価値補正については特別大規模な補修を施した場合など特に例外的に経過年数が標準耐用年数の5割未満であっても一級建築士等の意見を聴取し、又はその他適切な方法により価値補正率を定めることができる（取扱要領第7条第1項ただし書き、Q7-4参照）。

上記の通り、特別大規模な補修を施した場合、特に例外的に時期を問わず実態的耐用年数を定めることも可能であり、また、経過年数が耐用年数の5割未満であっても価値補正を考慮できる。この場合、実態的耐用年数を定めるのか、価値補正率を設定するのか、両者を適用するのかは、一級建築士等の意見を聴取し、又はその他適切な方法で補修の状況に応じその都度認定することとなる。

（なお、非木造建物については、上限に関する規定がない（Q7-8参照）。）

Q7-6【価値補正率(α)を定めることができる補修工事の例】

非木造建物について、補修の実態を踏まえ、価値補正率（ α ）を定めることができる補修工事には、どのようなものがあるか。

A7-6

基準改正の検討経緯として、補修工事を実施することによって、「明らかに既存建物の市場価値が向上しているもの」については、補償上の算定評価においても考慮すべきとされ、具体的に価値補正率（ α ）を定めることができる補修工事は、建物の構造用途において多種多様であるが、概ね次の工事が対象となる。

- 屋上等防水層（アスファルト防水、シート防水、塗膜防水等）の再施工
- 屋根（カラー鉄板、スレート波板等）の葺替え
- 内壁（ビニールクロス、石膏ボード等）下地材仕上材の張替え
- 天井（吸音板、ビニールクロス等）下地材仕上材の張替え
- 床（フローリング、ビニル床シート等）下地材仕上材の張替え
- 外壁（ALC パネル、タイル、塗装等）下地材仕上材の張替え
- 内部建具（木製、金属製）の取替え
- 外部建具（木製、金属製）の取替え
- 建築設備（電気、給排水、衛生、ガス等）の取替え
- 建物附随工作物（テラス、ベランダ等）の取替え

Q7-7【価値補正率(α)を定めることができる場合の算定方法】

非木造建物は補修の実態を踏まえ、一級建築士等の意見を聴取し、又はその他適切な方法により価値補正率 (α) を定めることができるものとする規定されているが、具体の算定方法はどのように行えば良いか。

A7-7

価値補正率 (α) の算定まで一級建築士等に意見を徴収する方法、補償コンサルタントなどにより以下の例を参考に算定を行う方法など、適切な方法にて算定を行うこととなる。

構造・用途 : RC造住宅

標準耐用年数 : 90 年

築年数 : 60 年

補修内容 : 屋上アスファルト防水張替え

補修後年数 : 5 年 (補修を実施してから算定時点までの年数)

補修割合 : 屋上アスファルト防水施工箇所の 85.33%

建物直接工事費 (100%) に占める防水直接工事費の割合 : 1.29%

補修を考慮しない場合の現在価値

$$1.29\% \times 85.33\% \times (1 - 0.8 \times 60 / 90) = 0.51\%$$

補修を考慮した場合の現在価値

$$1.29\% \times 85.33\% \times (1 - 0.8 \times 5 / 90) = 1.05\%$$

(小数点以下第 3 位切捨)

$$\text{価値補正率 } (\alpha) = 1.05\% - 0.51\% = 0.54\% \div 0.5\%$$

(小数点以下第 2 位四捨五入)

なお、価値補正率 (α) 及び再築補償率の具体の認定については、別紙の算定様式を参考にされたい。

【参考資料】補修工事が単体の場合

別紙

算定年月日	2020年4月1日
1	建物共通仮設費率認定 (建物移転料算定表(8)(13)) ～略～
2	建物諸経費率認定 (建物移転料算定表(10)(17)) ～略～
3	価値補正率 α 及び再築補償率認定 (建物移転料算定表(21)(30)) (5)標準耐用年数 (N) 90年 (6)経過年数 (n) 60年 (7)直接工事費 23,064,975 (21)(30)再築補償率 0.616 ← 参考：価値補正率を計上しない場合 年利率 (r) 0.011 (国土交通省損失補償取扱要領第21条(1))

参考様式

価値補正率を計上した非木造建物再築補償率算定書

名称	金額 (a)	直工割合 (a)/(7) =(b)	単位	元数量 (c)	補修数量 (d)	補修割合 (d)/(c) =(e)	補修考慮前 ((6)経過年数)			補修考慮後 (補修後年数)			価値補正率 (h)-(g) =(i)	
							経過年数 (6)	現価率 (f)	現在価値(率) (b)*(e)*(f) =(g)	補修後 年数	現価率 (f)'	現在価値(率) (b)*(e)*(f)' =(h)		
屋上アスファルト防水張替え														
7スレート防水	297,637	0.0129	m ²	58.59	50.00	0.8533	60年	0.467	0.0051	5年	0.956	0.0105	0.0054	
計													0.0054	
													価値補正率 (α)	0.005
													再築補償率	0.621

(f) (f)'欄 取扱要領第3条 非木造建物現価率表
(6)経過年数、(7)直接工事費は建物移転料算定表に計上している数値

$$\text{再築補償率} = \left(1 - 0.8 \frac{n}{N} + \alpha\right) + \left(0.8 \frac{n}{N} - \alpha\right) \left\{1 - \frac{1}{(1+r)^{N-n+\alpha}}\right\}$$

別紙

参考様式

補修工事調査表

番号	補修内容	名称	規格	補修年月	補修後年数	単位	補修数量	確認資料	備考
1	屋上アスファルト防水張替え	アスファルト防水	平面 均しモルタル共	2015年4月	5年	m ²	50.00	工事契約書写し	
2	内部床仕上げ材下地材張替え	床・フローリングボード張り	厚15mm・無塗装・なら	2018年4月	2年	m ²	18.00	聞き取り	
3	浴槽の取替え	浴槽 (ステンレス)	幅720mm×長さ920mm×高さ650mm	2019年4月	1年	基	1.00	領収書写し	

Q7-8【30%を超える価値補正率の取扱い】

非木造建物も木造建物と同様に 30%を超える価値補正率を定めることは認められないのか。

A7-8

非木造建物については、価値補正率の上限に関する規定はない。なお、木造建物は「取扱要領第 7 条の各項目別補正率表」を適用する際に上限 30%を超えることができないと規定されているが、ただし書きにより、算定した値が実態に適合しないと認められるときは、その上限制限を受けない規定となっている。

Q7-9【補修工事の調査項目】

非木造建物の補修工事の実態調査は、具体的にどのように行うのか。

A7-9

建物所有者から過去に実施した補修に関する工事契約書等の写し等を徴収する方法、又は、補修の事実を確認できる資料が紛失している場合には、聞き取りの方法により行うことになる。なお、聞き取りのみの場合は、明らかに補修内容、補修範囲が特定できる場合に価値補正の算定を行い、特定できない場合は、価値補正を行わないことになる。

具体の補修工事の調査項目としては、次のとおり。

＜補修工事の調査項目＞

① 補修内容（名称、規格を含む）

内壁、天井、床、外壁の下地材仕上材の張替えなど、現地調査した非木造建物の直接工事費全体のうち、どの工種工事金額（床工事のうちのフローリング張り工事費等）に該当するかを把握するために行う調査項目である。

② 補修後年数

過去に補修した年月を確認し、非木造建物の算定時点から補修後年数を算出する。例えば、補修した年月が「2015 年 4 月」で、非木造建物の算定時点が「2020 年 4 月」の場合は、補修後年数は「5 年」となる。この年数は、補修を考慮した場合の現在価値を算出するために行う調査項目である。

③ 補修数量

補修数量は、上記①の補修内容から具体の補修に該当する工種工事金額や補修規模の割合を算出するために行う調査項目である。具体には、補修部分の面積や数量が該当する。

なお、補修工事調査表については、Q7-7 の別紙様式を参考にされたい。

8 その他

Q8-1 【建物移転料算定要領第6条第2項の趣旨とは】

除却工法の算定に関してあらたに建物移転料算定要領第6条第2項が規定されたが、その趣旨は何か。

A8-1

「所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法」（平成30年法律第49号）（以下、「所不法」という。）が改正（令和4年11月1日施行）され、同法の解説をしている「地域福利増進事業ガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）で、『朽廃した空き家等については、当該建築物が「その本来の用途に供することができない状態」にあり、現に利用が困難かつ今後も利用されない建築物であるということを考慮した結果、物件所有権の取得の対価に相当する補償金の額がゼロとなることも考えられます』と示された。

損失補償基準と法令との整合性を図るため、除却工法を認定する建物のうち、従来の建物移転料の考え方に現在価額がないものとみなすことができることを追加するものであるが、所不法の対象が特定所有者不明土地に存する建築物を対象としていることを踏まえ、損失補償基準において、建物移転料算定要領第6条第2項を適用する場合には利用の状況等を確認し、慎重に判断する必要がある。

Q8-2 【建物の現在価額がないものとみなす判断とは】

建物の現在価額がないものとみなして算定することができる場合とは、「建物が本来の用途に供することができないと判断」したときとされているが、具体的にどのように判断するのか。

A8-2

本来の用途に供することができない場合としては、当該建物の損傷、腐食その他の劣化の状況、倒壊の危険性、建築時からの経過年数及びその他の事情を勘案して、その利用が困難であり、かつ、引き続き利用されないことが確実であると見込まれる状態となっていることを言い、特に限定的な場合に限られるものと考えられる。

上記に該当する場合、所不法、同法施行令及びガイドラインを参考に、一級建築士等、不動産鑑定士の意見を踏まえて、起業者により判断することとなる。

Q8-3【適用する建物について】

除却工法を認定する建物は全て一級建築士等、不動産鑑定士からの意見を徴しなければならないのか。

A8-3

除却工法を認定する建物の全てについて意見を徴する必要はない。

ガイドラインにおいて、所有者や利用の状況を確認しながら、個別に判断することとしており、現地の状況等から本来の用途に供することができない状態で現在価額がないものとみなすことについて検討が必要となる建物のみ意見を徴することとなる。

Q8-4【意見書の徴収】

本来の用途に供することができない状態のため現在価額がないものとみなす場合は一級建築士等及び不動産鑑定士の両者から意見書を徴する必要があるのか。

A8-4

必ずしも一級建築士等及び不動産鑑定士の両者から意見書を徴する必要はない。

一級建築士等に本来の用途（機能）に供することができる状態かどうかについて意見を求め、その意見を基に起業者が現在価額がないものとみなすと判断することを基本とする。

ただし、一級建築士等が本体の用途（機能）に供することができない状態である旨の意見があった場合に、起業者の判断にあたって、市場性（財産価値）の有無についてまで考慮する必要がある場合に、不動産鑑定士に意見を求めることができるものとする。

一級建築士等の意見書については、意見書（例）を、不動産鑑定士の意見書については、ガイドライン（参考資料編）資料 16 を参考にされたい。

意見書（例）

意見書（例）

令和〇年〇月〇日
 会社名 〇〇〇〇株式会社
 住 所 〇〇市〇〇〇〇番地〇
 一級建築士 〇〇 〇〇

【対象物件の概要】

所 有 者	〇〇 〇〇 様
所 在 地	〇〇市〇〇〇〇番地〇
構 造	軽量鉄骨造スレート葺 平家建
用 途	店舗
床 面 積	86.12 m ²
建 築 年 月	平成4年 12 月 1 日新築（建物登記事項証明書）
経 過 年 数	23 年（23 年4ヶ月経過）
従前の利用状況	店舗事務所、物品保管庫

【物件の現状】

- 建物の除却工法の定義に該当する事実を説明。
- 建物の損傷、腐食その他の劣化の状況等を説明。

記載例

- ・軸部や基礎の損傷が大きいため、補修して再利用することは困難である。
- ・長年管理がなされておらず、経年劣化や損傷の状況がひどく、原形をとどめていない状況にある。

【状況】

- 主要構造部及び基礎等の損傷状況を説明。

記載例

北側：壁面自体を確認できる状況になく、柱は薙ぎ倒され、梁及び屋根は大きく変形している。
 東側：壁面は屋根中央(棟)が崩落し、北側、東側、南側の3方向に押し出す形で変状しており、柱、梁及び屋根(折板)は大きく変形、既存入口部の庇は脱落している。
 南側：壁面は最大 2.0m 以上、南側、東側へ傾き、柱、梁及び屋根(折板)は大きく変形、基礎の立ちあがりは一部欠損、全体的な変形が見られ、外装材は一部脱落している。また、附随する土間、擁壁にひび割れ、破損が確認される。
 西側：壁面は屋根中央(棟)が崩落し、北側、東側の2方向に押し出す形で変状しており、壁面の北側過半は完全に崩落、破壊されており、柱、梁及び屋根(折板)は大きく変形している状況である。
 内部：事務所間仕切りは崩壊し屋内の動産等が散乱している状況である。

【検証結果】

- 物件の現状、状況をふまえ、専門家の検証内容を記載（以下は検証にあたって参考）。
 - ・建築基準法（昭和 25 年法律第 201 号）第 10 条第 3 項等に基づく除却命令や空家等対策の推進に関する特別措置法（平成 26 年法律第 127 号）第 14 条第 10 項に基づく除却命令の対象となる建物など、著しく保安上危険又は著しく衛生上有害な状態にあり、現にその本来の用途に供することができないと認められる建物。

- ・災害時の被害認定基準に照らすと全壊相当であると認められ、現にその本来の用途に供することができないと認められる建物。
- ・災害時の被害認定基準に照らすと半壊相当であると認められ、かつ、使用するには大規模又は相当規模の補修が必要であるなど現にその本来の用途に供することができないと認められる建物。

記載例)

本件建物の主要構造部(壁、柱、梁、屋根)及び基礎は、破壊、破損、変形が全体におよび、一切原形をとどめてはいない状況であり、当該建物が従前有していた店舗事務所及び物品の保管機能を全く保持できない状況です。

従って、当該物件については、現に利用が困難であり、このままの状態では今後も利用が困難であると判断致します。

【出典・添付資料】

建築基準法(昭和 25 年 5 月 24 日法律第 201 号 最終改正:平成 27 年 6 月 26 日法律第 50 号)

ガイドライン（参考資料編）

資料 16 朽廃した空き家等の市場性に関する意見書 記載事項

（ガイドライン（参考資料編））

1. 市場性に関する判定にあたっての条件（調査時点、種別・類型、前提条件）
2. 対象不動産の所在、地番、地目、家屋番号、構造、用途、数量等及び対象不動産に係る権利の種類
3. 対象不動産の確認に関する事項
 - 実地調査を行った年月日
 - 実地調査を行った者の氏名
 - 立会人の氏名及び職業
 - 実地調査を行った範囲
 - 実地調査の一部を実施することができなかった場合は、その理由
4. 意見書の依頼の目的
5. 市場性に関する判定を行った年月日
6. 市場性に関する判定とその理由の要旨
 - 地域分析及び個別分析に係る事項
 - ・ 同一需給圏※1 及び近隣地域の範囲及び状況
 - ・ 対象不動産に係る価格形成要因についての状況
 - ・ 同一需給圏の市場動向及び典型的な市場参加者の行動
 - ・ 代替、競争等の関係にある不動産と比べた対象不動産の優劣及び競争力の程度
 - 市場性の有無に関する判定事項
 - ・ 建物及びその敷地の最有効使用※2 及びその判定の理由
 - ・ その敷地の更地としての最有効使用及びその判定の理由
 - ・ 更地の鑑定評価額（別途鑑定評価している場合に限り転記）
 - ・ 市場性の有無に関する判定結果
7. 利害関係等
 - 対象不動産に関する利害関係又は対象不動産に関し利害関係を有する者との縁故若しくは特別の利害関係
 - 依頼者との特別の資本的関係、人的関係及び取引関係
 - 提出先等との特別の資本的関係、人的関係及び取引関係
8. 市場性に関する判定に関与した者の氏名
9. 依頼者及び提出先等の氏名又は名称
10. 附属資料（対象不動産等の所在を明示した地図、土地又は建物等の図面、写真等の確認資料）

※1 市場性がないと判定する場合においては、同一の種別・類型で朽廃建築物ではないものの同一需給圏を想定し記載

※2 市場性がないと判定する場合においては、最有効使用が存在しない旨及びその理由

※ 詳細は、国土交通省が公表している不動産鑑定評価基準を参考にされたい。

（ https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/totikensangyo_tk4_000024.html ）

Q8-5【現在価額がないものとみなす建物の算定方法】

現在価額がないものとみなす建物は、どのように算定するのか。

A8-5

現在価額がないものとみなした場合は、「取りこわし工事費 - 発生材価額」により移転料を算定することとなる。なお、建物の損傷状況や倒壊の危険性により立入り調査ができない場合等は、個別に専門業者から見積書を徴して移転料を算定することとし、単独で一発注として取り扱うため、諸経費や共通仮設費についてもその見積書掲載の額を採用することとなる。

9 非木造建物算定事例

算定例 1【専用住宅（RC造）】〔在来工法〕

算定例 2【作業所・倉庫（S造）】〔在来工法〕

算定例 3【住家兼車庫（RC造）】〔在来工法〕

算定例 4【専用住宅（LGS造）】〔プレハブ工法〕

算定例 5【共同住宅（LGS造）】〔プレハブ工法〕

留意事項

- ① 建物移転料の算定にあたっては、各地域の実情により諸運用が異なる場合があるため、実際の算定においては各地域の実情に留意すること
- ② 本算定例で使用するコード番号及び単価は本算定例に限るものであり、実際の算定においては補償標準単価表等によること。
- ③ 本算定例では、別紙、資力確保費用、廃材運搬費、廃材処分費等要領に定めのない様式については省略し算出結果のみを掲載している。
なお、以下の項目は【参考資料】に参考例として掲載した。
イ）建物移転料算定表(8)(13)（共通仮設費率）
ロ）建物移転料算定表(10)(17)（諸経費率）
- ④ 図面は代表的な種類のものを掲載している。実際に作成する図面の種類は、図面作成基準の（別表）によること。
- ⑤ 本算定例では、令和5年に調査・算定した事例を、便宜的に令和6年4月1日以降に適用する非木造建物要領に当てはめて掲載している。

算定例 1

【専用住宅（RC造）】〔在来工法〕

建物移転料算定表 [再築工法]

所在地		算定者		整理番号	1
所有者の氏名又は名称		算定年月日	令和5年5月1日	消費税等相当額補償の要否	要・否
所有者住所		採用単価	令和5年度	増築の有無(木造・同種構造)	有(○)無(●)

区分	内 容	番号	計 算 式	A棟		合 計	備 考	
基本事項	構造・用途	(1)		鉄筋コンクリート造2階建 専用住宅				
	建築工法			在来工法				
	延床面積	(2)		119.25 m ²		119.25 m ²		
	建築面積	(3)		60.66 m ²		60.66 m ²		
	建築年月	(4)		昭和50年9月				
	標準耐用年数	(5)		90 年				
	経過年数	(6)		48 年				
工事費等	建築	直接工事費	(7)	工事費(設備工事を含む)	33,112,185		33,112,185	
		共通仮設費	(8)	(7)×(木造:3%、非木造:(7)に対応する率 (移転先ごとの建築直接工事費の合計額))	5.81%	1,923,800		1,923,800 100円未満切り捨て
		純工事費	(9)	(7)+(8)	35,035,985		35,035,985	
		諸経費	(10)	(9)×((9)+(16)に対応する率(一発注単位))	24.70%	8,653,800		8,653,800 100円未満切り捨て
		建築工事費(推定再建築費)	(11)	(9)+(10)	43,689,785		43,689,785	
	解体	直接工事費	(12)	工事費	2,323,568		2,323,568	
		共通仮設費	(13)	(12)×(木造:3%、非木造:(12)に対応する率 (解体直接工事費の合計額)) 建築の共通仮設を解体で共用できる場合は不要	5.64%	131,000		131,000 100円未満切り捨て
		純工事費	(14)	(12)+(13)	2,454,568		2,454,568	
		廃材運搬費	(15)		770,480		770,480	
		小 計	(16)	(14)+(15)	3,225,048		3,225,048	
		諸経費	(17)	(16)×((9)+(16)に対応する率(一発注単位))	24.70%	796,500		796,500 100円未満切り捨て
		廃材処分費	(18)		1,247,048		1,247,048	
	取りこわし工事費	(19)	(16)+(17)+(18)	5,268,596		5,268,596		
	同種同等	建築工事費(推定再建築費)	(20)	(11)	43,689,785		43,689,785	
再築補償率 ^{※1}		(21)		69.50%				
現在価額+運用益損失額 ^{※1}		(22)	(20)×(21)	30,364,400		30,364,400	1円未満切り捨て	
取りこわし工事費		(23)	(19)	5,268,596		5,268,596		
法令改善費運用益損失額		(24)						
小 計		(25)	(22)+(23)+(24)	35,632,996		35,632,996		
消費税等相当額		(26)	(25)×消費税等の税率	3,563,299		3,563,299	1円未満切り捨て	
△発生材価額		(27)						
補償額		(28)	(25)+(26)-(27)	39,196,295		39,196,295		
補償額		同種同等	建築工事費(推定再建築費)	(29)	(11)従前建物の推定再建築費			
	再築補償率 ^{※1}		(30)					
	現在価額+運用益損失額 ^{※1}		(31)	(29)×(30)				1円未満切り捨て
	現価率		(32)					
	従前建物の現在価額		(33)	(29)×(32)				1円未満切り捨て
	照応建物の推定建築費		(34)					
	照応建物	推定再建築費等の差額 ^{※2}	(35)	(34)-(29)				
		取りこわし工事費	(36)	(19)				
		法令改善費運用益損失額	(37)					
		小 計	(38)	(31)+(35)+(36)+(37)				
		消費税等相当額	(39)	(38)×消費税等の税率				1円未満切り捨て
		△発生材価額	(40)					
補償額	(41)	(38)+(39)-(40)						

※1 木造建物の増築(築年次の異なる同種構造の木造建物が接合)の場合の(21)及び(22)(又は(30)及び(31))については、適宜別紙(任意様式)により求めるものとする。

※2 推定再建築費等の差額(35)が負の値となり、(33)≧(34)の場合の小計(38)は、(33)+(36)+(37)とする。

推定再建築費等の差額(35)が負の値となり、(33)<(34)の場合の小計(38)は、(33)+((34)-(33))×(1-1/(1+r)ⁿ)+(36)+(37)とする(r:年利率、n:従前建物の残耐用年数)。

種目内訳

建築直接工事費					
Ⅰ 建築工事費	1	式		28,820,285	
Ⅱ 建築設備工事費	1	式		4,291,900	
建築直接工事費合計	1	式		33,112,185	
解体直接工事費	1	式		2,323,568	

中科目内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	合 計	備 考
Ⅰ 建築工事費					
1. 直接仮設	1	式		2,122,866	
2. 土工・地業	1	式		651,194	
3. <体	1	式		13,802,837	
3. 1 基礎<体	1	式	4,270,082		
3. 2 上部<体	1	式	9,532,755		
4. 外部仕上	1	式		3,101,684	
4. 1 屋根	1	式	399,829		
4. 2 外壁	1	式	1,141,369		
4. 3 外部開口部	1	式	948,200		
4. 4 外部天井	1	式	119,011		
4. 5 外部床	1	式	89,591		
4. 6 外部雑	1	式	403,684		
5. 内部仕上	1	式		9,141,704	
5. 1 内部床	1	式	1,928,919		
5. 2 内壁	1	式	3,495,154		
5. 3 内部開口部	1	式	786,500		
5. 4 内部天井	1	式	809,039		
5. 5 内部雑	1	式	2,122,092		
計				28,820,285	

名 称	数 量	単 位	金 額	合 計	備 考
Ⅱ 建築設備工事費					
6. 電気設備工事	1	式		2,440,780	
7. 給排水衛生設備	1	式		1,346,320	
7. 1 給水設備	1	式	327,600		
7. 2 排水設備	1	式	511,720		
7. 3 ガス厨房設備	1	式	101,700		
7. 4 衛生設備	1	式	405,300		
8. 空気調和設備	1	式		504,800	
計				4,291,900	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1. 直接仮設						
やりかた	一般	60.66	建m2	460	27,903	コート' 2010010
墨出し	一般	119.25	延m2	880	104,940	コート' 2010060
現寸型板		119.25	延m2	130	15,502	コート' 2010080
外部枠組本足場	高さ12m未満・900枠・期間6ヶ月・仮設材運搬共	302.84	掛m2	4,060	1,229,530	コート' 2010110
安全手すり	枠組足場用・期間6ヶ月・仮設材運搬共	42.20	m	1,280	54,016	コート' 2011850
脚立足場	高さ1.8m・平面・期間1ヶ月・仮設材運搬共	116.33	床m2	760	88,410	コート' 2010501
内部階段仕上足場	単管使用・期間1ヶ月・仮設材運搬共	2.99	床m2	2,950	8,820	コート' 2010492
鉄筋足場	型枠足場と兼用・階高4m未満・期間1ヶ月・仮設材運搬共	119.25	m2	380	45,315	コート' 2010582
コンクリート足場	ポンプ車(配管型)	119.25	m2	85	10,136	コート' 2010600
外部メッシュシート張	網目1mm・塗装吹付飛散防止用・期間6ヶ月・仮設材運搬共	302.84	掛m2	860	260,442	コート' 2010730
養生	一般	119.25	m2	510	60,817	コート' 2010920
整理・清掃・片付	一般	119.25	m2	1,820	217,035	コート' 2010940
小計					2,122,866	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2. 土工・地業						
根切り(機械)	つぼ・布掘・深さ=4.0m以内	106.76	m3	1,460	155,869	コート' 2110030
埋戻し(機械)	小規模・深さ3m以内・突固め共	58.54	m3	4,040	236,501	コート' 2110080
割石地業	割石・厚150mm	5.40	m3	14,000	75,600	コート' 2110450
不用土処分	構内仮置・運搬20m～30m	58.54	m3	840	49,173	コート' 2110210
不用土処分(機械積込)	4t車使用・運搬距離5km	48.22	m3	2,780	134,051	コート' 2110320
小計					651,194	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3. く体						
3.1 基礎く体						
捨てコンクリート	18N/mm ² ・シュート打設	2.79	m3	21,500	59,985	コート' 2210020
く体コンクリート	21N/mm ² ・ポンプ打設・1日50m3未満	40.04	m3	21,100	844,844	コート' 2210210
型枠	く体・一般ラーメン構造・階高3m～3.8m程度	260.23	m2	7,450	1,938,713	コート' 2220030
鉄筋・加工組立	ラーメン構造・5t以上～50t未満	5.48	t	252,000	1,380,960	コート' 2230050
土間コンクリート	18N/mm ² ・シュート打設	2.15	m3	21,200	45,580	コート' 2210050
小計					4,270,082	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.2 上部く体						
く体コンクリート	21N/m ² ・ポンプ打設・1日50m ³ 未満	83.97	m ³	21,100	1,771,767	コード' 2210210
型枠	く体・一般ラーメン構造打放し階高3m～3.8m程度	545.79	m ²	8,910	4,862,988	コード' 2220040
鉄筋・加工組立	ラーメン構造・5t以上～50t未満	11.50	t	252,000	2,898,000	コード' 2230050
小計					9,532,755	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4. 外部仕上						
4.1 屋根						
アスファルト防水	平面 均しモルタル共	58.59	m ²	5,080	297,637	代価表1
アスファルト防水	立上り 均しモルタル共	10.67	m ²	9,160	97,737	代価表2
モルタル防水	厚35mm・屋根・バルコニー床	0.90	m ²	4,950	4,455	コード' 2420150
小計					399,829	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.2 外壁						
外壁・モルタル塗はけ引き	厚25mm	13.20	m ²	5,300	69,960	コード' 2450280
内外装・複層仕上塗材仕上	モルタルはけ引・厚25mm	171.46	m ²	4,990	855,585	代価表3
外装・磁器質タイル	施釉・227mm×60mm・二丁掛平コンクリート下地・モルタル塗共	13.16	m ²	16,400	215,824	コード' 9440860
小計					1,141,369	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.3 外部開口部						
AD-1:ランマ付玄関親子開き戸	幅1,200mm×高さ2,600mm	1.00	ヶ所	168,900	168,900	代価表4
AD-2:ランマ付片開き戸	幅800mm×高さ2,200mm	1.00	ヶ所	108,900	108,900	代価表5
AW-1:ランマ4枚引き違い窓付引違い戸	幅2,600mm×高さ2,200mm	3.00	ヶ所	98,200	294,600	代価表6
AW-2:ランマ4枚引き違い窓付引違い戸	幅1,700mm×高さ2,200mm	1.00	ヶ所	56,200	56,200	代価表7
AW-3:引き違い窓	幅1,700mm×高さ1,750mm	1.00	ヶ所	48,600	48,600	代価表8
AW-4:4枚引違い窓	幅2,600mm×高さ1,200mm	2.00	ヶ所	38,700	77,400	代価表9
AW-5:引違い窓	幅1,700mm×高さ1,200mm	1.00	ヶ所	33,600	33,600	代価表10
AW-6:引違い窓	幅1,700mm×高さ900mm	2.00	ヶ所	28,000	56,000	代価表11
AW-7:引違い窓	幅1,200mm×高さ900mm	2.00	ヶ所	23,200	46,400	代価表12
AW-8:引違い窓	幅850mm×高さ900mm	2.00	ヶ所	15,000	30,000	代価表13
AW-9:引違い窓	幅1,200mm×高さ1,200mm	1.00	ヶ所	27,600	27,600	代価表14
小計					948,200	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.4 外部天井						
内外装・複層仕上塗材仕上	モルタル塗はけ引き・厚25mm	23.85	m2	4,990	119,011	代価表15
小計					119,011	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.5 外部床						
床・磁器質タイル	施釉・100角・コンクリート下地・モルタル塗共	4.48	m2	9,850	44,128	コート' 9440220
床・モルタル塗	厚30mm	5.91	m2	3,140	18,557	コート' 2450130
アスファルト防水	平面 均しモルタル共	2.70	m2	5,080	13,716	代価表16
アスファルト防水	立上り 均しモルタル共	1.44	m2	9,160	13,190	代価表17
小計					89,591	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.6 外部雑						
樋工事	非木造専用住宅(陸屋根)・塩ビ製・受金物共	60.66	床m2	1,970	119,500	コート' 2680020
アルミ笠木	幅200mm	38.40	m	4,710	180,864	コート' 2470850
天井裏換気パイプ		8.00	ヶ所	2,340	18,720	代価表18
バルコニー手摺	高さ1,100mm・アルミ	6.00	m	14,100	84,600	コート' 2470810
小計					403,684	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5. 内部仕上						
5.1 内部床						
床・磁器質タイル	無釉100mm角・コンクリート下地・モルタル塗共	3.80	m2	12,600	47,880	コート' 9440020
床・磁器質モザイクタイル	施釉 25mm角・コンクリート下地・モルタル塗共	3.49	m2	16,600	57,934	コート' 9440540
床・フローリングボード張り	厚15mm・無塗装・なら・木造ころばし床組共	23.27	m2	10,600	246,662	コート' 9630190
床・フローリングボード張り	厚15mm・無塗装・なら・木造束立て床組共	27.47	m2	20,500	563,135	コート' 9630200
床・ラワン合板張	厚5.5mm・1類・木造ころばし床組共	5.96	m2	21,400	127,544	コート' 9440090
床・ラワン合板張	厚5.5mm・1類・木造束立て床組共	1.62	m2	14,200	23,004	コート' 9440100
床・モルタル塗	厚30mm	5.52	m2	3,140	17,332	コート' 2450130
床・ビニールタイル張り	厚2mm・軟質・モルタル塗共	3.43	m2	4,900	16,807	コート' 9630320
床・ビニールシート張り	厚2mm・プレーン・モルタル塗共	3.40	m2	5,830	19,822	コート' 9630400
タタ敷	本間・麻引・並・ラワン合板・木造ころばし床組共	14.00	枚	31,300	438,200	コート' 9630890
タタ敷	本間・麻引・並・ラワン合板・木造束たて床組共	8.00	枚	40,900	327,200	コート' 9630900
階段すべり止め金具	幅35mm・アルミ製・ゴム入り・直張	15.39	m	2,820	43,399	コート' 2470380
小計					1,928,919	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.2 内壁						
コンクリートブロック積	厚100mm・C種・化粧目地無	19.30	m2	8,230	158,839	コート' 2280280
木造軸組(大壁)		128.25	m2	8,880	1,138,860	コート' 2460070
壁・ビニールクロス張り	並・石こうボード・木造胴縁組共	132.66	m2	4,350	577,071	代価表20
壁・ビニールクロス張り	並・石こうボード・ウレタンフォーム複合板共	40.90	m2	4,900	200,410	代価表21
壁・石こうボード張・EP塗	厚9.5mm・準・シーリング・突付張・合成樹脂エマルジョン塗・木造胴縁組共	23.57	m2	6,010	141,655	代価表22
新京壁	ラスボード共	60.47	m2	6,650	402,125	コート' 9450910
内装・磁器質タイル	施釉・100mm角・ラワン合板・ラス共(木造用)	24.10	m2	21,000	506,100	コート' 9440650
内装・磁器質タイル	施釉・100mm角・木造胴縁組共	8.10	m2	23,500	190,350	コート' 9440670
壁・ラワン合板張	厚4mm・2類・軸組別途	26.91	m2	3,640	97,952	コート' 2460450
壁・ウレタンフォーム複合板張	厚18mm	25.56	m2	3,200	81,792	カタログ'
小計					3,495,154	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.3 内部開口部						
AD-3:アルミ・片開き戸	幅600mm×高さ1,800mm	1.00	ヶ所	53,100	53,100	代価表24
WD-1:木製・両開きフラッシュ戸	幅750mm×1,800mm	2.00	ヶ所	21,200	42,400	代価表25
WD-2:木製・親子開きフラッシュ戸	幅400mm×高さ1,800mm	1.00	ヶ所	9,420	9,420	代価表26
	幅800mm×高さ1,800mm	1.00	ヶ所	21,200	21,200	代価表27
WD-3:木製・片開きフラッシュ戸	幅800mm×高さ1,800mm	2.00	ヶ所	21,200	42,400	代価表28
WD-4:木製・片開きフラッシュ戸	幅600mm×高さ1,800mm	2.00	ヶ所	19,100	38,200	代価表29
WD-5:木製・片開きフラッシュ戸	幅850mm×高さ1,800mm	4.00	ヶ所	17,600	70,400	代価表30
WD-6:木製・片開きフラッシュ戸	幅800mm×高さ1,800mm	1.00	ヶ所	21,200	21,200	代価表31
H-1:木製・4枚引違いフスマ戸	幅875mm×高さ1,800mm	4.00	ヶ所	9,550	38,200	代価表32
H-2:木製・4枚引違いフスマ戸	幅650mm×高さ1,800mm	4.00	ヶ所	6,890	27,560	代価表32
H-3:木製・引違いフスマ戸	幅850mm×高さ1,800mm	4.00	ヶ所	9,550	38,200	代価表34
H-4:木製・片引きフスマ戸	幅800mm×高さ1,800mm	1.00	ヶ所	9,550	9,550	代価表35
H-5:木製・引違いフスマ戸	幅850mm×高さ1,800mm	6.00	ヶ所	9,010	54,060	代価表36
H-6:木製・片引きフスマ戸	幅800mm×高さ1,800mm	1.00	ヶ所	9,010	9,010	代価表37
P-1(水腰荒組障子):4枚引違い障子	幅650mm×高さ1,800mm	8.00	ヶ所	20,700	165,600	代価表38
P-2:4枚引違い障子	幅650mm×高さ300mm	8.00	ヶ所	9,650	77,200	代価表39
P-3(壁上げ45東障子):4枚引違い障子	幅650mm×高さ1,200mm	4.00	ヶ所	17,200	68,800	代価表40
小計					786,500	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.4 内部天井						
天井・化粧せつこうボード張	厚9.5mm・準・目透張・木造下地組共	60.58	m2	6,910	418,607	コード' 9640170
天井・せつこうボード張・EP塗	厚9.5mm・準・目透張・木造下地組共	6.52	m2	4,320	28,166	代価表41
和室天井	杉柁(ハリ天)・竿縁・化粧竿・木造下地組共	36.93	m2	7,660	282,883	代価表42
天井・ラワン合板張	厚4mm・2類・木造天井下地組	7.58	m2	7,960	60,336	コード' 9460840
天井・リシをかき落とし	厚20mm・メタルス・木造天井下地組共	2.32	m2	8,210	19,047	代価表43
小計					809,039	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.5 内部雑						
手摺	高さ900mm	1.65	m	44,500	73,425	コード' 2650400
柱		9.00	本	5,760	51,840	積算ポケット
床柱		2.00	本	32,800	65,600	積算ポケット
半柱		4.00	本	3,720	14,880	積算ポケット
仕上げ材工事	専用住宅(非木造建物)	119.25	延m2	14,700	1,752,975	コード' 2461210
塗装工事	専用・共同住宅(非木造建物)	119.25	延m2	1,370	163,372	コード' 2680050
小計					2,122,092	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6. 電気設備						
照明器具	住居系・共同住宅系・中	20.00	ヶ所	60,700	1,214,000	コード [*] 2711270
スイッチ	埋込・2連	26.00	ヶ所	6,310	164,060	コード [*] 2711610
コンセント	埋込・2口	24.00	ヶ所	6,370	152,880	コード [*] 2711730
分電盤	コンパ [*] 外型分岐ブレーカ・8回路・幹線含む	1.00	ヶ所	133,000	133,000	コード [*] 2711410
電灯配管配線設備	住居系・付属品共・(器具含まず)	71.00	ヶ所	6,240	443,040	コード [*] 2711200
テレビアンテナ	VHF・UHF併設・軒先他設置・端末整合器2	1.00	基	280,000	280,000	コード [*] 2710490
換気扇	羽根径150mm・(浴室用)	1.00	ヶ所	17,900	17,900	コード [*] 2710160
換気扇	羽根径200mm・(台所用)	1.00	ヶ所	20,200	20,200	コード [*] 2710130
電話用屋内配線管	配管・ボックス類・差込口1ヶ所当たり非木造用	1.00	ヶ所	15,700	15,700	コード [*] 2710511
小計					2,440,780	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7. 給排水衛生設備						
7.1 給水設備						
屋内給水(湯)配管	非木造建物	4.00	栓	32,400	129,600	コード [*] 2740191
シャワー混合水栓	φ13・15mm用・ツェハンドル	1.00	栓	19,000	19,000	コード [*] 2740100
ガス風呂釜	屋内据置型・シャワー付・バランス型	1.00	基	179,000	179,000	コード [*] 2740840
小計					327,600	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.2 排水設備						
屋内排水配管	非木造建物	4.00	栓	46,200	184,800	コード [*] 2800011
屋外排水配管	φ75mm・硬質塩ビ管・機械掘・平均深さ450mm	18.00	m	7,790	140,220	コード [*] 2820120
汚水兼用ます・(既製品)	内法450mm×450mm・インバート付・機械掘・深450mm	1.00	ヶ所	17,500	17,500	コード [*] 2821460
コンクリート造ます	内法450mm×450mm・人力掘・深450mm	3.00	ヶ所	56,400	169,200	コード [*] 2821570
小計					511,720	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.3 ガス厨房設備						
流し台	幅1,500mm×奥行550mm×高さ800mm	1.00	ヶ所	74,400	74,400	コード 2780030
コンロ台	幅700mm×奥行543mm×高さ623mm	1.00	ヶ所	27,300	27,300	コード 2780090
小計					101,700	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.4 衛生設備						
浴槽・(ステンレス)	幅920mm×奥行720mm×高さ650mm・(洋風)	1.00	基	113,700	113,700	コード 2830070
洗面化粧ユニット	幅600mm・シングルレバー混合水栓・化粧鏡付	1.00	ヶ所	85,800	85,800	コード 2830200
水洗和風便器・(両用式)	隅付ロータンク	1.00	ヶ所	107,500	107,500	コード 2830271
便槽・(既製品)	φ780mm×高さ1,000mm・5人用	1.00	基	75,100	75,100	コード 2830470
排臭ファン・(電動換気)	φ100mm・硬質塩ビ管	1.00	ヶ所	23,200	23,200	コード 2830520
小計					405,300	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8. 空調調和設備						
セパレート型・エアコン	暖冷房除湿型・冷房能力2.2kw	2.00	台	252,400	504,800	コード 2850030
小計					504,800	

細目内訳

名称	規格	数量	単位	単価	金額	備考
9. 解体工事						
外部単管一本足場	高さ10m未満・期間1ヶ月・仮設材運搬共	302.84	掛m2	1,460	442,146	コード' 2010300
外部防災シート張	期間1ヶ月・仮設材運搬共	302.84	掛m2	850	257,414	コード' 2010750
RC造く体解体	圧砕機・ハンドブレーカー併用・基礎除く・(積込共)	83.97	m3	16,400	1,377,108	コード' 2900030
内部造作解体	非木造・住居系・(積込共)	119.25	延m2	2,040	243,270	コード' 2900200
便槽・[撤去A]	5人用・既製品・(汲取清掃別途)	1.00	基	3,630	3,630	コード' 2921790
小計					2,323,568	

名称	規格	数量	単位	単価	金額	備考
小計						

名称	規格	数量	単位	単価	金額	備考
小計						

数量計算書

名称 / 形状 / 法等	計 算 式	数 量	単 位	備 考
1. 直接仮設				
やりかた一般	$6.30 \times 9.30 + 2.3 \times 0.9$	60.66	建m ²	
墨出し一般	1F $6.30 \times 9.30 + 2.30 \times 0.90 = 60.660$ 2F $6.30 \times 9.30 = 68.590$	119.25	延m ²	
現寸型版		119.25	延m ²	
外部枠組本足場 高さ12m未満・期間6ヶ月・仮設材運搬共	A面 $8.30 \times 7.45 = 61.835$ B面 $11.30 \times 7.45 + 1.50 \times 3.60 = 89.585$ C面 $8.30 \times 7.45 = 61.835$ D面 $11.30 \times 7.45 + 1.50 \times 3.60 = 89.585$	302.84	掛m ²	
安全手すり 枠組足場用・期間6ヶ月・仮設材運搬共	$8.30 + 8.30 + 11.30 + 11.30 + 1.50 + 1.50$	42.20	m	
脚立足場 高さ1.8m・平面・期間2ヶ月	$119.250 - 2.922$	116.33	床m ²	
内部階段仕上足場 単管使用・期間20日・仮設材運搬共	2.85×1.05	2.99	床m ²	
鉄筋足場 型枠足場と兼用・階高4m未満		119.25	m ²	
コンクリート足場 ポンプ車(配管型)		119.25	m ²	
外部メッシュネット張 網目1mm・塗装吹付飛散防止用・期間6ヶ月・仮設材運搬共		302.84	掛m ²	
養生一般		119.25	m ²	
整理・清掃・片付一般		119.25	m ²	

数量計算法書

名称 / 形状 / 法等	計 算 式	数量	単位	備 考
2. 土工・地業				
根切り (機械) つぼ・布掘・深さは4.0m以内	$1F \text{面積} \times \text{統計数量値}$ 60.66×1.76	106.76	m3	
埋戻し (機械) 小規模・深さは3m以内・突固め共	$\text{根切り} - \text{割石 (基礎下)} - \text{捨てコンクリート} - \text{基礎コンクリート}$ $106.761 - 5.398 - 2.790 - 40.035$	58.54	m3	
割石地業 割石・厚150mm	$1F \text{面積} \times \text{統計数量値}$ 60.66×0.089	5.40	m3	
不用土処分 構内仮置・運搬20～30m	埋め戻し	58.54	m3	
不用土処分・(機械積込) 4t車使用・運搬距離5km・処分費別途	$\text{割石 (基礎下)} + \text{捨てコンクリート} + \text{基礎コンクリート}$ $5.398 + 2.790 + 40.035$	48.22	m3	

数量計算書

名称 / 形状 / 法等	計 算 式	数 量	単 位	備 考
3.<体				
3.1 基礎<体				
捨てコンクリート 18N/mm2 シェット打設	1F面積 × 統計数量値 60.66×0.046	2.79	m3	
<体コンクリート 21N/mm2 ポンプ打設・1日50m3未満	1F面積 × 統計数量値 60.66×0.66	40.04	m3	
型枠	コンクリート量 × 統計数量値			
<体・一般フレーム構造・階高3m~3.8m程度	40.035×6.50	260.23	m2	
鉄筋・加工組立	コンクリート量 × 統計数量値			
フレーム構造・5t以上から50t未満	40.035×0.137	5.48	t	
土間コンクリート	ポーチ $3.20 \times 1.50 \times 0.12 = 0.576$			
18N/mm2 シェット打設	玄関 $(1.90 \times 2.10 - 0.5 \times 0.5) \times 0.12 = 0.448$			
	物置 $(3.75 \times 1.05 + 1.80 \times 0.90 - 0.5 \times 0.5) \times 0.12 = 0.636$			
	勝手口・浴室 $(1.80 \times 2.40 - 0.5 \times 0.5) \times 1.20 = 0.488$	2.15	m3	

数量計算法書

名称 / 形状 / 法等	計算法式	数量	単位	備考
3. 2 上部く体 く体コンクリート 21N/mm2 ボンブ打設・1日50m3未満 型枠 く体・一般フォーム構造・階高3m~3.8m程度 鉄筋・加工組立 フォーム構造・5t以上から50t未満	$(延べ面積 \times 統計数量値 - 基礎コンクリート量) \times 階高補正$ $(119.25 \times 1.00 - 40.035) \times 1.06$ コンクリート量 \times 統計数量値 83.967×6.50 コンクリート量 \times 統計数量値 83.967×0.137	83.97	m ³	
		545.79	m ²	
		11.50	t	

数量計算書

名称 / 形状 / 法等	計 算 式	数 量	単 位	備 考
4. 外部仕上				
4. 1 屋根				
アスファルト防水 平面 均しモルタル共	6.30×9.30	58.59	m ²	
アスファルト防水 立上り 均しモルタル共	$6.30 \times 0.33 \times 2 + 9.30 \times 0.35 \times 2$	10.67	m ²	
モルタル防水 厚35mm・屋根・ハールコーン床	勝手口庇 1.00×0.90	0.90	m ²	

数量計算書

名称 / 形状 / 寸法等	計算式	数量	単位	備考
4. 2 外壁				
外壁・モルタル塗はけ引き 厚25mm	A通り $6.30 - (2.30 + 1.70) \times 0.50 = 1.150$ C通り $6.30 \times 0.50 = 3.150$ ①通り $(9.30 - 0.80) \times 0.50 = 4.250$ ②通り $9.30 \times 0.50 = 4.650$	13.20	m2	
内外装・複層仕上塗材仕上 モルタル塗はけ引き・厚25mm	A通り $(6.30 \times 6.45 + 8.10 \times 0.50) - (1.70 \times 0.90 + 1.70 \times 1.45 + 2.60 \times 2.30 + 3.30 \times 0.50) = 33.060$ C通り $6.30 \times 6.45 + 8.10 \times 0.50 - 1.70 \times 0.90 = 43.155$ ①通り $(9.30 \times 6.45 + 11.10 \times 0.50) - (0.80 \times 1.90 + 2.60 \times 1.20 + 2 + 0.85 \times 0.90 \times 2 + 1.20 \times 0.90 \times 2 + 1.70 \times 1.20) = 52.045$ ②通り $(9.30 \times 6.45 + 11.10 \times 0.50) - (2.60 \times 2.20 \times 3 + 1.70 \times 2.20 + 1.20 \times 1.20) = 43.195$	171.455	m2	
外装・磁器質タイル 施釉・227mm×60mm・二丁掛平・コンクリート 下地・モルタル塗共	$(0.90 \times 4 + 0.15 \times 2 + 0.40 \times 2) \times 2.80 = 13.160$	13.16	m2	

数量計算書

名称 / 形状寸法等	計 算 式	数 量	単 位	備 考
4. 3 外部開口部				
AD-1: ランマ付玄関親子開き戸	幅1,000mm×高さ2,600mm	1.00	ヶ所	
AD-2: ランマ付片開き戸	幅800mm×高さ2,200mm	1.00	ヶ所	
AW-1: ランマ4枚引違い窓付引違い戸	幅2,600mm×高さ2,200mm	3.00	ヶ所	
AW-2: ランマ4枚引違い窓付引違い戸	幅1,700mm×高さ2,200mm	1.00	ヶ所	
AW-3: 引違い窓	幅1,700mm×高さ1,750mm	1.00	ヶ所	
AW-4: 4枚引違い窓	幅2,600mm×高さ1,200mm	2.00	ヶ所	
AW-5: 引違い窓	幅1,700mm×高さ1,200mm	1.00	ヶ所	
AW-6: 引違い窓	幅1,700mm×高さ900mm	2.00	ヶ所	
AW-7: 引違い窓	幅1,200mm×高さ900mm	2.00	ヶ所	
AW-8: 引違い窓	幅850mm×高さ900mm	2.00	ヶ所	
AW-9: 引違い窓	幅1,200mm×高さ1,200mm	1.00	ヶ所	

数量計算書

名称 / 形状 / 法等	計 算 式	数量	単位	備 考
4. 5 外部床				
床・磁器質タイル 施軸・100角・コノクリート下地・モルタル塗共 厚30mm	ポーチ床 $3.20 \times 1.40 = 4.480$ 玄関 $(3.20 + 1.50 + 1.50) \times 0.30 = 1.860$ 物置 $1.00 \times 2.00 + (2.00 + 1.00 + 1.00) \times 0.15 = 2.600$ 勝手口 $1.00 \times 1.00 + (1.00 + 1.00 + 1.00) \times 0.15 = 1.450$	4.48	m2	
アスファルト防水		5.91	m2	
平面 均しモルタル共	平面 $3.00 \times 0.90 = 2.700$	2.70	m2	
アスファルト防水	立上り $0.30 \times (3.00 + 0.90 + 0.90) = 1.440$	1.44	m2	

数量計算書

名称 / 形状 / 寸法等	計 算 式	数 量	単 位	備 考
4.6 外部雑				
樋工事 非木造専用住宅(陸屋根)・樋じょう製・受金物共	1F床面積	60.66	床m ²	
アルミ笠木 幅200mm	(11.10+8.10) × 2 = 38.400	38.40	m	
天井裏換気パイプ	8.000	8.00	ヶ所	
ハルコニー手摺 高さ1,100mm・アルミ	3.00 × 2 = 6.000	6.00	m	

数量計算法書

名称 / 形状 / 寸法等	計 算 式	数量	単位	備 考
5. 内部仕上				
5. 1 内部床				
床・磁器質タイル		3.80	m ²	
無軸100mm角・コンクリート下地・モルタル塗共	3.800			
床・磁器質モザイクタイル		3.49	m ²	
施軸 25mm角・コンクリート下地・モルタル塗共	3.490			
床・フローリングボード張り		23.27	m ²	
厚15mm・無塗装・なら・木造ころばし床組共	23.273			
床・フローリングボード張り		27.47	m ²	
厚15mm・無塗装・なら・木造東立て床組共	27.470			
床・ラワン合板張		5.96	m ²	
厚5.5mm・1類・木造ころばし床組共	5.957			
床・ラワン合板張		1.62	m ²	
厚5.5mm・1類・木造東立て床組共	1.620			
床・モルタル塗		5.52	m ²	
厚30mm	5.523			
床・ビニールタイル張り		3.43	m ²	
厚2mm・軟質・モルタル塗共	3.434			
床・ビニールシート張り		3.40	m ²	
厚2mm・プレーン・モルタル塗共	3.402			
タタミ敷		14.00	枚	
本間・麻引・並・ラワン合板・木造ころばし床組共	14.000			
タタミ敷		8.00	枚	
本間・麻引・並・ラワン合板・木造東立て床組共	8.000			
階段すべり止め金具		15.39	m	
幅35mm・アルミ製・ゴム入り・直張	15.390			

数量計算書

名称 / 形状 / 法等	計 算 式	数 量	単 位	備 考
5. 3 内部開口部				
AD-3: 7段・片開きアルミ戸	幅600mm×高さ1,800mm	1.00	ヶ所	
WD-1: 木製・両開きフラッシュ戸	幅750mm×高さ1,800mm	2.00	ヶ所	
WD-2: 木製・親子開きフラッシュ戸	幅400mm×高さ1,800mm	1.00	ヶ所	
	幅800mm×高さ1,800mm	1.00	ヶ所	
WD-3: 木製・片開きフラッシュ戸	幅800mm×高さ1,800mm	2.00	ヶ所	
WD-4: 木製・片開きフラッシュ戸	幅600mm×高さ1,800mm	2.00	ヶ所	
WD-5: 木製・引違いフラッシュ戸	幅850mm×高さ1,800mm	4.00	ヶ所	
WD-6: 木製・片引フラッシュ戸	幅800mm×高さ1,800mm	1.00	ヶ所	
II-1: 木製・4枚引違いフスマ戸	幅875mm×高さ1,800mm	4.00	ヶ所	
II-2: 木製・4枚引違いフスマ戸	幅650mm×高さ1,800mm	4.00	ヶ所	
II-3: 木製・引違いフスマ戸	幅850mm×高さ1,800mm	4.00	ヶ所	
II-4: 木製・片引きフスマ戸	幅800mm×高さ1,800mm	1.00	ヶ所	
II-5: 木製・引違いフスマ戸	幅850mm×高さ1,800mm	6.00	ヶ所	
II-6: 木製・片引きフスマ戸	幅800mm×高さ1,800mm	1.00	ヶ所	
P-1 (水腰荒組障子): 木製・4枚引違い障子戸	幅650mm×高さ1,800mm	8.00	ヶ所	
P-2: 木製・4枚引違い障子戸	幅650mm×高さ300mm	8.00	ヶ所	
P-3 (堅上げ45東障子): 4枚引違い障子戸	幅650mm×高さ1,200mm	4.00	ヶ所	

数量計算法書

名称／形状寸法等	計 算 式			数量	単位	備 考
5. 2 内壁 コンクリートブロック積 厚100mm・C種・化粧目地無 木造軸組・(大壁)	19. 296	19. 296		19. 30	m2	
壁・ビニールクロス張り 並・石こうボード・木造胴縁組共	128. 250	128. 250		128. 25	m2	
壁・ビニールクロス張り 並・石こうボード・ウルツワーム複合板共	132. 663	132. 663		132. 66	m2	
壁・石こうボード張・珪塗 並・石こうボード・ウルツワーム複合板共	40. 899	40. 899		40. 90	m2	
厚9.5mm・準・シーリング・突付張・合成樹脂 エポキシ樹脂塗・木造胴縁組共	23. 571	23. 571		23. 57	m2	
新京壁 ラスボード共	60. 474	60. 474		60. 47	m2	
内装・磁器質タイル 施軸・100mm角・珪合板・ラス共(木造用)	24. 095	24. 095		24. 10	m2	
内装・磁器質タイル 施軸・100mm角・木造胴縁組共	8. 095	8. 095		8. 10	m2	
壁・珪合板張 厚4mm・2類	26. 910	26. 910		26. 91	m2	
壁・ウルツワーム複合板張 厚18mm	25. 560	25. 560		25. 56	m2	

数量計算法

名称 / 形状 / 寸法等	計算法	数量	単位	備考
5.4 内部天井				
天井・化粧せつこうボード張 厚9.5mm・準・目透張・木造下地組共	60.584	60.58	m ²	
天井・せつこうボード張・EP塗 厚9.5mm・準・目透張・木造下地組共	6.521	6.52	m ²	
和室天井 杉柵(刈)天)・竿縁・化粧竿・木造下地組共	36.934	36.93	m ²	
天井・ラツ合板張 厚4mm・2類・木造天井下地組	7.577	7.58	m ²	
天井・リッかき落とし 厚20mm・ケツカス・木造天井下地組共	2.320	2.32	m ²	

数量計算法

名称 / 形状 / 寸法等	計 算 式	数 量	単 位	備 考
5. 5 内部雑 手摺 高さ900mm 柱	1. 650	1. 65	m	
床柱	9. 000	9. 00	本	
半柱	2. 000	2. 00	本	
	4. 000	4. 00	本	
仕上げ材工事 専用住宅(非木造建物)	119. 250	119. 25	掛m2	
塗装工事 専用・共同住宅(非木造建物)	119. 250	119. 25	掛m2	

数量計算書

名称／形状寸法等	計 算 式	数 量	単 位	備 考
6. 電気設備				
照明器具 住居系・共同住宅系・中 スイッチ	20.000	20.00	ヶ所	
埋込・2連 コンセント	26.000	26.00	ヶ所	
埋込・2口 分電盤	24.000	24.00	ヶ所	
コンパクト型分岐ブレーカー・8回路・幹線含む 電灯配線配管設備	1.000	1.00	ヶ所	
住居系・付属品共・(器具含まず) テレビアンテナ	71.000	71.00	ヶ所	
VHF・UHF併設・軒先他設置・端末整合器2 換気扇	1.000	1.00	基	
換気扇 羽根径150mm・(浴室用)	1.000	1.00	ヶ所	
換気扇 羽根径200mm・(台所用)	1.000	1.00	ヶ所	
電話用屋内配線管 配管ボックス類・電話機1か所当たり非木造用	1.000	1.00	ヶ所	

数量計算書

名称／形状寸法等	計	算	式	数量	単位	備考
7. 給排水衛生設備						
7. 1 給水設備						
屋内給水(湯)配管	4.000			4.00	栓	
シャワー付混合水栓 φ13・φ15mm用	1.000			1.00	栓	
ガス風呂釜 屋内据置型・シャワー付・パナソニック型	1.000			1.00	基	

数量計算法

名称 / 形状 / 法等	計 算 式	数量	単位	備 考
7. 給排水衛生設備				
7. 2 排水設備				
屋内排水管		4.00	栓	
硬質塩ビ管・継手・支持金物共		4.000		
屋外排水配管		18.00	m	
φ75mm・硬質塩ビ管・機械堀・深450mm		18.000		
汚水兼用ます・(既製品)		1.000	ヶ所	
内法450mm×450mm・イハート付・機械堀・深450mm		1.000		
コンクリート造ます		3.000	ヶ所	
内法450mm×450mm・人力堀・深450mm		3.000		

数量計算法

名称 / 形状 / 法等	計算法	数量	単位	備考
7. 給排水衛生設備				
7. 3がし厨房設備		1.00	ヶ所	
流し台 幅1,500mm×奥行550mm×高さ800mm	1.000	1.00	ヶ所	
コンロ台 幅700mm×奥行543mm×高さ623mm	1.000	1.00	ヶ所	

数 量 計 算 書

名 称 / 形 状 寸 法 等	計 算 式	数 量	単 位	備 考
7. 給排水衛生設備				
7. 4 衛生設備				
浴槽・(スチルス)	1.000	1.00	基	
幅720mm×長さ920mm×高さ650mm (洋風)	1.000	1.00	ヶ所	
洗面化粧ユニット				
幅600mm・シングルレバー混合水栓・化粧鏡付	1.000	1.00	ヶ所	
水栓和風便器・(両用式)	1.000	1.00	ヶ所	
隅付ローソク・屋内污水管共				
便槽 (既製品)	1.000	1.00	基	
φ780mm・高さ1,000mm・5人用	1.000	1.00	ヶ所	
排臭ファン・(電動換気)				
φ100mm・硬質塩ビ管	1.000	1.00	ヶ所	

数量計算書

名称 / 形状 / 法等	計	算	式	数量	単位	備考
8. 空気調和設備						
セパレト型・エコノ 温冷房除湿型・冷房能力2.2kw	2.000		2.000	2.00	台	

数量計算法書

名 称 / 形 状 寸 法 等	計 算 式	数 量	単 位	備 考
9. 解体工事				
外部単管一本足場 高さ10m未満・期間1ヶ月・仮設材運搬共	302.840	302.84	掛m2	
外部防災シート張 期間1ヶ月・仮設材運搬共	302.840	302.84	掛m2	
RC造く体解体 圧砕機・大型アレーカ併用・基礎除く・(積込共)	上部く体コソクリート 83.967	83.97	m3	
内部造作解体 非木造・住居系・(積込共)	119.250	119.25	延m2	
便槽・〔撤去A〕 5人用・既製品・(汲取清掃費別途)	1.000	1.00	基	

【参考資料】数量積算数値認定表

非木造建物調査積算要領

構造・区分	RC造・ラーメン式	階高	3m以上4m未満	1階床面積	60.66 m ²
用途	専用住宅	階層	2	延床面積	119.25 m ²

別表 統計数量表, 2 統計数量の取扱い

コンクリート	延床面積(m ²) A	統計数量値 B	基礎コンクリート量 C	階高補正率 D	上部く体 コンクリート数量 E=(A×B-C)×D	認定値 (m ³)
当該建物	119.25	1.00	40.04	1.06	83.967	83.97
比較建物	—	—			—	

型枠	延床面積(m ²) A	上部く体 コンクリート量 A	統計数量値 B	型枠数量 C=A×B	認定値 (m ²)
当該建物	119.25	83.97	6.50	545.785	545.79
比較建物	—	—	—	—	

【参考資料】建物共通仮設費率及び諸経費率認定表

非木造建物調査積算要領, 別添3 非木造建物工事内訳明細書式, (共通費)

〔1〕共通仮設費率認定

【建築】

整理番号	構造用途・建築工法	建築直接工事費	計	採用率
A	鉄筋コンクリート造2階建専用住宅 ・在来工法	33,112,185	33,112,185	5.81%
B	—	—		

【解体】

整理番号	構造用途・建築工法	建築直接工事費	計	採用率
A	鉄筋コンクリート造2階建専用住宅 ・在来工法	2,323,568	2,323,568	5.64%
B	—	—		

〔2〕純工事費等計算表

整理番号	構造用途・建築工法	建築純工事費 A	解体純工事費 B	廃材運搬費 C	合計 D=A+B+C
A	鉄筋コンクリート造2階建専用住宅 ・在来工法	35,035,985	2,454,568	770,480	38,261,033
B	—	—	—	—	—
合計					38,261,033

〔2〕諸経費比較表

区分	純工事費合計額	諸経費率	諸経費 100円未満切捨	採用率
当該建物	38,261,033	24.7%	9,450,400	24.7%
比較建物	35,000,000	25.5%	8,925,000	

所在地	
所有者住所	
所有者	



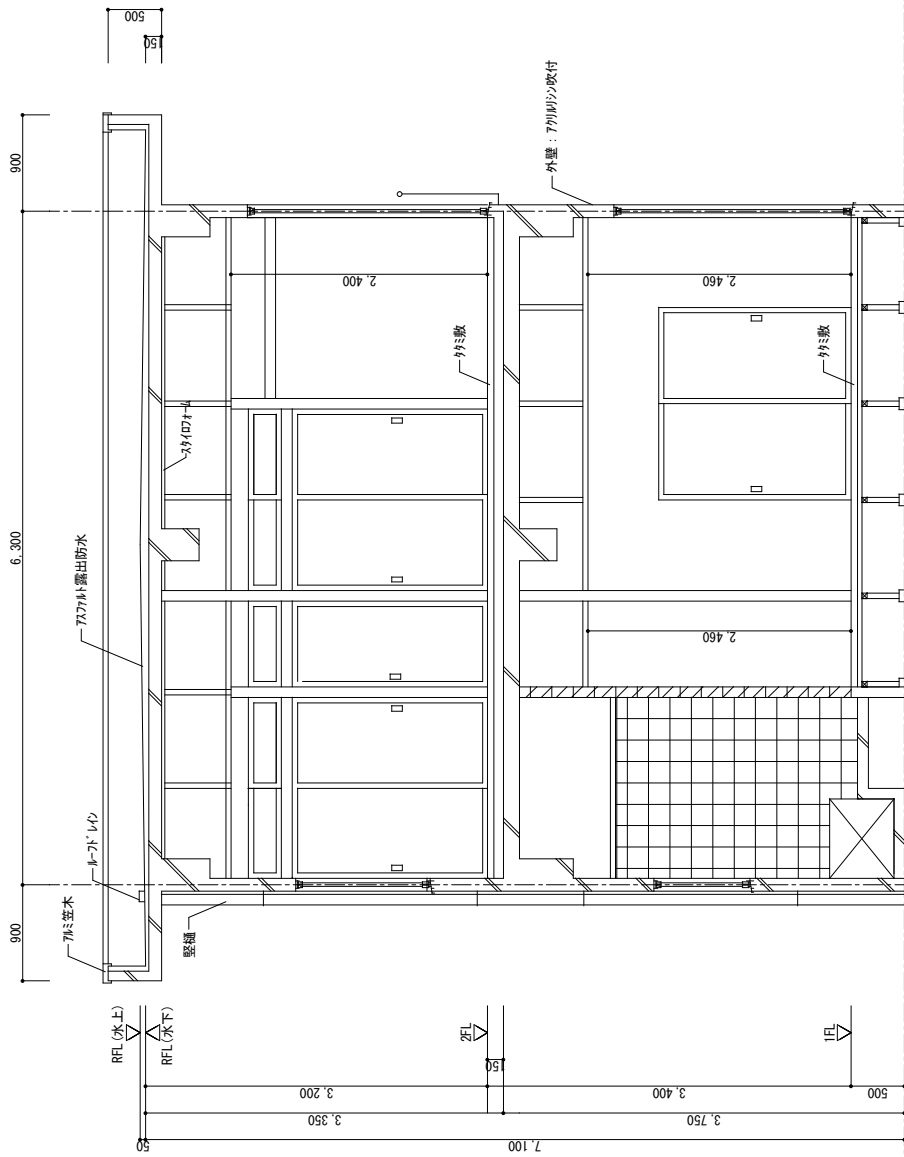
1階平面図

2階平面図

求積表			
1F	6.30	x	9.30 = 58.5900
	2.30	x	0.90 = 2.0700
			計 60.6600
2F	6.30	x	9.30 = 58.5900
	延床面積		58.59 m ²
	延床面積		119.25 m ²
	建築面積		60.66 m ²

業務名称		
図面名称	平面図・求積表	
縮尺	1/100	図面番号
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名	

所在地	
所有者住所	
所有者	



断面詳細図

業務名称		
図面名称	断面詳細図	
縮尺	1/50	図面番号
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名	

算定例2

【作業所・倉庫（S造）】〔在来工法〕

建物移転料算定表 [再築工法]

所在地		算定者		整理番号	2
所有者の氏名又は名称		算定年月日	令和5年5月1日	消費税等相当額補償の要否	(要)・否
所有者住所		採用単価	令和5年度	増築の有無(木造・同種構造)	有(○棟)・無(●)

区分	内 容	番号	計 算 式	A 棟		合 計	備 考	
基本事項	構造・用途	(1)		重量鉄骨造平家建 作業所・倉庫				
	建築工法			在来工法				
	延床面積	(2)		499.80 m ²		499.80 m ²		
	建築面積	(3)		520.80 m ²		520.80 m ²		
	建築年月	(4)		平成2年7月				
	標準耐用年数	(5)		60年				
	経過年数	(6)		33年				
工事費等	建築	直接工事費	(7)	工事費(設備工事を含む)	54,934,888		54,934,888	
		共通仮設費	(8)	(7)×(木造:3%、非木造:(7)に対応する率 (移転先ごとの建築直接工事費の合計額))	5.87%		3,224,600	100円未満切り捨て
		純工事費	(9)	(7)+(8)	58,159,488		58,159,488	
		諸経費	(10)	(9)×((9)+(16))に対応する率(一発注単位)	21.50%		12,504,200	100円未満切り捨て
		建築工事費(推定再建築費)	(11)	(9)+(10)	70,663,688		70,663,688	
	解体	直接工事費	(12)	工事費	4,927,374		4,927,374	
		共通仮設費	(13)	(12)×(木造:3%、非木造:(12)に対応する率 (解体直接工事費の合計額)) 建築の共通仮設を解体で共用できる場合は不要	5.64%		277,900	100円未満切り捨て
		純工事費	(14)	(12)+(13)	5,205,274		5,205,274	
		廃材運搬費	(15)		273,940		273,940	
		小 計	(16)	(14)+(15)	5,479,214		5,479,214	
		諸経費	(17)	(16)×((9)+(16))に対応する率(一発注単位)	21.50%		1,178,000	100円未満切り捨て
		廃材処分費	(18)		1,612,588		1,612,588	
	取りこわし工事費	(19)	(16)+(17)+(18)	8,269,802		8,269,802		
	同種同等	建築工事費(推定再建築費)	(20)	(11)	70,663,688		70,663,688	
		再築補償率 ^{※1}	(21)		64.50%			
		現在価額+運用益損失額 ^{※1}	(22)	(20)×(21)	45,578,078		45,578,078	1円未満切り捨て
		取りこわし工事費	(23)	(19)	8,269,802		8,269,802	
		法令改善費運用益損失額	(24)					
		小 計	(25)	(22)+(23)+(24)	53,847,880		53,847,880	
消費税等相当額		(26)	(25)×消費税等の税率	5,384,788		5,384,788	1円未満切り捨て	
△発生材価額		(27)		481,032		481,032		
補償額		(28)	(25)+(26)-(27)	58,751,636		58,751,636		
補償額		照応建物	建築工事費(推定再建築費)	(29)	(11)従前建物の推定再建築費			
	再築補償率 ^{※1}		(30)					
	現在価額+運用益損失額 ^{※1}		(31)	(29)×(30)				1円未満切り捨て
	現価率		(32)					
	従前建物の現在価額		(33)	(29)×(32)				1円未満切り捨て
	照応建物の推定建築費	(34)						
	推定再建築費等の差額 ^{※2}	(35)	(34)-(29)					
	取りこわし工事費	(36)	(19)					
	法令改善費運用益損失額	(37)						
	小 計	(38)	(31)+(35)+(36)+(37)					
	消費税等相当額	(39)	(38)×消費税等の税率				1円未満切り捨て	
	△発生材価額	(40)						
	補償額	(41)	(38)+(39)-(40)					

※1 木造建物の増築(築年次の異なる同種構造の木造建物が接合)の場合の(21)及び(22)(又は(30)及び(31))については、適宜別紙(任意様式)により求めるものとする。

※2 推定再建築費等の差額(35)が負の値となり、(33)≧(34)の場合の小計(38)は、(33)+(36)+(37)とする。

推定再建築費等の差額(35)が負の値となり、(33)<(34)の場合の小計(38)は、(33)+((34)-(33)) × {1-1/(1+r)ⁿ} + (36)+(37)とする (r:年利率、n=従前建物の残耐用年)

種目内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	合 計	備 考
I 建築工事費	1	式		50,984,020	
II 建築設備工事費	1	式		3,950,868	
建築直接工事費合計				54,934,888	
解体直接工事費	1	式		4,927,374	

中科目内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	合 計	備 考
I 建築工事費					
1 直接仮設	1	式		4,796,508	
2 土工事・地業	1	式		3,439,272	
3 く体	1	式		30,730,264	
3.1 基礎く体	1	式	14,205,367		
3.2 上部く体	1	式	16,524,897		
4 外部仕上	1	式		8,203,321	
4.1 屋根	1	式	2,346,120		
4.2 外壁	1	式	2,197,648		
4.3 外部開口部	1	式	2,364,196		
4.4 外部天井	1	式	142,416		
4.5 外部雑	1	式	1,152,941		
5 内部仕上	1	式		3,814,655	
5.1 内部床	1	式	615,959		
5.2 内壁	1	式	1,555,293		
5.3 内部開口部	1	式	1,193,056		
5.4 内部天井	1	式	347,985		
5.5 内部雑	1	式	102,362		
計				50,984,020	

名 称	数 量	単 位	金 額	合 計	備 考
II 建築設備工事費					
6 電気設備工事	1	式		1,552,960	
7 給排水衛生設備	1	式		837,928	
7.1 給水設備	1	式	450,628		
7.2 排水設備	1	式	138,600		
7.4 衛生設備	1	式	248,700		
8 空調和設備	1	式		753,240	
9 その他設備	1	式		806,740	
計				3,950,868	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1. 直接仮設工事						
やりかた	一般	520.80	建m2	460	239,568	コード' 2010010
墨出し	一般	499.80	延m2	880	439,824	コード' 2010060
現寸型板		499.80	延m2	130	64,974	コード' 2010080
外部枠組本足場	高さ12m未満・900枠・期間2ヶ月・仮設材運搬共	594.00	掛m2	2,930	1,740,420	コード' 2010092
安全手すり	枠組足場用・期間2ヶ月・仮設材運搬共	118.80	m	770	91,476	コード' 2011810
外部防災シート張	期間3ヶ月・仮設材運搬共	594.00	掛m2	920	546,480	コード' 2010760
脚立足場	高さ1.8m・平面・期間1ヶ月・仮設材運搬共	57.90	床m2	760	44,004	コード' 2010501
移動足場・ローリングタワー	幅1.5m・高さ3.7m・2段型・期間1ヶ月・仮設材運搬共	3.00	台	11,800	35,400	コード' 2010620
水平安全ネット張	網目100mm・期間1ヶ月・仮設材運搬共	499.80	掛m2	860	429,828	コード' 2010790
養生	一般	499.80	m2	510	254,898	コード' 2010920
整理・清掃・片付	一般	499.80	m2	1,820	909,636	コード' 2010940
小計					4,796,508	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2. 土工事・地業						
根切り(機械)	つぼ・布掘・深さ=4.0m以内	364.85	m3	1,460	532,681	コード' 2110030
埋戻し(機械)	小規模・深さ3m以内・突固め共	172.93	m3	4,040	698,637	コード' 2110080
すき取り(機械)		99.96	m3	800	79,968	コード' 2110170
敷砂利	工場等の広い床下・厚100mm～150mm	41.48	m3	9,010	373,734	コード' 2110430
割石地業	割石・厚150mm	74.97	m3	14,000	1,049,580	コード' 2110450
防湿シート敷	ビニールフィルム・厚0.15mm	499.80	m2	290	144,942	コード' 2110470
不用土処分	構内仮置・運搬20m～30m	172.93	m3	840	145,261	コード' 2110210
不用土処分・(機械積込)	10t車使用・運搬距離5km	291.88	m3	1,420	414,469	コード' 2110360
小計					3,439,272	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3. く体						
3.1 基礎く体						
捨てコンクリート	18N/m ² ・ポンプ打設	21.99	m3	18,300	402,417	コード' 2210030
捨てコンクリート	18N/m ² ・ポンプ打設	74.97	m3	18,300	1,371,951	コード' 2210030
く体コンクリート	21N/m ² ・ポンプ打設・1日50～100m3	128.45	m3	20,100	2,581,845	コード' 2210220
土間コンクリート	18N/m ² ・ポンプ打設	74.97	m3	18,000	1,349,460	コード' 2210060
型枠	非木造布基礎・地中梁	364.79	m2	6,130	2,236,162	コード' 2220010
鉄筋・加工組立	S造基礎・5t以上～50t未満	18.75	t	305,000	5,718,750	コード' 2230120
溶接金網敷き	3.2×100×100 スペーサー共	499.80	m2	1,090	544,782	コード' 2230130
小計					14,205,367	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.2 上部く体						
鋼材費・[材料費のみ]	肉厚9mm以上・(H形鋼主体)10t以上50t未満	36.99	t	144,400	5,341,356	コード 2250050
工場加工・組立	肉厚9mm以上・(H形鋼主体)10t以上50t未満	36.99	t	230,400	8,522,496	コード 2250170
現場建方	肉厚9mm以上・(H形鋼主体)10t以上50t未満	36.99	t	61,500	2,274,885	コード 2250290
ベースモルタル	400mm角	16.00	ヶ所	3,680	58,880	コード 2250390
アンカーボルト埋込	径13mm・間柱及び簡易なもの	4.00	本	1,660	6,640	コード 2250430
アンカーボルト埋込	径25mm・主柱用	96.00	本	3,340	320,640	コード 2250460
小計					16,524,897	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4. 外部仕上						
4.1 屋根						
カラー鉄板折板葺	厚0.8mm・山高175mm・下地を除く	588.00	m2	3,990	2,346,120	コード 2410410
小計					2,346,120	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.2 外壁						
内外装・カラー鉄板張	波板・鉄骨下地・下地別途	213.22	m2	4,900	1,044,778	コード 2630560
内外装・カラー鉄板張	平板・鉄骨下地・下地別途	58.22	m2	4,620	268,976	コード 2630580
軽量鉄骨壁下地組	間柱間隔300mm・下張なし	139.00	m2	2,940	408,660	コード 2470280
軽量鉄骨天井下地組	野縁間隔300mm・下張用	120.90	m2	2,190	264,771	コード 2470300
外壁・モルタル塗はけ引き	厚25mm	39.71	m2	5,300	210,463	コード 2450280
小計					2,197,648	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.3 外部開口部						
腰ハネルトア	幅1,600mm×高さ1,800mm・両開・(腰ハネル含・ガラス別途)	8.00	ヶ所	100,500	804,000	コート' 2530220
腰ハネルトア	幅800mm×高さ1,800mm・片開・(腰ハネル含・ガラス別途)	1.00	ヶ所	54,200	54,200	コート' 2530200
アルミ引違い窓	大きさ区分Ⅱ・(ガラス別途)	44.59	m2	13,300	593,047	コート' 2530020
アルミ内倒し窓	大きさ区分Ⅰ・(ガラス別途)	0.36	m2	40,000	14,400	コート' 2530050
軽量シャッター(手動式)	S造用・6㎡以上・標準面積9.0㎡・(ケース別)	28.80	m2	18,900	544,320	コート' 2530330
軽量シャッターケース	3面	9.00	m	5,130	46,170	コート' 2530700
フロートガラス	FL・厚3mm・規模2.18㎡以下	10.84	m2	5,180	56,151	コート' 2570010
フロートガラス	FL・厚5mm・規模2.18㎡以下	36.72	m2	6,790	249,328	コート' 2570020
型板ガラス	F・厚4mm・規模2.18㎡以下	0.25	m2	5,290	1,322	コート' 2570080
合成樹脂調合ペイント塗	SOP・細物・木部・3回塗・素地ごしらえ共	2.42	m	520	1,258	コート' 2610680
小計					2,364,196	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.4 外部天井						
水切・雨押え	糸幅240mm・カラー鉄板	68.80	m	2,070	142,416	コート' 2470750
小計					142,416	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.5 外部雑						
水切・雨押え	糸幅240mm・カラー鉄板	128.95	m	2,070	266,926	コート' 2470750
パラペット笠木	カラー鉄板・厚0.40mm・糸幅300mm	86.94	m	4,080	354,715	コート' 2470870
タトフレーム	折板用・山高85～175mm	252.00	m	1,780	448,560	コート' 2410550
軒先面戸	折板用・山高85～175mm	42.00	m	1,970	82,740	コート' 2410570
小計					1,152,941	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5. 内部仕上						
5.1 内部床						
床・コンクリート仕上げ	直均し・薄物仕上げ	495.00	m2	1,200	594,000	コード' 2450090
床・モルタル塗	厚30mm	4.80	m2	3,140	15,072	コード' 2450130
床・ビニールタイル張	厚2mm・軟質・下地別途	1.68	m2	2,440	4,099	コード' 2630140
セメント系塗床材	緑色系・耐摩耗・防塵	1.68	m2	1,660	2,788	コード' 2610650
小計					615,959	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.2 内壁						
内壁・モルタル塗はけ引き	厚20mm	4.41	m2	4,480	19,756	コード' 2450300
壁・ラワン合板張	厚5.5mm・1類・軸組別途	137.42	m2	3,850	529,067	コード' 2460420
壁・しな合板張	厚5.5mm・軸組別途	99.48	m2	4,280	425,774	コード' 2460500
壁・スレートボード張	厚6mm・フレキシブル板・突付張・下地別途	63.49	m2	4,580	290,784	コード' 2630870
壁・せっこうボード張	厚9.5mm・準不燃・突付張・下地別途	26.60	m2	2,040	54,264	コード' 2630760
合成樹脂エマルジョン塗	EP・ボード面・2回塗・B種・素地共	89.60	m2	2,630	235,648	コード' 2610210
小計					1,555,293	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.3 内部開口部						
片開き三方枠	高さ2,100mmまで・W900mmまで・杉	2.00	ヶ所	33,700	67,400	コード' 2460810
両開き三方枠	高さ2,100mmまで・W1,800mmまで・杉	2.00	ヶ所	37,000	74,000	コード' 2460840
引違い窓枠	高さ1,200mm程度・W1,700mm程度・桧	1.00	ヶ所	64,900	64,900	コード' 2460870
引違い窓枠	高さ1,820mm程度・W2,730mm程度・桧	7.00	ヶ所	100,100	700,700	コード' 2460910
フラッシュ戸	大きき区分 I・中	4.00	枚	24,700	98,800	コード' 2510020
スチールフラッシュドア	幅850mm×高さ2,000mm・片開き	1.00	ヶ所	99,200	99,200	コード' 2530740
合成樹脂調合ペイント塗	SOP・細物・木部・3回塗・素地ごしらえ共	24.56	m	520	12,771	コード' 2610680
合成樹脂調合ペイント塗	SOP・鋼製建具・2回塗・錆止別途	3.20	m2	1,510	4,832	コード' 2610190
錆止塗料塗	鋼製建具	4.28	m2	690	2,953	コード' 2610150
ハンガー引戸(しな合板)		1.00	ヶ所	67,500	67,500	代価表1
小計					1,193,056	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.4 内部天井						
天井・けい酸カルシウム板	厚6mm・突付張・下地別途	63.00	m2	2,910	183,330	コード 2640160
天井・化粧せつこうボード	厚9.5mm・準・目透張・下地別途	47.40	m2	2,550	120,870	コード 2640070
天井・スレートボード張	厚5mm・フレキシブル板・突付張・下地別途	10.50	m2	4,170	43,785	コード 2640120
小計					347,985	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.5 内部雑						
幅木	米つが	10.30	m	3,740	38,522	コード 2461010
トイレブース	ポリエステル化粧板	2.66	m2	24,000	63,840	コード 2650830
小計					102,362	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6. 電気設備						
照明器具	工場系・倉庫系・並	31.00	ヶ所	16,700	517,700	コード 2711340
スイッチ	埋込・1連	9.00	ヶ所	5,220	46,980	コード 2711600
コンセント	埋込・1口	15.00	ヶ所	5,260	78,900	コード 2711720
分電盤	コンパクト型分岐ブレーカ・8回路・幹線含む	2.00	ヶ所	133,000	266,000	コード 2711410
電灯配管配線設備	倉庫系・付属品共・(器具含まず)	57.00	ヶ所	10,500	598,500	コード 2711250
電話用屋内配線管	配管・ボックス類・差込口1ヶ所当たり非木造用	2.00	ヶ所	15,700	31,400	コード 2710511
ライティングダクトレール	長さ 1m	1.00	ヶ所	4,880	4,880	代価表2
ライティングダクトレール	長さ 2m	1.00	ヶ所	8,600	8,600	代価表3
小計					1,552,960	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7. 給排水衛生設備						
7.1 給水設備						
屋内給水(湯)配管	非木造建物・保温(ロック)共	3.00	栓	44,200	132,600	コード [*] 2740201
遠隔水抜栓	φ13mm用	1.00	栓	55,500	55,500	代価表4
不凍給水栓	横水栓	1.00	ヶ所	23,600	23,600	代価表5
不凍給水栓	ホーム水洗	2.00	ヶ所	24,200	48,400	代価表6
亜鉛メッキ鋼管	32A・屋内給水管	20.30	m	7,800	158,340	コード [*] 2740420
亜鉛メッキ鋼管	25A・屋内給水管	5.20	m	6,190	32,188	コード [*] 2740410
小計					450,628	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.2 排水設備						
屋内排水配管	非木造建物	3.00	栓	46,200	138,600	コード [*] 2800011
小計					138,600	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.4 衛生設備						
洗面化粧ユニット	幅500mm・単水栓・化粧鏡付	1.00	ヶ所	60,200	60,200	コード [*] 2830190
水洗和風便器・(両用式)	隅付ロータンク	1.00	ヶ所	107,500	107,500	コード [*] 2830271
水洗小便器	ストール型	1.00	ヶ所	81,000	81,000	コード [*] 2830311
小計					248,700	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8. 空調和設備						
天井吊下げ型エアコン	能力(冷)3.6kw(暖)4.0kw	1.00	台	745,000	745,000	コード 2850280
室外機架台	K-AH85CL	1.00	台	8,240	8,240	カタログ
小計					753,240	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9. その他設備						
エア配管ノズル	ハイカブラ 20型	8.00	ヶ所	8,130	65,040	代価表7
電動ホイスト	0.5t吊	1.00	ヶ所	741,700	741,700	代価表8
小計					806,740	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10 解体工事						
単管プラケット足場	高さ10m未満・期間2ヶ月・仮設材運搬共	536.80	掛m2	3,590	1,927,112	コード 2010380
外部防災シート張	期間1ヶ月・仮設材運搬共	536.80	掛m2	850	456,280	コード 2010750
S造く体解体	鋼材量50～75kg/m2・基礎除く・(積込共)	499.80	延m2	3,730	1,864,254	コード 2900060
内部造作解体	非木造・工場・倉庫系・(積込共)	499.80	延m2	1,360	679,728	コード 2900220
小計					4,927,374	

数量計算書

名称 / 形状 / 法等	計 算 式	数 量	単 位	備 考
1. 直接仮設				
やりかた 一般	$42.00 \times 11.90 + 42.00 \times (1.50 - 1.00)$	520.80	建m2	建築面積
墨出し 一般	42.00×11.90	499.80	延m2	延床面積
現寸型板	42.00×11.90	499.80	延m2	延床面積
外部枠組本足場 高さ12m未満・期間2ヶ月・仮設材運搬共 安全手すり	$(42.00 + 1.00 \times 2) \times 5.00 + (42.00 + 1.00 \times 2) \times 5.00 \times 2$	594.00	掛m2	南面+北面+東西面
枠組足場用・期間2ヶ月・仮設材運搬共	$(42.00 + 1.00 \times 2) + (42.00 + 1.00 \times 2) \times 2$	118.80	m	
外部防災ネット張 期間3ヶ月・仮設材運搬共	外部足場と同じ	594.00	掛m2	
脚立足場	$6.00 \times 7.10 + 1.60 \times 3.00 + 3.00 \times 3.50$	57.90	床m2	作業室(1)+便所・洗面所+油庫
高さ1.8m・平面・期間1ヶ月 移動足場・ペーシング・ター-	1.00	3.00	台	
幅1.5m・高さ3.7m・2段型・期間1ヶ月・仮設材運搬共				
水平安全ネット張	42.00×11.90	499.80	掛m2	
網目100mm・期間1ヶ月・仮設材運搬共				
養生 一般	42.00×11.90	499.80	m2	延床面積
整理・清掃・片付 一般	42.00×11.90	499.80	m2	延床面積

数量計算法

名称 / 形状 / 法等	計算法			数量	単位	備考
2. 土工・地業						
根切り(機械) つぼ・布堀・深さ=4.0m以内	F面積	総計値	364.854	364.85	m3	
埋戻し(機械) 小規模・深さ3m以内・突固め共 すき取り(機械)	F面積	根切り - (敷砂利 + 捨てコンクリート + く体コンクリート) 364.854 - (41.483 + 21.991 + 128.448)	172.932	172.93	m3	土間コンクリート下地 厚さ200mm
敷砂利 工場等の広い・床下・厚100mm~150mm	F面積	総計値	41.483	41.48	m3	
割石地業 割石・厚150mm	F面積	499.80 × 0.083	74.970	74.97	m3	土間コンクリート下地
防湿シート敷 ビニール・厚0.15mm 不用土処分	F面積	499.80 × 0.15	499.800	499.80	m2	土間コンクリート下地全面
構内仮置・運搬20m~30m 不用土処分・(機械積込) 10t車使用・運搬距離5km		埋め戻し 根切り - 埋戻し + すき取り 364.854 - 172.932 + 99.960	172.932	172.93	m3	
			291.882	291.88	m3	

数 量 計 算 書

名称 / 形状 / 寸法等	計 算 式	数 量	単 位	備 考
3. < 体				
3.1 基礎<体				
捨てコンクリート	平面積 統計値			
18N/mm ² ・ボンプ打設	499.80 × 0.044	21.99	m ³	
捨てコンクリート				
18N/mm ² ・ボンプ打設	499.80 × 0.15	74.97	m ³	土間コンクリート下地
<体コンクリート	平面積 統計値			
21N/mm ² ・ボンプ打設・1日50~100m ³	499.80 × 0.257	128.45	m ³	
土間コンクリート				
18N/mm ² ・ボンプ打設	499.80 × 0.15	74.97	m ³	
型枠	<体コソ 統計値			
非木造布基礎・地中梁	128.448 × 2.840	364.79	m ²	
鉄筋・加工組立	<体コソ 統計値			
S造基礎・5t以上~50t未満	128.448 × 0.146	18.75	t	
溶接金網敷き				
3.2 × 100 × 100 ^ス ・サ-共	499.80	499.80	m ²	

数量計算法

名称 / 形状 / 寸法 / 等	計 算 式	数量	単位	備 考
3.2 上部く体				
鋼材費・[材料費のみ] 肉厚9mm以上・(H形鋼主体)10t以上50t未満	延面積 統計値 $499.80 \times 74 \div 1000$	36.99	t	
工場加工・組立 肉厚9mm以上・(H形鋼主体)・10t以上50t未満	36.985	36.99	t	
現場建方 肉厚9mm以上・(H形鋼主体)・10t以上50t未満	36.985	36.99	t	
ベースト 400mm角	8.00×2.00	16.00	ヶ所	
アンカーボルト埋込 径13mm・間柱及び簡易なもの	2.00×2.00	4.00	本	
アンカーボルト埋込 径25mm・主柱用	$8.00 \times 2.00 \times 6.00$	96.00	本	

数量計算書

名称 / 形状 / 寸法等	計 算 式	数 量	単 位	備 考
4. 外部仕上 4.1 屋根 ガ-鉄板折板葺		588.00	m2	伸び率=1.000
厚0.8mm・山高175mm・下地を除く	$42.00 \times (11.90 + 0.60 + 1.50) \times 1.000$	588.000		

数量計算書

名称 / 形状 / 法等	計 算 式	数 量	単 位	備 考
4.2 外壁				
内外装・珪-鉄板張	$(42.00+11.90 \times 2) \times 4.55+1.50 \times 1.80 \times 2$	304.790		
波板・鉄骨下地・下地別塗	$304.79-(3.512 \times 1.50 \times 4+6.37 \times 7+3.00 \times 2.75 \times 3)-1.158$	213.220	m ²	外壁仕上げ 開口部控除 (AD1×4+AW1×7+SS1×3+AD2)
内外装・珪-鉄板張				
平板・鉄骨下地・下地別塗	$42.00 \times 0.78+(1.12+0.78) \times (11.90+1.50) \times 0.5 \times 2$	58.220	m ²	
軽量鉄骨壁下地組	$13.10 \times 3.03-3.29-6.37+(3.11+3.39) \times 10.90-1.40+1.60 \times 3.18+(3.18+3.10) \times 3.00$	138.996	m ²	作業室(1)・集出荷室・作業室(2)
間柱間隔300mm・下張なし	$\times 0.5+(3.10+3.19) \times 3.50 \times 0.50 \times 2+3.10 \times 3.00-0.70 \times 1.80-1.60-3.45$			
軽量鉄骨天井下地組	作業室(1)・洗面所・便所・油庫・軒天井			
野縁間隔300mm・下張用	$6.00 \times 7.10+1.60 \times 3.00+3.00 \times 3.50+42.00 \times 1.50$	120.900	m ²	
外壁・珪-鉄板はけ引き	全長 - (AD1 × 4+AD2+SS1 × 3)			
厚25mm	$(42.00+11.90) \times 2 \times 0.45-(3.512 \times 0.35 \times 4+0.799 \times 0.35+3.00 \times 0.40 \times 3)$	39.713	m ²	基礎仕上げ-開口部

数量計算書

名称 / 形状寸法等	計 算 式	数量	単位	備 考
4.3 外部開口部				
腰ハネドア 幅1,600mm×高さ1,800mm・両開・(腰ハネ・袖含・ガラス別途)	AD1×4 4.00×2	8.00	ヶ所	1ヶ所当たり両開き2ヶ所
腰ハネドア 幅800mm×高さ1,800mm・片開・(腰ハネ・袖含・ガラス別途)	AD2×1 1.00	1.00	ヶ所	
アルミ引違い窓 大きさ区分Ⅱ・(ガラス別途)	AW1×7 6.37×7	44.59	m ²	
アルミ内倒し窓 大きさ区分Ⅰ・(ガラス別途)	AW2×1 0.36×1	0.36	m ²	押しし窓
軽量ジャッキ (手動式) S造用・6㎡以上・標準面積9.0㎡・(ケース別)	SS1×3 3.00×3.20×3	28.80	m ²	
軽量ジャッキケース 3面	3.00×3	9.00	m	
フロードガラス FL・厚3mm・規模2.18㎡以下	AD1×4+AD2×1 0.79×0.82×4×4+0.64×0.75	10.84	m ²	
フロードガラス FL・厚5mm・規模2.18㎡以下	AW1×7 0.79×1.66×4×7	36.72	m ²	
型板ガラス F・厚4mm・規模2.18㎡以下	AW2×1 0.506×0.503	0.25	m ²	
合成樹脂調合ペイント塗 SOP・細物・木部・3回塗・素地ごしらえ共	AW2 (0.606+0.603)×2	2.42	m	

数量計算書

名称 / 形状 寸法 等	計 算 式	数量	単位	備 考
4.5 外部雑				
水切・雨押え 糸幅240mm・カマ-鉄板	全長 - (AD1 × 4 + AD2 + SS1 × 3) (42.00 + 11.90) × 2 - (3.512 × 4 + 0.799 + 3.00 × 3) + 42.00 + 1.50 × 2	128.95	m	外部基礎廻り + 軒天井見切
パレット笠木 カマ-鉄板・厚0.40mm・糸幅300mm	42.00 + 11.90 × 2 + 1.12 × 2 + 3.15 × 2 × 3	86.94	m	パレット笠木 + ソリ + カマ-外壁面縦枠
タイル 折板用・山高85 ~ 175mm	42.00 × 6	252.00	m	
軒先面戸 折板用・山高85 ~ 175mm	42.00	42.00	m	

数量計算法書

名称 / 形状 / 法等	計 算 式	数 量	単 位	備 考
5. 内部仕上				
5.1 内部床				
床・コンクリート仕上げ 直均し・薄物仕上げ	集出荷室・作業室(1)・作業室(2)・油庫・倉庫 499.80÷4.80	495.00	m ²	延床面積-洗面所・便所
床・珪藻土 厚30mm	洗面所・便所 1.60×3.00	4.80	m ²	
床・ビニール 厚2mm・軟質・下地別塗	便所(大) 1.60×1.05	1.68	m ²	
床・珪藻土系塗床材 緑色系・耐摩擦・防塵	便所(小) 1.60×1.05	1.68	m ²	床仕上げ

数 量 計 算 書

名称 / 形状 / 法等	計 算 式	数 量	単 位	備 考
5.2 内壁				
内壁・モルタル塗はけ引き 厚20mm	作業室(1) (6.00+6.60)×0.35	4.41	m2	
壁・7mm合板張	(3.39+3.11)×10.90×0.5×3+(3.39+3.18)×8.40×0.5+1.60× 3.18+(3.18+3.10)×3.00×0.5-1.40×2-3.45×2-0.70×1.80	137.42	m2	集出荷室+作業室(2)+倉庫-開口(WD1× 2-WD3×2+洗面所開口)
壁・しな合板張	26.20×3.03-(6.00+6.60)×0.35-0.50×3.03×2-3.29-6.37	62.286	m2	
厚5.5mm・軸組別塗	6.00×3.25+(3.25+3.11)×6.60×0.5-3.29	37.198	m2	集出荷室-開口(WD4×1)
壁・スレートボード張	作業室(2)・油庫		m2	
厚6mm・7mm合板張・突付張・下地別塗	(3.10+3.19)×3.50×0.5×2+3.00×3.19+13.00×2.70-1.60×2	63.485	m2	
壁・せつこうボード張	洗面所・便所		m2	
厚9.5mm・準不燃・突付張・下地別塗	5.00×2.45-1.26-0.70×1.80+7.40×2.45-1.26	26.600	m2	
合成樹脂エマルジョン塗	42.00×1.50	63.000	m2	
EP・ボード面・2回塗・B種・素地共	5.00×2.45-1.26-0.70×1.80+7.40×2.45-1.26	26.600	m2	壁仕上げ (洗面所・便所)

数量計算法書

名称 / 形状寸法等	計 算 式	数 量	単 位	備 考
5.3 内部開口部 片開き三方枠 高さ2,100mmまで・W900mmまで・杉 両開き三方枠 高さ2,100mmまで・W1,800mmまで・杉 引違い窓枠 高さ1,200mm程度・W1,700mm程度・桧 引違い窓枠 高さ1,820mm程度・W2,730mm程度・桧	WD1・WD2 1.00+1.00 WD3・WD4 1.00+1.00 AW2 1.00 AW1 7.00	2.00 2.00 1.00 7.00	ヶ所 ヶ所 ヶ所 ヶ所	
ワンシェ戸 大きさ区分 I・中	WD1・WD2・WD3×2 1.00+1.00+2.00	4.00	枚	
スチールワンシェド 幅850mm×高さ2,000mm・片開き	SD1 1.00	1.00	ヶ所	
合成樹脂調合 ^ハ イ ^ロ 塗 SOP・細物・木部・3回塗・素地ごしらえ共	WD1+WD2+WD3+巾木(洗面所・便所) (0.80+1.75×2)+(0.7+1.80×2)+(1.78+1.94×2)+10.30	24.56	m	
合成樹脂調合 ^ハ イ ^ロ 塗 SOP・鋼製建具・2回塗・錆止別塗	SD1 0.88×1.82×2	3.20	m2	建具塗装
錆止塗料塗 鋼製建具	SD1 0.88×1.82×2+(0.88+1.82)×2×0.2	4.28	m2	建具塗装(面材+建具枠) 建具枠塗装幅200mm
ハンカ-引戸(しな合板)	WD4 1.00	1.00	ヶ所	

数量計算書

名称 / 形状 / 法等	計 算 式	数量	単位	備 考
5.4 内部天井				
天井・けい酸加シム板 厚6mm・突付張・下地別塗	42.00 × 1.50	63.00	m ²	
天井・化粧せつこうボード 厚9.5mm・準・目透張・下地別塗	作業室(1)・洗面所・便所 6.00 × 7.10 + 1.60 × 3.00	47.40	m ²	
天井・スリットボード張 厚5mm・7レキシム板・突付張・下地別塗	油庫 3.00 × 3.50	10.50	m ²	

数量計算書

名称 / 形状 / 寸法等	計 算 式	数 量	単 位	備 考
5.5 内部雑 幅木				
米つが	洗面所・便所 5.00-0.70×2+7.40-0.70	10.30	m	
トリアース ポリエスル化粧板	1.48×1.80	2.66	m ²	

数量計算法書

名称 / 形状 寸法等	計	算	式	数量	単位	備考
6. 電気設備						
照明器具						
工場系・倉庫系・並 スライツ	31.00			31.00	ヶ所	設備位置図より
埋込・1連 コンセント	9.00			9.00	ヶ所	
埋込・1連	15.00			15.00	ヶ所	
分電盤	2.00			2.00	ヶ所	
コンパクト型分岐ブレーカ・4回路・幹線含む						
電灯配線配管設備	57.00			57.00	ヶ所	
倉庫系・付属品共(器具含まず)						
電話用屋内配線管	2.00			2.00	ヶ所	
配管・ボックス類・電話機1か所当たり非木造用						
ライティングダクトレール 長さ 1m	1.00			1.00	ヶ所	
ライティングダクトレール 長さ 2m	1.00			1.00	ヶ所	

数量計算書

名称 / 形状 / 法等	計 算 式	数 量	単 位	備 考
7. 給排水衛生設備				
7.1 給水設備				
屋内給水(湯)配管		3.00	栓	設備位置図より
保温(ロック)共		3.000		
遠隔水抜栓				
φ13mm用		1.00	栓	
不凍給水栓				
横水栓		1.00	ヶ所	
不凍給水栓				
ホーム水洗		2.00	ヶ所	
亜鉛メッキ鋼管				
32A・屋内給水管		20.30	m	
2.50+6.00+11.80				
亜鉛メッキ鋼管				
25A・屋内給水管		5.20	m	
2.50+2.70				

数量計算法

名称 / 形状 / 法等	計算法	式	数量	単位	備考
7.2 排水設備 屋内排水管 非木造建物	3.00		3.000	栓	

数量計算書

名称 / 形状 / 寸法等	計	算	式	数量	単位	備	考
7.4 衛生設備							
洗面化粧ユニット	1.00			1.000	ヶ所	設備位置図より	
幅500mm・単水栓・化粧鏡付							
水洗和風便器・(両用式)	1.00			1.000	ヶ所		
隅付ロータリ・屋内污水管共							
水洗小便器	1.00			1.000	ヶ所		
ストール型・屋内污水管共							

数量計算書

名称 / 形状 / 法等	計	算	式	数量	単位	備考
8. 空気調和設備						
天井吊下げ型エアコン 能力(冷) 3.6kw (暖) 4.0kw	1.00		1.000	1.00	台	設備位置図より
室外機架台 K-AH85CL	1.00		1.000	1.00	台	

数量計算書

名称 / 形状寸法等	計	算	式	数量	単位	備	考
9. その他設備							
エア配管ノズル ハイカラ 20型	8.00			8.000	ヶ所	設備位置図より	
電動ホイスト 0.5 t 吊	1.00			1.000	ヶ所		

数量計算書

名称 / 形状 / 法等	計	算	式	数量	単位	備	考
10. 解体工事							
外部単管一本足場 高さ10m未満・期間1ヶ月・仮設材運搬共	536.80			536.80	掛m2		
外部防災シート張 期間1ヶ月・仮設材運搬共	536.80			536.80	掛m2		
S造く体解体 鋼材量50〜75kg/m2・基礎除く・(積込共)	499.80			499.80	延m2	延床面積	
内部造作解体 非木造・工場・倉庫系・(積込共)	499.80			499.80	延m2	延床面積	

【参考資料】数量積算数値認定表

非木造建物調査積算要領

構造・区分	S造・9mm以上	階高	3m以上4m未満	1階床面積	499.80	m ²
用途	倉庫	階層	1	延床面積	499.80	m ²

別表 統計数量表, 2 統計数量の取扱い

鉄骨	延床面積(m ²)	統計数量値	胴縁補正	母屋補正	統計数量値 補正後 E=B×(1-C+D)	鋼材量(t)	認定値 (t)
	A	B	C	D		F=A×E÷1000	
当該建物	499.80	74	1.00	1.00	74	36.985	36.99
比較建物	199.99	76	1.00	1.00	76	15.199	

【参考資料】建物共通仮設費率及び諸経費率認定表

非木造建物調査積算要領, 別添3 非木造建物工事内訳明細書式, (共通費)

[1] 共通仮設費率認定

【建築】

整理番号	構造用途・建築工法	建築直接工事費	計	採用率
A	重量鉄骨造平家建作業所・倉庫 ・在来工法	54,934,888	54,934,888	5.87%
B	—	—		

【解体】

整理番号	構造用途・建築工法	建築直接工事費	計	採用率
A	重量鉄骨造平家建作業所・倉庫 ・在来工法	4,927,374	4,927,374	5.64%
B	—	—		

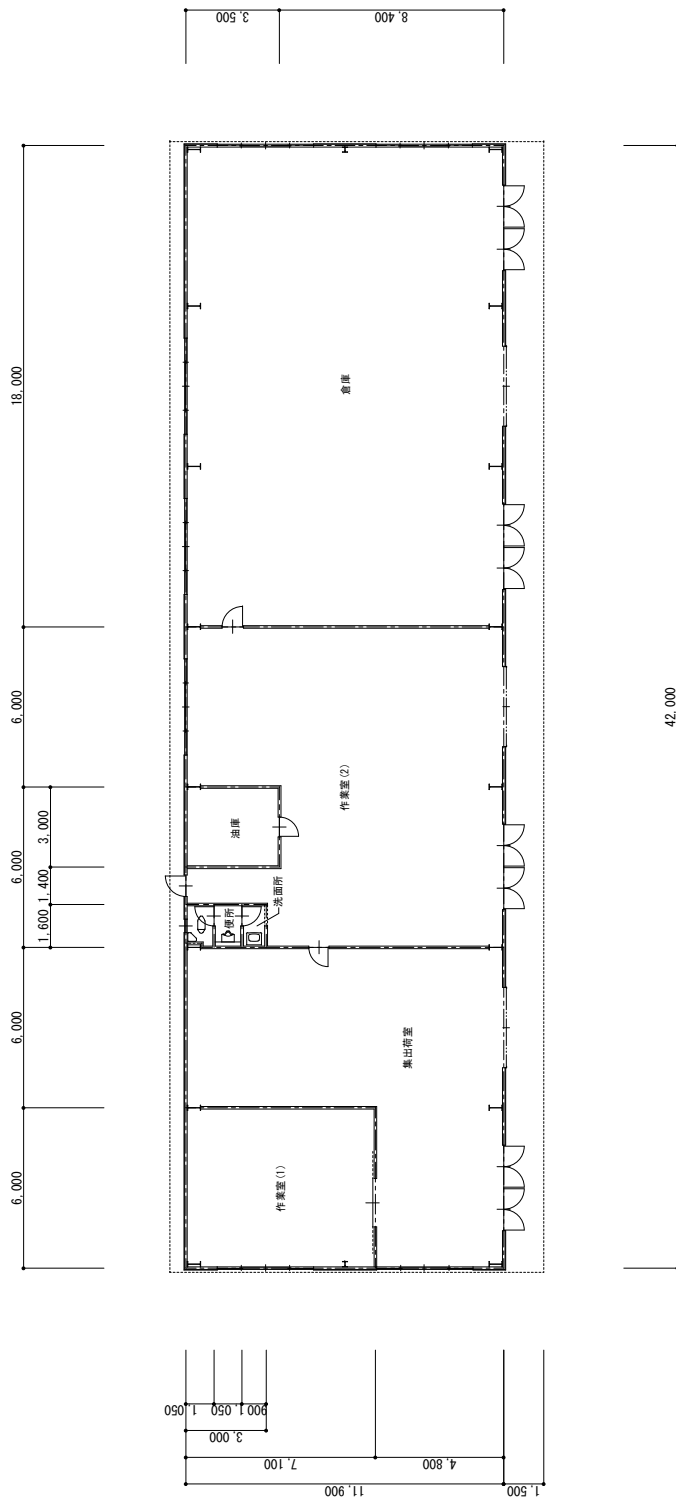
[2] 純工事費等計算表

整理番号	構造用途・建築工法	建築純工事費 A	解体純工事費 B	廃材運搬費 C	合計 D=A+B+C
A	重量鉄骨造平家建作業所・倉庫 ・在来工法	58,159,488	5,205,274	273,940	63,638,702
B					
合計					63,638,702

[2] 諸経費比較表

区分	純工事費合計額	諸経費率	諸経費 100円未満切捨	採用率
当該建物	63,638,702	21.5%	13,682,300	21.5%
比較建物	60,000,000	22.4%	13,440,000	

所在地	
所有者住所	
所有者	

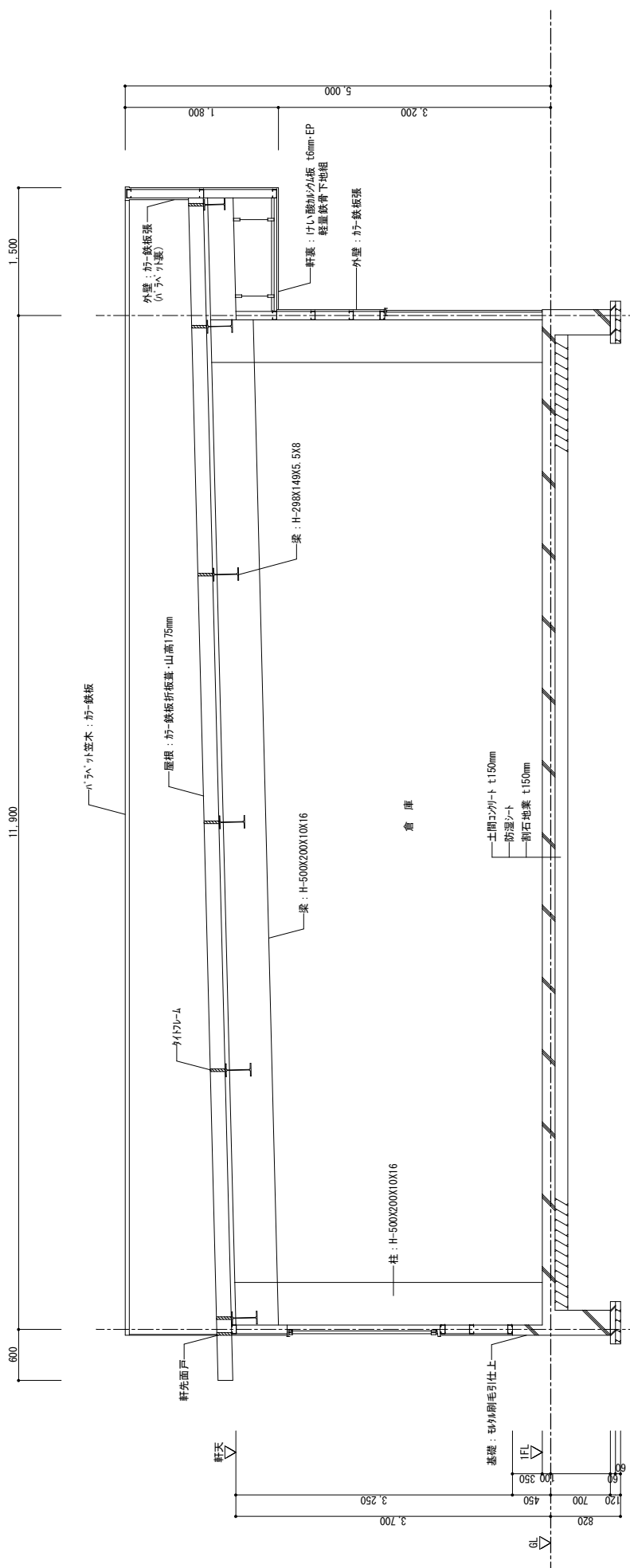


1階平面図

求積表	
IF 42.00	x 11.90 = 499.8000
1階床面積 499.80 m ²	
IF 42.00	x (1.50-1.00) = 21.0000
底の出面積 21.00 m ²	
499.8000 + 21.0000 = 520.8000	
建築面積 520.80 m ²	

業務名称	
図面名称	平面図・求積表
縮尺	1/200
図面番号	1
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地
所有者住所
所有者



矩計図

業務名称
図面名称 矩計図
縮尺 1/50
図面番号
資格及び登録番号
受注者の名称
作成者氏名

算定例 3

【住家兼車庫（RC 造）】〔在来工法〕

建物移転料算定表 [再築工法]

所在地		算定者		整理番号	3
所有者の氏名又は名称		算定年月日	令和5年5月1日	消費税等相当額補償の要否	要・否
所有者住所		採用単価	令和5年度	増築の有無(木造・同種構造)	有(○棟) 無(○棟)

区分	内 容	番号	計 算 式	A 棟		合 計	備 考	
基本事項	構造・用途	(1)		鉄筋コンクリート造3階建 住家兼車庫				
	建築工法			在来工法				
	延床面積	(2)		168.00 m ²		168.00 m ²		
	建築面積	(3)		66.00 m ²		66.00 m ²		
	建築年月	(4)		昭和48年1月				
	標準耐用年数	(5)		90 年				
	経過年数	(6)		50 年				
工事費等	建築	直接工事費	(7)	工事費(設備工事を含む)	40,886,628		40,886,628	
		共通仮設費	(8)	(8)×(木造:3%、非木造:(7)に対応する率 (移転先ごとの建築直接工事費の合計額))	5.85%			
		純工事費	(9)	(7)+(8)	2,391,800		2,391,800	100円未満切り捨て
		諸経費	(10)	(9)×((9)+(16))に対応する率(一発注単位)	23.40%			
		建築工事費(推定再建築費)	(11)	(9)+(10)	10,127,100		10,127,100	100円未満切り捨て
	解体	直接工事費	(12)	工事費	3,240,230		3,240,230	
		共通仮設費	(13)	(12)×(木造:3%、非木造:(12)に対応する率 (解体直接工事費の合計額)) 建築の共通仮設を解体で共用できる場合は不要	5.64%			
		純工事費	(14)	(12)+(13)	182,700		182,700	100円未満切り捨て
		廃材運搬費	(15)	廃材運搬費	3,422,930		3,422,930	
		小 計	(16)	(14)+(15)	1,046,080		1,046,080	
		諸経費	(17)	(16)×((9)+(16))に対応する率(一発注単位)	23.40%			
		廃材処分費	(18)		1,045,700		1,045,700	100円未満切り捨て
		取りこわし工事費	(19)	(16)+(17)+(18)	2,535,680		2,535,680	
	同種同等	建築工事費(推定再建築費)	(20)	(11)	8,050,390		8,050,390	
		再築補償率 ^{※1}	(21)		67.70%			
		現在価額+運用益損失額 ^{※1}	(22)	(20)×(21)	36,155,542		36,155,542	1円未満切り捨て
		取りこわし工事費	(23)	(19)	8,050,390		8,050,390	
		法令改善費運用益損失額	(24)					
		小 計	(25)	(22)+(23)+(24)	44,205,932		44,205,932	
消費税等相当額		(26)	(25)×消費税等の税率(10%)	4,420,593		4,420,593	1円未満切り捨て	
△発生材価額		(27)						
補償額		(28)	(25)+(26)-(27)	48,626,525		48,626,525		
補償額		照応建物	建築工事費(推定再建築費)	(29)	(11)従前建物の推定再建築費			
	再築補償率 ^{※1}		(30)					
	現在価額+運用益損失額 ^{※1}		(31)	(29)×(30)				1円未満切り捨て
	現価率		(32)					
	従前建物の現在価額		(33)	(29)×(32)				1円未満切り捨て
	照応建物の推定建築費	(34)						
	推定再建築費等の差額 ^{※2}	(35)	(34)-(29)					
	取りこわし工事費	(36)	(19)					
	法令改善費運用益損失額	(37)						
	小 計	(38)	(31)+(35)+(36)+(37)					
	消費税等相当額	(39)	(38)×消費税等の税率(8%)				1円未満切り捨て	
△発生材価額	(40)							
補償額	(41)	(38)+(39)-(40)						

※1 木造建物の増築(築年次の異なる同種構造の木造建築物が接合)の場合の(21)及び(22)(又は(30)及び(31))については、適宜別紙(任意様式)により求めるものとする。

※2 推定再建築費等の差額(35)が負の値となり、(33)≧(34)の場合の小計(38)は、(33)+(36)+(37)とする。

推定再建築費等の差額(35)が負の値となり、(33)<(34)の場合の小計(38)は、(33)+((34)-(35))×{1-1/(1+r)ⁿ}+(36)+(37)とする(r:年利率、n=従前建物の残耐用年数)。

種目内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	合 計	備 考
建築直接工事費					
Ⅰ 建築工事費	1	式		36,340,323	
Ⅱ 建築設備工事費	1	式		4,546,305	
建築直接工事費合計	1	式		40,886,628	
解体直接工事費	1	式		3,240,230	

中科目内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	合 計	備 考
Ⅰ 建築工事費					
	1	式			
1. 直接仮設	1	式		3,525,980	
2. 土工事・地業	1	式		878,961	
3. <体	1	式		17,695,801	
3.1 基礎<体	1	式	5,544,392		
3.2 上部<体	1	式	12,151,409		
4. 外部仕上	1	式		3,993,766	
4.1 屋根	1	式	955,978		
4.2 外壁	1	式	1,162,752		
4.3 外部開口部	1	式	1,620,000		
4.4 外部天井	1	式	38,757		
4.5 外部床	1	式	53,280		
4.6 外部雑	1	式	162,999		
5. 内部仕上	1	式		10,245,815	
5.1 内部床	1	式	1,640,991		
5.2 内壁	1	式	2,154,795		
5.3 内部開口部	1	式	1,318,300		
5.4 内部天井	1	式	848,481		
5.5 内部雑	1	式	4,283,248		
計				36,340,323	

名 称	数 量	単 位	金 額	合 計	備 考
Ⅱ 建築設備工事費					
6. 電気設備工事	1	式		1,580,030	
7. 給排水衛生設備	1	式		2,461,475	
7.1 給水設備	1	式	1,005,535		
7.2 排水設備	1	式	561,047		
7.3 ガス厨房設備	1	式	415,893		
7.4 衛生設備	1	式	479,000		
8. 空気調和設備	1	式		504,800	
計				4,546,305	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1. 直接仮設						
やりかた	一般	66.00	建m2	460	30,360	コード 2010010
墨出し	一般	168.00	延m2	880	147,840	コード 2010060
現寸型板		146.00	延m2	130	18,980	コード 2010080
外部単管本足場	高さ20m未満・期間6ヶ月・仮設材運搬共	414.45	掛m2	5,570	2,308,486	コード 2010210
安全手すり	枠組足場用・期間6ヶ月・仮設材運搬共	44.00	m	1,280	56,320	コード 2011850
内部階段仕上足場	単管使用・期間1ヶ月・仮設材運搬共	10.00	床m2	2,950	29,500	コード 2010492
脚立足場	高さ1.8m・平面・期間2ヶ月・仮設材運搬共	158.00	床m2	820	129,560	コード 2010511
鉄筋足場	型枠足場と兼用・階高4m未満・期間1ヶ月・仮設材運搬共	168.00	m2	380	63,840	コード 2010582
コンクリート足場	ポンプ車(配管型)	168.00	m2	85	14,280	コード 2010600
外部メッシュシート張	網目1mm・塗装吹付飛散防止用・期間6ヶ月・仮設材運搬共	389.97	掛m2	860	335,374	コード 2010730
養生	一般	168.00	m2	510	85,680	コード 2010920
整理・清掃・片付	一般	168.00	m2	1,820	305,760	コード 2010940
小計					3,525,980	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2. 土工・地業						
根切り(機械)	つぼ・布掘・深さ=4.0m以内	144.54	m3	1,460	211,028	コード 2110030
割石地業	割石・厚150mm	5.87	m3	14,000	82,180	コード 2110450
盛土(機械)	突固め	0.85	m3	1,870	1,589	コード 2110130
すき取り(機械)		0.06	m3	800	48	コード 2110170
割石地業	割石・厚100mm	0.48	m3	16,200	7,776	コード 2110440
埋戻し(機械)	小規模・深さ3m以内・突固め共	84.15	m3	4,040	339,966	コード 2110080
不用土処分	構内仮置・運搬20m～30m	84.15	m3	840	70,686	コード 2110210
不用土処分(機械積込)	4t車使用・運搬距離5km	59.60	m3	2,780	165,688	コード 2110320
小計					878,961	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3. く体						
3.1 基礎く体						
捨てコンクリート	18N/m ² ・シュート打設	3.04	m3	21,500	65,360	コード 2210020
く体コンクリート	21N/m ² ・ポンプ打設・1日50m3未満	51.48	m3	21,100	1,086,228	コード 2210210
型枠	く体・壁構造・中層程度	393.31	m2	7,090	2,788,567	コード 2220050
鉄筋・加工組立	壁式構造・5t以上～50t未満	5.41	t	271,800	1,470,438	コード 2230080
コンクリートブロック基礎	幅100mm・地上高550mm	2.00	m	13,200	26,400	代価表1
土間コンクリート叩き	厚150mm・有筋(DC14)・すき取り・不用土処分共	5.81	m2	7,080	41,134	コード 2170070
土間コンクリート叩き	厚90mm・無筋(DC02)・すき取り・不用土処分共	6.32	m2	3,470	21,930	コード 2170020
土間コンクリート	18N/m ² ・シュート打設	0.48	m3	21,200	10,176	コード 2210050
型枠	木造建物・工作物簡易型枠	2.18	m2	4,440	9,679	コード 2220080
東石(ブロック)	180mm×200mm×200mm・(TS02)・機械掘	12.00	ヶ所	2,040	24,480	コード 2150580
小計					5,544,392	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.2 上部く体						
く体コンクリート	21N/m ³ ・ポンプ打設・1日50m3未満	116.39	m3	21,100	2,455,829	コード 2210210
型枠	く体・壁構造・中層程度	889.20	m2	7,090	6,304,428	コード 2220050
鉄筋・加工組立	壁式構造・5t以上～50t未満	12.22	t	271,800	3,321,396	コード 2230080
スタイロフォーム打込み	厚25mm	58.13	m2	1,200	69,756	代価表2
小計					12,151,409	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4. 外部仕上						
4.1 屋根						
アスファルト防水	平面・均しモルタル共	65.04	m2	4,770	310,240	代価表3
アスファルト防水	立上り・均しモルタル共	9.42	m2	6,650	62,643	代価表4
モルタル防水	屋根・バルコニー床・軽量コンクリート(厚50mm)共	24.89	m2	4,080	101,551	代価表5
モルタル防水	厚35mm・屋根・バルコニー床	40.85	m2	4,950	202,207	コード 2420150
モルタル防水	厚25mm・壁面	0.85	m2	4,550	3,867	コード 2420160
モルタル防水	壁面・防水押えレンガ共	7.15	m2	13,000	92,950	代価表6
側溝・モルタル金ごて仕上	側溝幅150mm・防水モルタル	14.92	m	1,520	22,678	コード 2450870
笠木・モルタル塗	糸幅340mm	41.41	m	3,860	159,842	コード 2450760
小計					955,978	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.2 外壁						
外壁・モルタル塗はけ引き・アクリル吹付	厚25mm	272.86	m2	3,990	1,088,711	代価表7
外壁・モルタル塗はけ引き	厚25mm	13.97	m2	5,300	74,041	コード 2450280
小計					1,162,752	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.3 外部開口部						
SS-1:スチール・軽量シャッター	幅2,180mm×高2,550mm	1.00	ヶ所	142,300	142,300	代価表8
AD-1:アルミ・Fixランマ袖付玄関ドア	幅1,220mm×高2,200mm	1.00	ヶ所	223,400	223,400	代価表9
AD-2:アルミ・片開き腰ハネドア	幅800mm×高1,980mm	1.00	ヶ所	52,100	52,100	代価表10
ADW-1:アルミ・ランマ、4枚引違い窓付片開きドア	幅4,530mm×高2,200(2,140)mm	1.00	ヶ所	187,800	187,800	代価表11
AW-1:アルミ・ランマ付引違い窓	幅1,800mm×高1,700mm	9.00	ヶ所	76,700	690,300	代価表12
AW-2:アルミ・引違い窓	幅1,800mm×高900mm	2.00	ヶ所	35,500	71,000	代価表13
AW-3:アルミ・引違い窓	幅1,800mm×高300mm	2.00	ヶ所	36,100	72,200	代価表14
AW-4:アルミ・引違い窓	幅1,800mm×高750mm	1.00	ヶ所	31,600	31,600	代価表15
AW-5:アルミ・引違い窓	幅1,330mm×高750mm	1.00	ヶ所	30,700	30,700	代価表16
AW-6:アルミ・引違い窓	幅1,200mm×高750mm	1.00	ヶ所	28,200	28,200	代価表17
AW-7:アルミ・引違い窓	幅800mm×高750mm	1.00	ヶ所	20,500	20,500	代価表18
AW-8:アルミ・引違い窓	幅800mm×高900mm	2.00	ヶ所	23,100	46,200	代価表19
WW-1:木製・Fix窓	幅900mm×高760mm	1.00	ヶ所	23,700	23,700	代価表20
小計					1,620,000	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.4 外部天井						
天井・モルタル塗はけ引き・アクリルタイル吹付	厚12mm	8.34	m2	4,250	35,445	代価表21
天井・石膏ボード・EP塗	木造天井下地組共	0.69	m2	4,800	3,312	代価表22
小計					38,757	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.5 外部床						
床・磁器質タイル	無釉・108mm角 コンクリート下地・モルタル塗共	4.44	m2	12,000	53,280	コート 9440060
小計					53,280	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.6 外部雑						
樋工事	非木造専用住宅(陸屋根)・塩ビ製・受金物共	4.00	床m2	2,060	8,240	コード 2680020
バルコニー手摺	高さ1,100mm・φ42.7mm・スチール	4.00	m	16,100	64,400	コード 2470800
屋上丸環	φ19mm・内径100mm・鋼製亜鉛メッキ	20.03	ヶ所	3,970	79,519	コード 2470920
床下換気孔	300mm×150mm	3.00	ヶ所	2,080	6,240	代価表23
レジスター	250mm×200mm・樹脂製・外部側ガラ共	1.00	ヶ所	4,600	4,600	代価表24
小計					162,999	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5. 内部仕上						
5.1 内部床						
床・磁器質タイル	無釉・108mm角 コンクリート下地・モルタル塗共	1.93	m2	12,000	23,160	コード 9440060
床・モルタル塗	厚30mm	25.86	m2	3,140	81,200	コード 2450130
床・ビニールタイル張	厚2mm・半硬質 モルタル塗共	18.25	m2	4,930	89,972	コード 9630280
タタ敷	本間・綿引・並 杉合板・木造束立て床組共	4.50	枚	32,700	147,150	コード 9631050
床・ビニールタイル張	厚2mm・半硬質 ラワン合板・木造束立て床組共	12.76	m2	16,100	205,436	コード 9630270
床・磁器質モザイクタイル	施釉・25mm角 コンクリート下地・モルタル塗共	1.48	m2	16,600	24,568	コード 9440540
床・ビニールタイル張	厚2mm・半硬質 ラワン合板・木造ころばし床組共	3.10	m2	10,900	33,790	コード 9630260
タタ敷	本間・綿引・並 杉板・木造ころばし床組共	28.00	枚	28,600	800,800	コード 9631040
床・寄木フローア張	厚12mm・木造ころばし床組共	8.62	m2	6,980	60,167	代価表25
床・磁器質モザイクタイル	施釉・25mm角 コンクリート下地・アスファルト防水・モルタル共	2.46	m2	11,300	27,798	代価表26
床・フローリングボード張	厚14mm×105mm・アピトン・1等 木造ころばし床組共	5.13	m2	13,500	69,255	コード 9630070
床・ビニールタイル張	厚2mm・半硬質・階段モルタル共	8.47	m2	5,710	48,363	代価表27
階段ポーターモルタル	VE塗・踏面・蹴込	15.12	m	1,940	29,332	代価表28
小計					1,640,991	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.2 内壁						
繊維壁	下地別途	85.26	m2	4,750	404,985	コード 2450570
外装・磁器質タイル	施釉・108mm×60mm・小口平 コンクリート下地・モルタル塗共	0.42	m2	15,400	6,468	コード 9440840
内壁・モルタル塗金ごて	厚20mm	11.04	m2	5,170	57,076	コード 2450310
幅木モルタル	VE塗・高さ100mm	27.95	m	1,410	39,409	代価表29
額縁モルタル	EP塗・糸幅50～150mm	14.38	m	3,320	47,741	代価表31
コーナービート	ステンレス	12.76	m	880	11,228	建築コスト情報
繊維壁	石膏ボード・木造胴縁組(木造面)共	17.58	m2	6,300	110,754	代価表32
壁・ビニールクロス張	石膏ボード・木造胴縁組(木造面)共	3.85	m2	3,610	13,898	代価表33
壁・ビニールクロス張	モルタル塗金ごて共	12.50	m2	3,880	48,500	代価表34
壁・ビニールクロス張	梁型・モルタル塗金ごて共	0.54	m2	4,860	2,624	代価表35
内装・陶器質タイル	施釉・108mm角・石膏ボード・木造胴縁組(木造面)共	1.30	m2	6,410	8,333	代価表36
内装・陶器質タイル	施釉・108mm角 RC・ブロック・ALC下地	12.20	m2	12,100	147,620	コード 9440690
梁型・モルタルコテ押え塗	厚12mm	0.07	m2	7,290	510	コード 2450720
壁・石膏ボード張	厚12.5mm・木造胴縁組(木造面)共	0.25	m2	2,520	630	代価表37
幅木	SOP塗・高さ100mm	5.39	m	2,660	14,337	代価表38
内壁・モルタル塗金ごて・EP塗	厚20mm	118.80	m2	4,200	498,960	代価表39
額縁モルタル	糸幅50～150mm	19.20	m	3,140	60,288	建築コスト情報

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.2 内壁						
壁・ビニールタイル張	厚2mm・半硬質・ラワン合板共	0.31	m2	4,140	1,283	代価表40
壁・プリント合板張	厚4mm・木造胴縁組(木造面)共	14.80	m2	5,770	85,396	代価表41
壁・プリント合板張	厚4mm・軸組別途	2.48	m2	4,360	10,812	代価表42
内装・陶器質タイル	施釉・108mm角 コンクリート下地・アスファルト防水・モルタル共	4.38	m2	15,000	65,700	代価表47
内壁・モルタル塗金ごて・EP塗	厚20mm・石膏ラスボード・木造胴縁組(木造面)共	5.16	m2	6,480	33,436	代価表48
幅木モルタル	VE塗・高さ100mm・ラスボード共	4.36	m	1,490	6,496	代価表49
幅木モルタル	VE塗・高さ130mm・ラスボード共	2.72	m	1,720	4,678	代価表50
階段ホーダーモルタル	VE塗・壁付	8.32	m	3,020	25,126	代価表51
階段ホーダーモルタル	VE塗・ササヲ桁	11.28	m	5,110	57,640	代価表52
木造間仕切軸組	柱@1,800mm・間柱@450mm	78.25	m2	4,670	365,427	コート 2460080
化粧柱		3.00	本	8,480	25,440	積算ポケット
小計					2,154,795	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.3 内部開口部						
AD-3:アルミ・引違いガラス戸	幅1,600mm×高1,750mm	1.00	ヶ所	39,600	39,600	代価表54
WD-1:木製・片引きフラッシュ戸	幅800mm×高1,750mm	1.00	ヶ所	53,500	53,500	代価表55
WD-2:木製・片引きフラッシュ戸	幅800mm×高1,750mm	1.00	ヶ所	54,300	54,300	代価表56
WD-3:木製・片引きフラッシュ戸	幅800mm×高1,750mm	1.00	ヶ所	54,300	54,300	代価表57
WD-4:木製・片引きフラッシュ戸	幅800mm×高1,750mm	1.00	ヶ所	53,500	53,500	代価表58
WD-5:木製・片引きフラッシュ戸	幅600mm×高1,750mm	2.00	ヶ所	37,100	74,200	代価表59
WD-6:木製・片引きフラッシュ戸	幅680mm×高1,400mm	1.00	ヶ所	28,700	28,700	代価表60
WD-7:木製・片引きフラッシュ戸	幅800mm×高1,750mm	2.00	ヶ所	40,700	81,400	代価表61
WD-8:木製・引違いフラッシュ戸	幅1,800mm×高1,750mm	1.00	ヶ所	47,700	47,700	代価表62
WD-9:木製・引違いフラッシュ戸	幅1,800mm×高1,750mm	1.00	ヶ所	48,600	48,600	代価表63
WD-10:木製・引違いフラッシュ戸	幅1,840mm×高1,750mm	1.00	ヶ所	60,800	60,800	代価表64
WG-1:木製・引違いガラス戸	幅1,830mm×高1,750mm	1.00	ヶ所	121,900	121,900	代価表65
WG-2:木製・4枚引違いガラス戸	幅3,720mm×高1,750mm	1.00	ヶ所	231,700	231,700	代価表66
F-1:木製・4枚引違いふすま	幅3,820mm×高1,750mm	1.00	ヶ所	91,700	91,700	代価表67
F-2:木製・引違いふすま	幅1,830mm×高2,270mm	1.00	ヶ所	59,700	59,700	代価表68
F-3:木製・引違いふすま	幅1,820mm×高2,320mm	1.00	ヶ所	78,500	78,500	代価表69
F-4:木製・引違いふすま	幅1,800mm×高2,320mm	1.00	ヶ所	60,200	60,200	代価表70
F-5:木製・引違いふすま	幅1,800mm×高2,280mm	1.00	ヶ所	60,200	60,200	代価表71
WS-1:木製・スクリーン	幅740mm×高1,710mm	1.00	ヶ所	17,800	17,800	代価表72
小計					1,318,300	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.4 内部天井						
天井・石膏ボード・EP塗	木造天井地下地組共	38.92	m2	4,800	186,816	代価表73
和室天井	杉柁・竿縁・木造天井地下地組	40.31	m2	8,240	332,154	代価表74
天井・モルタル塗金ごて	厚12mm	1.83	m2	3,230	5,910	建築コスト情報
天井・吸音板張	厚9.5mm・化粧穴あきせつこう系・直張 木造天井地下地組共	7.22	m2	4,140	29,890	コード' 9640510
浴室天井板張	硬質塩ビ製 木造天井地下地組共	2.46	m2	13,600	33,456	コード' 9640810
和室天井	杉柁・敷目・木造天井地下地組	18.57	m2	8,990	166,944	代価表75
天井・フワン合板・SOP塗	厚4mm・木造天井地下地組	5.13	m2	7,590	38,936	代価表76
天井・モルタル塗金ごて・EP塗	厚12mm	9.59	m2	5,670	54,375	代価表77
小計					848,481	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.5 内部雑						
下駄箱・(洋風タイプ)	幅400mm×長さ1,500mm×高さ850mm程度	1.00	ヶ所	96,100	96,100	コード' 2650480
押入れ・(建具除く)	幅910mm・中棚無・天袋付・内装しつくい	1.00	ヶ所	59,600	59,600	コード' 2650550
押入れ・(建具除く)	幅1,820mm・中棚付・天袋付・内装しな合板	2.00	ヶ所	57,800	115,600	代価表79
カーテンレール	ダブル・1.8m程度・アルミ製	9.00	組	9,250	83,250	コード' 2471160
花崗岩段石	L=2,560mm	1.00	ヶ所	36,200	36,200	代価表80
押入れ・(建具除く)	幅910mm・中棚付・天袋付・内装しな合板・床組天井組共	2.00	ヶ所	58,200	116,400	代価表81
押入れ・(建具除く)	幅910mm・中棚ユニット付・天袋付・SUSパイプ付・内装しな合板・床組天井組共	2.00	ヶ所	95,000	190,000	代価表82
押入れ・(建具除く)	幅1,820mm・中棚無・天袋付・内装しつくい・床組天井組共	1.00	ヶ所	92,200	92,200	代価表83
床の間・[ユニット]	間口910mm×奥行910mm・床の間内塗壁を含む	2.00	ヶ所	167,600	335,200	コード' 2650010
カーテンレール	ダブル・4m物・アルミ製	1.00	組	9,340	9,340	代価表84
階段手摺	高さ900mm・スチール	12.73	m	18,600	236,778	コード' 2470350
階段すべり止め金具	幅35mm・ステンレス製・ゴム入り・直張	22.80	m	3,150	71,820	コード' 2470360
仕上げ材工事	専用住宅(非木造建物)	168.00	延m2	16,100	2,704,800	コード' 2461210
樋工事	非木造専用住宅(陸屋根)・塩ビ製・受金物共	66.00	床m2	2,060	135,960	コード' 2,680,020
小計					4,283,248	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6. 電気設備						
照明器具	住居系・共同住宅系・並	19.00	ヶ所	43,300	822,700	コード' 2711280
照明器具	工場系・倉庫系・並	1.00	ヶ所	16,700	16,700	コード' 2711340
スイッチ	埋込・1連	1.00	ヶ所	5,220	5,220	コード' 2711600
スイッチ	埋込・2連	9.00	ヶ所	6,310	56,790	コード' 2711610
コンセント	埋込・1口	2.00	ヶ所	5,260	10,520	コード' 2711720
コンセント	埋込・2口	16.00	ヶ所	6,370	101,920	コード' 2711730
分電盤	コンパクト型分岐ブレーカ・1回路・幹線含まず	1.00	ヶ所	9,280	9,280	コード' 2711480
分電盤	コンパクト型分岐ブレーカ・12回路・幹線含む	1.00	ヶ所	175,100	175,100	コード' 2711430
電灯配管配線設備	住居系・付属品共・(器具含まず)	45.00	ヶ所	6,240	280,800	コード' 2711200
電灯配管配線設備	倉庫系・付属品共・(器具含まず)	5.00	ヶ所	10,500	52,500	コード' 2711250
換気扇	羽根径150mm・(浴室用)	1.00	ヶ所	17,900	17,900	コード' 2710160
電話用屋内配線管	配管・ボックス類・差込口1ヶ所当たり非木造用	1.00	ヶ所	15,700	15,700	コード' 2710511
チャイム設備	チャイム・押釦・配線共	1.00	ヶ所	14,900	14,900	コード' 2710650
小計					1,580,030	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7. 給排水衛生設備						
7.1 給水設備						
横水栓	φ13・15mm用	5.00	栓	3,640	18,200	コード 2740020
自在水栓	φ13・15mm用	1.00	栓	5,310	5,310	コード 2740060
シャワー混合水栓	φ13・15mm用・ツートハンドル	1.00	栓	19,000	19,000	コード 2740100
屋内給水(湯)配管	非木造建物・保温(ポリスチレン)共	1.00	栓	44,300	44,300	コード 2740211
屋内給水(湯)配管	非木造建物	7.00	栓	32,400	226,800	コード 2740191
ガス風呂釜	屋内据置型・追い焚き専用	1.00	基	134,200	134,200	コード 2740850
井戸用ポンプ	出力250W・浅井戸用	1.00	台	152,400	152,400	コード 2761390
屋外流し台	幅750mm×奥行500mm×高さ170mm	1.00	ヶ所	29,100	29,100	コード 2761450
太陽熱温水器	大容量タイプ・250L・架台・配管共	1.01	基	372,500	376,225	コード 2761500
小計					1,005,535	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.2 排水設備						
屋内排水配管	非木造建物	8.00	栓	46,200	369,600	コード 2800011
排水トラップ	床排水用・φ50mm	1.00	ヶ所	15,100	15,100	コード 2800270
排水トラップ	床排水用・φ50mm・防水	1.00	ヶ所	17,200	17,200	コード 2800260
屋外排水配管	φ75mm・硬質塩ビ管・機械掘・平均深さ450mm	18.87	m	7,790	146,997	コード 2820120
溜ます・(既製品)	内法240mm×240mm・雑排水用・機械掘・深390mm	3.00	ヶ所	4,050	12,150	コード 2821230
小計					561,047	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.3 ガス厨房設備						
ガス栓取付	プロパンガス用・1口カラン	3.00	ヶ所	5,340	16,020	コード 2770010
ガス栓取付	プロパンガス用・2口カラン	1.00	ヶ所	8,830	8,830	コード 2770020
ガス管	プロパンガス用・15A	18.54	m	3,880	71,935	コード 2770100
流し台	幅1,500mm×奥行550mm×高さ800mm	1.00	ヶ所	74,400	74,400	コード 2780030
調理台	幅600mm×奥行550mm×高さ800mm	1.00	ヶ所	34,900	34,900	コード 2780050
コンロ台	幅700mm×奥行543mm×高さ623mm	1.00	ヶ所	27,300	27,300	コード 2780090
つり戸棚	幅1,050mm×奥行367mm×高さ500mm	2.00	ヶ所	37,300	74,600	コード 2780120
つり戸棚・レンジフード用	幅450mm×奥行385mm×高さ500mm	1.00	ヶ所	36,800	36,800	コード 2780170
レンジフードファン	強・弱2段切換	1.00	ヶ所	63,200	63,200	コード 2780190
ウェザカバー・羽根径200mm用	樹脂製・幅300mm×奥行270mm×高さ300mm	1.01	ヶ所	7,830	7,908	コード 2780210
小計					415,893	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.4 衛生設備						
浴槽・(ステンレス)	幅920mm×奥行720mm×高さ650mm・(洋風)	1.00	基	113,700	113,700	コード 2830070
洗面器・(そで無)	幅460mm×奥行560mm	1.00	ヶ所	61,800	61,800	コード 2830180
人造石研出流し	幅800mm	1.00	ヶ所	32,600	32,600	代価表85
非水洗半底便器		1.00	ヶ所	43,200	43,200	コード 2830370
非水洗壁掛型小便器		1.00	ヶ所	37,800	37,800	コード 2830380
便槽・(既製品)	φ780mm×高さ1,350mm・8人用	1.00	基	111,600	111,600	コード 2830480
排臭ファン・(電動換気)	φ100mm・硬質塩ビ管	1.00	ヶ所	23,200	23,200	コード 2830520
タオル掛	485mm×64mm×35mm(φ14mm)	2.00	ヶ所	12,300	24,600	コード 2830540
化粧鏡	350mm×450mm×厚5mm・防錆	2.00	ヶ所	13,200	26,400	コード 2830550
化粧棚	幅454mm×奥行き140mm	1.00	ヶ所	4,100	4,100	代価表86
小計					479,000	

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8. 空調和設備						
セパレート型・エアコン	暖冷房除湿型・冷房能力2.2kw	2.00	台	252,400	504,800	コード 2850030
小計					504,800	

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9. 解体工事						
外部単管一本足場	高さ15m未満・期間1ヶ月・仮設材運搬共	414.45	掛m2	1,560	646,542	コード 2010340
外部防災シート張	期間1ヶ月・仮設材運搬共	414.45	掛m2	850	352,282	コード 2010750
RC造く体解体	圧砕機・ハンドブレーカー併用・基礎除く・(積込共)	116.39	m3	16,400	1,908,796	コード 2900030
内部造作解体	非木造・住居系・(積込共)	146.00	延m2	2,040	297,840	コード 2900200
内部造作解体	非木造・工場・倉庫系・(積込共)	22.00	延m2	1,360	29,920	コード 2900220
便槽・[撤去A]	8人用・既製品・(汲取清掃別途)	1.00	基	4,850	4,850	コード 2921800
小計					3,240,230	

数量計算書

名称	規格	計算式		数量	単位
1.直接仮設					
やりかた	一般	建築面積	66.00 = 66.000	66.00	建m2
墨出し	一般	延床面積	168.00 = 168.000	168.00	延m2
現寸型板		延床面積	168.00 = 168.000		
		車庫面積	22.00 = (-) 22.000		
			計 146.000	146.00	延m2
外部枠組本足場	高さ22m未満・期間6ヶ月・仮設材運搬共	3階平面図より東面	10.05×6.00+6.90×5.00 = 94.800		
		南面	6.90×8.00+3.45×8.00+10.50×3.00 = 114.300		
		西面	6.90×5.00+10.05×6.00 = 94.800		
		北面	10.05×11.00 = 110.550		
			計 414.450	414.45	掛m2
安全手すり	枠組足場用・期間6ヶ月・仮設材運搬共		(6.00+5.00)+(8.00+3.00)+(5.00+6.00)+11.00 = 44.00	44.00	m
内部階段仕上足場	単管使用・期間20日・仮設材運搬共	求積表より	10.00 = 10.000	10.00	床m2
脚立足場	高さ1.8m・平面・期間2ヶ月	求積表より	158.00 = 158.000	158.00	床m2
鉄筋足場	型枠足場と兼用・階高4m未満	統計値面積(延)	168.00 = 168.000	168.00	m2
コンクリート足場	ポンプ車(配管型)	統計値面積(延)	168.00 = 168.000	168.00	m2
外部メッシュシート張	網目1mm・塗装吹付飛散防止用・期間6ヶ月・仮設材運搬共		外部単管本足場:389.965 = 389.965	389.97	掛m2
養生	一般	延床面積	168.00 = 168.000	168.00	m2
整理・清掃・片付	一般	延床面積	168.00 = 168.000	168.00	m2

数量計算書

名称	規格	計算式		数量	単位
2.土工・地業					
根切り(機械)	つぼ・布堀・深さ=4.0m以内		統計値面積(1階)×統計数量値		
			$66.00 \times 2.19 = 144.540$	144.54	m3
割石地業	割石・厚150mm	基礎下	統計値面積(1階)×統計数量値		
			$66.00 \times 0.089 = 5.874$	5.87	m3
盛土(機械)	突固め		<土間伏図より・ホーチ>		
			$1.35 \times \text{断面}(1.17 \times 0.43 + 0.20 \times 0.27) = 0.752$		
			$([A]1.76 + [B]1.76) \div 2 \times \text{断面}(0.10 \times 0.27) = 0.047$		
			$([B]1.76 + [E]1.78) \div 2 \times \text{断面}(0.30 \times 0.10) = 0.053$		
			計	0.852	m3
すき取り(機械)			<土間伏図より・ホーチ>		
			$1.35 \times \text{断面}(0.20 \times 0.10) = 0.027$		
			$([E]1.78 + [G]1.80) \div 2 \times \text{断面}(0.20 \times 0.10) = 0.035$		
			計	0.062	m3
割石地業	割石・厚100mm	土間下	<土間伏図より・ホーチ>		
			$1.35 \times \text{断面}(1.37 \times 0.53 + 0.10 \times 0.37) = 1.030$		
			$([A]1.76 + [C]1.77) \div 2 \times \text{断面}(0.20 \times 0.37) = 0.130$		
			$([C]1.77 + [F]1.79) \div 2 \times \text{断面}(0.30 \times 0.20) = 0.106$		
			すき取り:0.062		
			盛土:0.852		
			計	0.476	m3

数量計算法

名称	規格	計算法	数量	単位
埋戻し(機械)	小規模・深さ3m以内・突固め共	根切り:144.540-割石(基礎下):5.874-捨てコクリ-ト:3.036 = 84.150	84.15	m3
不用土処分	構内仮置・運搬20m~30m	埋戻し:84.150 = 84.150	84.15	m3
不用土処分・(機械積込)	4t車使用・運搬距離5km・処分費別途	割石(基礎下):5.874-盛土:0.852+すき取り:0.062+捨てコクリ-ト:3.036+基礎コクリ-ト:51.480 = 59.600	59.60	m3

数量計算書

名称	規格	計算式		数量	単位
3. く体					
3.1. 基礎く体					
捨てコンクリート	18N/mm ² ・ジェット打設	統計値面積(1階)×統計数量値			
		66.00×0.046	= 3.036	3.04	m ³
く体コンクリート	21N/mm ² ・ポンプ打設・1日50m ³ 未満	統計値面積(1階)×統計数量値			
	基礎コンクリート	66.00×0.78	= 51.480	51.48	m ³
型枠	く体・壁構造・中層程度	コンクリート量×統計数量値			
		51.480×7.64	= 393.307	393.31	m ²
鉄筋・加工組立	壁式構造・5t以上～50t未満	コンクリート量×統計数量値			
		51.480×0.105	= 5.405	5.41	t
コンクリートブロック基礎	幅100mm・地上高550mm	く土間伏図より			
		1.13	= 1.130		
		0.87	= 0.870		
			計	2.00	m
土間コンクリート叩き	厚150mm・有筋・(DC14)・すき取り・不用土処分共	く土間伏図より			
		三斜求積:5.811	= 5.811	5.81	m ²
土間コンクリート叩き	厚90mm・無筋・(DC02)・すき取り・不用土処分共	く土間伏図より			
		三斜求積:1.846	= 1.846		
		1.13×3.96	= 4.474		
			計	6.320	m ²

数量計算書

名称	規格	計算式	数量	単位
土間コンクリート	18N/mm ² ・ジェット打設	<土間伏図より・ホーチ> 1.35×断面(1.57×0.63) = 1.335		
		([A]1.76+[D]1.78)÷2×断面(0.30×0.47) = 0.249		
		([D]1.78+[G]1.80)÷2×断面(0.30×0.30) = 0.161		
		1.35×断面(1.37×0.53+0.10×0.37) = (-) 1.030		
		([A]1.76+[C]1.77)÷2×断面(0.20×0.37) = (-) 0.130		
		([C]1.77+[F]1.79)÷2×断面(0.30×0.20) = (-) 0.106		
		計 0.479	0.48	m3
型枠	木造建物・工作物簡易型枠	<土間伏図より・ホーチ> 1.35×H(0.63+0.16) = 1.066 0.41×H0.10 = 0.041 [D]1.78×H0.17 = 0.302 [G]1.80×H0.30 = 0.540 断面(1.57×0.63-1.37×0.53-0.10×0.37) = 0.226		
		計 2.175	2.18	m2
束石(ブロック)	180mm×200mm×200mm・(TS02)・機械掘	<土間伏図より> 12.00 = 12.000	12.00	ヶ所

数量計算書

名称	規格	計算式		数量	単位
3.2. 上部く体					
く体コンクリート	21N/mm ² ・ポンプ打設・1日50m ³ 未満	(統計値面積(延)×統計数量値-基礎コンクリート)×階高補正率			
		(168.00×0.96-51.480)×1.06	= 116.388	116.39	m ³
		基礎コンクリート:51.480			
型枠	く体・壁構造・中層程度	コンクリート量×統計数量値			
		116.388×7.64	= 889.204	229.20	m ²
鉄筋・加工組立	壁式構造・5t以上～50t未満	コンクリート量×統計数量値			
	く体コンクリート	116.388×0.105	= 12.220	12.22	t
スライフォール打込み	厚25mm	くスライフォール伏図より			
	3階	(5.82-0.25)×4.82-(0.92×0.46-0.82×0.36)×2ヶ所	= 26.591		
	R階	(5.82-0.25)×3.82+2.82×1.82×2ヶ所	= 31.542		
		計	58.133	58.13	m ²

数量計算書

名称	規格	計 算 式	数 量	単 位
4. 外部仕上 4.1. 屋根				
アスファルト防水	平面・均しモルタル共	$5.98 \times 4.90 = 29.302$		
	屋根伏図より	$8.98 \times 3.98 = 35.740$		
		計	65.04	m2
アスファルト防水	立上り・均しモルタル共	$4.90 \times (0.22 + 0.15) \div 2 \times 2$ ヶ所	1.813	
	別図A			
	別図B	$5.98 \times 0.22 = 1.315$		
	別図C	$(0.95 + 1.30) \times 0.17 + 3.73 \times 0.23 = 1.240$		
	屋根伏図より 別図D	$3.98 \times (0.22 + 0.17) \div 2 \times 2$ ヶ所	1.552	
	別図E	$8.98 \times 0.22 = 1.975$		
	別図F	$8.98 \times 0.17 = 1.526$		
		計	9.42	m2
モルタル防水	屋根・ハコニシ床・軽量コンクリート(厚50mm)共	$5.40 \times 4.61 = 24.894$	24.89	m2
モルタル防水	厚35mm・屋根・ハコニシ床	$8.70 \times 3.70 = 32.190$		
	2階平面図より 庇	$4.80 \times 0.80 = 3.840$		
	屋根伏図より 庇	$5.35 \times 0.90 = 4.815$		
		計	40.845	m2
モルタル防水	厚25mm・壁面	$(0.81 + 1.16) \times 0.10 + 3.73 \times 0.16 + \text{見込面} 0.07 \times 0.80 = 0.849$	0.85	m2

数量計算書

名称		規格	計算式		数量	単位
モルタル防水	壁面・防水押えレガ共		3階平面図より 別図A	$4.76 \times (0.20 + 0.15) \div 2 \times 2$ ヶ所 = 1.666		
			別図B	5.70×0.20 = 1.140		
			屋根伏図より 別図D	$3.70 \times (0.20 + 0.15) \div 2 \times 2$ ヶ所 = 1.295		
			別図E	8.70×0.20 = 1.740		
			別図F	8.70×0.15 = 1.305		
				計	7.146	m ²
側溝・モルタル金ごて仕上	側溝幅150mm・防水モルタル		3階平面図より	$5.40 + 4.76 \times 2$ = 14.920	14.92	m
笠木・モルタル塗	糸幅340mm		3階平面図より	$5.93 + 4.88 \times 2$ = 15.690		
			屋根伏図より	$(8.93 + 3.93) \times 2$ = 25.720		
				計	41.410	m

数量計算書

名称	規格	計算式	数量	単位
4.2.外壁 外壁・モルタル塗はけ引き・アクリルタイ 吹付	厚25mm	$9.18 \times 6.35 + 4.18 \times 3.15 + \text{庇見付}(4.80 + 4.70) \div 2$ $\times (\text{斜寸}0.13 - 0.12) + 0.90 \times 0.12$	= 71.615	
		$(1.80 + 1.70 \times 2) \times D0.07 \times 4 \text{ヶ所}$	= 1.456	
		$(1.22 + 2.20 \times 2) \times D0.07$	= 0.393	
		$(2.18 + 2.22 \times 2) \times D0.18$	= 1.191	
	建具 AW-1	$W1.80 \times H1.70 \times 4 \text{ヶ所}$	= (-) 12.24	
	建具 AD-1	$W1.22 \times H2.20$	= (-) 2.684	
	建具 SS-1	$W2.18 \times H2.22$	= (-) 4.839	
	南面①	$6.18 \times 6.35 + \text{庇見付}(0.80 + 0.75)$ $\div 2 \times \text{斜寸}0.13$	= 39.343	
	見込面(AW-1)	$(1.80 + 1.70 \times 2) \times D0.07 \times 2 \text{ヶ所}$	= 0.728	
	見込面(AW-2)	$(1.80 + 0.90 \times 2) \times D0.07 \times 2 \text{ヶ所}$	= 0.504	
	見込面(AW-3)	$(1.80 + 0.16 \times 2) \times D0.07 \times 2 \text{ヶ所}$	= 0.296	
	建具 AW-1	$W1.80 \times H1.70 \times 2 \text{ヶ所}$	= (-) 6.120	
	建具 AW-2	$W1.80 \times H0.90 \times 2 \text{ヶ所}$	= (-) 3.240	
	建具 AW-3	$W1.80 \times H0.16 \times 2 \text{ヶ所}$	= (-) 0.576	
	南面②	$6.18 \times 3.28 + 3.00 \times 9.80$	= 49.670	
		$[0.5 \text{m}^2 \text{以下}: 0.25 * (0.13 + 0.10) / 2 = 0.028] * 2 \text{ヶ所}$	= (-)	
	見込面(ADW-1)	$(4.53 + 2.20 + 2.14 + 0.06) \times D0.07$	= 0.625	
	建具 ADW-1	$W4.53 \times H2.20$	= (-) 9.966	
	西面	$4.18 \times 9.80 + 5.00 \times 6.35 + \text{庇見付}0.90 \times 0.12$	= 72.822	

数量計算書

名称	規格	計算式	数量	単位
	見込面(AW-1)	$(1.80 + 1.70 \times 2) \times D0.07$	= 0.364	
	見込面(AW-6)	$(1.20 + 0.75 \times 2) \times D0.07$	= 0.189	
	見込面(AW-7)	$(0.80 + 0.75 \times 2) \times D0.07$	= 0.161	
	見込面(AW-8)	$(0.80 + 0.90 \times 2) \times D0.07 \times 2ヶ所$	= 0.364	
	見込面(AD-2)	$(0.80 + 1.98) \times 2 \times D0.07$	= 0.389	
	建具 AW-1	W1.80×H1.70	= (-) 3.060	
	建具 AW-6	W1.20×H0.75	= (-) 0.900	
	建具 AW-7	W0.80×H0.75	= (-) 0.600	
	建具 AW-8	W0.80×H0.90×2ヶ所	= (-) 1.440	
	建具 AD-2	W0.80×H1.98	= (-) 1.584	
	ビニル	[0.5㎡以下:0.25*0.20=0.050]	= (-)	
	北面	$9.18 \times 9.50 + 庇見付(0.80 + 0.75) \div 2 \times 斜寸0.13$	= 87.310	
	見込面(AW-1)	$(1.80 + 1.70 \times 2) \times D0.07 \times 2ヶ所$	= 0.728	
	見込面(AW-4)	$(1.80 + 0.75 \times 2) \times D0.07$	= 0.231	
	見込面(AW-5)	$(1.33 + 0.75 \times 2) \times D0.07$	= 0.198	
	建具 AW-1	W1.80×H1.70×2ヶ所	= (-) 6.120	
	建具 AW-4	W1.80×H0.75	= (-) 1.350	
	建具 AW-5	W1.33×H0.75	= (-) 0.997	
		計	272.861	m2

数量計算書

名称	規格	計算式		数量	単位
外壁・モルタル塗はけ引き	厚25mm	東面	$0.81 \times (0.40 + 0.15 \div 2) + 0.60 \times 0.16 + 0.30 \times 0.17 + 4.02$	= 2.139	
		見込面(SS-1)	$0.33 \times 2 \times 0.18$	= 0.118	
		床下換気孔	[0.5㎡以下:0.30*0.15=0.045]	= (-)	
		南面①	$6.18 \times 0.55 + 3.00 \times 0.25$	= 4.149	
		見込面(AW-3)	$0.14 \times 2 \times 0.07 \times 2$ ヶ所	= 0.039	
		建具 AW-3	$1.80 \times 0.14 \times 2$ ヶ所	= (-) 0.504	
		西面	$4.18 \times 0.25 + 5.00 \times 0.55$	= 3.795	
		北面	$9.18 \times (0.40 + 0.55) \div 2$	= 4.36	
		床下換気孔	[0.5㎡以下:0.30*0.15=0.045]*2ヶ所	= (-)	
		計		14.096	14.10 m2

数量計算書

名称	規格	式	数量	単位
4.3. 外部開口部				
SS-1: スチール・軽量ジャッター	幅2,180mm×高2,550mm	=	1.000	ヶ所
AD-1: アルミ・Fix窓、袖付玄関ドア	幅1,220mm×高2,200mm	=	1.000	ヶ所
AD-2: アルミ・片開き腰 ^ハ ・ネット	幅800mm×高1,980mm	=	1.000	ヶ所
ADW-1: アルミ・ランマ、4枚引違い窓付片開きドア	幅4,530mm×高2,200(2,140)mm	=	1.000	ヶ所
AW-1: アルミ・ランマ付引違い窓	幅1,800mm×高1,700mm	=	9.000	ヶ所
AW-2: アルミ・引違い窓	幅1,800mm×高900mm	=	2.000	ヶ所
AW-3: アルミ・引違い窓	幅1,800mm×高300mm	=	2.000	ヶ所
AW-4: アルミ・引違い窓	幅1,800mm×高750mm	=	1.000	ヶ所
AW-5: アルミ・引違い窓	幅1,330mm×高750mm	=	1.000	ヶ所
AW-6: アルミ・引違い窓	幅1,200mm×高750mm	=	1.000	ヶ所
AW-7: アルミ・引違い窓	幅800mm×高750mm	=	1.000	ヶ所
AW-8: アルミ・引違い窓	幅800mm×高900mm	=	2.000	ヶ所
WW-1: 木製・Fix窓	幅900mm×高760mm	=	1.000	ヶ所

数量計算書

名称	規格	計 算 式	数 量	単位
4.5. 外部床				
床・磁器質タイル	無釉・108mm角 コンクリート下地・モルタル塗 共	1階床伏図より 見付面	$1.35 \times 1.57 + (1.76 + 1.80) \times 0.60 \div 2 = 3.187$ $1.35 \times 0.30 + 1.35 \times 0.16 + 1.78 \times 0.17 + 1.80 \times (0.07 + 0.30) = 1.256$ 計 4.443	m2

数量計算書

名称	規格	計算式			数量	単位
4. 外部雑						
桶工事	非木造専用住宅(陸屋根)・塩ビ製・受金物共	1階床面積より	=	66.000	66.00	床m ²
パルコニ手摺	高さ1,100mm・φ42.7mm・スチール	雑配置図より 3階	=	15.800	15.80	m
屋上丸環	φ19mm・内径100mm・鋼製亜鉛メッキ	雑配置図より 3階	=	6.000		
		屋根	=	2.000		
			計	8.000	8.00	ヶ所
床下換気孔	300mm×150mm	立面図より 東面	=	1.000		
		北面	=	2.000		
			計	3.000	3.00	ヶ所
レジスター	250mm×200mm・樹脂製・外部側がアリ共	立面図より 西面	=	1.000	1.00	ヶ所

数量計算書

名称	規格	計算式		数量	単位
5. 内部仕上					
5. 1. 内部床					
床・磁器質タイル	無釉・108mm角 コンクリート下地・モルタル塗共	1. 932	=	1. 932	m2
床・モルタル塗	厚30mm	25. 857	=	25. 857	m2
床・ヒノケタイル張	厚2mm・半硬質 モルタル塗共	18. 248	=	18. 248	m2
タイル敷	本間・綿引・並 杉合板・木造束立て床組共	4. 500	=	4. 500	枚
床・ヒノケタイル張	厚2mm・半硬質 フッ合板・木造束立て床組共	12. 757	=	12. 757	m2
床・磁器質モザイクタイル	施釉・25mm角 コンクリート下地・モルタル塗共	1. 480	=	1. 480	m2
床・ヒノケタイル張	厚2mm・半硬質 フッ合板・木造ころばし床組共	3. 096	=	3. 096	m2
タイル敷	本間・綿引・並 杉板・木造ころばし床組共	28. 000	=	28. 000	枚
床・寄木フローア張	厚12mm・木造ころばし床組共	8. 617	=	8. 617	m2
床・磁器質モザイクタイル	施釉・25mm角 コンクリート下地・アスファルト防水・モルタル共	2. 457	=	2. 457	m2
床・フローリングボード張	厚14mm×105mm・アビトン・1等 木造ころばし床組共	5. 132	=	5. 132	m2
床・ヒノケタイル張	厚2mm・半硬質・階段モルタル共	8. 465	=	8. 465	m2
階段ボード・モルタル	VE塗・踏面・蹴込	15. 120	=	15. 120	m

数量計算書

名称	規格	計 算 式	数 量	単 位
5.2.内壁				
繊維壁	下地別途	85.258 =	85.26	m2
外装・磁器質タイル	施釉・108mm×60mm・小口平 コンクリート 下地・モルタル塗共	0.421 =	0.42	m2
内壁・モルタル塗金ごて	厚20mm	11.044 =	11.04	m2
幅木モルタル	VE塗・高さ100mm	27.950 =	27.95	m
縦縁モルタル	EP塗・糸幅50～150mm	14.375 =	14.38	m
コーナーシート	ステンレス	12.760 =	12.76	m
繊維壁	石膏ラスボード・木造胴縁組(木造面) 共	17.581 =	17.58	m2
壁・ヒートネット張	モルタル塗金ごて共	12.504 =	12.50	m2
壁・ヒートネット張	梁型・モルタル塗金ごて共	0.542 =	0.54	m2
内装・陶器質タイル	施釉・108mm角・石膏ボード・木造胴 縁組(木造面)共	1.300 =	1.30	m2
内装・陶器質タイル	施釉・108mm角 RC・ブロック・ALC下地	12.200 =	12.20	m2
梁型・モルタル押え塗	厚12mm	0.068 =	0.07	m2
壁・石膏ボード張	厚12.5mm・木造胴縁組(木造面)共	0.253 =	0.25	m2
内壁・モルタル塗金ごて・EP塗	厚20mm	118.797 =	118.80	m2
縦縁モルタル	糸幅50～150mm	19.200 =	19.20	m
壁・ヒートネット張	厚2mm・半硬質・アワン合板共	0.305 =	0.31	m2
壁・プリント合板張	厚4mm・木造胴縁組(木造面)共	14.799 =	14.80	m2
壁・プリント合板張	厚4mm・軸組別途	2.483 =	2.48	m2
内装・陶器質タイル	施釉・108mm角 コンクリート下地・アスファルト 防水・モルタル共	4.378 =	4.38	m2
内壁・モルタル塗金ごて・EP塗	厚20mm・石膏ラスボード・木造胴縁組 (木造面)共	5.157 =	5.16	m2

数量計算書

名称	規格	計算式		数量	単位
幅木モルタル	VE塗・高さ100mm・ラスボード共		4.360	4.36	m
幅木モルタル	VE塗・高さ130mm・ラスボード共		2.720	2.72	m
階段ホンドタモルタル	VE塗・壁付		8.320	8.32	m
階段ホンドタモルタル	VE塗・サテ桁		11.280	11.28	m
回り縁	SOP塗		2.740	2.74	m
木造間仕切軸組・(大壁)	柱@1,800mm・間柱@450mm		78.250	78.25	m2
化粧柱			3.000	3.00	本

数量計算書

名称	規格	計算式			数量	単位
5.3.内部開口部						
AD-3: 760・引違いガラス戸	幅1,600mm×高1,750mm	AD-3	=	1.000	1.00	ヶ所
WD-1: 木製・片引きワッシュ戸	幅800mm×高1,750mm	WD-1	=	1.000	1.00	ヶ所
WD-2: 木製・片引きワッシュ戸	幅800mm×高1,750mm	WD-2	=	1.000	1.00	ヶ所
WD-3: 木製・片引きワッシュ戸	幅800mm×高1,750mm	WD-3	=	1.000	1.00	ヶ所
WD-4: 木製・片引きワッシュ戸	幅800mm×高1,750mm	WD-4	=	1.000	1.00	ヶ所
WD-5: 木製・片引きワッシュ戸	幅600mm×高1,750mm	WD-5	=	2.000	2.00	ヶ所
WD-6: 木製・片引きワッシュ戸	幅680mm×高1,400mm	WD-6	=	1.000	1.00	ヶ所
WD-7: 木製・片引きワッシュ戸	幅800mm×高1,750mm	WD-7	=	2.000	2.00	ヶ所
WD-8: 木製・引違いワッシュ戸	幅1,800mm×高1,750mm	WD-8	=	1.000	1.00	ヶ所
WD-9: 木製・引違いワッシュ戸	幅1,800mm×高1,750mm	WD-9	=	1.000	1.00	ヶ所
WD-10: 木製・引違いワッシュ戸	幅1,840mm×高1,750mm	WD-10	=	1.000	1.00	ヶ所
WG-1: 木製・引違いガラス戸	幅1,830mm×高1,750mm	WG-1	=	1.000	1.00	ヶ所
WG-2: 木製・4枚引違いガラス戸	幅3,720mm×高1,750mm	WG-2	=	1.000	1.00	ヶ所
F-1: 木製・4枚引違いふすま	幅3,820mm×高1,750mm	F-1	=	1.000	1.00	ヶ所
F-2: 木製・引違いふすま	幅1,830mm×高2,270mm	F-2	=	1.000	1.00	ヶ所
F-3: 木製・引違いふすま	幅1,820mm×高2,320mm	F-3	=	1.000	1.00	ヶ所
F-4: 木製・引違いふすま	幅1,800mm×高2,320mm	F-4	=	1.000	1.00	ヶ所
F-5: 木製・引違いふすま	幅1,800mm×高2,280mm	F-5	=	1.000	1.00	ヶ所
WS-1: 木製・スクリーン	幅740mm×高1,710mm	WS-1	=	1.000	1.00	ヶ所

数量計算書

名称	規格	計 算 式	数 量	単 位
5.4. 内部天井				
天井・石膏ボード・EP塗	木造天井下地組共	38.917 = 38.917	38.92	m2
和室天井	杉柁・竿縁・木造天井下地組	40.308 = 40.308	40.31	m2
天井・珪藻土塗金ごて	厚12mm	1.830 = 1.830	1.83	m2
天井・吸音板張	厚9.5mm・化粧穴あきせっこう系・直張 木造天井下地組共	7.219 = 7.219	7.22	m2
浴室天井板張	硬質塩ビ製 木造天井下地組共	2.457 = 2.457	2.46	m2
和室天井	杉柁・敷目・木造天井下地組	18.565 = 18.565	18.57	m2
天井・フロン合板・SOP塗	厚4mm・木造天井下地組	5.132 = 5.132	5.13	m2
天井・珪藻土塗金ごて・EP塗	厚12mm	9.588 = 9.588	9.59	m2

数量計算書

名称	規格	計 算 式	数 量	単 位
5.5. 内部雜				
下駄箱・(洋風タイプ)	幅400mm×長さ1,500mm×高さ850mm程度	= 1.000	1.00	ヶ所
押入れ・(建具除く)	幅910mm・中棚無・天袋付・内装しつくい	= 1.000	1.00	ヶ所
押入れ・(建具除く)	幅1,820mm・中棚付・天袋付・内装しな合板	= 2.000	2.00	ヶ所
カーテンレール	ダブラ・2m物・アルミ製	= 9.000	9.00	組
花崗岩段石	L=2,560mm	= 1.000	1.00	ヶ所
押入れ・(建具除く)	幅910mm・中棚付・天袋付・内装しな合板・床組天井組共	= 2.000	2.00	ヶ所
押入れ・(建具除く)	幅910mm・中棚・エント付・天袋付・SUSパイプ付・内装しな合板・床組天井	= 2.000	2.00	ヶ所
押入れ・(建具除く)	幅1,820mm・中棚無・天袋付・内装しつくい・床組天井組共	= 1.000	1.00	ヶ所
床の間・[エント]	間口910mm×奥行き910mm・床の間内塗壁を含む	= 2.000	2.00	ヶ所
カーテンレール	ダブラ・4m物・アルミ製	= 1.000	1.00	組
階段手摺	高さ900mm・スチール	= 12.730	12.73	m
階段すべり止め金具	幅35mm・ステンレス製・ゴム入り・直張	= 22.800	22.80	m
仕上げ材工事	専用住宅(非木造建物)	= 168.000	168.00	延m2
塗装工事	専用・共同住宅(非木造建物)	= 66.000	66.00	床m2

数量計算書

名称	規格	計算式		数量	単位
6.電気設備					
照明器具	住居系・共同住宅系・並	19.00	= 19.0000	19.00	ヶ所
照明器具	工場系・倉庫系・並	1.00	= 1.0000	1.00	ヶ所
スイッチ	埋込・1連	1.00	= 1.0000	1.00	ヶ所
スイッチ	埋込・2連	9.00	= 9.0000	9.00	ヶ所
コンセント	埋込・1口	2.00	= 2.0000	2.00	ヶ所
コンセント	埋込・2口	16.00	= 16.0000	16.00	ヶ所
分電盤	コンパクト型分岐ブレーカ・1回路・幹線 含まず	1.00	= 1.0000	1.00	ヶ所
分電盤	コンパクト型分岐ブレーカ・12回路・幹 線含む	1.00	= 1.0000	1.00	ヶ所
電灯配線配管設備	住居系・付属品共・(器具含まず)	45.00	= 45.0000	45.00	ヶ所
電灯配線配管設備	倉庫系・付属品共・(器具含まず)	5.00	= 5.0000	5.00	ヶ所
換気扇	羽根径150mm・(浴室用)	1.00	= 1.0000	1.00	ヶ所
電話用屋内配線管	配管・ボックス類・電話機1か所当たり 非木造用	1.00	= 1.0000	1.00	ヶ所
チャイム設備	チャイム・押釦・配線共	1.00	= 1.0000	1.00	ヶ所

数量計算書

名称	規格	計 算 式		数 量	単 位
7. 給排水衛生設備					
7. 1. 給水設備					
横水栓	φ 13・15mm用	5.00	=	5.000	栓
自在水栓	φ 13・15mm用	1.00	=	1.000	栓
シャワー付混合水栓	φ 13・15mm用	1.00	=	1.000	栓
屋内給水(湯)配管	保温(ホ° リスチン) 共	1.00	=	1.000	栓
屋内給水(湯)配管		7.00	=	7.000	栓
ガス風呂釜	屋内据置型・追い焚き専用	1.00	=	1.000	基
井戸用ポンプ	出力250W・浅井戸用	1.00	=	1.000	台
屋外流し台	幅750mm×奥行500mm×高さ170mm	1.00	=	1.000	ヶ所
太陽熱温水器	大容量タイプ・250L・架台・配管共	1.00	=	1.000	基

数量計算書

名称	規格	計算式		数量	単位
7.2.排水設備					
屋内排水配管	硬質塩ビ管・継手・支持金物共	8.00	=	8.000	栓
排水トラフ	床排水用・φ50mm	1.00	=	1.000	ヶ所
排水トラフ	床排水用・φ50mm・防水	1.00	=	1.000	ヶ所
屋外排水配管	φ75mm・硬質塩ビ管・機械掘・平均深さ450mm	18.87	=	18.870	m
溜ます・(既製品)	内法240mm×240mm・雑排水用・機械掘・深390mm	3.00	=	3.000	ヶ所

数量計算書

名称	規格	計算式		数量	単位
7.3.ガス厨房設備					
ガス栓取付	プロパンガス用・1口カマシ	3.00	= 3.000	3.00	ヶ所
ガス栓取付	プロパンガス用・2口カマシ	1.00	= 1.000	1.00	ヶ所
ガス管	プロパンガス用・15A	18.54	= 18.540	18.54	m
流し台	幅1,500mm×奥行き550mm×高さ800mm	1.00	= 1.000	1.00	ヶ所
調理台	幅600mm×奥行き550mm×高さ800mm	1.00	= 1.000	1.00	ヶ所
コンロ台	幅700mm×奥行き543mm×高さ623mm	1.00	= 1.000	1.00	ヶ所
つり戸棚	幅1,050mm×奥行き367mm×高さ500mm	2.00	= 2.000	2.00	ヶ所
つり戸棚・レンジフード用	幅450mm×奥行き385mm×高さ500mm	1.00	= 1.000	1.00	ヶ所
レンジフードファン	強・弱2段切換	1.00	= 1.000	1.00	ヶ所
ウエザカバナー・羽根径200mm用	樹脂製・幅300mm×奥行き270mm×高さ300mm	1.00	= 1.000	1.00	ヶ所

数量計算書

名称	規格	計算式		数量	単位
7.4. 衛生設備					
浴槽・(バス)	幅720mm×長さ920mm×高さ650mm・ (洋風)	1.00	= 1.000	1.00	基
洗面器・(そで無)	幅460mm×奥行き560mm	1.00	= 1.000	1.00	ヶ所
人造石研出し	幅800mm	1.00	= 1.000	1.00	ヶ所
非水洗半底便器		1.00	= 1.000	1.00	ヶ所
非水洗壁掛型小便器		1.00	= 1.000	1.00	ヶ所
便槽・(既製品)	φ780mm×高さ1,350mm・8人用	1.00	= 1.000	1.00	基
排臭ファン・(電動換気)	φ100mm・硬質塩ビ管	1.00	= 1.000	1.00	ヶ所
対ル掛	485mm×64mm×35mm(φ14mm)	2.00	= 2.000	2.00	ヶ所
化粧鏡	350mm×450mm×厚5mm・防錆	2.00	= 2.000	2.00	ヶ所
化粧棚	幅454mm×奥行き140mm	1.00	= 1.000	1.00	ヶ所

数量計算書

名称	規格	計算式		数量	単位
8. 空調和設備					
セパレート型・エアコン	暖冷房除湿型・冷房能力2.2kw	2.00	= 2.000	2.00	台

数量計算書

名称	規格	計	算	式	数量	単位
解体工事						
外部単管一本足場	高さ15m未満・期間1ヶ月・仮設材 運搬共	414.45	=	414.450	414.45	掛m2
外部防災シート張	期間1ヶ月・仮設材運搬共		=	414.450	414.45	掛m2
RC造く体解体	圧砕機・大型ブローカー併用・基礎除 く・(積込共)		=	116.388	116.39	m3
内部造作解体	非木造・住居系・(積込共)	146.00	=	146.000	146.00	延m2
内部造作解体	非木造・工場・倉庫系・(積込共)	22.00	=	22.000	22.00	延m2
便槽・[撤去A]	8人用・既製品・汲取清掃共	1.00	=	1.000	1.00	基

【参考資料】数量積算数値認定表

非木造建物調査積算要領

構造・区分	RC造・壁式	階高	3m以上4m未満	1階床面積	66.00 m ²
用途	専用住宅	階層	3	延床面積	168.00 m ²

別表 統計数量表, 2 統計数量の取扱い

コンクリート	延床面積(m ²) A	統計数量値 B	基礎コンクリート量 C	階高補正率 D	上部く体 コンクリート数 E=(A×B-C)×D	認定値 (m ³)
当該建物	168.00	0.96	51.48	1.06	116.388	116.39
比較建物	—	—			—	

型枠	延床面積(m ²) A	上部く体 コンクリート量 A	統計数量値 B	型枠数量 C=A×B	認定値 (m ²)
当該建物	168.00	116.39	7.64	889.204	889.20
比較建物	—	—	—	—	

【参考資料】建物共通仮設費率及び諸経費率認定表

非木造建物調査積算要領, 別添3 非木造建物工事内訳明細書式, (共通費)

〔1〕 共通仮設費率認定

【建築】

整理番号	構造用途・建築工法	建築直接工事費	計	採用率
A	鉄筋コンクリート造3階建住家兼車庫 ・在来工法	40,886,628	40,886,628	5.85%
B	—	—		

【解体】

整理番号	構造用途・建築工法	建築直接工事費	計	採用率
A	鉄筋コンクリート造3階建住家兼車庫 ・在来工法	3,271,080	3,271,080	5.64%
B	—	—		

〔2〕 純工事費等計算表

整理番号	構造用途・建築工法	建築純工事費 A	解体純工事費 B	廃材運搬費 C	合計 D=A+B+C
A	鉄筋コンクリート造3階建住家兼車庫 ・在来工法	43,278,428	3,455,480	1,046,080	47,779,988
B	—	—	—	—	—
合計					47,779,988

〔2〕 諸経費比較表

区分	純工事費合計額	諸経費率	諸経費 100円未満切捨	採用率
当該建物	47,779,988	23.4%	11,180,500	23.4%
比較建物	45,000,000	24.0%	10,800,000	

様式第8

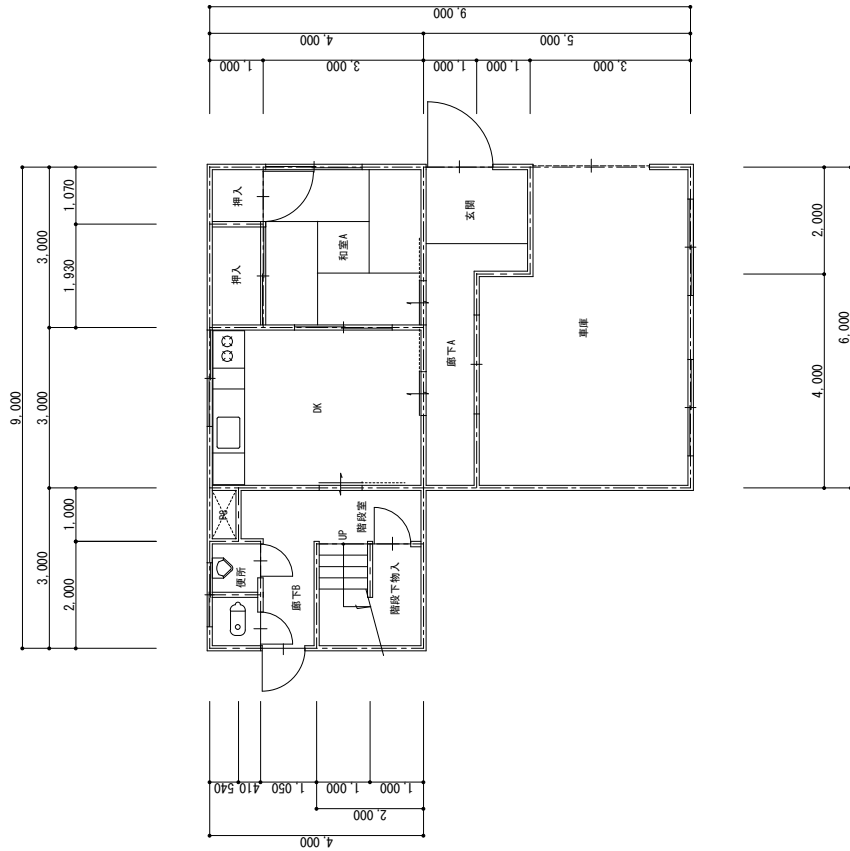
所在地	
所有者住所	
所有者	

【 建物概要表 】	
所在地	屋 根 外防水 7777防水 均し防水
構造用途	鉄筋コンクリート造5階建て住家兼車庫 7777防水 軽重コンクリート(厚50mm) 7777防水 均し防水
建築工法	外 壁 外壁はけ引き・7777防水吹付
1 階床面積	基礎幅木 外壁はけ引き
2 階床面積	庇 屋根：外防水 軒裏：外壁はけ引き・7777防水吹付
3 階床面積	外部 建具 出入口：7777防水・ステンレス窓：7777防水
延床面積	種 別：7777防水 (φ100mm・楕型) 立てどい(径75mm・楕型・丸型) 集水器(100mm用・楕型)
建築面積	その他 八ヶ岳二手摺(7777防水)
住宅面積	
車庫面積	

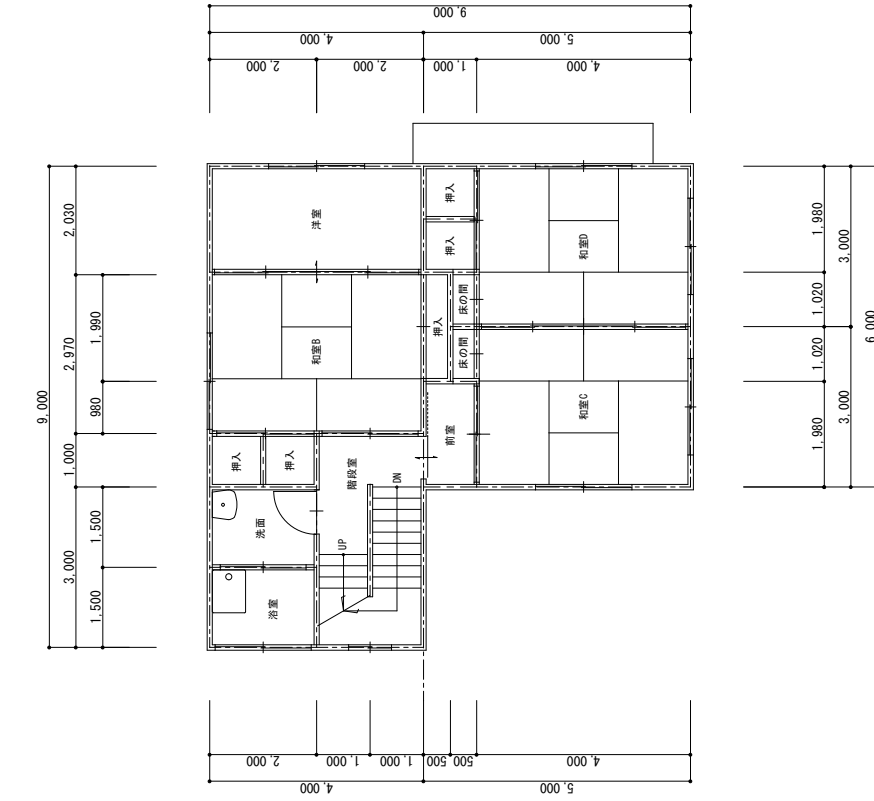
階	室名	天井高	床			幅木			壁			天井			備考
			名称	形状・寸法	形状・寸法	名称	増設箇所(取付位置)	名称	形状・寸法	形状・寸法	名称	形状・寸法			
1	玄関	2.47	床:磁器質タイル	無縁・108mm角 コウリト下地・外防水共	織壁	下地別塗	-	天井:石膏ボード・印塗	木造天井下地組 共	下駄箱 上がり履					
			床:化粧タイル張	厚2mm・半硬質 外防水共	織壁	下地別塗	-	天井:石膏ボード・印塗	木造天井下地組 共	天井:石膏ボード・印塗	木造天井下地組 共				
			床:タイル敷	本間・構引・並 杉板・木造並立て床組 共	織壁	石膏75ボード・木造桐縁組(木造面) 共	木製(床つめ)	和室天井	杉板・葎縁・木造天井下地組 共	杉板・葎縁・木造天井下地組 共	押入 カナツル				
			床:化粧タイル張	厚2mm・半硬質 7777合板・木造並立て床組 共	織壁	石膏75ボード・木造桐縁組(木造面) 共	木製(床つめ)	天井:石膏ボード・印塗	木造天井下地組 共	木造天井下地組 共	吊戸間				
			床:化粧タイル張	厚2mm・半硬質 外防水共	織壁	厚20mm	-	天井:石膏ボード・印塗	木造天井下地組 共	木造天井下地組 共	木製(床つめ)				
			床:磁器質タイル	高縁・25mm角 コウリト下地・外防水共	織壁	厚20mm	内装:タイル張	厚20mm	木造天井下地組 共	木造天井下地組 共	木製(床つめ)				
			床:磁器質タイル	厚2mm・半硬質 7777合板・木造並立て床組 共	織壁	高縁・108mm角 コウリト下地・外防水共	外装:磁器質タイル	厚20mm	木造天井下地組 共	木造天井下地組 共	木製(床つめ)				
			階段下物入	厚30mm	織壁	厚20mm	内装:タイル張	厚20mm	木造天井下地組 共	木造天井下地組 共	木製(床つめ)				
			車庫	厚30mm	織壁	厚20mm	内装:タイル張	厚20mm	木造天井下地組 共	木造天井下地組 共	木製(床つめ)				
			和室B	厚20mm	織壁	厚20mm	内装:タイル張	厚20mm	木造天井下地組 共	木造天井下地組 共	木製(床つめ)				
			洋室	厚12mm	織壁	厚4mm	壁:7777合板張	厚4mm	木造天井下地組 共	木造天井下地組 共	木製(床つめ)				
2	洋室	2.40	床:タイル敷	本間・構引・並 杉板・木造こまぼし床組 共	織壁	石膏75ボード・木造桐縁組(木造面) 共	木製(床つめ)	和室天井	杉板・葎縁・木造天井下地組 共	杉板・葎縁・木造天井下地組 共					
			床:タイル敷	厚2mm・半硬質 7777合板・木造並立て床組 共	織壁	厚4mm	木造天井下地組 共	木造天井下地組 共	天井:吸音板張	厚9.5mm化粧穴あきせつこう系 重張	天井:石膏ボード・印塗	木造天井下地組 共			
			床:タイル敷	厚12mm・木造こまぼし床組 共	織壁	石膏75ボード・木造桐縁組(木造面) 共	木製(床つめ)	和室天井	杉板・葎縁・木造天井下地組 共	杉板・葎縁・木造天井下地組 共	床の間 カナツル				
			床:タイル敷	本間・構引・並 杉板・木造並立て床組 共	織壁	石膏75ボード・木造桐縁組(木造面) 共	木製(床つめ)	和室天井	杉板・葎縁・木造天井下地組 共	杉板・葎縁・木造天井下地組 共	床の間 カナツル				
			床:タイル敷	本間・構引・並 杉板・木造こまぼし床組 共	織壁	石膏75ボード・木造桐縁組(木造面) 共	木製(床つめ)	和室天井	杉板・葎縁・木造天井下地組 共	杉板・葎縁・木造天井下地組 共	床の間 カナツル				
			洗面	厚2mm・半硬質 7777合板・木造並立て床組 共	織壁	厚20mm	内装:タイル張	厚20mm	木造天井下地組 共	木造天井下地組 共	木製(床つめ)				
3	浴室	2.30	床:磁器質タイル	高縁・25mm角 コウリト下地・外防水共	織壁	高縁・108mm角 コウリト下地・外防水共	木製(床つめ)	浴室天井板張	硬質塩化ビニル製 木造天井下地組 共	硬質塩化ビニル製 木造天井下地組 共					
			床:磁器質タイル	厚4mm×108mm 7777合板・木造こまぼし床組 共	織壁	石膏75ボード・木造桐縁組(木造面) 共	木製(床つめ)	和室天井	杉板・葎縁・木造天井下地組 共	杉板・葎縁・木造天井下地組 共	押入 カナツル				
			床:タイル敷	本間・構引・並 杉板・木造こまぼし床組 共	織壁	厚20mm	内装:タイル張	厚20mm	木造天井下地組 共	木造天井下地組 共	木製(床つめ)				
			床:タイル敷	厚14mm×108mm 7777合板・木造こまぼし床組 共	織壁	厚20mm	内装:タイル張	厚20mm	木造天井下地組 共	木造天井下地組 共	木製(床つめ)				
			床:タイル敷	厚4mm×108mm 7777合板・木造こまぼし床組 共	織壁	厚20mm	内装:タイル張	厚20mm	木造天井下地組 共	木造天井下地組 共	木製(床つめ)				

業務名称	
図面名称	仕上表
縮尺	1
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地
所有者住所
所有者



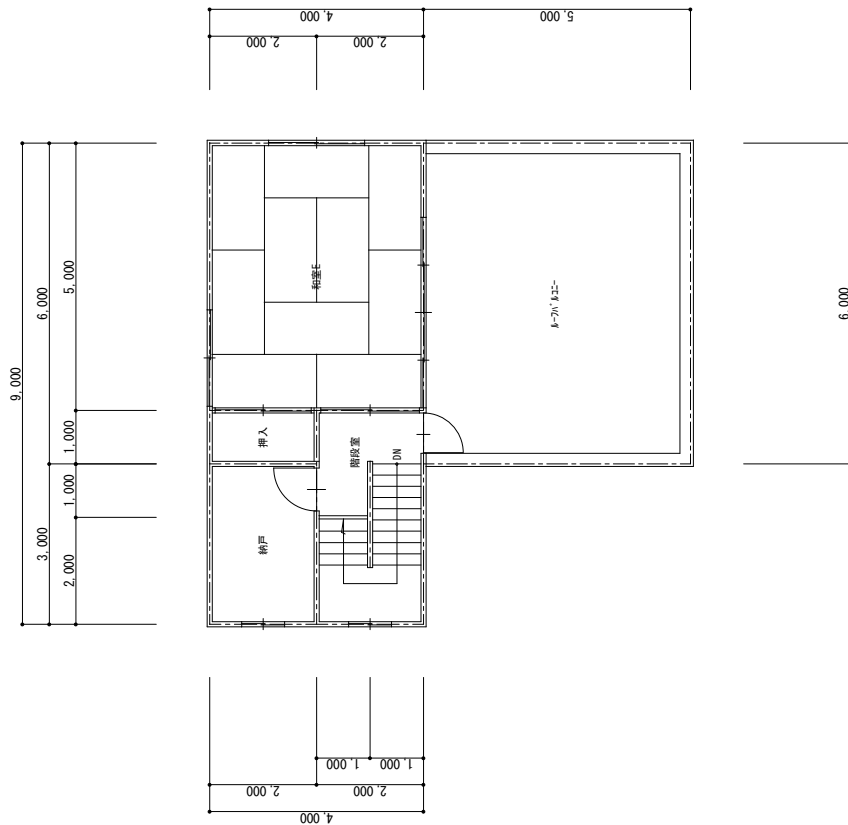
1階平面図



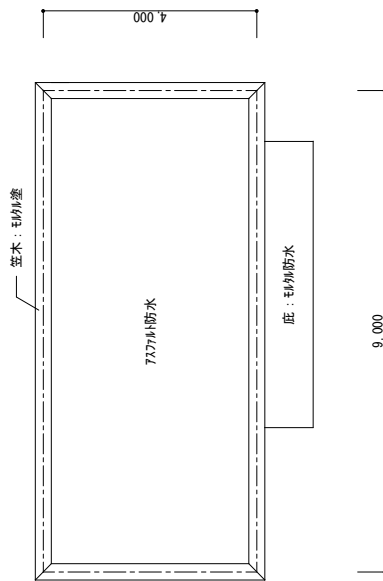
2階平面図

業務名称	
図面名称	1階平面図・2階平面図
縮尺	1/100
図面番号	図面番号
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	



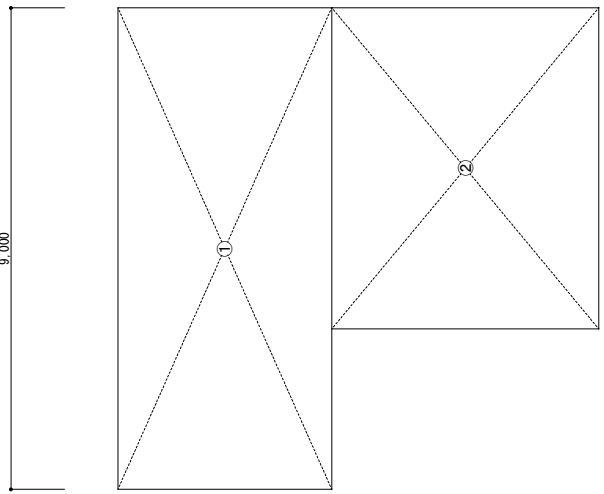
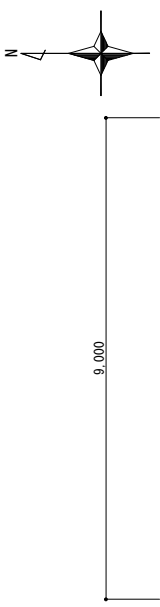
3階平面図



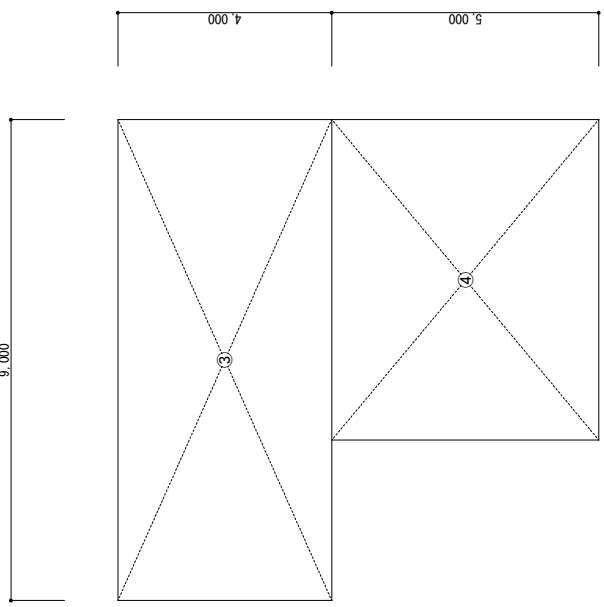
屋根伏図

業務名称	
図面名称	3階平面図・屋根伏図
縮尺	1/100 図面番号
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

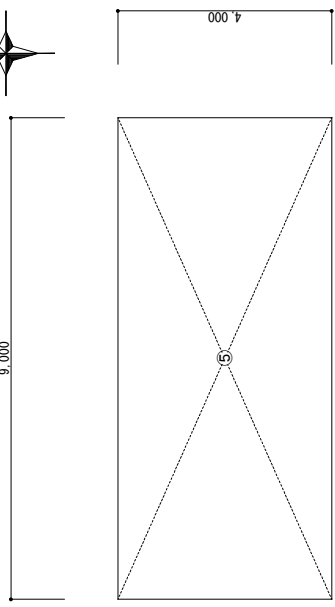
所在地	
所有者住所	
所有者	



1階求積図



2階求積図

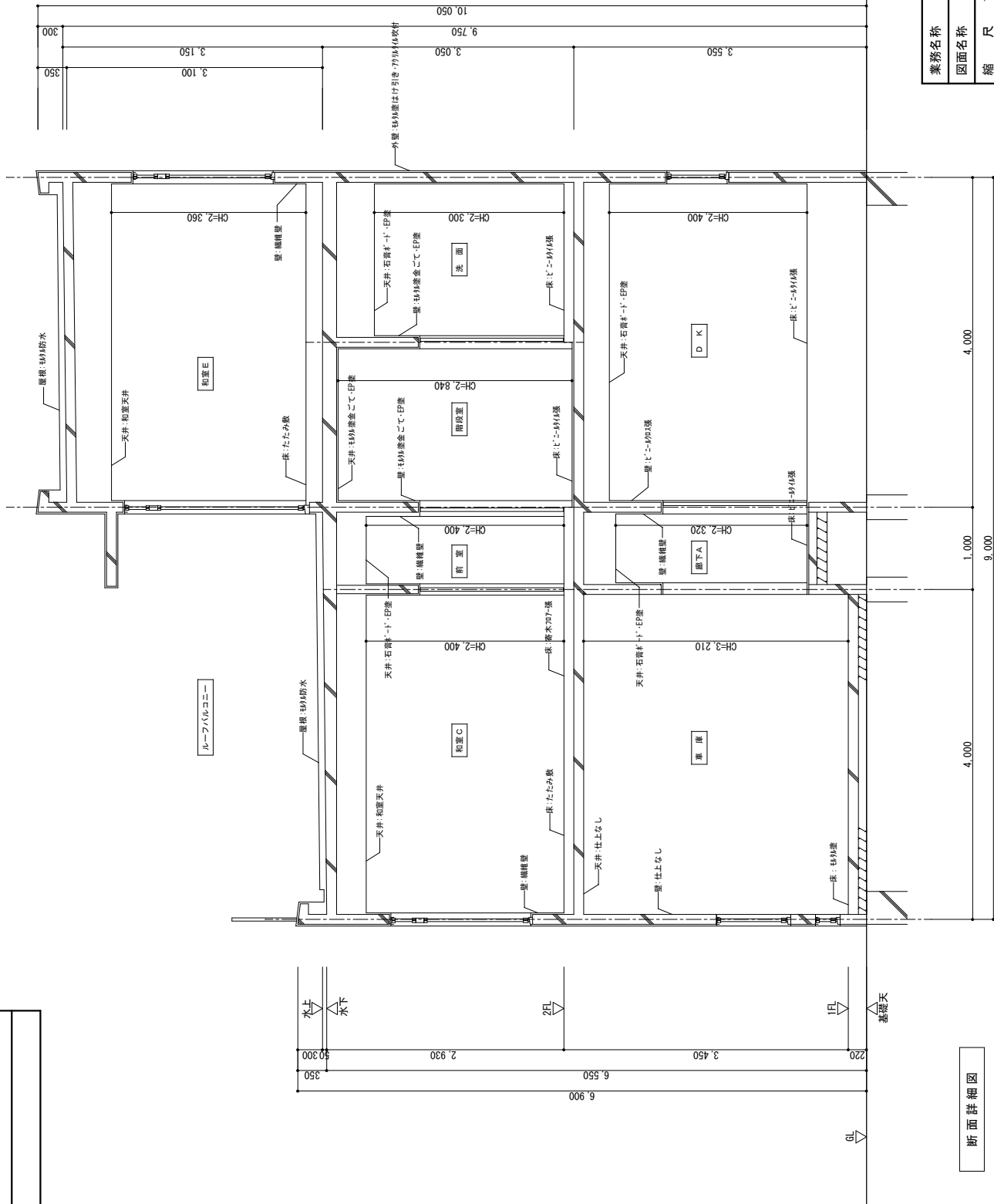


3階求積図

1F	①	9.00	x	4.00	=	36.0000
	②	6.00	x	5.00	=	30.0000
					計	66.0000
		1階床面積				66.00 m ²
2F	③	9.00	x	4.00	=	36.0000
	④	6.00	x	5.00	=	30.0000
					計	66.0000
		2階床面積				66.00 m ²
3F	⑤	9.00	x	4.00	=	36.0000
					計	36.0000
		3階床面積				36.00 m ²
		延床面積				168.00 m ²
		建築面積				66.00 m ²

業務名称	
図面名称	求積図・求積表
縮尺	1/100
図面番号	
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

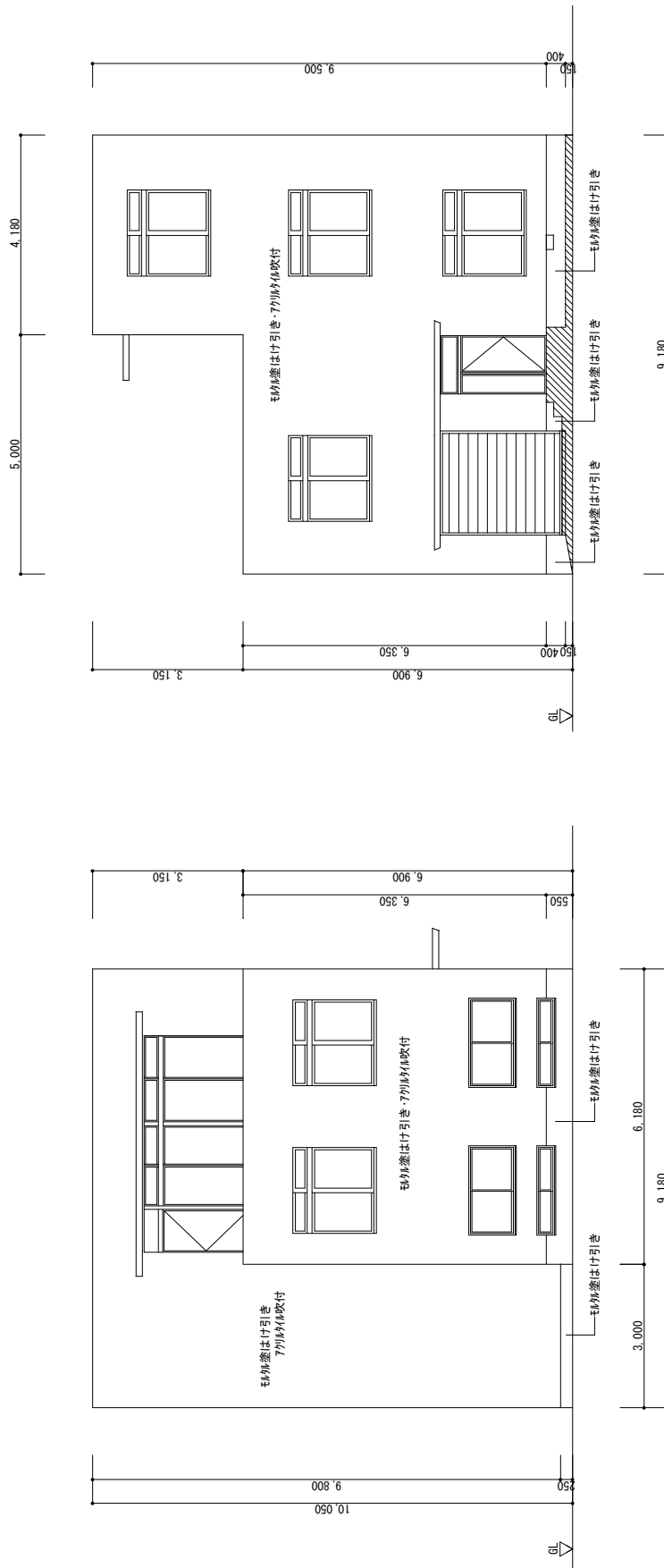
所在地	
所有者住所	
所有者	



断面詳細図

業務名称	断面詳細図	
図面名称	縮尺	1/50
図面番号	縮尺	1/50
受注者の名称	資格及び登録番号	作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	

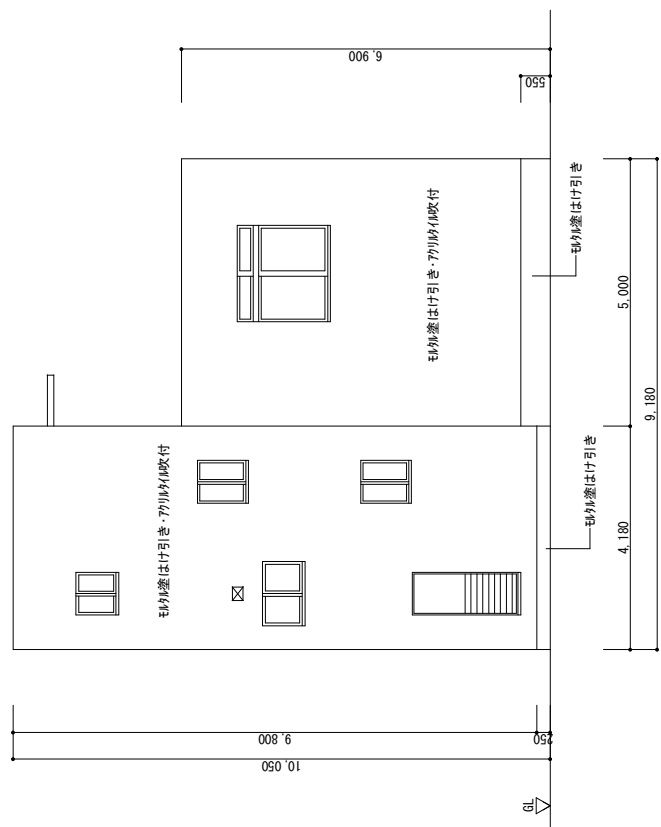


南立面図

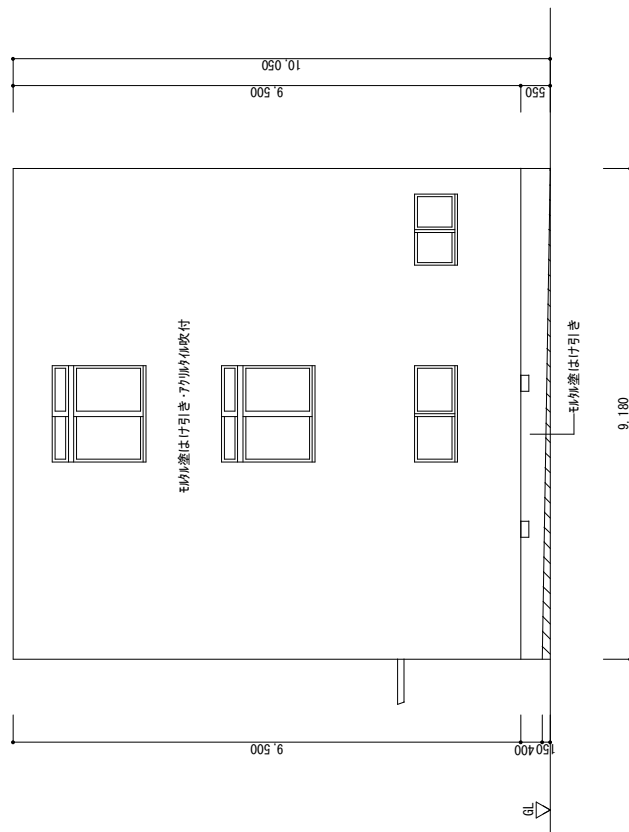
東立面図

業務名称		
図面名称	立面図 1	
縮尺	1/100	図面番号
受注者の名称		資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	



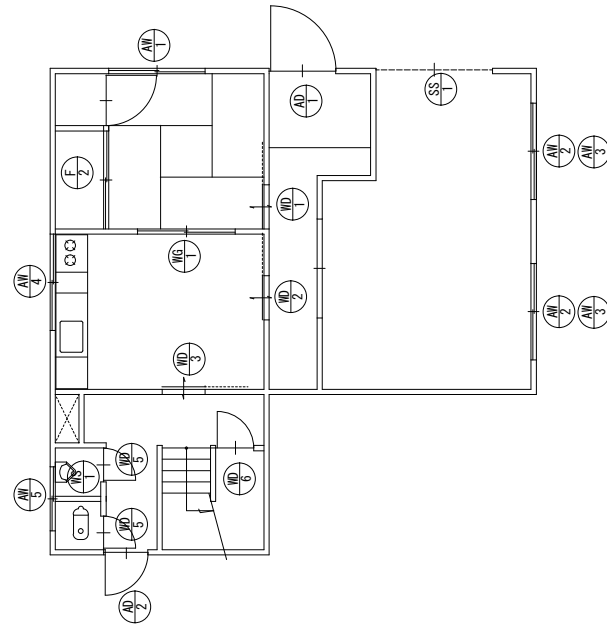
西立面図



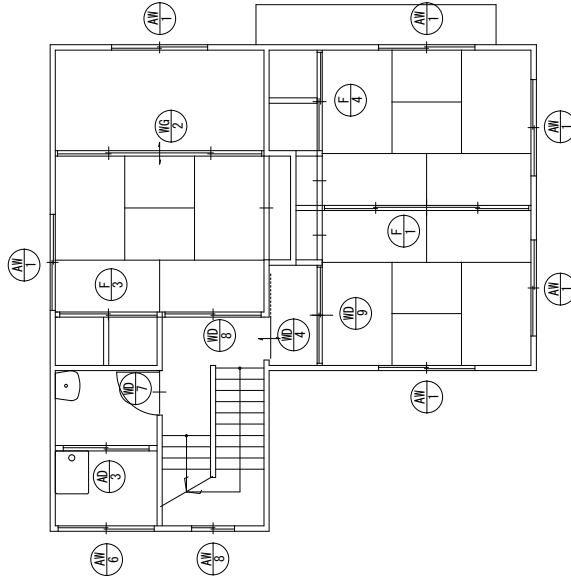
北立面図

業務名称	
図面名称	立面図 2
縮尺	1/100
図面番号	
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

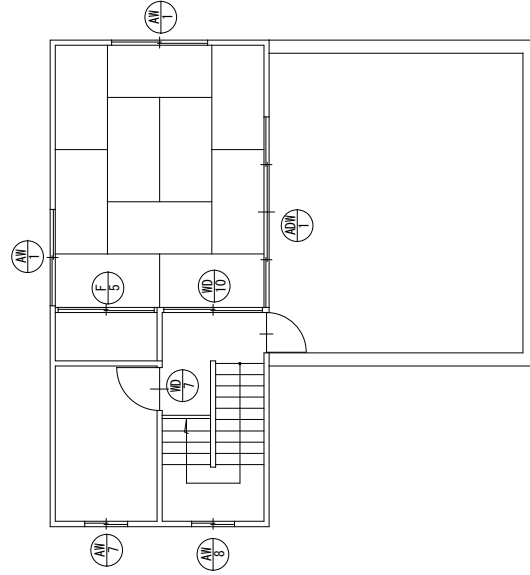
所在地	
所有者住所	
所有者	



1階建具位置図



2階建具位置図



3階建具位置図

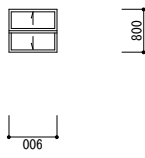
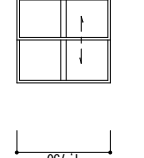
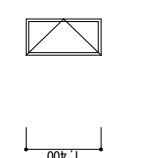
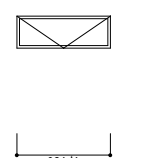
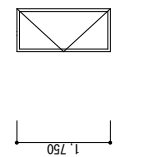

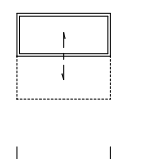
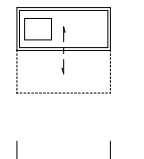
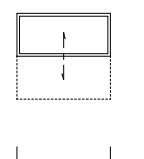
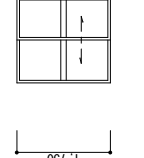
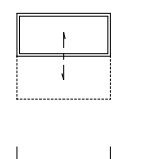
業務名称	
図面名称	建具位置図
縮尺	1/100
図面番号	
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	

【 外部 】	
<p>符号・名称</p> <p>SS-1 ｽｽﾞｰﾙ懸垂ｼｰﾀﾞｰ</p>	<p>AD-1 ｱﾙﾐｳﾐﾌﾗｯｼﾞ補付玄関ﾄﾞｱ</p>
<p>姿 図</p>	<p>AD-2 ｱﾙﾐｳﾐﾌﾗｯｼﾞ補付ﾄﾞｱ</p>
<p>寸法・数量</p> <p>2,180×2,550 1ヶ所</p>	<p>AD-3 ｱﾙﾐｳﾐﾌﾗｯｼﾞ補付玄関ﾄﾞｱ</p>
<p>仕上・ガラス</p> <p>ｽｽﾞｰﾙ焼付塗装</p>	<p>AD-4 ｱﾙﾐｳﾐﾌﾗｯｼﾞ補付玄関ﾄﾞｱ</p>
<p>金物等</p> <p>付属金物一式</p>	<p>AD-5 ｱﾙﾐｳﾐﾌﾗｯｼﾞ補付玄関ﾄﾞｱ</p>
<p>備考</p> <p>ｼｰﾀﾞｰﾀﾞｰｽﾞ ｷｯﾁﾝ</p>	<p>AD-6 ｱﾙﾐｳﾐﾌﾗｯｼﾞ補付玄関ﾄﾞｱ</p>
<p>符号・名称</p> <p>AW-2 ｱﾙﾐｳﾐﾌﾗｯｼﾞ引違い窓</p>	<p>AW-7 ｱﾙﾐｳﾐﾌﾗｯｼﾞ引違い窓</p>
<p>姿 図</p>	<p>AW-5 ｱﾙﾐｳﾐﾌﾗｯｼﾞ引違い窓</p>
<p>寸法・数量</p> <p>1,800×900 2ヶ所</p>	<p>AW-6 ｱﾙﾐｳﾐﾌﾗｯｼﾞ引違い窓</p>
<p>仕上</p> <p>ｼﾊﾞｰﾄﾞ - F4</p>	<p>AW-7 ｱﾙﾐｳﾐﾌﾗｯｼﾞ引違い窓</p>
<p>金物等</p> <p>付属金物一式</p>	<p>AW-8 ｱﾙﾐｳﾐﾌﾗｯｼﾞ引違い窓</p>
<p>備考</p> <p>水切 納戸</p>	<p>AW-9 ｱﾙﾐｳﾐﾌﾗｯｼﾞ引違い窓</p>
<p>寸法・数量</p> <p>2,180×2,550 1ヶ所</p>	<p>AW-10 ｱﾙﾐｳﾐﾌﾗｯｼﾞ引違い窓</p>
<p>仕上・ガラス</p> <p>ｽｽﾞｰﾙ焼付塗装</p>	<p>AW-11 ｱﾙﾐｳﾐﾌﾗｯｼﾞ引違い窓</p>
<p>金物等</p> <p>付属金物一式</p>	<p>AW-12 ｱﾙﾐｳﾐﾌﾗｯｼﾞ引違い窓</p>
<p>備考</p> <p>ｼｰﾀﾞｰﾀﾞｰｽﾞ ｷｯﾁﾝ</p>	<p>AW-13 ｱﾙﾐｳﾐﾌﾗｯｼﾞ引違い窓</p>

業務名称	建築図 1
図面名称	縮尺 1/100
縮尺	図面番号
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	

【 外部 】		【 内部 】	
符号・名称		符号・名称	
			
寸法・数量 800×900 2ヶ所		寸法・数量 1,750×800 2ヶ所	
仕上・ガラス シルバー FL3		仕上・ガラス シルバー FL3	
金物等 付属金物一式		金物等 付属金物一式	
備考 水切 納戸 枠材詰 ライト		備考 水切 納戸 枠材詰 ライト	
符号・名称 AP-8 715引違いガラス戸		符号・名称 AP-3 715引違いガラス戸	
			
寸法・数量 680×1,400 1ヶ所		寸法・数量 1,750×680 1ヶ所	
仕上・ガラス シルバー FL3		仕上・ガラス シルバー FL3	
金物等 付属金物一式		金物等 付属金物一式	
備考 水切 納戸 枠材詰 ライト		備考 水切 納戸 枠材詰 ライト	
符号・名称 AP-6 木製・片開きワカシ戸		符号・名称 AP-7 木製・片開きワカシ戸	
			
寸法・数量 800×1,750 2ヶ所		寸法・数量 800×1,750 2ヶ所	
仕上・ガラス シルバー FL3		仕上・ガラス シルバー FL3	
金物等 付属金物一式		金物等 付属金物一式	
備考 水切 納戸 枠材詰 ライト		備考 水切 納戸 枠材詰 ライト	
符号・名称 AP-9 715引違いガラス戸		符号・名称 AP-4 木製・片引きワカシ戸	
			
寸法・数量 1,600×1,750 1ヶ所		寸法・数量 800×1,750 2ヶ所	
仕上・ガラス 715引違い、型板ガラス、厚4mm(F4)		仕上・ガラス フリ合板張、ビニール合板張、型板ガラス、厚4mm(F4)	
金物等 付属金物一式		金物等 付属金物一式	
備考 水切 納戸		備考 敷居、欄干・SOP	
符号・名称 AP-2 木製・片引きワカシ戸		符号・名称 AP-5 木製・片引きワカシ戸	
			
寸法・数量 800×1,750 2ヶ所		寸法・数量 600×1,750 2ヶ所	
仕上・ガラス フリ合板張、ビニール合板張、型板ガラス、厚4mm(F4)		仕上・ガラス フリ合板張	
金物等 付属金物一式		金物等 付属金物一式	
備考 敷居、欄干・SOP		備考 枠・SOP	
符号・名称 AP-1 木製・片引きワカシ戸		符号・名称 AP-8 木製・片開きワカシ戸	
			
寸法・数量 1,600×1,750 1ヶ所		寸法・数量 800×1,750 2ヶ所	
仕上・ガラス フリ合板張、ビニール合板張、型板ガラス、厚4mm(F4)		仕上・ガラス フリ合板張	
金物等 付属金物一式		金物等 付属金物一式	
備考 敷居、欄干・SOP		備考 枠・SOP	

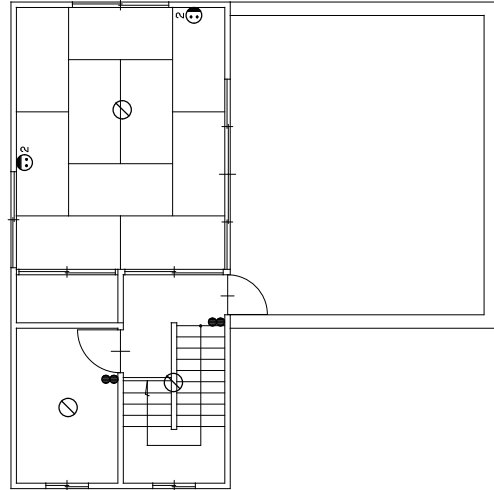
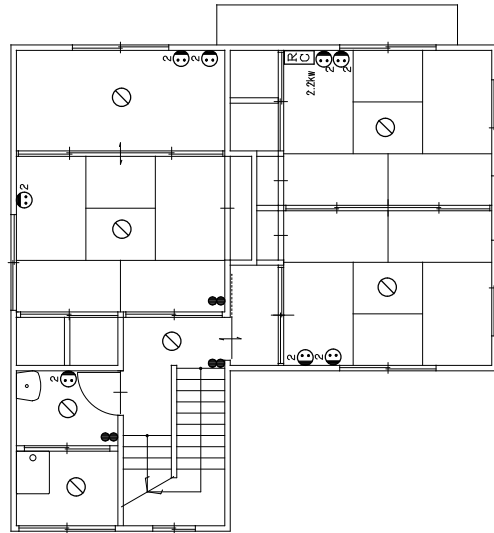
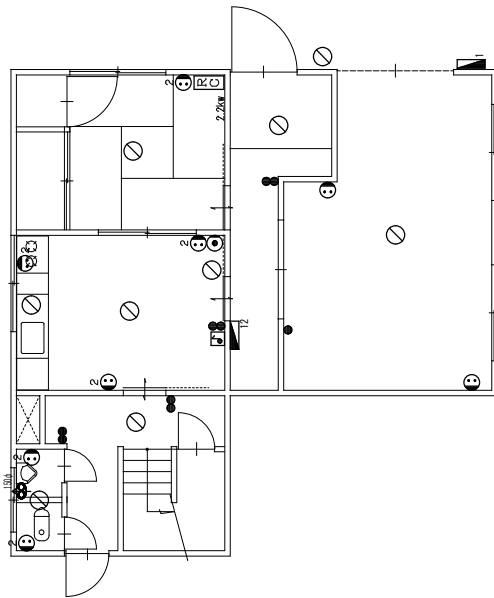
業務名称	
図面名称	建具 姿 図 2
縮尺	1/100
図面番号	
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	

【 内部 】							
符号・名称	木製・引違いワカシ戸	木製・引違いワカシ戸	木製・引違いワカシ戸	木製・引違いワカシ戸	木製・引違いワカシ戸	木製・引違いふすま	木製・引違いふすま
姿 図							
寸法・数量	1,800×1,750 2ヶ所	1,840×1,750 1ヶ所	1,830×1,750 1ヶ所	3,720×1,750 1ヶ所	3,820×1,750 1ヶ所	1,830×2,270 1ヶ所	1,830×2,270 1ヶ所
仕上・ガラス	アクリル合板張	アクリル合板張	型紙付 5x 厚4mm (F4)	型紙付 5x 厚4mm (F4)	型紙付 5x 厚4mm (F4)		
金物等	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式		
備考	敷居・鴨居・SOP	敷居・鴨居・SOP	敷居・鴨居	敷居・鴨居	敷居・鴨居	敷居・鴨居	敷居・鴨居
符号・名称	(F/8) 木製・引違いふすま	(F/4) 木製・引違いふすま	(F/5) 木製・引違いふすま	(F/2) 木製・引違いワカシ戸	(F/1) 木製・4枚引違いふすま	(F/2) 木製・引違いふすま	(F/2) 木製・引違いふすま
姿 図							
寸法・数量	1,820×2,320 1ヶ所	1,800×2,320 1ヶ所	1,800×2,280 1ヶ所	740×1,710 1ヶ所			
仕上・ガラス							
金物等							
備考	敷居・鴨居	敷居・鴨居	敷居・鴨居				

業務名称	建築器具 図 3
図面名称	縮尺 1/100
縮尺	図面番号
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	

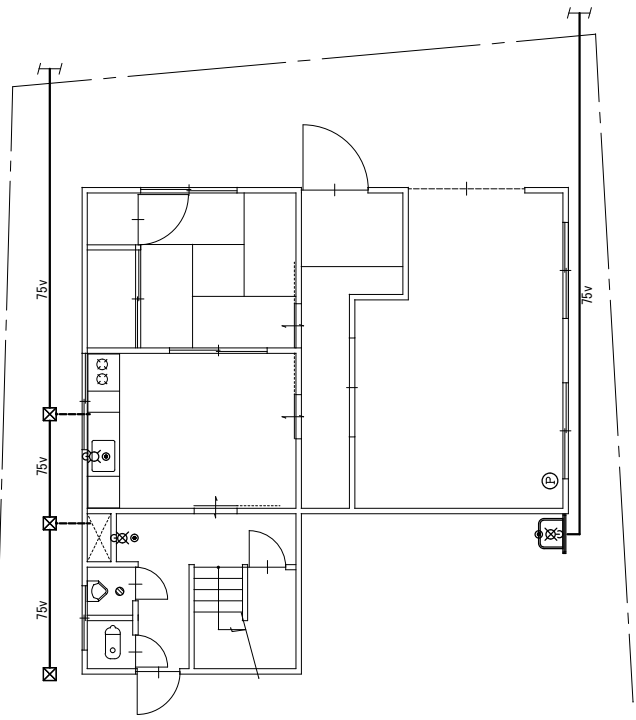
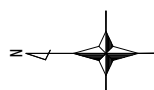


電気設備凡例		名称	仕様	階				合計	単位	備考
記号				1階	2階	3階				
⊙	照明器具	住居系・共同住宅系・並	9	7	3	19	ヶ所			
●	スイッチ	埋込・2連	4	3	2	9	ヶ所			
⊙2	コンセント	埋込・2口	6	8	2	16	ヶ所			
⊙12	分電盤	コハ外型分電アレーカー	1	-	-	1	ヶ所			
⊙	電灯配管配線設備	住宅系・付属品共(器具含まず)	20	18	7	45	ヶ所			
⊙	照明器具	工場系・倉庫系・並	1	-	-	1	ヶ所			
●	スイッチ	埋込・1連	1	-	-	1	ヶ所			
⊙	コンセント	埋込・1口	2	-	-	2	ヶ所			
⊙	分電盤	コハ外型分電アレーカー	1	-	-	1	ヶ所			
⊙	電灯配管配線設備	倉庫系・付属品共(器具含まず)	5	-	-	5	ヶ所			
⊙	換気扇	羽根径 150φ	1	-	-	1	ヶ所			
⊙	電話用屋内配線管	配管・ホック類	1	-	-	1	ヶ所			
⊙	チャイム設備	チャイム・押印・配線共	1	-	-	1	ヶ所			

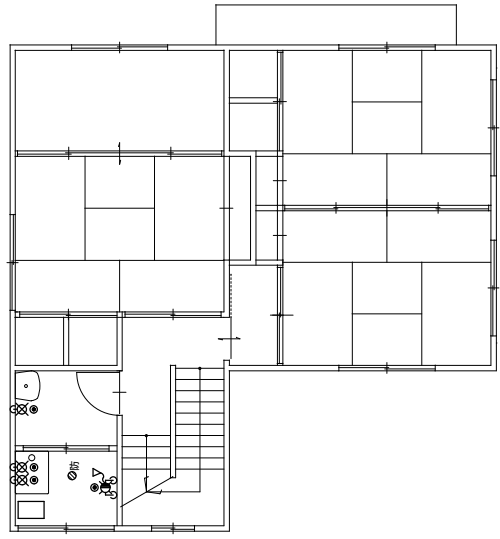
空調設備凡例		名称	仕様	階			合計	単位	備考
記号				1階	2階	3階			
⊙	冷暖	水冷型・エアコン	1	1	-	2	台		

業務名称	電気・空調設備図	
図面名称	電気・空調設備図	
縮尺	1/100	図面番号
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名	

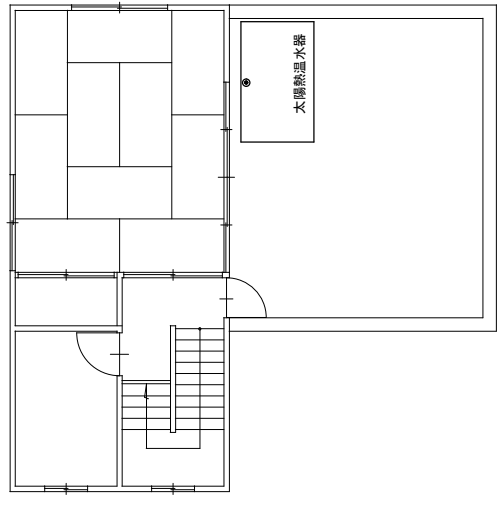
所在地	
所有者住所	
所有者	



1階給水・排水設備図



2階給水・排水設備図



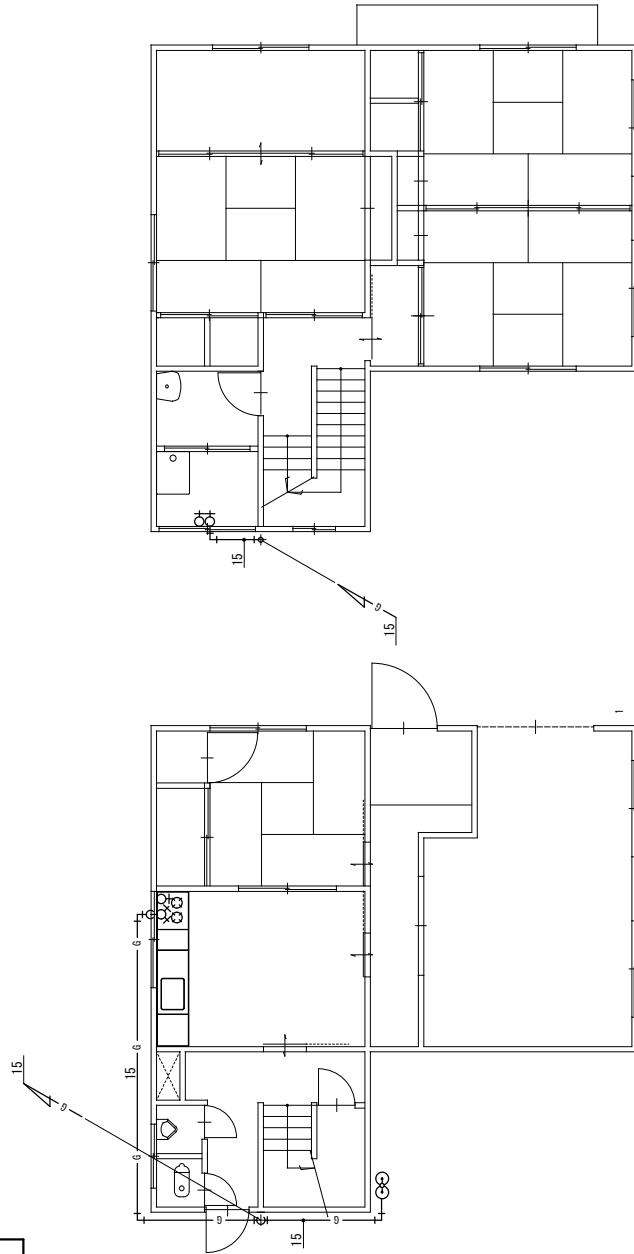
3階給水・排水設備図

記号	名称	仕様	1階	2階	3階	合計	単位	備考
☒	桶水栓	φ13・15mm用	2	3	-	5	栓	
☒	自在水栓	φ13・15mm用	1	-	-	1	栓	
△	シャワー混合水栓	φ13・15mm用・ツールドル	-	1	-	1	栓	
●	屋内給水(湯)配管	非木造建物	2	4	1	7	栓	
●	屋内給水(湯)配管	非木造建物・保温(ホリドリ)共	1	-	-	1	栓	
□	ガス風呂釜	屋内設置型・追い焚き専用	-	1	-	1	基	
Ⓟ	井戸用ポンプ	出力250w・浅井戸用	1	-	-	1	台	
□	屋外流し台	幅750mm×奥行500mm×高さ170mm	1	-	-	1	ヶ所	
□	太陽熱温水器	大容量材7・250L・架台・配線共	-	-	1	1	基	

記号	名称	仕様	1階	2階	3階	合計	単位	備考
○	屋内排水配管	非木造建物	-	-	8	8	栓	屋陰込より
○	排水トラップ	床排水用・φ50mm	1	-	-	1	ヶ所	
○	排水トラップ	床排水用・φ50mm・防 waters	-	1	-	1	ヶ所	
→75v	屋外排水配管	φ75mm・埋設管(管・継ぎ目平均深さ450mm)	-	-	-	-	m	18.87
☒	溜ます(既存品)	内法240mm×240mm・継排水用継ぎ目深さ390mm	3	-	-	3	ヶ所	

業務名称	
図面名称	給水・排水設備図
縮尺	1/100
図面番号	
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	



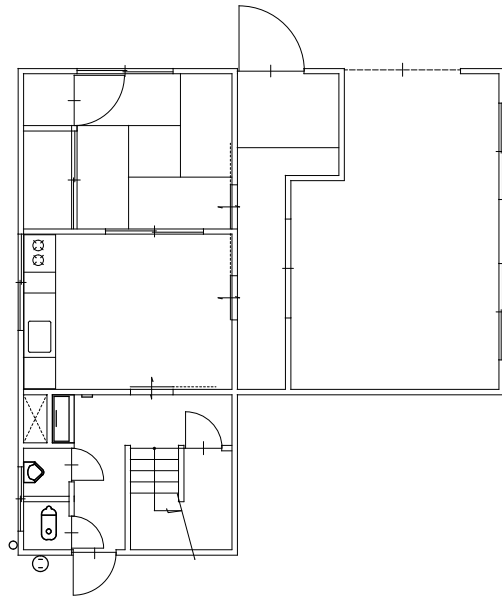
1階ガス・厨房設備図

2階ガス・厨房設備図

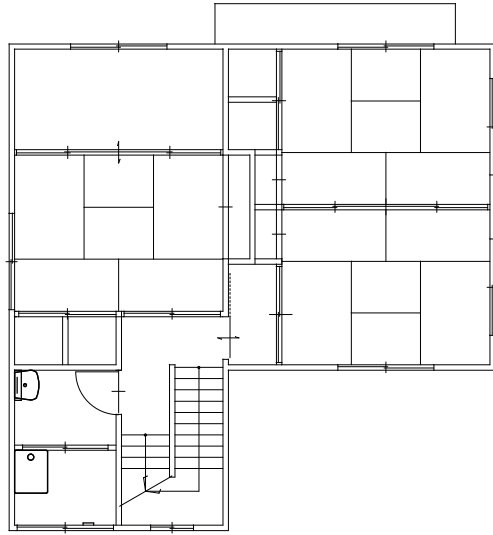
ガス・厨房設備凡例		仕様	1階	2階	3階	合計	単位	備考
記号	名称							
○	ガス栓取付	700mm×奥行150mm×高さ800mm	1	2	-	3	ヶ所	
⊗	ガス栓取付	700mm×奥行200mm×高さ800mm	1	-	-	1	ヶ所	
—G—	ガス管	700mm×奥行150mm	-	-	-	18.54	m	
□	流し台	幅1,500mm×奥行550mm×高さ800mm	1	-	-	1	ヶ所	
□	調理台	幅800mm×奥行550mm×高さ800mm	1	-	-	1	ヶ所	
□	コト台	幅700mm×奥行540mm×高さ620mm	1	-	-	1	ヶ所	
—	つり戸棚	幅1,050mm×奥行367mm×高さ500mm	2	-	-	2	ヶ所	
—	つり戸棚-レンジフード用	幅450mm×奥行385mm×高さ500mm	1	-	-	1	ヶ所	
—	レンジフード-ファン	強-弱2段切換	1	-	-	1	ヶ所	
—	ウジ-カバー	幅300mm×奥行270mm×高さ300mm	1	-	-	1	ヶ所	

業務名称	
図面名称	ガス・厨房設備図
縮尺	1/100
図面番号	
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	



1階衛生設備図



2階衛生設備図

衛生設備凡例		仕様	1階	2階	3階	合計	単位	備考
記号	名称							
□	浴槽 (アクリル)	幅920mm×奥行720mm×高さ650mm (深風呂)	-	1	-	1	基	
□	洗面器 (全て無)	幅460mm×奥行560mm	-	1	-	1	ヶ所	
□	入浴石研出流し	幅800mm	1	-	-	1	ヶ所	
□	非水洗半底便器		1	-	-	1	ヶ所	
□	非水洗盥掛型小便器		1	-	-	1	ヶ所	
○	便器 (既製品)	φ780mm×高さ1,350mm・8人用	1	-	-	1	基	
○	排臭77・(電動換気)	φ100mm・硬質塩化ビニル管	1	-	-	1	ヶ所	
□	外排掛付	485mm×64mm×35mm (φ1.4mm)	1	1	-	2	ヶ所	
-	化粧鏡	350mm×450mm×厚5mm・防錆	1	1	-	2	ヶ所	
□	化粧棚	幅454mm×奥行140mm	-	1	-	1	ヶ所	

業務名称

図面名称 衛生設備図

縮尺 1/100 図面番号

受注者の名称 資格及び登録番号
作成者氏名

算定例 4

【専用住宅（LGS造）】〔プレハブ工法〕

建物移転料算定表[再築工法]

所在地		算定者		整理番号	4
所有者の氏名又は名称		算定年月日	令和5年5月1日	消費税等相当額補償の要否	(要)・否
所有者住所		採用単価	令和5年度	増築の有無(木造・同種構造)	有(○棟)・無(○)

区分	内 容	番号	計 算 式	A 棟		合計	備考		
基本事項	構造・用途	(1)		軽量鉄骨造2階建専用住宅					
	建築工法			プレハブ工法					
	延床面積	(2)		123.54 m ²		123.54 m ²			
	建築面積	(3)		64.49 m ²		64.49 m ²			
	建築年月	(4)		平成17年7月1日					
	標準耐用年数	(5)		55年					
	経過年数	(6)		18年					
工事費等	建築	直接工事費	(7) 工事費(設備工事を含む)	30,850,310		30,850,310			
		共通仮設費	(8) (7)×(木造:3%、非木造:(7)に対応する率(移転先ごとの建築直接工事費の合計額))	5.81%	1,792,400		1,792,400	100円未満切り捨て	
		純工事費	(9) (7)+(8)	32,642,710		32,642,710			
	解体	諸経费率	(10) (9)×((9)+(16)に対する率(発注単位))	25.50%					
		諸経費	(11) (9)+(10)	40,966,510		40,966,510			
		直接工事費	(12) 工事費	1,510,978		1,510,978			
		共通仮設費	(13) (12)×(木造:3%、非木造:(12)に対する共通仮設费率(解体直接工事費の合計額))	5.64%	85,200		85,200	100円未満切り捨て	
		純工事費	(14) (12)+(13)	1,596,178		1,596,178			
		廃材運搬費	(15)	344,700		344,700			
		小 計	(16) (14)+(15)	1,940,878		1,940,878			
	補償額	同種同等	諸経費	(17) (16)×((9)+(16)に対する率(発注単位))	25.50%	494,900		494,900	100円未満切り捨て
			廃材処分費	(18)	1,141,361		1,141,361		
			取りこわし工事費	(19) (16)+(17)+(18)	3,577,139		3,577,139		
			建築工事費(推定再建築費)	(20) (11)	40,966,510		40,966,510		
再築補償率 ^{※1}			(21)	81.70%					
照応建物		現在価格+運用益損失額 ^{※1}	(22) (20)×(21)	33,469,638		33,469,638	1円未満切り捨て		
		取りこわし純工事費	(23) (19)	3,577,139		3,577,139			
		法令改善費の運用益損失額	(24)			-			
		小 計	(25) (22)+(23)+(24)	37,046,777		37,046,777			
		消費税等相当額	(26) (25)×消費税等の税率	3,704,677		3,704,677	1円未満切り捨て		
照応建物	△発生材価格	(27)	53,397		53,397				
	補償額	(28) (25)+(26)-(27)	40,698,057		40,698,057				
	建築工事費(推定再建築費)	(29) (11)従前建物の推定再建築費							
	再築補償率 ^{※1}	(30)							
	現在価格+運用益損失額 ^{※1}	(31) (29)×(30)				1円未満切り捨て			
	現価率	(32)							
	従前建物の現在価格	(33) (29)×(32)				1円未満切り捨て			
	照応建物の推定再建築費	(34)							
	推定再建築費等の差額 ^{※2}	(35) (34)-(29)							
	取りこわし工事費	(36) (19)							
法令改善費の運用益損失額	(37)								
照応建物	小 計	(38) (31)+(35)+(36)+(37)							
	消費税等相当額	(39) (38)×消費税等の税率				1円未満切り捨て			
	△発生材価格	(40)							
	補償額	(41) (38)+(39)-(40)							

※1 木造建物の増築(築年次の異なる同種構造の木造建物が接合)の場合の(21)及び(22)(又は(30)及び(31))については、適宜別紙(任意様式)により求めるものとする。

※2 推定再建築費等の差額(35)が負の値となり、(33)≧(34)の場合の小計(38)は、(33)+(36)+(37)とする。

推定再建築費等の差額(35)が負の値となり、(33)<(34)の場合の小計(38)は、(33)+((34)-(33))×[1-1/(1+r)ⁿ]+(36)+(37)とする(r:年利率、n=従前建物の残耐用年数)。

種目内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	合 計	備 考
建築直接工事費					
I 建築工事費	1	式		21,324,575	
II 建築設備工事費	1	式		9,525,735	
建築直接工事費合計	1	式		30,850,310	
解体直接工事費	1	式		1,510,978	

中科目内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	合 計	備 考
I 建築工事費					
	1	式			
1. 直接仮設	1	式		1,482,480	
2. 土工事・地業	1	式		319,792	
3. <体	1	式		4,711,850	
3.1 基礎<体	1	式	1,687,390		
3.2 上部<体	1	式	3,024,460		
4. 外部仕上	1	式		6,377,978	
4.1 屋根	1	式	1,430,946		
4.2 外壁	1	式	2,024,270		
4.3 外部開口部	1	式	2,299,862		
4.6 外部雑	1	式	622,900		
5. 内部仕上	1	式		8,432,475	
5.1 内部床	1	式	2,014,332		
5.2 内壁	1	式	1,286,103		
5.3 内部開口部	1	式	640,100		
5.4 内部天井	1	式	1,107,107		
5.5 内部雑	1	式	3,384,833		
計				21,324,575	

名 称	数 量	単 位	金 額	合 計	備 考
II 建築設備工事費					
6. 電気設備工事	1	式		3,924,240	
7. 給排水衛生設備	1	式		4,632,495	
7.1 給水設備	1	式	590,500		
7.2 排水設備	1	式	836,035		
7.3 ガス厨房設備	1	式	914,200		
7.4 衛生設備	1	式	2,291,760		
8. 空気調和設備	1	式		969,000	
計				9,525,735	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1. 直接仮設						
仮設工事費(A)	(外部防災シート)・仮設材運搬共	123.54	延m2	12,000	1,482,480	コード 2020010
小計					1,482,480	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2. 土工・地業						
根切り(機械)	小規模・深さ=3.0m以内	36.28	m3	2,140	77,639	コード 2110020
埋戻し(機械)	小規模・深さ3m以内・突固め共	19.70	m3	4,040	79,588	コード 2110080
不用土処分(機械積込)	4t車使用・運搬距離5km	16.58	m3	2,780	46,092	コード 2110320
割石地業	割石・厚100mm	6.07	m3	16,200	98,334	コード 2110440
防湿シート敷	ビニールフィルム・厚0.15mm	62.55	m2	290	18,139	コード 2110470
小計					319,792	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3. く体						
3.1 基礎く体						
捨てコンクリート	18N/mm2・シュート打設	1.50	m3	21,500	32,250	コード 2210020
く体コンクリート	21N/mm2・ポンプ打設・1日50m3未満	9.01	m3	21,100	190,111	コード 2210210
型枠	非木造独立基礎	76.20	m2	6,980	531,876	コード 2220020
鉄筋・加工組立	S造・木造基礎・5t未満	1.09	t	312,300	340,407	コード 2230110
布基礎上り加算	W160mm・H180mm	58.01	m	3,770	218,697	合成単価1
土間コンクリート叩き	厚120mm・有筋(DC13)・すき取り・不用土処分共	62.55	m2	5,980	374,049	コード 2170060
小計					1,687,390	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.2 上部く体						
鋼材費・[材料費のみ]	鉄鋼系プレハブ建物	4.20	t	177,400	745,080	コード 2251010
工場加工・組立	鉄鋼系プレハブ建物	4.20	t	313,200	1,315,440	コード 2251020
現場建方	鉄鋼系プレハブ建物	4.20	t	59,200	248,640	コード 2251030
アンカーボルト埋込	径16mm・支柱用	58.00	本	2,470	143,260	コード 2250440
合成樹脂調合ペイント塗	SOP・鉄骨・3回塗・仕上塗装のみ	252.00	m2	2,270	572,040	合成単価9
小計					3,024,460	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4. 外部仕上						
4.1 屋根						
洋瓦葺	S形瓦・標準色・野地板を除く下地共・(平家)	108.90	m2	9,140	995,346	コード 2410060
洋瓦葺	二階部分加算	108.90	m2	1,080	117,612	コード 2410070
野地板	ラワン合板・厚12mm	108.90	m2	2,920	317,988	コード 2460140
小計					1,430,946	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.2 外壁						
外装・サイディング張	テッセラストーン・塗装品	167.65	m2	9,500	1,592,675	別紙準用資料単価2
壁・断熱材張	厚50mm・ポリスチレンフォーム	159.85	m2	2,700	431,595	コード 2640410
小計					2,024,270	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.3 外部開口部						
玄関アルミドア	ランマ無・中	1.00	ヶ所	121,300	121,300	コード 2530110
勝手口ドア	幅580mm×高さ2,050mm	1.00	ヶ所	93,000	93,000	建具代価1
アルミドア	幅580mm×高さ1,840mm	1.00	ヶ所	86,800	86,800	建具代価2
アルミ引違い窓	大きき区分Ⅱ・網戸付	7.38	m2	59,300	437,634	建具代価3
アルミ引違い窓	大きき区分Ⅱ・網戸付	1.64	m2	59,300	97,252	建具代価3
アルミ引違い窓	大きき区分Ⅱ・網戸付	3.64	m2	59,300	215,852	建具代価3
両袖片引き窓付きFIX	網戸付	2.00	ヶ所	158,000	316,000	建具代価7
アルミ片開き窓	大きき区分Ⅰ・網戸付	0.53	m2	49,200	26,076	建具代価4
アルミ片開き窓	大きき区分Ⅰ・網戸付	0.44	m2	49,200	21,648	建具代価4
アルミ片開き窓	大きき区分Ⅰ・網戸・換気扇付	1.00	ヶ所	33,500	33,500	建具代価5
アルミ片開き窓	大きき区分Ⅰ・網戸付	2.18	m2	49,200	107,256	建具代価4
アルミ片開き窓	大きき区分Ⅰ・網戸付	0.55	m2	49,200	27,060	建具代価4
アルミ片開き窓	大きき区分Ⅰ・網戸・換気扇付	1.00	ヶ所	38,400	38,400	建具代価6
アルミ三段オーニング	網戸付	0.55	m2	49,200	27,060	別紙準用資料単価1
アルミ丸型FIX	大きき区分Ⅰ	1.00	ヶ所	18,300	18,300	建具代価8
軽量シャッターケース	3面	4.90	m	5,130	25,137	コード 2530700
シーリング	シリコン系・[断面30×20]	89.55	m	2,660	238,203	コード 2420220
ガラス工事	木造住宅(一般住宅)・並	123.54	延m2	2,990	369,384	コード 2571030
小計					2,299,862	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.6 外部雑						
グレーチング蓋	内法150mm用・(アルミ製)	3.50	m	4,530	15,855	別紙準用資料単価10
笠木付アルミ手すり	手摺高150mm×笠木幅170mm	6.50	m	26,900	174,850	コード 2470880
玄関ポーチ	タイル張	1.00	ヶ所	58,400	58,400	合成単価6
勝手口ポーチ	モルタル仕上	1.00	ヶ所	10,200	10,200	合成単価7
土間コンクリート叩き	厚90mm・無筋・(DC02)・すき取り・不用土処分共	1.00	m2	3,470	3,470	コード 2170020
アルミ物置	外壁・屋根共	6.83	m2	28,000	191,240	別紙準用資料単価11
樋工事	非木造専用住宅(切妻・片流)・塩ビ製・受金物共	62.55	床m2	2,700	168,885	コード 2680030
小計					622,900	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5. 内部仕上						
5.1 内部床						
床・フローリングボード張	厚15mm×乱尺・なら・1等・下地別途	86.91	m2	12,100	1,051,611	コード 2630020
床・ラワン合板張	厚12mm・2類・床組別途	18.73	m2	4,070	76,231	コード 2460200
木造ころばし床組	高さ150mm・大引@900mm・根太@360mm・板張下地	105.64	m2	4,680	494,395	コード 2460020
床・ビニールシート張	厚2.3mm・クッションシート・下地別途	8.05	m2	3,270	26,323	コード 2630210
断熱材張	厚50mm・密度24kg/m2グラスウール系・一般用	62.55	m2	1,120	70,056	コード 2640370
タタ敷	五八・綿引・並・下地別途	6.00	枚	16,600	99,600	コード 2630380
床・磁器質タイル	無釉・100mm角	2.72	m2	10,500	28,560	コード 2440010
床・モルタル塗	厚37mm・タイル下地	2.72	m2	3,620	9,846	コード 2450140
鋼板ユニット防水	防水下地共	7.00	m2	22,530	157,710	合成単価2
小計					2,014,332	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.2 内壁						
キッチンパネル	メラミン樹脂板	4.63	m2	10,500	48,615	別紙準用資料単価4
壁・ビニールクロス張	中・下地別途	287.87	m2	1,570	451,955	コート' 2631180
壁・せっこうボード張	厚12.5mm・不燃・突付張・下地別途	287.87	m2	2,120	610,284	コート' 2630780
内装・陶器質タイル	施釉・100mm角	0.63	m2	13,900	8,757	コート' 2440170
壁・モルタル塗	厚6mm・内壁タイル下地	0.63	m2	1,440	907	コート' 2450330
壁・合成樹脂板張	厚1.2mm・メラミン樹脂板・下地別途	15.77	m2	10,500	165,585	コート' 2630980
小計					1,286,103	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.3 内部開口部						
ガラス戸	大きき区分Ⅰ・中	1.00	枚	65,400	65,400	コート' 2510111
フラッシュ戸	大きき区分Ⅰ・中	2.00	枚	24,700	49,400	コート' 2510020
フラッシュ戸	大きき区分Ⅰ・中	1.00	枚	24,700	24,700	コート' 2510020
フラッシュ戸	大きき区分Ⅰ・中	1.00	枚	24,700	24,700	コート' 2510020
フラッシュ戸	大きき区分Ⅰ・中	1.00	枚	24,700	24,700	コート' 2510020
フラッシュ戸	大きき区分Ⅰ・中	2.00	枚	24,700	49,400	コート' 2510020
フラッシュ戸	大きき区分Ⅰ・中	4.00	枚	24,700	98,800	コート' 2510020
フラッシュ戸	大きき区分Ⅰ・中	2.00	枚	24,700	49,400	コート' 2510020
フラッシュ戸	大きき区分Ⅰ・中	6.00	枚	24,700	148,200	コート' 2510020
ふすま	大きき区分Ⅰ・中	2.00	枚	18,100	36,200	コート' 2510340
障子	大きき区分Ⅰ・中	2.00	枚	34,600	69,200	コート' 2510250
小計					640,100	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.4 内部天井						
天井・ビニールクロス張	中・下地別途	98.77	m2	1,680	165,933	コート' 2640290
天井・せっこうボード張	厚9.5mm・準・突付張・下地別途	98.77	m2	2,040	201,490	コート' 2640050
軽量鉄骨天井下地組	野縁間隔300mm・下張用	109.45	m2	2,190	239,695	コート' 2470300
断熱材張	厚50mm・密度24kg/m2グラスウール系・一般用	60.99	m2	1,120	68,308	コート' 2640370
外装・サイディング張	厚16mm・幅455mm×長さ3,030mm・窯業系・塗装品	40.28	m2	9,500	382,660	コート' 2630740
和室天井	杉柁(ハリ天)・敷目	10.68	m2	4,590	49,021	コート' 2460700
小計					1,107,107	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.5 内部雑						
下駄箱・(洋風タイプ)	幅400mm×長さ1,500mm×高さ850mm程度	1.00	ヶ所	96,100	96,100	コード [*] 2650480
手摺・壁直付	丸型・径45mm・縦付	1.00	m	6,560	6,560	別紙準用資料単価12
床下点検口	610mm×610mm×高さ460mm程度	2.00	ヶ所	28,200	56,400	別紙準用資料単価13
押入れ・(建具除く)	幅1,820mm・中棚無・天袋無・内装しな合板	1.00	ヶ所	51,200	51,200	コード [*] 2650630
床の間・[ユニット]	間口1,360mm×奥行き910mm・床の間内塗壁を含む	1.00	ヶ所	175,900	175,900	按分単価3
キッチンカウンター		1.00	ヶ所	216,000	216,000	按分単価4
押入れ・(建具除く)	幅970mm・中棚無・天袋無・内装しな合板	1.00	ヶ所	20,500	20,500	按分単価5
手摺・壁直付	丸型・径45mm・横付	2.00	m	6,560	13,120	コード [*] 2650410
物入	幅1,500mm×高さ2,410mm×奥行き600mm	2.00	ヶ所	58,700	117,400	按分単価6
中棚ユニット	幅1,500mm×高さ2,410mm×奥行き400mm	2.00	ヶ所	58,700	117,400	按分単価7
中棚	幅1,500mm	2.00	ヶ所	17,200	34,400	按分単価8
天井点検口	454mm角・アルミ製・開口部補強共	1.00	ヶ所	11,300	11,300	コード [*] 2470320
箱型廻り階段	集成材タイプ・手摺除く	1.00	ヶ所	215,500	215,500	コード [*] 2650330
カーテンレール	ダブル・1.8m程度・アルミ製	5.00	組	9,250	46,250	コード [*] 2471160
スクリーン	W450×H1,300	4.00	ヶ所	12,140	48,560	合成単価8
仕上げ材工事	専用住宅(非木造建物)	123.54	延m2	16,100	1,988,994	コード [*] 2461210
塗装工事	専用・共同住宅(非木造建物)	123.54	延m2	1,370	169,249	コード [*] 2680050
小計					3,384,833	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6. 電気設備						
照明器具	住居系・共同住宅系・中	29.00	ヶ所	60,700	1,760,300	コード [*] 2711270
分電盤	コンパクト型分岐ブレーカ・24回路・幹線含む	1.00	ヶ所	294,400	294,400	合成単価3
スイッチ	埋込・1連	12.00	ヶ所	5,220	62,640	コード [*] 2711600
スイッチ	埋込・2連	5.00	ヶ所	6,310	31,550	コード [*] 2711610
スイッチ	埋込・3連	1.00	ヶ所	7,390	7,390	コード [*] 2711620
スイッチ	埋込・4連	1.00	ヶ所	8,680	8,680	コード [*] 2711630
コンセント	埋込・1口	6.00	ヶ所	5,260	31,560	コード [*] 2711720
コンセント	埋込・2口	26.00	ヶ所	6,370	165,620	コード [*] 2711730
コンセント	埋込・3口	2.00	ヶ所	7,480	14,960	コード [*] 2711740
コンセント	防水型	3.00	ヶ所	4,600	13,800	コード [*] 2711780
電灯配管配線設備	住居系・付属品共・(器具含まず)	86.00	ヶ所	6,240	536,640	コード [*] 2711200
換気扇(天井埋込型)	羽根径150mm・(居室用)	2.00	ヶ所	86,900	173,800	別紙準用資料単価5
構内(街)灯	照明ポール・自動点滅器付	1.00	基	234,000	234,000	コード [*] 2710340
テレビアンテナ	UHF用・軒先他設置・端末整合器2	1.00	基	227,900	227,900	コード [*] 2710480
テレビアンテナ	BS用・BSA-75・軒先他設置・端末整合器2	1.00	基	244,500	244,500	コード [*] 2710500
インターホン設備	玄関子機1・室内親機1・(住居用)	1.00	式	62,300	62,300	コード [*] 2710550
電話用屋内配線管	配管・ボックス類・差込口1ヶ所当たり非木造用	2.00	ヶ所	15,700	31,400	コード [*] 2710511
火災報知設備	住宅用火災警報機・電池式(警報音・警報灯内蔵型)	2.00	ヶ所	11,400	22,800	コード [*] 2710780
小計					3,924,240	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7. 給排水衛生設備						
7.1 給水設備						
上水道引込工事	20m/m	1.00	ヶ所	193,300	193,300	コード 近給44
ホーム水栓	φ13・15mm用	1.00	栓	4,700	4,700	コード 2740040
散水栓・箱付	φ13・15mm用・鋳鉄製310mm×200mm	1.00	栓	28,400	28,400	コード 2740080
屋内給水(湯)配管	非木造建物	9.00	栓	32,400	291,600	コード 2740191
屋外給水配管	φ20mm・硬質塩ビ管・継手・機械掘・深さ300mm	13.00	m	2,400	31,200	コード 2760240
屋外水栓柱	塩ビ製・高さ840mm・横水栓付	1.00	ヶ所	13,800	13,800	コード 2761410
屋外流し台	幅550mm×奥行500mm×高さ170mm	1.00	ヶ所	27,500	27,500	コード 2761440
小計					590,500	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.2 排水設備						
屋内排水配管	非木造建物	9.00	栓	46,200	415,800	コード 2800011
屋外排水配管	φ50mm・硬質塩ビ管・機械掘・平均深さ450mm	27.50	m	5,630	154,825	コード 2820100
屋外排水配管	φ100mm・硬質塩ビ管・機械掘・平均深さ450mm	17.50	m	9,820	171,850	コード 2820130
溜ます・(既製品)	内法300mm×300mm・雑排水用・機械掘・深450mm	3.00	ヶ所	5,070	15,210	コード 2821240
溜ます・(既製品)	内法300mm×400mm・雑排水用・機械掘・深460mm	1.00	ヶ所	6,610	6,610	別紙準用資料単価6
溜ます・(既製品)	内法300mm×500mm・雑排水用・機械掘・深460mm	1.00	ヶ所	7,660	7,660	按分単価2
塩ビ製パイプインポート樹	φ150mm・機械掘・深300mm	8.00	ヶ所	8,010	64,080	コード 2822250
小計					836,035	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.3 ガス厨房設備						
システムキッチン	IH型・食洗付	1.00	ヶ所	417,000	417,000	合成単価4
造付食器棚	W180cm×D45cm×H235cm	1.00	ヶ所	497,200	497,200	按分単価9
小計					914,200	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.4 衛生設備						
洗面化粧ユニット	幅1,050mm・シングルレバー混合水栓・化粧鏡付	1.00	ヶ所	178,800	178,800	コート [*] 2830220
水洗洋風便器(腰掛式)	密結形ロータンク	2.00	ヶ所	102,300	204,600	別紙準用資料単価8
温水洗浄式便座	便座保温・温風乾燥なし	2.00	ヶ所	103,000	206,000	コート [*] 2830290
浄化槽(送風機等共)	合併処理槽(し尿+生活雑排水)・5人槽・設置費共	1.00	基	525,200	525,200	コート [*] 2830390
システムバス	幅1,800mm×奥行1,600mm	1.00	基	1,036,500	1,036,500	別紙準用資料単価7
タオル掛	485mm×64mm×35mm(φ14mm)	3.00	ヶ所	12,300	36,900	コート [*] 2830540
カウンター付手洗器	単水栓・化粧鏡付	1.00	ヶ所	60,200	60,200	別紙準用資料単価9
手すり付ペーパーホルダー		2.00	ヶ所	21,780	43,560	合成単価5
小計					2,291,760	

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8. 空気調和設備						
セパレート型・エアコン	暖冷房除湿型・冷房能力2.8kw	2.00	台	303,300	606,600	コート [*] 2850050
セパレート型・エアコン	暖冷房除湿型・冷房能力4.0kw	1.00	台	362,400	362,400	コート [*] 2850070
小計					969,000	

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9. 解体工事						
外部枠組本足場	高さ12m未満・900枠・期間4ヶ月・仮設材運搬共	193.12	掛m2	3,490	673,988	コート [*] 2010102
外部防災シート張	期間4ヶ月・仮設材運搬共	193.12	掛m2	950	183,464	コート [*] 2010762
S造く体解体	鋼材量30~50kg/m2・基礎除く(積込共)	123.54	延m2	3,250	401,505	コート [*] 2900070
内部造作解体	非木造・住居系(積込共)	123.54	延m2	2,040	252,021	コート [*] 2900200
小計					1,510,978	

数量計算書

名称 / 形状寸法等	計 算 式	数量	単位	備 考
1. 直接仮設				
仮設工事費(A) (外部防災シート)・仮設材運搬共	123.54	123.54	延m2	
2. 1 土工				
根切り(機械) 小規模・深さ=3.0m以内	別紙計算書より 36.279	36.28	m3	
埋戻し(機械) 小規模・深さ3m以内・突固め共	別紙計算書より 19.704	19.70	m3	
不用土処分(機械積込) 4t車使用・運搬距離5km	別紙計算書より 16.575	16.58	m3	
2. 2 地業				
割石地業 割石・厚100mm	別紙計算書より 6.067	6.07	m3	
防湿シート敷 ビニール/A・厚0.15mm	62.55	62.55	m2	
3. く 体				
3. 1 基礎く体				
捨てコンクリート 18N/mm2・シート打設	別紙計算書より 1.501	1.50	m3	
く 体コンクリート 21N/mm2・ポンプ打設・1日50m3未満	別紙計算書より 9.007	9.01	m3	
型枠 非木造独立基礎	別紙計算書より 76.199	76.20	m2	
鉄筋・加工組立 S造・木造基礎・5t未満	別紙計算書より 1.089	1.09	t	
布基礎立上り加算 W160mm・H180mm	9.06*3+1.56+7.56*3+3.53+2.03+1.03	58.01	m	
土間コンクリート叩き 厚120mm・有筋・(DC13)・すき取り・不用土処分共	1階床面積 62.55	62.55	m2	

数量計算書

名称 / 形状 / 寸法等	計 算 式	数量	単位	備 考
3. 2 上部く体				
鋼材費・[材料費のみ] 鉄鋼系7'レハジ'建物	別紙計算書より 4. 200	4. 20	t	
工場加工・組立 鉄鋼系7'レハジ'建物	別紙計算書より 4. 200	4. 20	t	
現場建方 鉄鋼系7'レハジ'建物	別紙計算書より 4. 200	4. 20	t	
アンカー・ボルト埋込 径16mm・主柱用	29*2. 0	58. 00	本	
合成樹脂調合ペイント塗 SOP・鉄骨・3回塗・仕上塗装のみ	4. 20*60	252. 00	m2	
4. 外部仕上				
4. 1 屋根				
洋瓦葺				
S形瓦・標準色・野地板を除く下地共・(平家)	108. 903	108. 90	m2	
洋瓦葺				
二階部分加算	108. 903	108. 90	m2	
野地板				
ワゴン合板・厚12mm	108. 903	108. 90	m2	
4. 2 外壁				
外装・サイディング'張 7'レハジ'ストーン・塗装品	167. 649	167. 65	m2	
壁・断熱材張 厚50mm・ポリスチレンフォーム	159. 849	159. 85	m2	
4. 3 外部開口部				
玄関7'レハジ'	AD-1			
7'レハジ'無・中	1. 00	1. 00	ヶ所	

数量計算書

名称 / 形状寸法等	計 算 式	数量	単位	備 考
勝手口ドア 幅580mm×高さ2,050mm	1.000	1.00	ヶ所	
アルミドア 幅580mm×高さ1,840mm	1.000	1.00	ヶ所	
アルミ引違い窓 大きさ区分Ⅱ・網戸付	7.380	7.38	m2	
アルミ引違い窓 大きさ区分Ⅱ・網戸付	1.638	1.64	m2	
アルミ引違い窓 大きさ区分Ⅱ・網戸付	3.636	3.64	m2	
両袖引き窓付きFIX 網戸付	2.000	2.00	ヶ所	
アルミ片開き窓 大きさ区分Ⅰ・網戸付	0.529	0.53	m2	
アルミ片開き窓 大きさ区分Ⅰ・網戸付	0.441	0.44	m2	
アルミ片開き窓 大きさ区分Ⅰ・網戸・換気扇付	1.000	1.00	ヶ所	
アルミ片開き窓 大きさ区分Ⅰ・網戸付	2.184	2.18	m2	
アルミ片開き窓 大きさ区分Ⅰ・網戸付	0.546	0.55	m2	
アルミ片開き窓 大きさ区分Ⅰ・網戸・換気扇付	1.000	1.00	ヶ所	
アルミ二段オープンガ 網戸付	0.546	0.55	m2	
アルミ丸型FIX 大きさ区分Ⅰ	1.000	1.00	ヶ所	
軽量シャッターケース 3面	4.900	4.90	m	
シーリング シリコン系・[断面30×20]	89.552	89.55	m	
ガラス工事 本造住宅(一般住宅)・並	123.540	123.54	延m2	

数量計算書

名称 / 形状寸法等	計 算 式	数量	単位	備 考
4. 6 外部雑				
クレタダグ蓋				
内法150mm用・(7尺製)	3.50	3.50	m	
笠木付7尺手すり				
手摺高150mm×笠木幅170mm	6.50	6.50	m	
玄関ポーチ				
タイル張	1.00	1.00	ヶ所	
勝手口ポーチ				
モルタル仕上	1.00	1.00	ヶ所	
土間コンクリート叩き				
厚90mm・無筋・(DC02)・すき取り・不用土処分共	1.00	1.00	m2	
7尺物置				
外壁・屋根共	6.83	6.83	m2	
樋工事				
非木造専用住宅(切妻・片流)・塩ビ製・受金物共	62.55	62.55	床m2	
5. 内部仕上				
5. 1 内部床				
床・7尺引ダボ・1張				
厚15mm×乱尺・なら・1等・下地別塗	86.910	86.91	m2	
床・ラック合板張				
厚12mm・2類・床組別塗	18.730	18.73	m2	
木造ころばし床組				
高さ150mm・大引@900mm・根太@360mm・板張下地	105.640	105.64	m2	
床・ビニールシート張				
厚2.3mm・クッションシート・下地別塗	8.050	8.05	m2	
断熱材張				
厚50mm・密度24kg/m2グラスウール系・一般用	62.550	62.55	m2	
タイル敷				
五人・綿引・並・下地別塗	6.000	6.00	枚	
床・磁器質タイル				
無釉・100mm角	2.716	2.72	m2	
床・モルタル塗				
厚37mm・タイル下地	2.716	2.72	m2	
鋼板エッジ防水				
防水下地共	7.000	7.00	m2	

数量計算書

名称 / 形状 / 法等	計 算 式	数量	単位	備 考
5.2 内壁				
キッチン 裨				
珪藻土樹脂板	4.625	4.63	m2	
壁・ビニールクロス張				
中・下地別途	287.870	287.87	m2	
壁・せっこうボード張				
厚12.5mm・不燃・突付張・下地別途	287.870	287.87	m2	
内装・陶器質タイル				
施釉・100mm角	0.630	0.63	m2	
壁・モルタル塗				
厚6mm・内壁タイル下地	0.630	0.63	m2	
壁・合成樹脂板張				
厚1.2mm・珪藻土樹脂板・下地別途	15.774	15.77	m2	
5.3 内部開口部				
ガラス戸				
WD-1				
大きさ区分 I・中	1.000	1.00	枚	
ガラス戸				
WD-2				
大きさ区分 I・中	2.000	2.00	枚	
ガラス戸				
WD-3				
大きさ区分 I・中	1.000	1.00	枚	
ガラス戸				
WD-4				
大きさ区分 I・中	1.000	1.00	枚	
ガラス戸				
WD-5				
大きさ区分 I・中	1.000	1.00	枚	
ガラス戸				
WD-6				
大きさ区分 I・中	2.000	2.00	枚	
ガラス戸				
WD-7				
大きさ区分 I・中	4.000	4.00	枚	
ガラス戸				
WD-8				
大きさ区分 I・中	2.000	2.00	枚	
ガラス戸				
WD-9				
大きさ区分 I・中	6.000	6.00	枚	

数量計算書

名称 / 形状寸法等	計 算 式		数量	単位	備 考
ふすま	F-1				
大きさ区分I・中	2.00	2.000	2.00	枚	
障子	S-1				
大きさ区分I・中	2.00	2.000	2.00		
5.4 内部天井					
天井・ビニールクロス張					
中・下地別塗	98.766	98.766	98.77	m2	
天井・せつこうボード張					
厚9.5mm・準・突付張・下地別塗	98.766	98.766	98.77	m2	
軽量鉄骨天井下地組					
野縁間隔300mm・下張用	109.446	109.446	109.45	m2	
断熱材張					
厚50mm・密度24kg/m2ガラスウール系・一般用	60.99	60.990	60.99	m2	
外装・平行インク張					
厚16mm・幅455mm×長さ3,030mm・窯業系・塗装品	40.281	40.281	40.28	m2	
和室天井					
杉桁(ハリ天)・敷目	10.680	10.680	10.68	m2	
5.5 内部雑					
下駄箱・(洋風タイプ)					
幅400mm×長さ1,500mm×高さ850mm程度	1.00	1.000	1.00	ヶ所	
手摺・壁直付					
丸型・径45mm・縦付	1.00	1.000	1.00	m	
床下点検口					
610mm×610mm×高さ460mm程度	2.00	2.000	2.00	ヶ所	
押入れ・(建具除く)					
幅1,820mm・中棚無・天袋無・内装しな合板	1.00	1.000	1.00	ヶ所	
床の間・[エント]					
間口1,360mm×奥行き910mm・床の間内塗壁を含む	1.00	1.000	1.00	ヶ所	
キッチンカウンター					
押入れ・(建具除く)	1.00	1.000	1.00	ヶ所	
幅970mm・中棚無・天袋無・内装しな合板	1.00	1.000	1.00	ヶ所	

数量計算書

名称 / 形状寸法等	計算式		数量	単位	備考
手摺・壁直付 丸型・径45mm・横付 物入	2.00	2.000	2.00	m	
幅1,500mm×高さ2,410mm×奥行き600mm	2.00	2.000	2.00	ヶ所	
中棚ユニット	2.00	2.000	2.00	ヶ所	
幅1,500mm×高さ2,410mm×奥行き400mm	2.00	2.000	2.00	ヶ所	
中棚	2.00	2.000	2.00	ヶ所	
幅1,500mm	1.00	1.000	1.00	ヶ所	
天井点検口 454mm角・ﾌﾙｽ製・開口部補強共	1.00	1.000	1.00	ヶ所	
箱型廻り階段 集成材ﾀｲﾌﾟ・手摺除く	1.00	1.000	1.00	ヶ所	
カーテンレール ﾀﾞﾌﾞﾙ・1.8m程度・ﾌﾙｽ製	5.00	5.000	5.00	組	
ｽｸﾘｰﾝ W450×H1,300	4.00	4.000	4.00	ヶ所	
仕上げ材工事 専用住宅(非木造建物)	123.54	123.540	123.54	延m2	
塗装工事 専用・共同住宅(非木造建物)	123.54	123.540	123.54	延m2	
6.電気設備	設備図面による				
7.給排水衛生設備	設備図面による				
7.1給水設備	設備図面による				
7.2排水設備	設備図面による				
7.3ガス厨房設備	設備図面による				
7.4衛生設備	設備図面による				
8.空気調和設備	設備図面による				

統計数量表による工種別数量計算書							
構造	S 造 (L G S)	用途	専用住宅		杭地業補正率 有 : 0.8(根切)0.9(基礎コン) 無 : 1.0		
建物延面積	123.54	m ²	1階面積	62.55	m ²	階層率 = 建物延面積 ÷ 1階面積	
平均階高	2.67 = (2.67+2.66) ÷ 2				1.98 = 123.54m ² ÷ 62.55m ²		
地盤状況による補正率 硬質地盤 : 0.90 普通地盤 : 1.00 軟弱地盤 : 1.10							
階層率	1.3未満	1.3~2.3	2.3~3.3	3.3~4.3	4.3~5.3	5.3~6.3	
階層区分	1階	2階	3階	4階	5階	6階	
※クレーンが設置されている場合の補正 鉄骨数量 = V × (S1 × 1.1 + S2) V = 統計数量値 S1 = 走行クレーン可動床面積 S2 = 延床面積 - S1							
根切り 「表 (7) (8)」	統計数量値 × (杭地業補正率 or 地盤状況補正率) × 1階床面積 0.58 × 1.00 × 62.55					36.279 m ³	
埋戻し	根切り - 残土処分 + G L 下土間コン及び割栗石 (別途計上) 36.279 - 16.575					19.704 m ³	
残土処分	割栗石 + 捨てコン + 基礎コン + (G L 下土間コン及び割栗石) 6.067 + 1.501 + 9.007					16.575 m ³	
割栗石 基礎下 「表 (7) (8)」	統計数量値 × 1階床面積 0.097 × 62.55					6.067 m ³	
G L 下土間 (別途計上)	対象面積 × 厚 ()					m ³	
捨てコンクリート 「表 (7) (8)」	統計数量値 × 1階床面積 0.024 × 62.55					1.501 m ³	
基礎コンクリート 「表 (7) (8)」	統計数量値 × (杭地業補正率 or 地盤状況補正率) × 1階床面積 0.144 × 1.00 × 62.55					9.007 m ³	
型枠 (基礎) 「表 (7) (8)」	基礎コンクリート量 × 統計数量値 9.007 × 8.46					76.199 m ²	
鉄筋 「表 (7) (8)」	基礎コンクリート量 × 統計数量値 9.007 × 0.121					1.089 t	
鉄骨 「表 (14~16)」	統計数量値 × 延床面積 (注 ※補正) 34 × 123.54					4.200 t	

【参考資料】数量積算数値認定表

非木造建物調査積算要領

構造・区分	軽量鉄骨造(LGS造)・ 鉄鋼系プレハブ工法	階高	3m未満	1階床面積	62.55 m ²
用途	専用住宅	階層	2	延床面積	123.54 m ²

別表 統計数量表, 2 統計数量の取扱い

鉄骨	延床面積(m ²) A	統計数量値 B	胴縁補正 C	母屋補正 D	統計数量値 補正後 E=B×(1-C+D)	鋼材量(t) F=A×E÷1000	認定値 (t)
当該建物	123.54	34	1.00	1.00	34	4.200	4.20
比較建物	—	—	—	—	—	—	

【参考資料】建物共通仮設費率及び諸経費率認定表

非木造建物調査積算要領, 別添3 非木造建物工事内訳明細書式, (共通費)

〔1〕 共通仮設費率認定

【建築】

整理番号	構造用途・建築工法	建築直接工事費	計	採用率
A	軽量鉄骨造2階建専用住宅 ・プレハブ工法	30,850,310	30,850,310	5.81%
B	—	—		

【解体】

整理番号	構造用途・建築工法	建築直接工事費	計	採用率
A	軽量鉄骨造2階建専用住宅 ・プレハブ工法	1,510,978	1,510,978	5.64%
B	—	—		

〔2〕 純工事費等計算表

整理番号	構造用途・建築工法	建築純工事費 A	解体純工事費 B	廃材運搬費 C	合計 D=A+B+C
A	軽量鉄骨造2階建専用住宅 ・プレハブ工法	32,642,710	1,596,178	344,700	34,583,588
B					
合 計					34,583,588

〔2〕 諸経費比較表

区 分	純工事費合計額	諸経費率	諸経費 100円未満切捨	採用率
当該建物	34,583,588	25.5%	8,818,800	25.5%
比較建物	30,000,000	26.4%	7,920,000	

所在地	布2カントリー(ビシラ仕上)
所有者住所	軽量鉄骨造2階建専用住宅
所有者	プレハブ工法

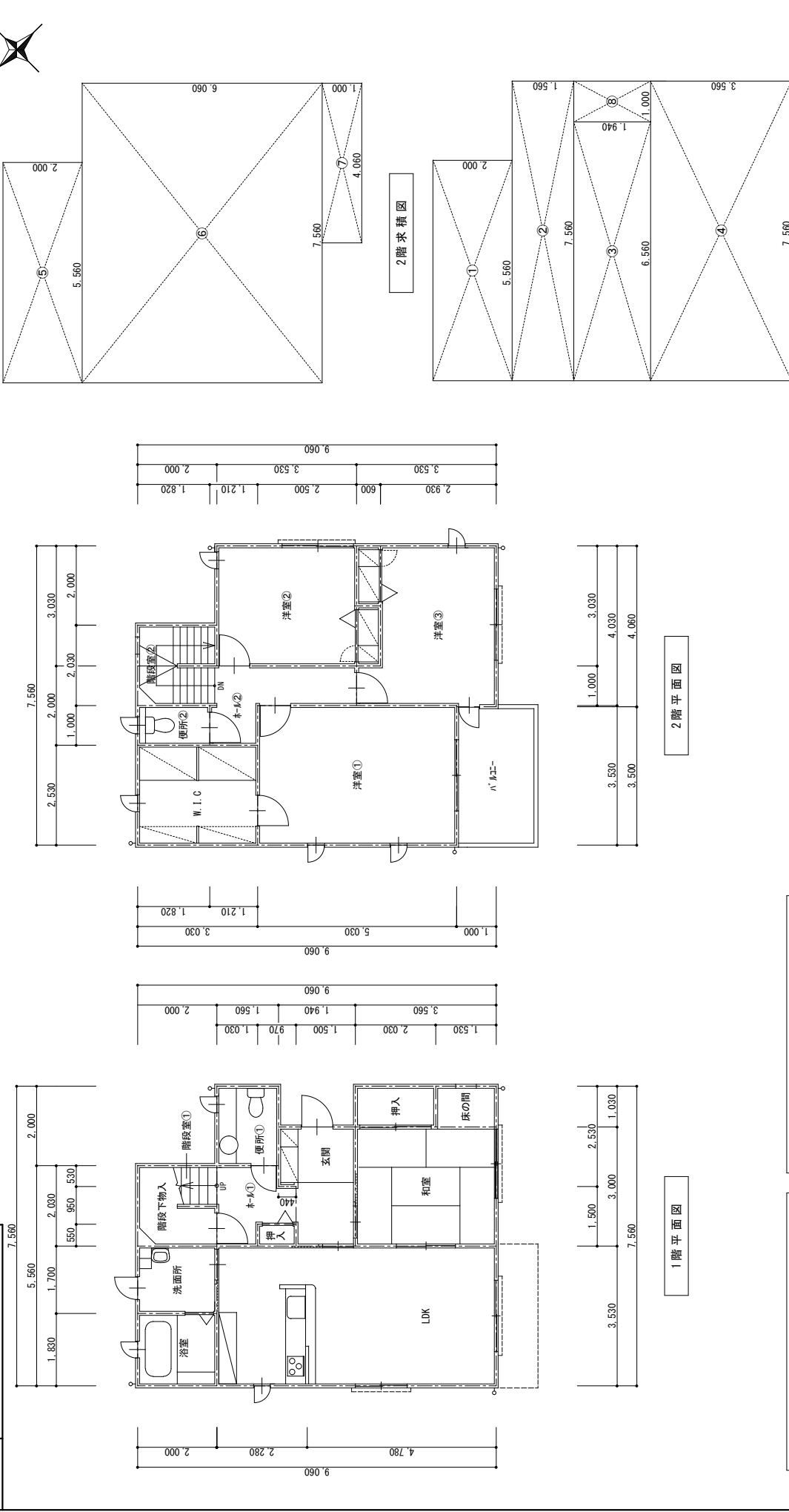
【 建物概要表 】	
所在地	基礎
構造用途	洋瓦葺 モジュラー 鋼製母屋 合板厚12mm
建築工法	軒天井 軒裏材行イグ張 厚120mm
1階床面積	外壁 軒イグ張 7ヶ所ストン
2階床面積	軒樋 PVC樹脂 H-160
延床面積	壁樋 PVC樹脂 M-160H
建築面積	パリエー 外装 軒イグ張 7ヶ所ストン 塗装品

階	室名	天井高	床			壁			天井			備考	
			名称	形状・寸法	幅木	名称	形状・寸法	名称	名称	形状・寸法			
1	玄関	2.68	床:フロリングボード張 木造こぼし床組	厚15mm×乱尺(なら)等・下地別塗 高さ150mm・寸法1890mm・根本6360mm・板幅下地	化粧樺木	壁:ビニールクロス張 壁:せっこうボード張	中・下地別塗 厚12.5mm・不燃・変付強・下地別塗	外装 軒イグ張 天井:ビニールクロス張	厚16mm・幅45.5mm×長さ3.030mm 鋼製系 塗装品	形状・寸法	下駄箱(洋風付)		
			床:磁器調タタ 床:毛材塗	無縁・100mm角 厚37mm・タタ下地		内装:陶器調タタ 壁:毛材塗	床:100mm角 厚6mm・内装タタ下地	天井:せっこうボード張 軽量鉄骨天井下地組	中・下地別塗 野線間隔300mm・下張用	中・下地別塗			
			床:フロリングボード張 木造こぼし床組	厚15mm×乱尺(なら)等・下地別塗 高さ150mm・寸法1890mm・根本6360mm・板幅下地	化粧樺木	壁:ビニールクロス張 壁:せっこうボード張	中・下地別塗 厚12.5mm・不燃・変付強・下地別塗	天井:ビニールクロス張 軽量鉄骨天井下地組	中・下地別塗 野線間隔300mm・下張用	中・下地別塗	手摺(欄干) 押入れ		
			床:フロリングボード張 木造こぼし床組	厚15mm×乱尺(なら)等・下地別塗 高さ150mm・寸法1890mm・根本6360mm・板幅下地	-	壁:ビニールクロス張 壁:せっこうボード張 軒イグ張	中・下地別塗 厚12.5mm・不燃・変付強・下地別塗 杉	天井:ビニールクロス張 軽量鉄骨天井下地組	中・下地別塗 野線間隔300mm・下張用	中・下地別塗	軒イグ張 カナル		
和室	2.50	床:和合板張 木造こぼし床組	厚12mm・2類・床組別塗 高さ150mm・寸法1890mm・根本6360mm・板幅下地	-	壁:ビニールクロス張 壁:せっこうボード張 畳寄せ	中・下地別塗 厚12.5mm・不燃・変付強・下地別塗	軽量鉄骨天井下地組 和室天井	野線間隔300mm・下張用 杉	野線間隔300mm・下張用 杉	床下点検口 押入れ	床の間		
		床:和合板張 床:ニルカ張	厚2.3mm・7ヶ所3ヶ所ストン・下地別塗 高さ150mm・寸法1890mm・根本6360mm・板幅下地	化粧樺木	壁:ビニールクロス張 壁:せっこうボード張	中・下地別塗 厚12.5mm・不燃・変付強・下地別塗	天井:ビニールクロス張 軽量鉄骨天井下地組	中・下地別塗 野線間隔300mm・下張用	中・下地別塗	SOP・細物・本都3回塗・素地ごしらえ共			
洗面所	2.50	床:フロリングボード張 木造こぼし床組	厚12mm・2類・床組別塗 高さ150mm・寸法1890mm・根本6360mm・板幅下地	化粧樺木	壁:合成樹脂板張	厚1.2mm・杉・樹脂板・下地別塗	天井:ビニールクロス張 軽量鉄骨天井下地組	中・下地別塗 野線間隔300mm・下張用	中・下地別塗	床下点検口			
		床:ニルカ張	厚2.3mm・7ヶ所3ヶ所ストン・下地別塗 高さ150mm・寸法1890mm・根本6360mm・板幅下地	-	壁:ビニールクロス張 壁:せっこうボード張	中・下地別塗 厚12.5mm・不燃・変付強・下地別塗	天井:ビニールクロス張 軽量鉄骨天井下地組	中・下地別塗 野線間隔300mm・下張用	中・下地別塗	手摺(欄干) 箱型廻り階段			
洋室①	2.47	床:フロリングボード張 木造こぼし床組	厚15mm×乱尺(なら)等・下地別塗 高さ150mm・寸法1890mm・根本6360mm・板幅下地	化粧樺木	壁:ビニールクロス張 壁:せっこうボード張	中・下地別塗 厚12.5mm・不燃・変付強・下地別塗	天井:ビニールクロス張 軽量鉄骨天井下地組	中・下地別塗 野線間隔300mm・下張用	中・下地別塗	カナル	中廊エント		
		床:フロリングボード張 木造こぼし床組	厚15mm×乱尺(なら)等・下地別塗 高さ150mm・寸法1890mm・根本6360mm・板幅下地	化粧樺木	壁:ビニールクロス張 壁:せっこうボード張	中・下地別塗 厚12.5mm・不燃・変付強・下地別塗	天井:ビニールクロス張 軽量鉄骨天井下地組	中・下地別塗 野線間隔300mm・下張用	中・下地別塗	カナル		天井点検口 中廊	
洋室②	2.47	床:フロリングボード張 木造こぼし床組	厚15mm×乱尺(なら)等・下地別塗 高さ150mm・寸法1890mm・根本6360mm・板幅下地	化粧樺木	壁:ビニールクロス張 壁:せっこうボード張	中・下地別塗 厚12.5mm・不燃・変付強・下地別塗	天井:ビニールクロス張 軽量鉄骨天井下地組	中・下地別塗 野線間隔300mm・下張用	中・下地別塗	カナル			
		床:フロリングボード張 木造こぼし床組	厚15mm×乱尺(なら)等・下地別塗 高さ150mm・寸法1890mm・根本6360mm・板幅下地	化粧樺木	壁:ビニールクロス張 壁:せっこうボード張	中・下地別塗 厚12.5mm・不燃・変付強・下地別塗	天井:ビニールクロス張 軽量鉄骨天井下地組	中・下地別塗 野線間隔300mm・下張用	中・下地別塗	カナル			
W・I・C	2.47	床:フロリングボード張 木造こぼし床組	厚15mm×乱尺(なら)等・下地別塗 高さ150mm・寸法1890mm・根本6360mm・板幅下地	化粧樺木	壁:ビニールクロス張 壁:せっこうボード張	中・下地別塗 厚12.5mm・不燃・変付強・下地別塗	天井:ビニールクロス張 軽量鉄骨天井下地組	中・下地別塗 野線間隔300mm・下張用	中・下地別塗	天井点検口 中廊			
		床:フロリングボード張 木造こぼし床組	厚15mm×乱尺(なら)等・下地別塗 高さ150mm・寸法1890mm・根本6360mm・板幅下地	化粧樺木	壁:ビニールクロス張 壁:せっこうボード張	中・下地別塗 厚12.5mm・不燃・変付強・下地別塗	天井:ビニールクロス張 軽量鉄骨天井下地組	中・下地別塗 野線間隔300mm・下張用	中・下地別塗	天井点検口 中廊			

【 内部仕上表 】						
階	室名	天井高	床	壁	天井	備考
1	玄関	2.68	床:フロリングボード張 木造こぼし床組	壁:ビニールクロス張 壁:せっこうボード張	中・下地別塗 厚12.5mm・不燃・変付強・下地別塗	外装 軒イグ張 天井:ビニールクロス張
1	和室	2.50	床:和合板張 木造こぼし床組	壁:ビニールクロス張 壁:せっこうボード張 畳寄せ	中・下地別塗 厚12.5mm・不燃・変付強・下地別塗	軽量鉄骨天井下地組 和室天井
1	洗面所	2.50	床:フロリングボード張 木造こぼし床組	壁:合成樹脂板張	厚1.2mm・杉・樹脂板・下地別塗	天井:ビニールクロス張 軽量鉄骨天井下地組
1	洋室①	2.47	床:フロリングボード張 木造こぼし床組	壁:ビニールクロス張 壁:せっこうボード張	中・下地別塗 厚12.5mm・不燃・変付強・下地別塗	天井:ビニールクロス張 軽量鉄骨天井下地組
1	洋室②	2.47	床:フロリングボード張 木造こぼし床組	壁:ビニールクロス張 壁:せっこうボード張	中・下地別塗 厚12.5mm・不燃・変付強・下地別塗	天井:ビニールクロス張 軽量鉄骨天井下地組
1	W・I・C	2.47	床:フロリングボード張 木造こぼし床組	壁:ビニールクロス張 壁:せっこうボード張	中・下地別塗 厚12.5mm・不燃・変付強・下地別塗	天井:ビニールクロス張 軽量鉄骨天井下地組

業務名称	業務名称 仕上表 1
図面名称	縮尺 1 図面番号
縮尺	1 資格及び登録番号
受注者の名称	作成者氏名

所在地
所有者住所
所有者



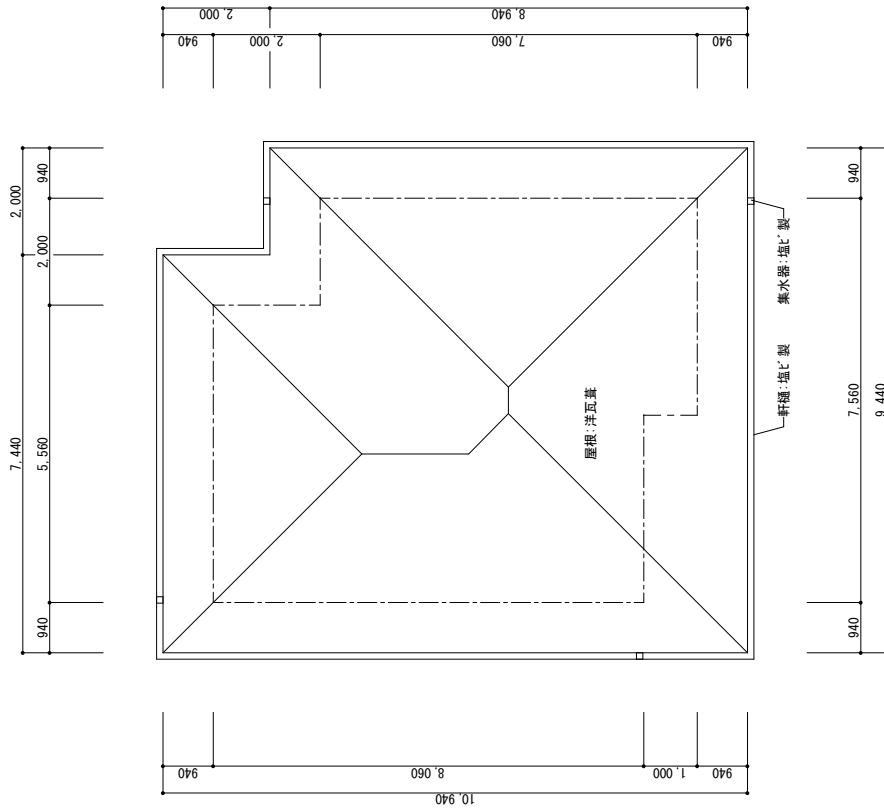
求積表	延床面積
① 5.560 × 2.000 = 11.1200	1階床面積 62.5536
② 7.560 × 1.560 = 11.7936	
③ 6.560 × 1.940 = 12.7264	
④ 7.560 × 3.560 = 26.9136	
計 62.5536	

求積表	延床面積
⑤ 5.560 × 2.000 = 11.1200	2階床面積 60.9936
⑥ 7.560 × 6.060 = 45.8136	
⑦ 4.060 × 1.000 = 4.0600	
計 60.9936	

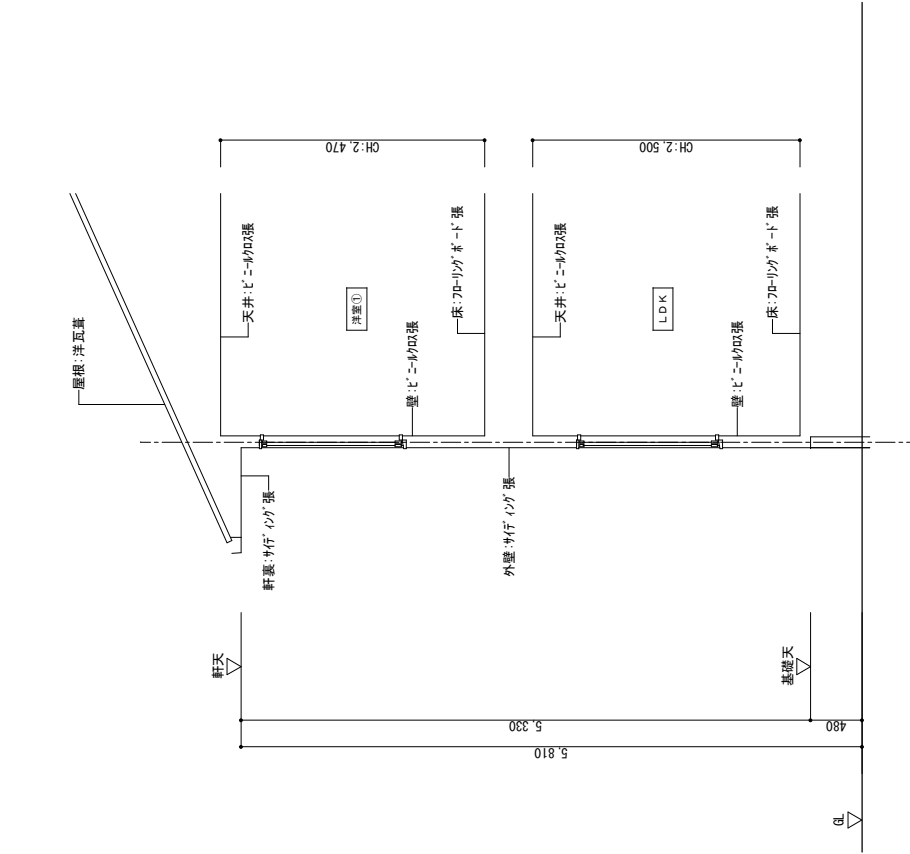
求積表	建築面積
⑧ 1.000 × 1.940 = 1.9400	建築面積 64.4936
1階床面積 62.5536	
計 64.4936	

業務名称	平面図・求積図
図面名称	縮尺 1/100
縮尺	図面番号
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	



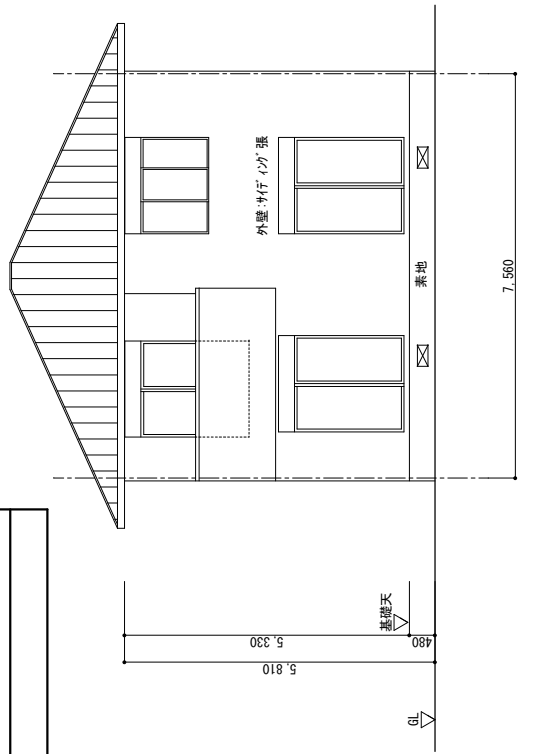
屋根伏図



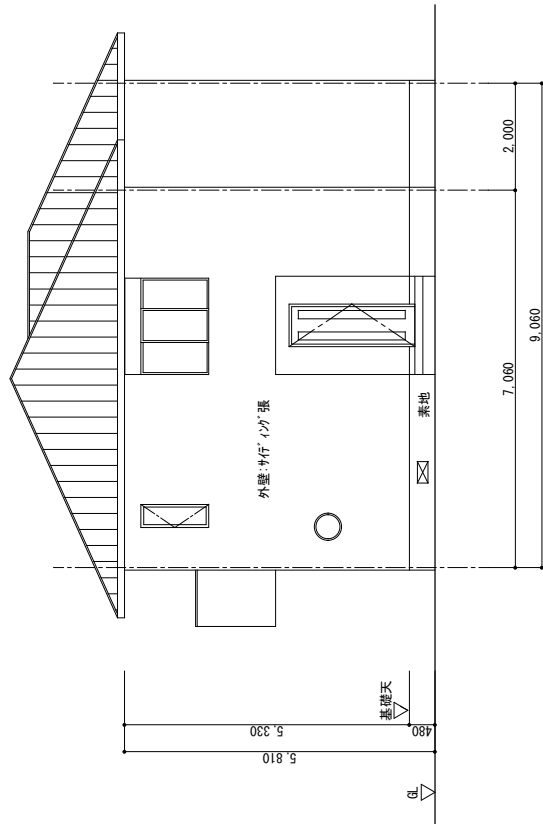
断面詳細図 1/50

業務名称	屋根伏図・断面詳細図	
図面名称	1/100	図面番号
縮尺	1/50	資格及び登録番号
受注者の名称	作成者氏名	

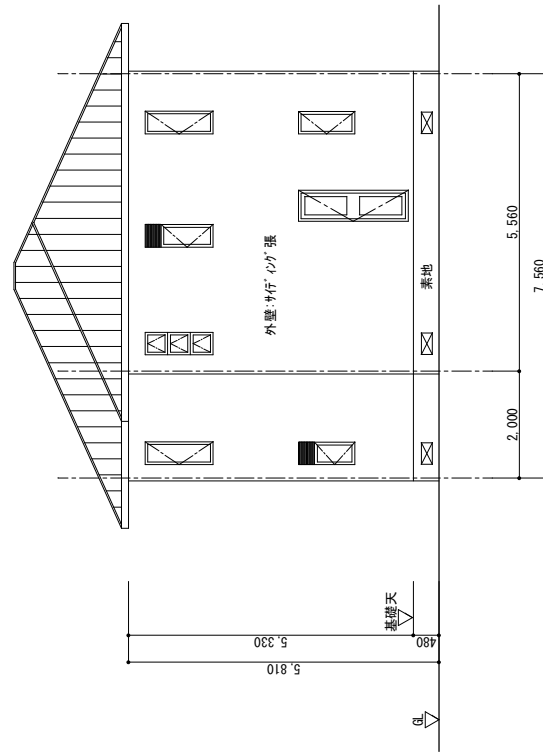
所在地
所有者住所
所有者



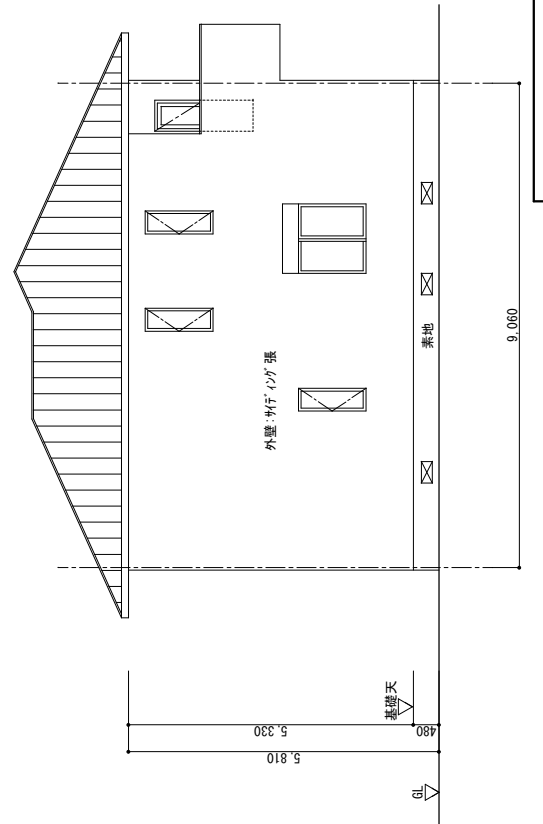
南立面図



東立面図



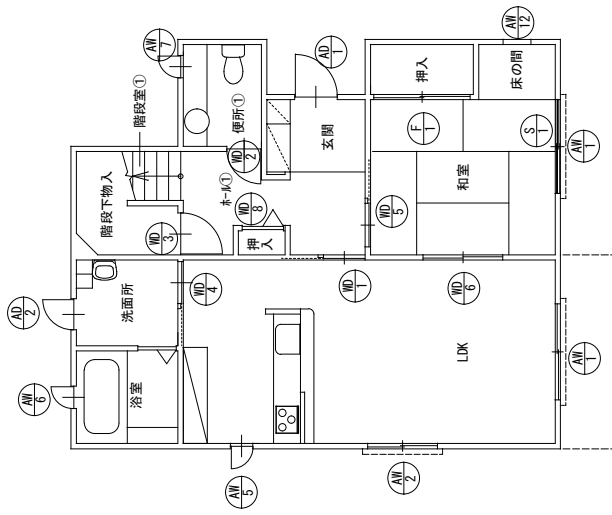
北立面図



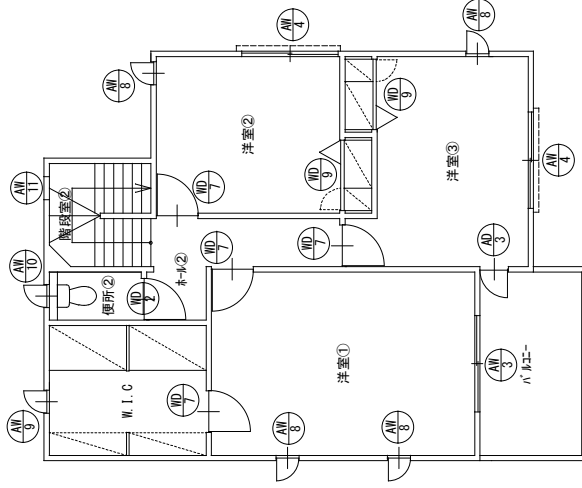
西立面図

業務名称	立面図
図面名称	立面図
縮尺	1/100
図面番号	5
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	



1階建具位置図



2階建具位置図

業務名称		
図面名称	建具位置図	
縮尺	1/100	図面番号
受注者の名称		資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	

【 外部 】	
符号・名称	7A517
姿 図	
寸法・数量	580×1,840 1ヶ所
仕上・ガラス	遮断ﾊﾞｯﾄﾙ含わせガラス
金物等	付属金物一式
備考	内部化粧額縁
符号・名称	7A517
姿 図	
寸法・数量	1,800×2,020 1ヶ所
仕上・ガラス	遮断ﾊﾞｯﾄﾙ含わせガラス
金物等	付属金物一式
備考	内部化粧額縁
符号・名称	7A517
姿 図	
寸法・数量	1,800×2,050 2ヶ所
仕上・ガラス	遮断ﾊﾞｯﾄﾙ含わせガラス
金物等	付属金物一式
備考	内部化粧額縁
符号・名称	7A517
姿 図	
寸法・数量	1,300×1,260 1ヶ所
仕上・ガラス	遮断ﾊﾞｯﾄﾙ含わせガラス
金物等	付属金物一式
備考	内部化粧額縁
符号・名称	7A517
姿 図	
寸法・数量	1,800×1,270 2ヶ所
仕上・ガラス	遮断ﾊﾞｯﾄﾙ含わせガラス
金物等	付属金物一式
備考	内部化粧額縁
符号・名称	7A517
姿 図	
寸法・数量	420×1,260 1ヶ所
仕上・ガラス	遮断ﾊﾞｯﾄﾙ含わせガラス
金物等	付属金物一式
備考	内部化粧額縁
符号・名称	7A517
姿 図	
寸法・数量	420×1,050 1ヶ所
仕上・ガラス	遮断ﾊﾞｯﾄﾙ含わせガラス
金物等	付属金物一式
備考	内部化粧額縁
符号・名称	7A517
姿 図	
寸法・数量	420×1,050 1ヶ所
仕上・ガラス	遮断ﾊﾞｯﾄﾙ含わせガラス
金物等	付属金物一式
備考	内部化粧額縁

業務名称	建具 姿 図 1
図面名称	縮 尺 1/100 図面番号
縮 尺	受注者の名称
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	

【 外部 】		【 内部 】		
符号・名称 ④ 7A熱気隔付着片開き窓	④ 7A熱気隔付着片開き窓	④ 7A片開き窓	④ 7A三段オコガ	④ 7A丸型FIX
寸法・数量 420×1,050 1ヶ所 遮断・7合わせ 付属金物一式 OP付 網戸 内部化粧額縁				
仕上・ガラス 遮断・7合わせ 付属金物一式 OP付 網戸 内部化粧額縁	4ヶ所 遮断・7合わせ 付属金物一式 OP付 網戸 内部化粧額縁	1ヶ所 遮断・7合わせ 付属金物一式 OP付 網戸 内部化粧額縁	1ヶ所 遮断・7合わせ 付属金物一式 OP付 網戸 内部化粧額縁	1ヶ所 遮断・7合わせ 付属金物一式 内部化粧額縁
符号・名称 ① 7A熱気隔付着片開き窓	① 7A熱気隔付着片開き窓	① 7A片開き窓	① 7A三段オコガ	① 7A丸型FIX
寸法・数量 780×2,050 1ヶ所 型板ガラス 付属金物一式 内部化粧額縁				
仕上・ガラス 付属金物一式 内部化粧額縁	2ヶ所 700×2,050 化粧枠 付属金物一式 内部化粧額縁	1ヶ所 780×2,050 化粧枠 付属金物一式 内部化粧額縁	1ヶ所 810×2,050 化粧枠 付属金物一式 内部化粧額縁	1ヶ所 1,500×2,030 化粧枠 付属金物一式 内部化粧額縁

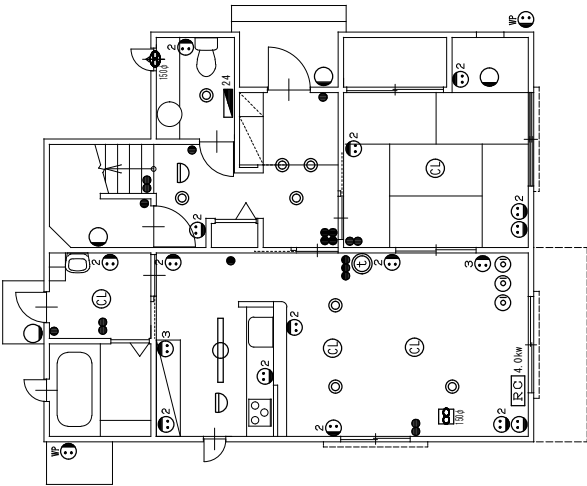
業務名称	建具 図 2
図面名称	縮 尺 1/100
縮 尺	図面番号
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	

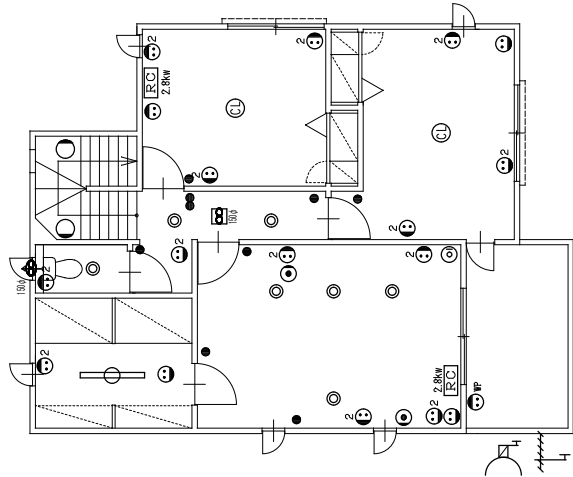
【 内部 】		⑩-7 片開き770x760戸	⑩-8 折戸	⑩-9 片開き折戸	⑩-1 引違ふすま	⑩-2 引違格子
姿 図						
寸法・数量	4ヶ所	760×2,050	770×2,470	1,280×2,440	1,810×2,050	1,800×2,050
仕上・ガラス						
金物等		付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考		内部化粧額縁	内部化粧額縁	内部化粧額縁	内部化粧額縁	内部化粧額縁
符号・名称						
姿 図						
寸法・数量						
仕上・ガラス						
金物等						
備考						

業務名称	
図面名称	建具姿図 3
縮尺	1/100
受注者の名称	図面番号 資格及び登録番号 作成者氏名

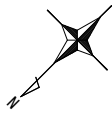
所在地	
所有者住所	
所有者	



1階電気・空調設備図



2階電気・空調設備図



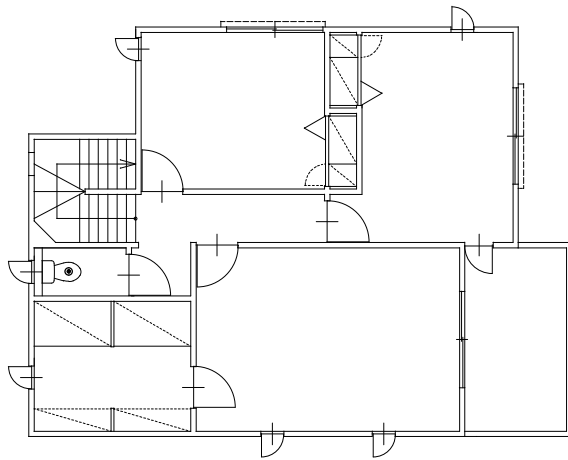
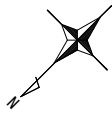
電気設備凡例						
記号	名称	仕様	1階	2階	合計	備考
☉	蛍光灯	直付	1	2	2	7所
☉	シーリングライト		4	2	6	7所
☉	ブラケット		4	2	6	7所
☉	白熱灯	ダウンライト	8	7	15	7所
	照明器具	住居系・共同住宅系・並	17	12	29	7所
●	スイッチ					
●●	スイッチ	埋込・1連	5	7	12	7所
●●●	スイッチ	埋込・2連	4	1	5	7所
●●●●	スイッチ	埋込・3連	1	-	1	7所
●●●●●	スイッチ	埋込・4連	1	-	1	7所
	スイッチ	計	11	8	19	7所
☺	コンセント					
☺	コンセント	埋込・1口	2	4	6	7所
☺	コンセント	埋込・2口	13	13	26	7所
☺	コンセント	埋込・3口	2	-	2	7所
☺	コンセント	防水型	2	1	3	7所
	コンセント	計	19	18	37	7所
☑	分電盤	24回路	1	-	1	7所
	電灯配管配線設備	住宅系・付属品系(器具含まず)	48	38	86	7所

記号	名称	仕様	1階	2階	合計	備考
☉	換気扇(天井埋込型)	羽根径150mm(居室用)	1	2	2	7所
☉	換気扇	羽根径150mm	1	2	2	7所 建具に含む
☉	構内(街)灯		1	-	1	7所
☉	テレビアンテナ	共用・専売他設置	-	1	1	7所
☉	テレビアンテナ	共用・専売他設置	-	1	1	7所
☉	インターネット設備	玄関子機1室内無線1	1	-	1	7所
☉	電話用屋内配線管	配管・ケーブル類	-	2	2	7所
☉	火災報知設備	住宅用火災警報器	2	-	2	7所
☉	テレビ端子		3	1	4	7所 7ヶ所に含む

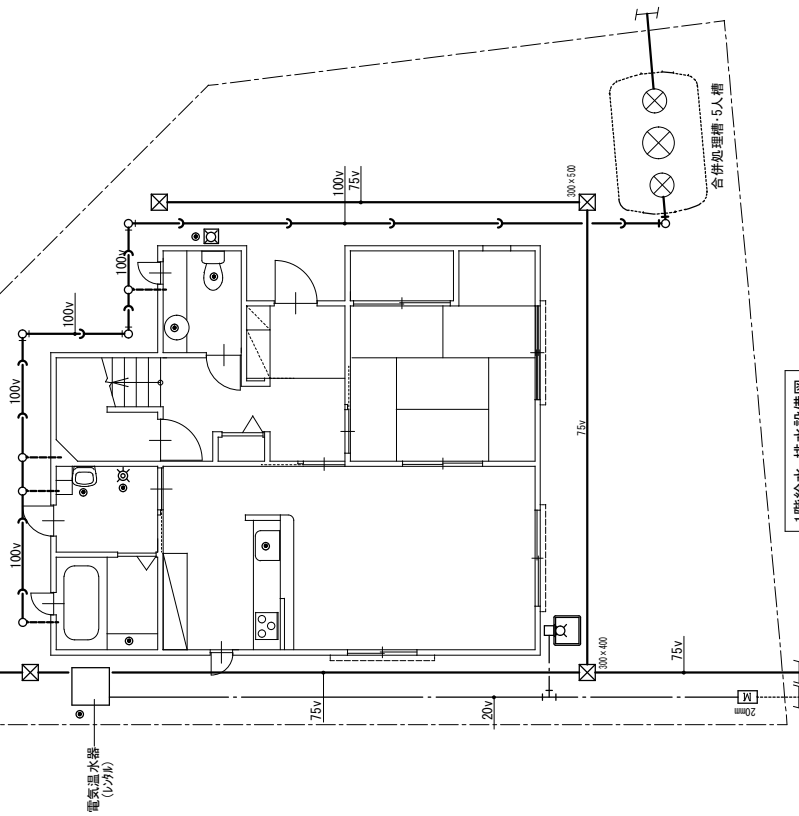
空調設備凡例						
記号	名称	仕様	1階	2階	合計	備考
☺	暖冷房除湿型・エアコン	暖冷房除湿型・冷房能力2.8kw	-	2	2	台
☺	暖冷房除湿型・エアコン	暖冷房除湿型・冷房能力4.0kw	1	-	1	台

業務名称	
図面名称	電気・空調設備図
縮尺	1/100
図面番号	
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	



2階給水・排水設備図



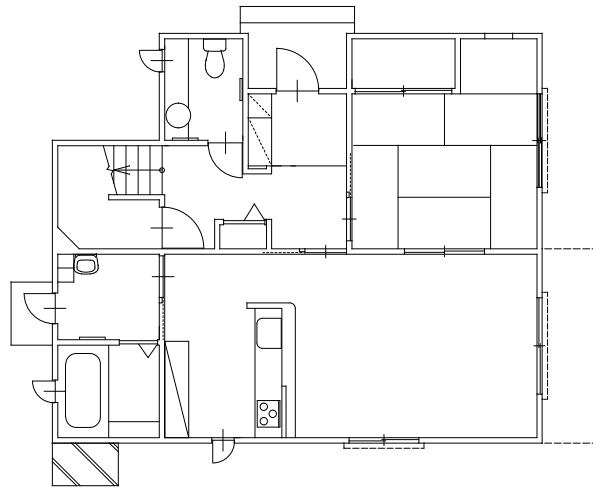
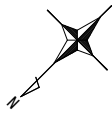
1階給水・排水設備図

給水設備凡例		給水設備凡例				備考	
記号	名称	仕様	1階	2階	合計	単位	備考
●	屋内給水(湯)配管	非木造建物・保温(※取付少)共	8	1	9	柱	
⌀	水栓柱	φ13・15mm用	1	-	1	柱	
⊠	散水栓・箱付	φ13・15mm用・鋼鉄製φ10mm×200mm	1	-	1	柱	
⊞	水栓柱	塩ビ製・高さ840mm	1	-	1	ヶ所	
□	屋外流し台	塩ビ製・高さ840mm・排水栓付	1	-	1	ヶ所	
---	屋外給水配管	φ20mm・硬質塩ビ管・接手・機縁部・深さ300mm	13.00	-	13.00	m	
—	上水道引込工事	20mm	1	-	1	ヶ所	

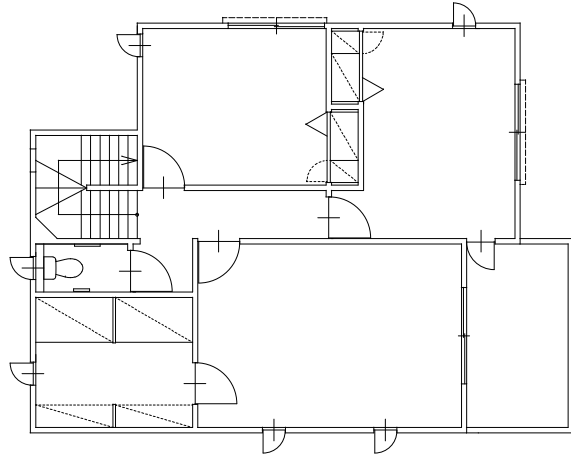
排水設備凡例		排水設備凡例				備考	
記号	名称	仕様	数量	単位	備考	備考	
—	屋内排水配管	非木造建物	9	柱			
⊠	溜ます・(既製品)	内法300mm×300mm・深さ450mm	3	ヶ所			
⊞	溜ます・(既製品)	内法300mm×400mm・深さ400mm	1	ヶ所			
⊞	溜ます・(既製品)	内法300mm×500mm・深さ460mm	1	ヶ所			
○	塩ビ製・7ヶ所・H桝	φ150mm・深さ300mm	8	ヶ所			
—	屋外排水配管	φ75mm・硬質塩ビ管・平均高さ450mm	27.50	m			
—	屋外排水配管	φ100mm・硬質塩ビ管・平均高さ450mm	17.50	m			
—	浄化槽(送風機等共)	合併処理槽・(し尿・生活雑排水)・5人槽	1	基			

業務名称	給水・排水設備図
図面名称	縮尺 1/100
縮尺	図面番号
受注者の名称	資格及び登録番号
	作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	



1階衛生・厨房設備図



2階衛生・厨房設備図

衛生設備凡例		仕 様	1階	2階	合計	単位	備 考
記号	洗面化粧エプロン	幅1,050mm・シングルバケ、混合水栓・化粧鏡付	1	-	1	ヶ所	
	水洗洋風便器・(座持式)	密結節トイック	1	1	2	ヶ所	
	温水洗浄式便座	便座保温・温風乾燥なし	1	1	2	ヶ所	
	収納バス	幅1,800mm×奥行1,600mm	1	-	1	基	
	収納付手洗器	455mm×64mm×35mm(φ14mm)	2	1	3	ヶ所	
	手洗い付手洗器	単水栓・化粧鏡付	1	-	1	ヶ所	
	手洗い付手洗器	単水栓・化粧鏡付	1	1	2	ヶ所	

厨房設備凡例		仕 様	数量	単位	備 考
記号	シンク	111型・食洗付	1	ヶ所	
	造付食器棚	W180cm×D45cm×H235cm	1	ヶ所	

業務名称	
図面名称	衛生・厨房設備図
縮 尺	1/100
受注者の名称	図面番号 資格及び登録番号 作成者氏名

算定例5

【共同住宅（LGS造）】〔プレハブ工法〕

建物移転料算定表[再築工法]

所在地		算定者		整理番号	5
所有者の氏名又は名称		算定年月日	令和5年5月1日	消費税等相当額補償の要否	要・否
所有者住所		採用単価	令和5年度	増築の有無(木造・同種構造)	有(○棟)・無(○)

区分	内 容	番号	計 算 式	A 棟		合計	備考	
基本事項	構造・用途	(1)		軽量鉄骨造2階建 共同住宅				
	建築工法			プレハブ工法				
	延床面積	(2)		167.26 ㎡		167.26 ㎡		
	建築面積	(3)		97.66 ㎡		97.66 ㎡		
	建築年月	(4)		平成11年9月29日				
	標準耐用年数	(5)		55 年				
	経過年数	(6)		24 年				
工事費等	建築	直接工事費	(7) 工事費(設備工事を含む)	47,900,668		47,900,668		
		共通仮設費	(8) (7)×(木造:3%、非木造:(7)に対応する率 (移転先ごとの建築直接工事費の合計額))	5.86%	2,806,900		2,806,900	100円未満切り捨て
		純工事費	(9) (7)+(8)	50,707,568		50,707,568		
	解体	諸経費率	(10) (9)×((9)+(16)に対する率(発注単位))	22.80%				
		諸経費	(11) (9)+(10)	62,268,868		62,268,868		
		直接工事費	(12) 工事費	2,793,656		2,793,656		
		共通仮設費	(13) (12)×(木造:3%、非木造:(12)に対する共通仮設費率 (解体直接工事費の合計額)) 建築の共通仮設費を解体で共用できる場合は不要	5.64%	157,500		157,500	100円未満切り捨て
		純工事費	(14) (12)+(13)	2,951,156		2,951,156		
		廃材運搬費	(15)	419,840		419,840		
		小 計	(16) (14)+(15)	3,370,996		3,370,996		
		諸経費	(17) (16)×((9)+(16)に対する率(発注単位))	22.80%	768,500		768,500	100円未満切り捨て
廃材処分費	(18)	1,473,942		1,473,942				
取りこわし工事費	(19) (16)+(17)+(18)	5,613,438		5,613,438				
補償額	同種同等	建築工事費(推定再建築費)	(20) (11)	62,268,868		62,268,868		
		再築補償率 ^{※1}	(21)	72.70%				
		現在価格+運用益損失額 ^{※1}	(22) (20)×(21)	45,269,467		45,269,467	1円未満切り捨て	
		取りこわし純工事費	(23) (19)	5,613,438		5,613,438		
		法令改善費の運用益損失額	(24)			-		
	小 計	(25) (22)+(23)+(24)	50,882,905		50,882,905			
	消費税等相当額	(26) (25)×消費税等の税率	5,088,290		5,088,290	1円未満切り捨て		
	△発生材価格	(27)	72,216		72,216			
	補償額	(28) (25)+(26)-(27)	55,898,979		55,898,979			
	照応建物	建築工事費(推定再建築費)	(29) (11) 従前建物の推定再建築費					
再築補償率 ^{※1}		(30)						
現在価格+運用益損失額 ^{※1}		(31) (29)×(30)				1円未満切り捨て		
現価率		(32)						
従前建物の現在価格		(33) (29)×(32)				1円未満切り捨て		
照応建物の推定再建築費		(34)						
推定再建築費等の差額 ^{※2}		(35) (34)-(29)						
取りこわし工事費		(36) (19)						
法令改善費の運用益損失額		(37)						
小 計		(38) (31)+(35)+(36)+(37)						
消費税等相当額	(39) (38)×消費税等の税率				1円未満切り捨て			
△発生材価格	(40)							
補償額	(41) (38)+(39)-(40)							

※1 木造建物の増築(築年次の異なる同種構造の木造建物が接合)の場合の(21)及び(22)(又は(30)及び(31))については、適宜別紙(任意様式)により求めるものとする。

※2 推定再建築費等の差額(35)が負の値となり、(33)≥(34)の場合の小計(38)は、(33)+(36)+(37)とする。

推定再建築費等の差額(35)が負の値となり、(33)<(34)の場合の小計(38)は、(33)+((34)-(33))×(1-1/(1+r)ⁿ)+(36)+(37)とする(r:年利率、n:従前建物の残耐用年数)。

種目内訳

建築直接工事費				
Ⅰ 建築工事費	1	式		31,606,677
Ⅱ 建築設備工事費	1	式		16,293,991
建築直接工事費合計	1	式		47,900,668
解体直接工事費	1	式		2,793,656

中科目内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	合 計	備 考
Ⅰ 建築工事費					
1. 直接仮設	1	式		2,007,120	
2. 1 土工・地業	1	式		450,078	
3. <体	1	式		6,304,132	
3. 1 基礎<体	1	式	1,847,866		
3. 2 上部<体	1	式	4,456,266		
4. 外部仕上	1	式		8,690,772	
4. 1 屋根	1	式	796,859		
4. 2 外壁	1	式	2,822,394		
4. 3 外部開口部	1	式	3,790,866		
4. 6 外部雑	1	式	1,280,653		
5. 内部仕上	1	式		14,154,575	
5. 1 内部床	1	式	3,295,034		
5. 2 内壁	1	式	4,753,076		
5. 3 内部開口部	1	式	691,600		
5. 4 内部天井	1	式	1,534,231		
5. 5 内部雑	1	式	3,880,634		
計				31,606,677	

名 称	数 量	単 位	金 額	合 計	備 考
Ⅱ 建築設備工事費					
6. 電気設備工事	1	式		4,996,820	
7. 給排水衛生設備	1	式		10,069,091	
7. 1 給水設備	1	式	1,514,328		
7. 2 排水設備	1	式	2,020,087		
7. 3 ガス厨房設備	1	式	1,425,876		
7. 4 衛生設備	1	式	5,108,800		
8. 空気調和設備	1	式		1,228,080	
計				16,293,991	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1. 直接仮設						
仮設工事費(A)	(外部防災シート)・仮設材運搬共	167.26	延m2	12,000	2,007,120	コード 2020010
小計					2,007,120	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2 土工・地業						
根切り(機械)	小規模・深さ=3.0m以内	48.51	m3	2,140	103,811	コード 2110020
埋戻し(機械)	小規模・深さ3m以内・突固め共	26.34	m3	4,040	106,413	コード 2110080
不用土処分(機械積込)	4t車使用・運搬距離5km	22.16	m3	2,780	61,604	コード 2110320
盛土(機械)	購入土使用	4.18	m3	5,410	22,613	コード 2110140
割石地業	割石・厚100mm	8.11	m3	16,200	131,382	コード 2110440
防湿シート敷	ビニールフィルム・厚0.15mm	83.64	m2	290	24,255	コード 2110470
小計					450,078	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3. く体						
3.1 基礎く体						
捨てコンクリート	18N/m ² ・シート打設	2.01	m3	21,500	43,215	コード 2210020
く体コンクリート	21N/m ² ・ホップ打設・1日50m3未満	12.04	m3	21,100	254,044	コード 2210210
型枠	非木造独立基礎	101.88	m2	6,980	711,122	コード 2220020
鉄筋・加工組立	S造・木造基礎・5t未満	1.46	t	312,300	455,958	コード 2230110
土間コンクリート叩き	厚120mm・有筋(DC13)・すき取り・不用土処分共	13.65	m2	5,980	81,627	コード 2170060
外廊下	モルタル・土間共	1.00	式	301,900	301,900	合成単価1
小計					1,847,866	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.2 上部く体						
鋼材費・[材料費のみ]	鉄鋼系プレハブ建物	5.69	t	177,400	1,009,406	コード 2251010
工場加工・組立	鉄鋼系プレハブ建物	5.69	t	313,200	1,782,108	コード 2251020
現場建方	鉄鋼系プレハブ建物	5.69	t	59,200	336,848	コード 2251030
アンカーボルト埋込	径16mm・支柱用	68.00	本	2,470	167,960	コード 2250440
合成樹脂調合ペイント塗	SOP・鉄部・3回塗・素地・錆止共	341.16	m2	3,400	1,159,944	コード 2610170
小計					4,456,266	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4. 外部仕上						
4.1 屋根						
カラー鉄板折板葺	厚0.6mm・山高85mm・下地を除く	101.45	m2	2,680	271,886	コード 2410380
タフトレーム	折板用・山高85～175mm	84.54	m	1,780	150,481	コード 2410550
軒先面戸	折板用・山高85～175mm	28.18	m	1,970	55,514	コード 2410570
幕板	カラーアルミ・糸尺450mm	42.58	m	3,890	165,636	按分単価3
軒裏カラー鉄板	PB共	12.17	m2	12,600	153,342	別紙準用資料単価1
小計					796,859	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.2 外壁						
外壁・モルタル塗金ごて	厚25mm	15.75	m2	5,990	94,342	コード 2450290
リシン吹付	化粧石膏ボード厚45mm共	170.43	m2	14,500	2,471,235	按分単価4
化粧胴差	フッ素鋼板	6.34	m2	10,400	65,936	別紙準用資料単価2
断熱材張	厚50mm・密度24kg/m ³ グラスウール系・一般用	170.43	m2	1,120	190,881	コード 2640370
小計					2,822,394	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.3 外部開口部						
玄関アルトア	ランマ無・中	4.00	ヶ所	121,300	485,200	コート [*] 2530110
アルミサッシ(AD)	大きき区分Ⅰ・網戸付・雨戸鏡板無	3.91	m2	82,900	324,139	コート [*] 2540291
アルミサッシ(AD)	大きき区分Ⅱ・網戸付・雨戸鏡板無	21.08	m2	53,400	1,125,672	コート [*] 2540301
アルミサッシ(AD)	大きき区分Ⅱ・網戸付・雨戸鏡板無	18.62	m2	53,400	994,308	コート [*] 2540301
シーリング	シリコン系・[断面30×20]	135.88	m	2,660	361,440	コート [*] 2420220
ガラス工事	木造住宅系(一般住宅)・並 ※内部ガラスを含む	167.26	延m2	2,990	500,107	コート [*] 2571030
小計					3,790,866	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.6 外部雑						
軒樋	幅120mm・塩ビ製・角型・受金物共	28.18	m	3,420	96,375	コート [*] 2470490
集水器[じょうご]	120mm用・塩ビ製	8.00	ヶ所	3,120	24,960	コート [*] 2450130
堅樋	辺60mm・塩ビ製・角型・受金物共	52.83	m	2,570	135,773	別紙準用資料単価3
床・モルタル塗	厚30mm	31.61	m2	3,140	99,255	コート [*] 2450130
室名札	210mm×80mm	4.00	ヶ所	33,800	135,200	別紙準用資料単価4
物干金物		6.00	組	10,150	60,900	合成単価2
アルミバルコニー	物干金物付	1.46	m2	140,700	205,422	別紙準用資料単価5
ステンレス文字板	600mm×300mm	1.00	ヶ所	22,400	22,400	按分単価5
アルミテラス	面積3.00㎡未満・ネット入塩ビ波	2.40	m2	66,600	159,840	コート [*] 2880070
グレーチング	内法150mm・ステンレス製	7.59	m	4,530	34,382	別紙準用資料単価6
シート防水	厚2mm・歩行屋根	10.83	m2	6,960	75,376	コート [*] 2420140
アルミ面格子	幅300mm×高さ900mm	3.00	ヶ所	10,100	30,300	別紙準用資料単価7
手摺壁	化粧フレキ・厚6mm・H1300mm	24.82	m2	6,080	150,905	別紙準用資料単価8
ノスリップシート	厚3mm・天然ゴム・下地別途	4.31	m2	11,500	49,565	別紙準用資料単価9
小計					1,280,653	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5. 内部仕上						
5.1 内部床						
床・ビニルタイル張	厚2mm・軟質・下地別途	3.84	m2	2,440	9,369	コート [*] 2630140
床・フローリングボード張	厚15mm×乱尺・なら・1等・下地別途	133.02	m2	12,100	1,609,542	コート [*] 2630020
床・ラワン合板張	厚12mm・2類・床組別途	163.60	m2	4,070	665,852	コート [*] 2460200
木造こぼし床組	高さ150mm・大引@900mm・根太@360mm・板張下地	163.60	m2	4,680	765,648	コート [*] 2460020
床・ビニルシート張	厚2.5mm・プレーン・下地別途	16.38	m2	3,590	58,804	コート [*] 2630170
断熱材張	厚50mm・密度24kg/㎡ガラスウール系・一般用	165.91	m2	1,120	185,819	コート [*] 2640370
小計					3,295,034	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.2 内壁						
壁・ビニールクロス張	中・下地別途	440.75	m2	1,570	691,977	コード 2631180
壁・せっこうボード張	厚12.5mm・不燃・突付張・下地別途	528.66	m2	2,120	1,120,759	コード 2630780
化粧防火板	厚5.5mm	19.92	m2	10,400	207,168	別紙準用資料単価11
木造胴縁組	コンクリート面・縦・横・@450mm	528.66	m2	5,170	2,733,172	コード 2460160
小計					4,753,076	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.3 内部開口部						
フラッシュ戸	大きさ区分 I・中	12.00	枚	24,700	296,400	コード 2510020
フラッシュ戸	大きさ区分 I・中	4.00	枚	24,700	98,800	コード 2510020
フラッシュ戸	大きさ区分 I・中	4.00	枚	24,700	98,800	コード 2510020
フラッシュ戸	大きさ区分 I・中	8.00	枚	24,700	197,600	コード 2510020
小計					691,600	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.4 内部天井						
天井・ビニールクロス張	中・下地別途	163.60	m2	1,680	274,848	コード 2640290
天井・せっこうボード張	厚9.5mm・準・突付張・下地別途	163.60	m2	2,040	333,744	コード 2640050
木造天井下地組	高さ600mm・野縁受・野縁・吊木	163.60	m2	5,090	832,724	コード 2460170
断熱材張	厚50mm・密度24kg/m ² グラスウール系・一般用	82.96	m2	1,120	92,915	コード 2640370
小計					1,534,231	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.5 内部雑						
下駄箱(洋風タイプ)	幅350mm×長さ860mm×高さ2300mm程度	4.00	ヶ所	151,200	604,800	按分単価6
棚板①	L800mm×D300mm	4.00	ヶ所	19,200	76,800	別紙準用資料単価12
棚板②	L1080mm×D450mm	8.00	ヶ所	9,400	75,200	按分単価7
ハンガーパイプ	ステンレスφ50A	4.32	m	8,720	37,670	別紙準用資料単価13
室内物干しユニット		4.00	組	7,190	28,760	合成単価3
カーテンレール	ダブル・1m物・アルミ製	4.00	組	4,620	18,480	按分単価8
カーテンレール	ダブル・1.8m程度・アルミ製	16.00	組	9,250	148,000	コード' 2471160
界壁		35.09	m2	9,600	336,864	合成単価4
仕上げ材工事	共同住宅(非木造建物)	167.26	延m2	13,900	2,324,914	コード' 2461220
塗装工事	専用・共同住宅(非木造建物)	167.26	延m2	1,370	229,146	コード' 2680050
小計					3,880,634	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6. 電気設備						
照明器具	住居系・共同住宅系・中	22.00	ヶ所	60,700	1,335,400	コード' 2711270
電灯取付器具		12.00	ヶ所	3,190	38,280	コード' 2711350
分電盤	コンパクト型分岐ブレーカ・8回路・幹線含む	4.00	ヶ所	133,000	532,000	コード' 2711410
スイッチ	埋込・1連	24.00	ヶ所	5,220	125,280	コード' 2711600
スイッチ	埋込・2連	12.00	ヶ所	6,310	75,720	コード' 2711610
コンセント	埋込・1口	16.00	ヶ所	5,260	84,160	コード' 2711720
コンセント	埋込・2口	60.00	ヶ所	6,370	382,200	コード' 2711730
ユニットバス用電源		4.00	ヶ所	6,370	25,480	別紙準用資料単価14
洗面化粧台用電源		4.00	ヶ所	6,370	25,480	別紙準用資料単価15
コンセント	防水型	6.00	ヶ所	4,600	27,600	コード' 2711780
電灯配管配線設備	共同住宅系・付属品共・(器具含まず)	164.00	ヶ所	5,030	824,920	コード' 2711210
換気扇	羽根径150mm・(浴室用)	4.00	ヶ所	17,900	71,600	コード' 2710160
パイプフアン	壁・天井取付・角形ルーバー・適用パイプ	4.00	ヶ所	17,800	71,200	コード' 2710310
電話用屋内配線管	配管・ボックス類・差込口1ヶ所当たり非木造用	4.00	ヶ所	15,700	62,800	コード' 2710511
テレビ端子	1端子型・中間用・配線共	12.00	ヶ所	25,100	301,200	コード' 2710390
インターホン設備	玄関子機1・室内親機1・(住居用)	4.00	式	62,300	249,200	コード' 2710550
テレビアンテナ	UHF用・屋根上設置・高さ4,000mm以下・端末整合器2	1.00	基	217,100	217,100	コード' 2710420
テレビアンテナ	BS用・屋根上設置・高さ4,000mm以下・端末整合器2	1.00	基	205,200	205,200	コード' 2710440
テレビアンテナ	CS用・屋根上設置・高さ4,000mm以下・端末整合器2	1.00	基	205,200	205,200	別紙準用資料単価16
火災報知設備	住宅用火災警報機・電池式(警報音・警報灯内蔵型)	12.00	ヶ所	11,400	136,800	コード' 2710780
小計					4,996,820	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7. 給排水衛生設備						
7.1 給水設備						
自在水栓	φ13・15mm用	4.00	栓	5,310	21,240	コード' 2740060
屋内給水(湯)配管	非木造建物・保温(ポリスチレン)共	24.00	栓	44,300	1,063,200	コード' 2740211
屋外給水配管	φ20mm・硬質塩ビ管・継手・機械掘・深さ300mm	2.12	m	2,400	5,088	コード' 2760240
ガス瞬間湯沸器	屋外壁掛型・16号	4.00	基	106,200	424,800	コード' 2740790
小計					1,514,328	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.2 排水設備						
屋内排水配管	非木造建物	24.00	栓	46,200	1,108,800	コード 2800011
屋外排水配管	φ75mm・硬質塩ビ管・機械掘・平均深さ450mm	17.49	m	7,790	136,247	コード 2820120
屋外排水配管	φ100mm・硬質塩ビ管・機械掘・平均深さ450mm	36.61	m	9,820	359,510	コード 2820130
屋外排水配管	φ150mm・硬質塩ビ管・機械掘・平均深さ450mm	11.90	m	14,500	172,550	コード 2820150
排水トラップ	洗濯機用・φ50mm	2.00	ヶ所	18,900	37,800	コード 2800280
洗濯機パン	800mm×640mm・FRP製	2.00	ヶ所	22,500	45,000	コード 2800300
溜ます・(既製品)	内法300mm×300mm・雑排水用・機械掘・深450mm	6.00	ヶ所	5,070	30,420	コード 2821240
溜ます・(既製品)	内法300mm×300mm・雑排水用・機械掘・深550mm	1.00	ヶ所	6,180	6,180	按分単価9
溜ます・(既製品)	内法300mm×300mm・雑排水用・機械掘・深600mm	1.00	ヶ所	6,740	6,740	按分単価10
溜ます・(既製品)	内法300mm×300mm・雑排水用・機械掘・深650mm	1.00	ヶ所	7,300	7,300	按分単価11
汚水兼用ます・(既製品)	内法400mm×400mm・インハート付・機械掘・深900mm	1.00	ヶ所	25,600	25,600	別紙準用資料単価17
塩ビ製パイプインハート樹	φ150mm・機械掘・深550mm	1.00	ヶ所	8,350	8,350	按分単価12
塩ビ製パイプインハート樹	φ150mm・機械掘・深700mm	1.00	ヶ所	9,050	9,050	按分単価13
塩ビ製パイプインハート樹	φ150mm・機械掘・深750mm	1.00	ヶ所	9,180	9,180	コード 2822340
塩ビ製パイプインハート樹	φ150mm・機械掘・深780mm	1.00	ヶ所	10,000	10,000	按分単価14
塩ビ製パイプインハート樹	φ150mm・機械掘・深790mm	2.00	ヶ所	10,100	20,200	按分単価15
塩ビ製パイプインハート樹	φ150mm・機械掘・深850mm	1.00	ヶ所	10,500	10,500	按分単価16
塩ビ製パイプインハート樹	φ150mm・機械掘・深460mm	1.00	ヶ所	8,250	8,250	按分単価17
塩ビ製パイプインハート樹	φ150mm・機械掘・深470mm	1.00	ヶ所	8,410	8,410	按分単価18
小計					2,020,087	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.3 ガス厨房設備						
ガス栓取付	プロパンガス用・1口カタン	8.00	ヶ所	5,340	42,720	コード 2770010
ガス管	プロパンガス用・15A	63.70	m	3,880	247,156	コード 2770100
システムキッチン	幅1,700mm	4.00	ヶ所	284,000	1,136,000	合成単価5
小計					1,425,876	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7.4 衛生設備						
水洗洋風便器(腰掛式)	隅付ロータンク	4.00	ヶ所	115,500	462,000	コード 2830251
温水洗浄式便座	便座保温・温風乾燥なし	4.00	ヶ所	103,000	412,000	コード 2830290
洗面化粧ユニット	幅800mm・シャワー混合水栓・化粧鏡付	4.00	ヶ所	108,500	434,000	別紙準用資料単価18
システムバス	幅1,200mm×奥行1,600mm	4.00	基	950,200	3,800,800	コード 2830120
小計					5,108,800	

細目内訳

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8. 空調調和設備						
セパレート型・エアコン	暖冷房除湿型・冷房能力2.2kw	3.00	台	252,400	757,200	コート' 2850030
セパレート型・エアコン	暖冷房除湿型・冷房能力2.5kw	1.00	台	276,400	276,400	コート' 2850040
ベントキャップ	アルミ製・径100mm	4.00	ヶ所	7,290	29,160	コート' 2851180
ベントキャップ	アルミ製・径150mm	4.00	ヶ所	7,740	30,960	コート' 2851190
ウェザーカバー(住宅用)	樹脂製・幅200mm×奥行200mm×高さ200mm	4.00	ヶ所	7,830	31,320	別紙準用資料単価19
スパイラルダクト	厚0.5mm・亜鉛鉄板・口径100mm	8.00	m	3,260	26,080	コート' 2850610
スパイラルダクト	厚0.5mm・亜鉛鉄板・口径150mm	3.20	m	3,920	12,544	コート' 2850630
スパイラルダクト	厚0.5mm・亜鉛鉄板・口径200mm	13.20	m	4,880	64,416	コート' 2850650
小計					1,228,080	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9. 解体工事						
外部枠組本足場	高さ12m未満・900枠・期間3ヶ月・仮設材運搬共	293.76	掛m2	3,210	942,969	コート' 2010100
外部防災シート張	期間6ヶ月・仮設材運搬共	293.76	掛m2	1,010	296,697	コート' 2010770
S造く体解体	鋼材量30～50kg/m2・基礎除く・(積込共)	293.76	延m2	3,250	954,720	コート' 2900070
内部造作解体	非木造・住居系・(積込共)	293.76	延m2	2,040	599,270	コート' 2900200
小計					2,793,656	

名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小計						

数量計算法書

名称 / 形状 / 法等	計 算 式	数量	単位	備 考
1. 直接仮設				
仮設工事費(A) (外部防災シート)・仮設材運搬共	167.26	167.26	延m2	
2. 1土工				
根切り(機械) 小規模・深さ=3.0m以内	別紙計算書より 48.505	48.51	m3	
埋戻し(機械) 小規模・深さ3m以内・突固め共	別紙計算書より 26.344	26.34	m3	
不用土処分・(機械積込) 4t車使用・運搬距離5km	別紙計算書より 22.161	22.16	m3	
盛土(機械) 購入土使用	13.49*6.20*0.05	4.18	m3	
2. 2地業				
割石地業				
割石・厚100mm	別紙計算書より 8.112	8.11	m3	
防湿シート敷 ビニール70μm・厚0.15mm	13.49*6.20	83.64	m2	
3. く体				
3. 1基礎く体				
捨てコンクリート 18N/mm ² ・ショット打設	別紙計算書より 2.007	2.01	m3	
く体コンクリート 21N/mm ² ・ポンプ打設・1日50m3未満	別紙計算書より 12.042	12.04	m3	
型枠 非木造独立基礎	別紙計算書より 101.875	101.88	m2	
鉄筋・加工組立 S造・木造基礎・5t未満	別紙計算書より 1.457	1.46	t	
土間コンクリート叩き 厚120mm・有筋(DC13)・すき取り・不用土処分共	13.65*1.00	13.65	m2	

数量計算法書

名称 / 形状 / 法等	計 算 式	数量	単位	備 考
外廊下 モルタル・土間共	外廊下土間 1.00	1.00	式	
3.2上部く体				
鋼材費・[材料費のみ] 鉄鋼系7°レハダ建物	別紙計算書より 5.686	5.69	t	
工場加工・組立 鉄鋼系7°レハダ建物	別紙計算書より 5.686	5.69	t	
現場建方 鉄鋼系7°レハダ建物	別紙計算書より 5.686	5.69	t	
アソビ・外埋込 径16mm・主柱用	48.00+14.00+6.00	68.00	本	
合成樹脂調合ペイント塗 SOP・鉄部・3回塗・素地・錆止共	5.686*60	341.16	m2	
4. 外部仕上				
4.1屋根				
カテ鉄板折板葺 厚0.6mm・山高85mm・下地を除く タフトレーム	101.448	101.45	m2	
折板用・山高85～175mm	84.540	84.54	m	
軒先面戸				
折板用・山高85～175mm	28.180	28.18	m	
幕板				
カテアルミ・糸尺450mm	42.580	42.58	m	
軒裏カテ鉄板 PB共	12.174	12.17	m2	
4.2外壁				
外壁・モルタル塗金ごて 厚25mm	15.752	15.75	m2	

数量計算法書

名称 / 形状 / 法等	計 算 式		数量	単位	備 考
リッ吹付	170.430	170.430	170.43	m2	
化粧石膏ボード厚45mm共					
化粧洞差	6.338	6.338	6.34	m2	
珧素鋼板					
断熱材張	170.430	170.430	170.43	m2	
厚50mm・密度24kg/m ³ グラスウール系・一般用					
4.3外部開口部					
玄関アルミドア	SD-1				
珧マ無・中	4.00	4.000	4.00	ヶ所	
アルミサッシ・(AD)	AW-1				
大きさ区分Ⅰ・網戸付・雨戸鏡板無	3.908	3.908	3.91	m2	
アルミサッシ・(AD)	AW-2				
大きさ区分Ⅱ・網戸付・雨戸鏡板無	21.080	21.080	21.08	m2	
アルミサッシ・(AD)	AW-3				
大きさ区分Ⅱ・網戸付・雨戸鏡板無	18.624	18.624	18.62	m2	
シーリング					
リコーン系・[断面30×20]	135.880	135.880	135.88	m	
ガラス工事					
木造住宅系(一般住宅)・並	167.26	167.260	167.26	延m2	
4.6外部雑					
軒樋					
幅120mm・塩ビ製・角型・受金物共	14.09*2	28.180	28.18	m	
集水器[じょうご]					
120mm用・塩ビ製	8	8.000	8.00	ヶ所	
壁樋					
辺60mm・塩ビ製・角型・受金物共	6.20*4+6.05*4+3.83	52.830	52.83	m	
床・珧ル塗					
厚30mm	31.61	31.610	31.61	m2	
室名札					
210mm×80mm	4.00	4.000	4.00	ヶ所	
物干金物					
	6.00	6.000	6.00	組	

数量計算書

名称 / 形状 / 寸法等	計 算 式		数量	単位	備 考
アルミパネルコー 物干金物付	1.46	1.460	1.46	m2	
ステンレス文字板 600mm×300mm	1.00	1.000	1.00	ヶ所	
アルミガラス 面積3.00㎡未満・ネット入塩じ波 グレーチング	2.40	2.400	2.40	m2	
内法150mm・ステンレス製 シート防水	7.59	7.590	7.59	m	
厚2mm・歩行屋根	10.83	10.830	10.83	m2	
アルミ面格子 幅300mm×高さ900mm	3.00	3.000	3.00	ヶ所	
手摺壁 化粧アルミ・厚6mm・H1300mm	24.82	24.820	24.82	m2	
リズアップシート 厚3mm・天然ゴム・下地別塗	4.31	4.310	4.31	m2	
5. 内部仕上					
5. 1内部床					
床・ビニールタイル張 厚2mm・軟質・下地別塗	3.840	3.840	3.84	m2	
床・フローリングボード張 厚15mm×乱尺・なら・1等・下地別塗	133.02	133.020	133.02	m2	
床・ラジコン板張 厚12mm・2類・床組別塗	163.60	163.602	163.60	m2	
木造ころばし床組 高さ150mm・大引@900mm・根太@360mm・板張下地	163.60	163.602	163.60	m2	
床・ビニールシート張 厚2.5mm・フローリング・下地別塗	16.382	16.382	16.38	m2	
断熱材張 厚50mm・密度24kg/m ³ グラスウール系・一般用	165.912	165.912	165.91	m2	
5. 2内壁					
壁・ビニールクロス張 中・下地別塗	440.752	440.752	440.75	m2	

数量計算法書

名称 / 形状寸法等	計 算 式		数量	単位	備 考
壁・せつこうボード張 厚12.5mm・不燃・突付張・下地別途	528.664	528.664	528.66	m2	
化粧防火板 厚5.5mm	19.920	19.920	19.92	m2	
木造胴縁組 コンクリート面・縦・横・@450mm	528.664	528.664	528.66	m2	
5.3内部開口部					
ワラシユ戸	FD-1				
大きき区分 I・中	12.00	12.000	12.00	枚	
ワラシユ戸	FD-2				
大きき区分 I・中	4.00	4.000	4.00	枚	
ワラシユ戸	FD-3				
大きき区分 I・中	4.00	4.000	4.00	枚	
ワラシユ戸	FD-4				
大きき区分 I・中	8.00	8.000	8.00	枚	
5.4内部天井					
天井・ビニルクロス張 中・下地別途	163.602	163.602	163.60	m2	
天井・せつこうボード張 厚9.5mm・準・突付張・下地別途	163.602	163.602	163.60	m2	
木造天井下地組 高さ600mm・野縁受・野縁・吊木 断熱材張 厚50mm・密度24kg/m ³ ・グラスウール系・一般用	163.602	163.602	163.60	m2	
	82.956	82.956	82.96	m2	
5.5内部雑					
下駄箱・(洋風タイプ) 幅350mm×長さ860mm×高さ2300mm程度 柵板①	4.00	4.000	4.00	ヶ所	
L800mm×D300mm	4.00	4.000	4.00	ヶ所	

数量計算法書

名称 / 形状 / 法等	計 算 式		数量	単位	備 考
棚板② L1080mm×D450mm	8.00	8.000	8.00	ヶ所	
ハガキ・パイ ステンレスφ50A	4.32	4.320	4.32	m	
室内物干しユニット	4.00	4.000	4.00	組	
カーテンレール ダブル・1m物・アルミ製	4.00	4.000	4.00	組	
カーテンレール ダブル・1.8m程度・アルミ製 界壁	16.00	16.000	16.00	組	
仕上げ材工事 共同住宅(非木造建物)	35.09	35.090	35.09	m2	
塗装工事 専用・共同住宅(非木造建物)	167.26	167.260	167.26	延m2	
	167.26	167.260	167.26	延m2	
6. 電気設備					
	設備図面による				
7. 給排水衛生設備					
7.1 給水設備	設備図面による				
7.2 排水設備	設備図面による				
7.3 ガス厨房設備	設備図面による				
7.4 衛生設備	設備図面による				
8. 空調設備					
	設備図面による				

統計数量表による工種別数量計算書							
構造	S 造 (L G S)	用途	共同住宅		杭地業補正率	有 : 0.8(根切)0.9(基礎) 無 : 1.0	
建物延面積	167.26	m ²	1階面積	83.63	m ²	階層率=建物延面積÷1階面積	
平均階高	2.83 = (2.83+2.83) ÷ 2				2.00 = 167.26m ² ÷ 83.63m ²		
地盤状況による補正率	硬質地盤 : 0.90		普通地盤 : 1.00		軟弱地盤 : 1.10		
階層率	1.3未満	1.3~2.3	2.3~3.3	3.3~4.3	4.3~5.3	5.3~6.3	
階層区分	1階	2階	3階	4階	5階	6階	
※クレーンが設置されている場合の補正 鉄骨数量=V×(S1×1.1+S2) V=統計数量値 S1=走行クレーン可動床面積 S2=延床面積-S1							
根切り 「表(7)(8)」	統計数量値×(杭地業補正率or地盤状況補正率)×1階床面積 0.58 × 1.00 × 83.63					48.505 m ³	
埋戻し	根切り-残土処分+GL下土間コン及び割栗石(別途計上) 48.505 - 22.161					26.344 m ³	
残土処分	割栗石+捨てコン+基礎コン+(GL下土間コン及び割栗石) 8.112 + 2.007 + 12.042					22.161 m ³	
割栗石 基礎下 「表(7)(8)」	統計数量値×1階床面積 0.097 × 83.63					8.112 m ³	
GL下土間 (別途計上)	対象面積×厚()					m ³	
捨てコンクリート 「表(7)(8)」	統計数量値×1階床面積 0.024 × 83.63					2.007 m ³	
基礎コンクリート 「表(7)(8)」	統計数量値×(杭地業補正率or地盤状況補正率)×1階床面積 0.144 × 1.00 × 83.63					12.042 m ³	
型枠(基礎) 「表(7)(8)」	基礎コンクリート量×統計数量値 12.042 × 8.46					101.875 m ²	
鉄筋 「表(7)(8)」	基礎コンクリート量×統計数量値 12.042 × 0.121					1.457 t	
鉄骨 「表(14~16)」	統計数量値×延床面積 (注 ※補正) 34 × 167.26					5.686 t	

【参考資料】数量積算数値認定表

非木造建物調査積算要領

構造・区分	軽量鉄骨造(LGS造)・ 鉄鋼系プレハブ工法	階高	3m未満	1階床面積	83.63	m ²
用途	共同住宅	階層	2	延床面積	167.26	m ²

別表 統計数量表, 2 統計数量の取扱い

鉄骨	延床面積(m ²) A	統計数量値 B	胴縁補正 C	母屋補正 D	統計数量値 補正後 E=B×(1-C+D)	鋼材量(t) F=A×E÷1000	認定値 (t)
当該建物	167.26	34	1.00	1.00	34	5.686	5.69
比較建物	—	—	—	—	—	—	

【参考資料】建物共通仮設費率及び諸経費率認定表

非木造建物調査積算要領, 別添3 非木造建物工事内訳明細書式, (共通費)

〔1〕共通仮設費率認定

【建築】

整理番号	構造用途・建築工法	建築直接工事費	計	採用率
A	軽量鉄骨造2階建共同住宅 ・プレハブ工法	47,900,668	47,900,668	5.86%
B	—	—		

【解体】

整理番号	構造用途・建築工法	建築直接工事費	計	採用率
A	軽量鉄骨造2階建共同住宅 ・プレハブ工法	2,793,656	2,793,656	5.64%
B	—	—		

〔2〕純工事費等計算表

整理番号	構造用途・建築工法	建築純工事費 A	解体純工事費 B	廃材運搬費 C	合計 D=A+B+C
A	軽量鉄骨造2階建共同住宅 ・プレハブ工法	50,707,568	2,951,156	419,840	54,078,564
B					
合 計					54,078,564

〔2〕諸経費比較表

区 分	純工事費合計額	諸経費率	諸経費 100円未満切捨	採用率
当該建物	54,078,564	22.8%	12,329,900	22.8%
比較建物	50,000,000	23.4%	11,700,000	

所在地	
所有者住所	
所有者	

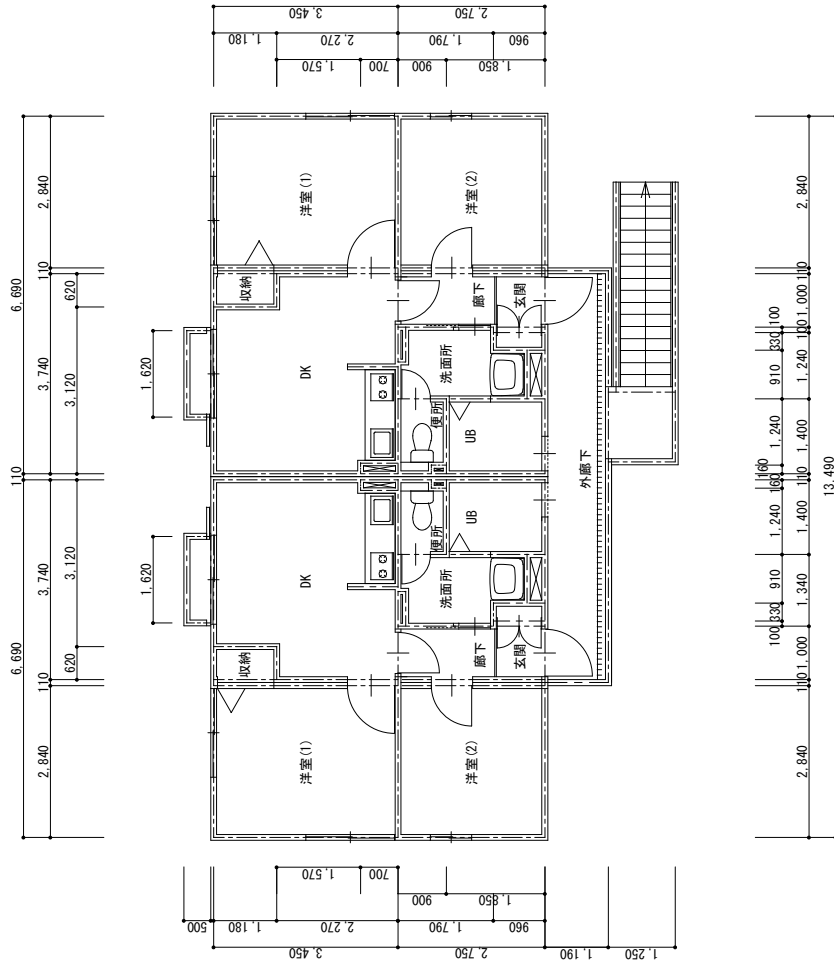
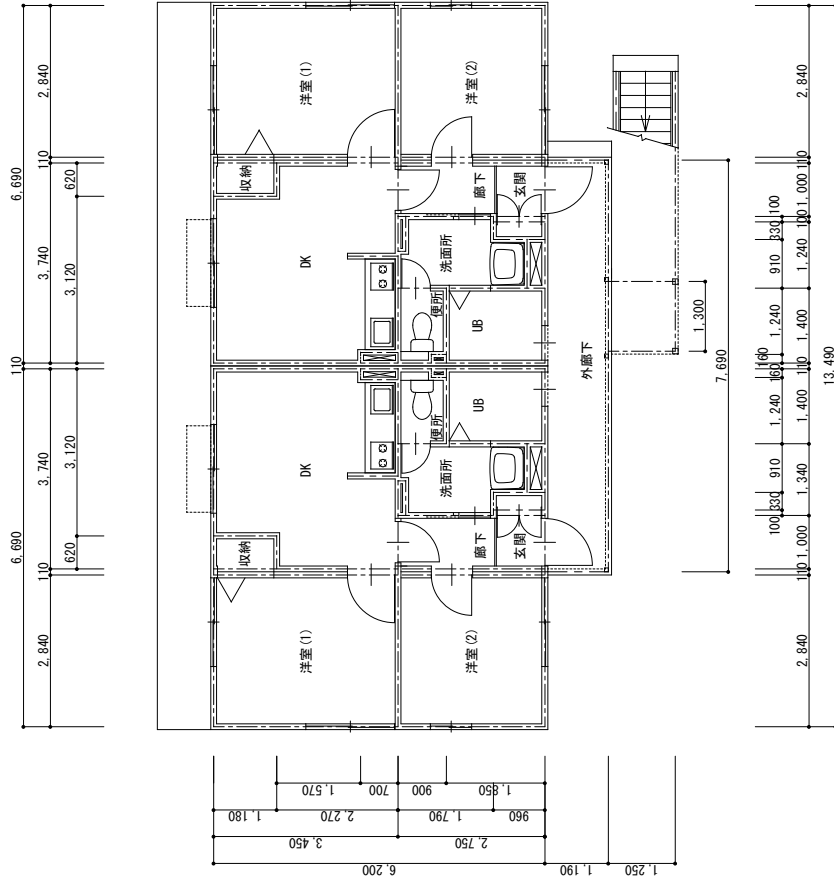
【 建物概要表 】	
所在地	屋根
構造用途	軽鋼鉄骨造2階建共同住宅
建築工法	プレハブ工法
1階床面積	83.63㎡
2階床面積	83.63㎡
延床面積	167.26㎡
建築面積	94.41㎡

【 内部仕上表 】 ※101号室・102号室・201号室・202号室は同じ仕上とする

階	室名	天井高	床		幅木	壁		廻縁	天井		備考
			名称	形状・寸法		名称	形状・寸法		名称	形状・寸法	
1・2	玄関	2.46	床:ビニール張	厚2mm・軟質・下地別途	塩ビ	上がりがまち板	中・下地別途	塩ビ	天井:ビニール張	中・下地別途	下駄箱(洋風付)
			床:フロアリング	厚15mm×乱尺・ならし等・下地別途	壁:ビニール張	壁:せつこうボード張	厚12.5mm・不燃・芯材:セメント張	天井:せつこうボード張	厚9.5mm・埋・芯材:セメント張	高さ600mm・野線受・野線・吊木	
			床:パルテ	厚12mm・2類・床組	木造二重床組	木造調線組	巾101mm・縦・横:φ450mm	木造天井下廻縁	高さ600mm・野線受・野線・吊木		
			床:パルテ	厚15mm×乱尺・ならし等・下地別途	木造二重床組	壁:ビニール張	厚12.5mm・不燃・芯材:セメント張	天井:せつこうボード張	厚9.5mm・埋・芯材:セメント張	高さ600mm・野線受・野線・吊木	
洗面所	2.15	床:パルテ	厚12mm・2類・床組	木造二重床組	壁:ビニール張	厚12.5mm・不燃・芯材:セメント張	中・下地別途	塩ビ	天井:ビニール張	中・下地別途	棚板①
		床:パルテ	厚15mm×乱尺・ならし等・下地別途	木造二重床組	壁:せつこうボード張	厚12.5mm・不燃・芯材:セメント張	天井:せつこうボード張	厚9.5mm・埋・芯材:セメント張	高さ600mm・野線受・野線・吊木		
		床:パルテ	厚12mm・2類・床組	木造二重床組	木造調線組	巾101mm・縦・横:φ450mm	木造天井下廻縁	高さ600mm・野線受・野線・吊木			
		床:パルテ	厚15mm×乱尺・ならし等・下地別途	木造二重床組	壁:ビニール張	厚12.5mm・不燃・芯材:セメント張	天井:せつこうボード張	厚9.5mm・埋・芯材:セメント張	高さ600mm・野線受・野線・吊木		
UB	2.40	床:パルテ	厚12mm・2類・床組	木造二重床組	壁:せつこうボード張	厚12.5mm・不燃・芯材:セメント張	中・下地別途	-	天井:せつこうボード張	厚9.5mm・埋・芯材:セメント張	室内物干しコート カナール
		床:パルテ	厚15mm×乱尺・ならし等・下地別途	木造二重床組	壁:ビニール張	厚12.5mm・不燃・芯材:セメント張	天井:せつこうボード張	厚9.5mm・埋・芯材:セメント張	高さ600mm・野線受・野線・吊木		
		床:パルテ	厚12mm・2類・床組	木造二重床組	木造調線組	巾101mm・縦・横:φ450mm	木造天井下廻縁	高さ600mm・野線受・野線・吊木			
		床:パルテ	厚15mm×乱尺・ならし等・下地別途	木造二重床組	壁:ビニール張	厚12.5mm・不燃・芯材:セメント張	天井:せつこうボード張	厚9.5mm・埋・芯材:セメント張	高さ600mm・野線受・野線・吊木		
洋室(1)	2.40	床:パルテ	厚15mm×乱尺・ならし等・下地別途	木造二重床組	壁:せつこうボード張	厚12.5mm・不燃・芯材:セメント張	中・下地別途	塩ビ	天井:ビニール張	中・下地別途	棚板② ハウカーハイ
		床:パルテ	厚12mm・2類・床組	木造二重床組	壁:せつこうボード張	厚12.5mm・不燃・芯材:セメント張	天井:せつこうボード張	厚9.5mm・埋・芯材:セメント張	高さ600mm・野線受・野線・吊木		
洋室(2)	2.40	床:パルテ	厚15mm×乱尺・ならし等・下地別途	木造二重床組	壁:せつこうボード張	厚12.5mm・不燃・芯材:セメント張	中・下地別途	塩ビ	天井:ビニール張	中・下地別途	※天井の断熱材は2階のみ
		床:パルテ	厚12mm・2類・床組	木造二重床組	壁:せつこうボード張	厚12.5mm・不燃・芯材:セメント張	天井:せつこうボード張	厚9.5mm・埋・芯材:セメント張	高さ600mm・野線受・野線・吊木		
収納	2.40	床:パルテ	厚15mm×乱尺・ならし等・下地別途	木造二重床組	壁:せつこうボード張	厚12.5mm・不燃・芯材:セメント張	中・下地別途	塩ビ	天井:ビニール張	中・下地別途	断熱材張
		床:パルテ	厚12mm・2類・床組	木造二重床組	壁:せつこうボード張	厚12.5mm・不燃・芯材:セメント張	天井:せつこうボード張	厚9.5mm・埋・芯材:セメント張	高さ600mm・野線受・野線・吊木		
共通	2.40	床:パルテ	厚50mm・密度24kg/m ³ ウレタン系一般用								

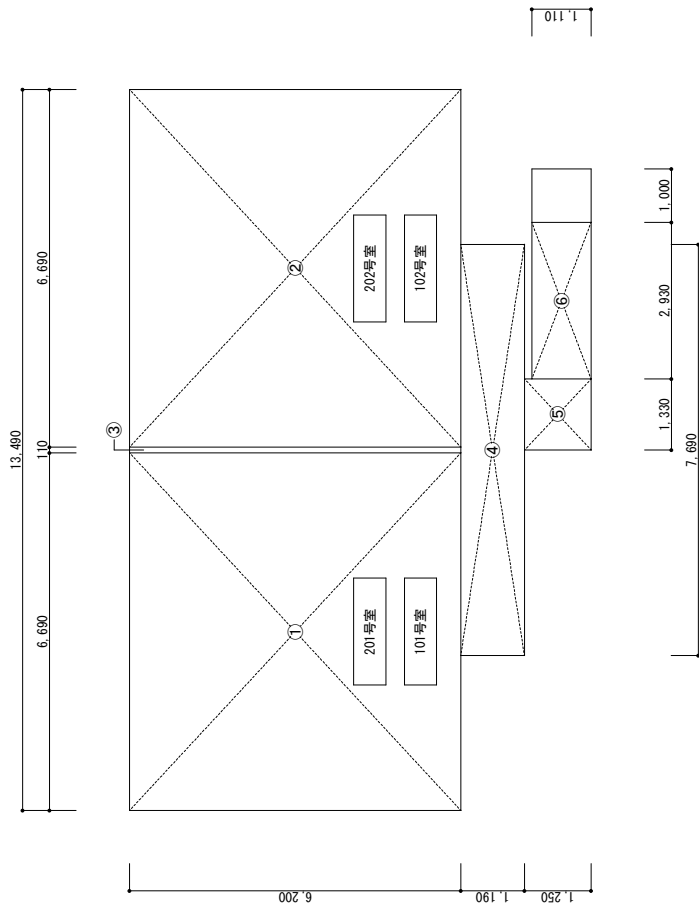
業務名称	仕上表
図面名称	縮尺 1
図面番号	資格及び登録番号
受注者の名称	作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	



業務名称	
図面名称	平面図
縮尺	1/100
受注者の名称	図面番号 資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	

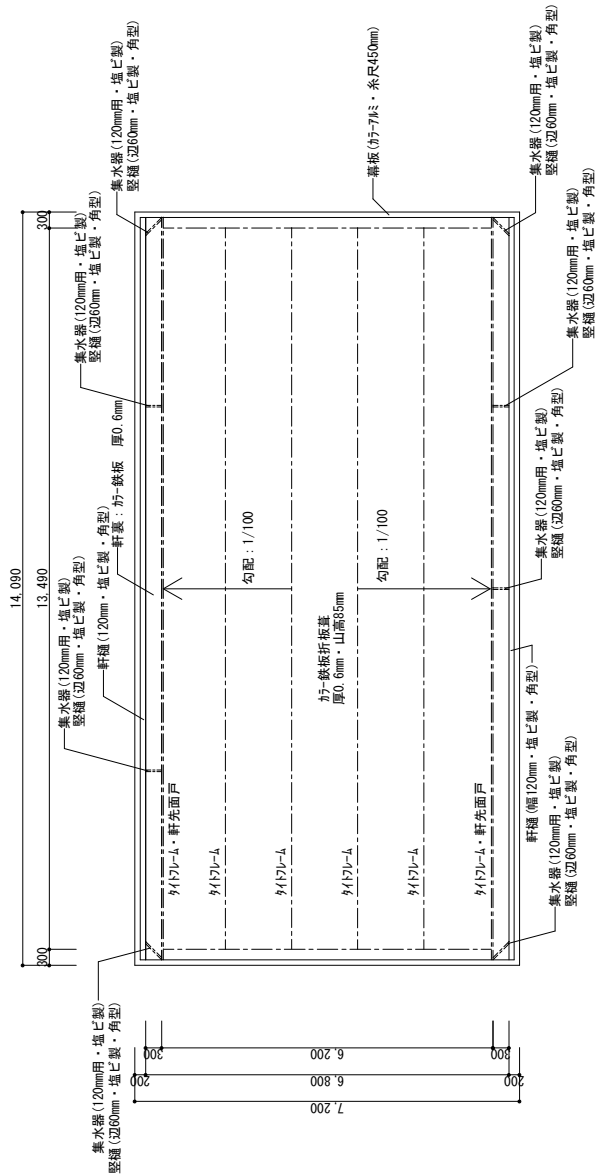


1F ①~③	13.49	x	6.20	=	83.6380
					計 83.6380
2F ①~③	13.49	x	6.20	=	83.6380
					計 83.6380
延床面積					
①~③	13.49	x	6.20	=	83.6380
④	7.69	x	1.19	=	9.1511
⑤	1.30	x	1.25	=	1.6250
⑥	2.93	x	1.11	=	3.2523
					計 97.6664
建築面積 97.66 m ²					

求積図

業務名称	
図面名称	求積図・求積表
縮尺	1/100
図面番号	3
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

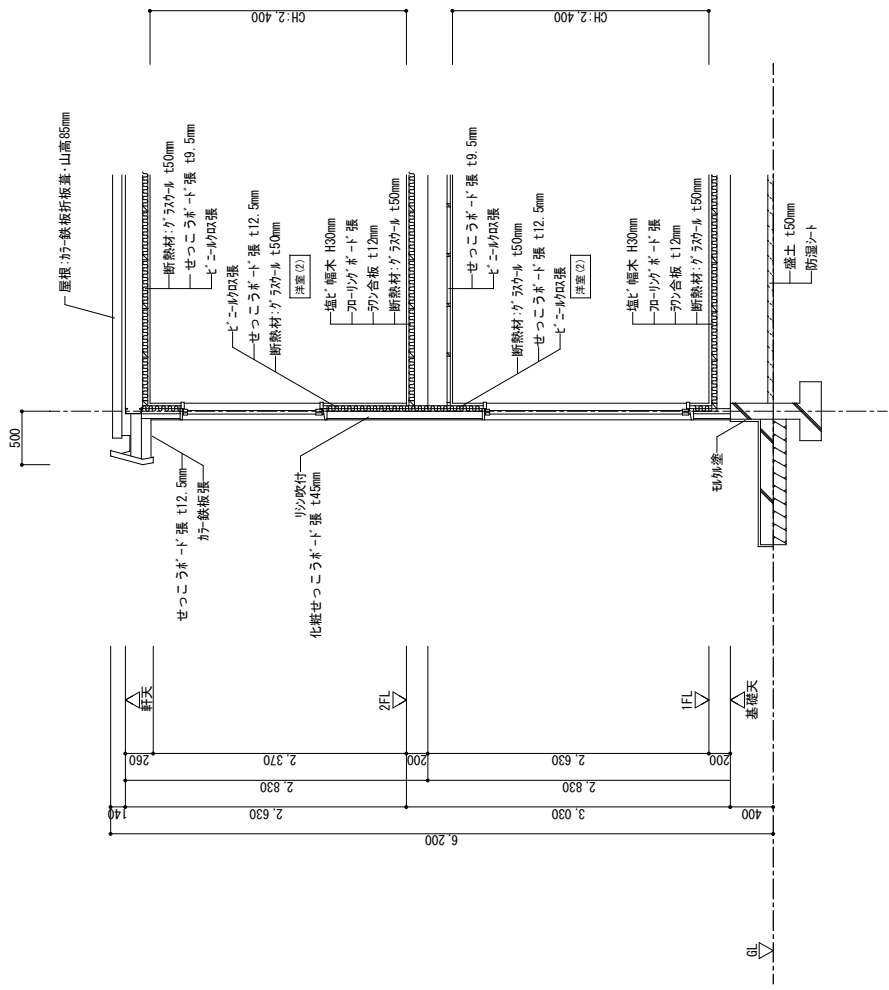
所在地	
所有者住所	
所有者	



屋根伏図

業務名称	
図面名称	屋根伏図
縮尺	1/100
図面番号	
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

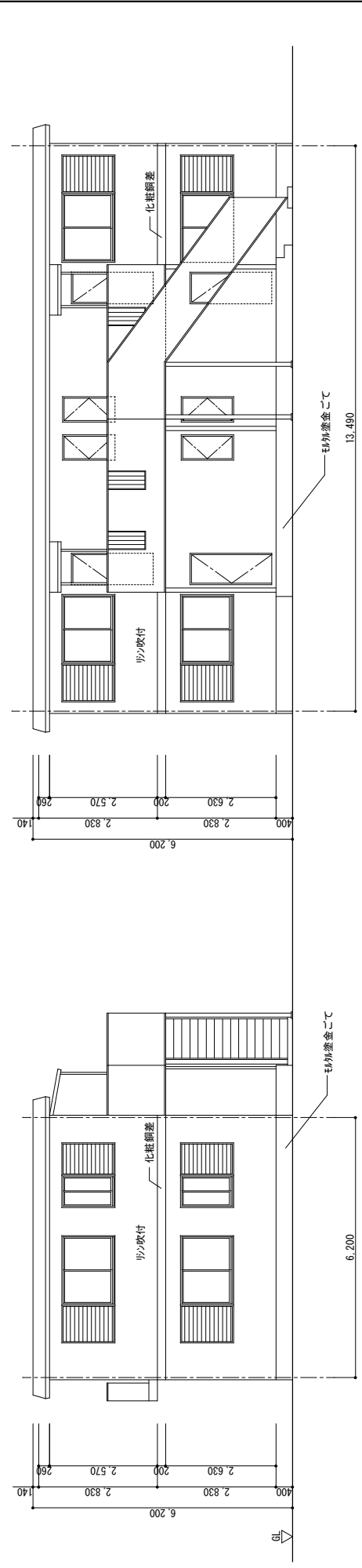
所在地	
所有者住所	
所有者	



矩計図

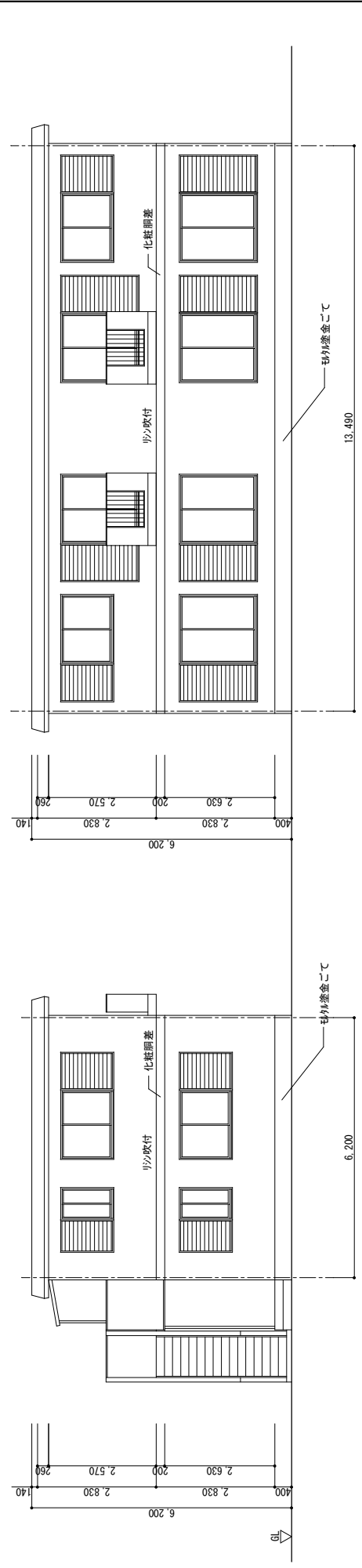
業務名称	矩計図
図面名称	矩計図
縮尺	1/50
図面番号	
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地
所有者住所
所有者



東立面図

南立面図

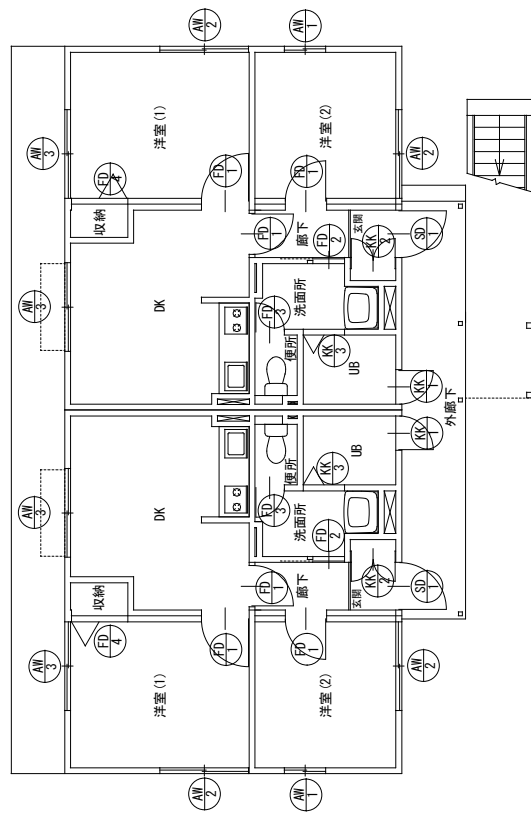


西立面図

北立面図

業務名称	
図面名称	立面図
縮尺	1/100
図面番号	資格及び登録番号 作成者氏名

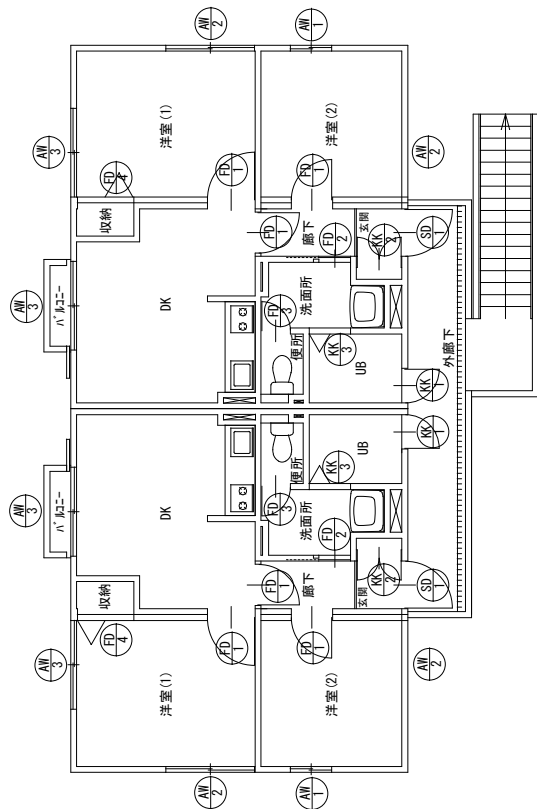
所在地
所有者住所
所有者



101号室

102号室

1階 建具位置図



201号室

202号室

2階 建具位置図

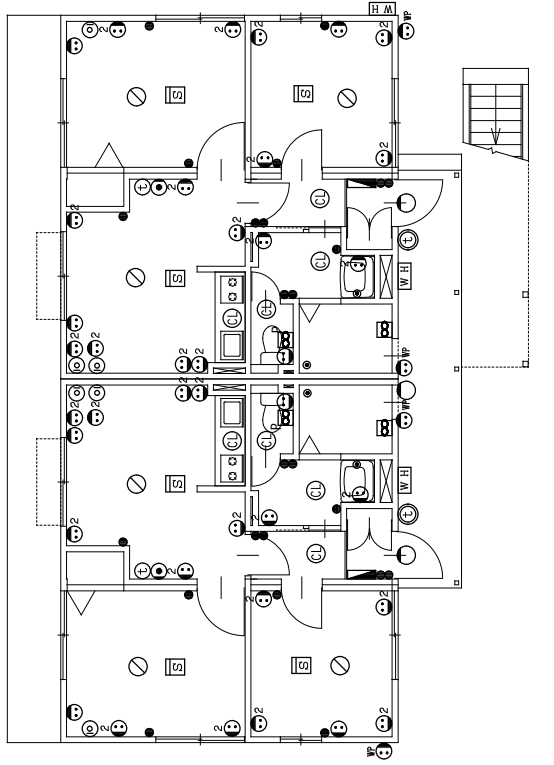
業務名称	
図面名称	建具位置図
縮尺	1/100
図面番号	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	

【 外部 】		【 内部 】	
符号・名称	7165引違い窓 AW1 網戸付・商戸鏡板無	7165引違い窓 AW2 網戸付・商戸鏡板無	7165引違い窓 AW3 網戸付・商戸鏡板無
姿 図			
寸法・数量	750×1,950 4ヶ所	770×1,270 4ヶ所	1,660×1,870 6ヶ所
仕上・ガラス	網入板ガラス F16.8	70+H*ガラス F1.3	70+H*ガラス F1.3
金物等	ト770*サ・郵便受		
備考			
符号・名称	7165引違い窓 FK3 開口	7165引違い窓 FK1 開口	7165引違い窓 FK2 開口
姿 図			
寸法・数量	550×1,900 4ヶ所	600×1,250 4ヶ所	860×2,300 4ヶ所
仕上・ガラス	-	-	-
金物等	三方枠		
備考			
符号・名称 <th>7165引違い窓 FD1 開口</th> <th>7165引違い窓 FD2 開口</th> <th>7165引違い窓 FD3 開口</th>	7165引違い窓 FD1 開口	7165引違い窓 FD2 開口	7165引違い窓 FD3 開口
姿 図			
寸法・数量	770×2,050 12ヶ所	1,200×750 4ヶ所	600×1,810 4ヶ所
仕上・ガラス	-	-	-
金物等	三方枠	四方枠	三方枠 数居
備考			

業務名称	建築 器具 図
図面名称	縮尺 1/100
縮尺	図面番号
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	



101号室

102号室

201号室

202号室

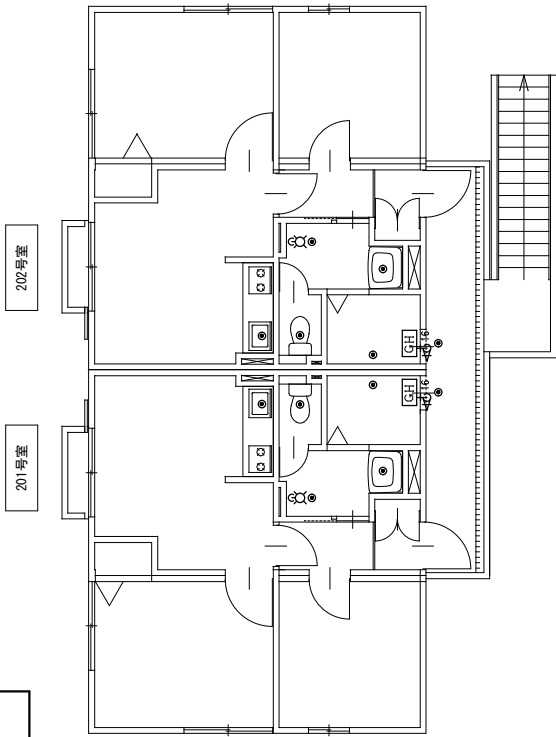
1階電気設備図

2階電気設備図

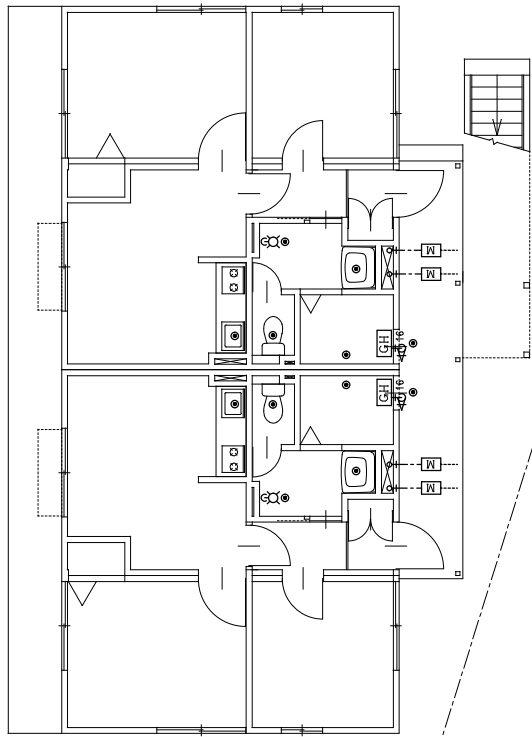
電気設備凡例												
記号	名称	仕様	101号室	102号室	201号室	202号室	合計	単位	備考	名称	仕様	備考
①	スイッチ		4	4	4	4	16	ヶ所		電力量計	電力申請	
②	コンセント		2	1	2	1	6	ヶ所		テレビ端子	配線共	
③	電気配線	計					22	ヶ所		電話用屋内配線管	配管・ボックス類	
④	スイッチ	器具含まず	3	3	3	3	12	ヶ所		換気扇	浴室用	
⑤	スイッチ	埋込・1連	6	6	6	6	24	ヶ所		インターホン設備	玄関子機・室内親機	
⑥	スイッチ	埋込・2連	3	3	3	3	12	ヶ所		火災報知設備	煙感知器	
⑦	コンセント	計					36	ヶ所		UF屋根上-4000以下	UF屋根上-4000以下	
⑧	コンセント	埋込・1連	4	4	4	4	16	ヶ所		FLレブリッパ	BS用 屋根上設置	
⑨	コンセント	埋込・2連	15	15	15	15	60	ヶ所		FLレブリッパ	CS用 屋根上設置	
⑩	コンセント	防水コンセント	2	2	1	1	6	ヶ所		FLレブリッパ	CS用 屋根上設置	
⑪	エアコン用電源		1	1	1	1	4	ヶ所		ハイブリッド		
⑫	洗面化粧台用電源		1	1	1	1	4	ヶ所				
⑬	分電盤	8回路	1	1	1	1	4	ヶ所				
⑭	電灯配線配管設備	住居系・付属品共(器具含まず)					164	ヶ所				

業務名称	電気設備図
図面名称	電気設備図
縮尺	1/100
図面番号	図面番号
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	



2階給水設備図



1階給水設備図

給水設備凡例						
記号	名称	仕様	101号室	102号室	201号室	202号室
●	屋内給水(湯)配管	非木造建物・保温(ホリ付)共	6	6	6	6
⊗	自在水栓	φ13・15mm用	1	1	1	1
GH	ガス瞬間沸湯器	屋外壁掛型・16号	1	1	1	1
			合計	合計	合計	合計
			4	4	4	4

給水設備凡例				
記号	名称	仕様	1階	2階
---	屋外給水配管	φ20mm・硬質塩ビ管・継手・深さ300mm	2.12	-
			合計	合計
			2.12	m

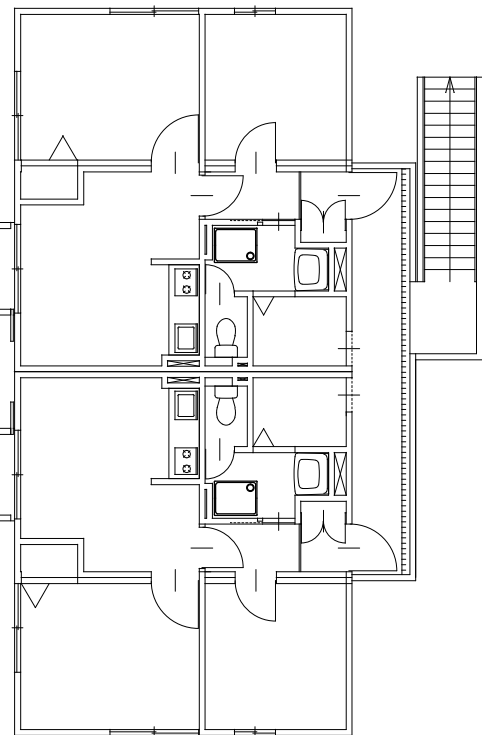
業務名称	
図面名称	給水設備図
縮尺	1/100
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	



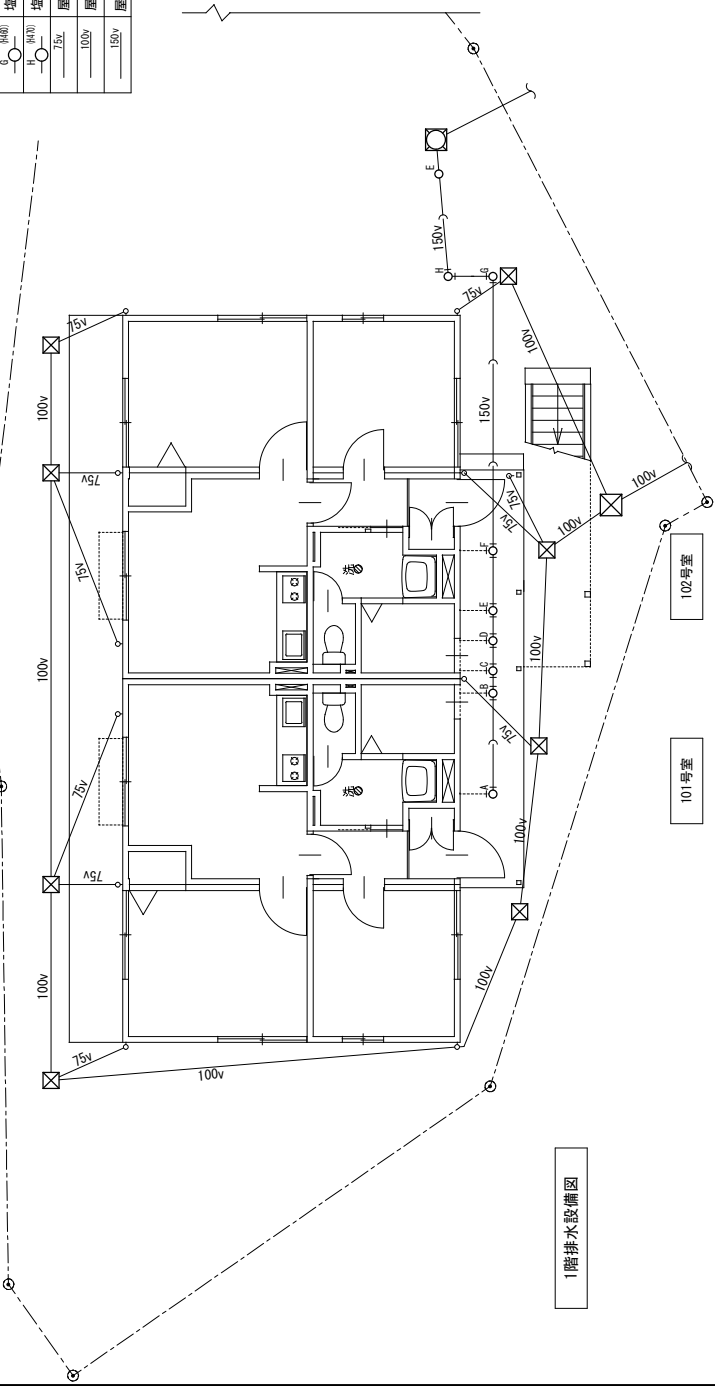
201号室

202号室



1階排水設備図

記号	名称	仕様	仕様	1階	2階	合計	単位	備考
⊗	屋内排水配管	非木造建物	内法300mm×300mm・深450mm	6	-	6	ヶ所	
⊗	排水トラフ	洗濯機用・φ50mm	内法300mm×300mm・深550mm	1	-	1	ヶ所	
⊗	洗濯機	800mm×640mm-FRP製	内法300mm×300mm・深600mm	1	-	1	ヶ所	
⊗	汚水葺用ます	(既製品)	内法300mm×300mm・深650mm	1	-	1	ヶ所	
○	塩ビ製パイプ	φ150mm・(H650)	内法400mm×400mm・深900mm	1	-	1	ヶ所	
○	塩ビ製パイプ	φ150mm・(H700)		1	-	1	ヶ所	
○	塩ビ製パイプ	φ150mm・(H750)		1	-	1	ヶ所	
○	塩ビ製パイプ	φ150mm・(H780)		1	-	1	ヶ所	
○	塩ビ製パイプ	φ150mm・(H790)		2	-	2	ヶ所	
○	塩ビ製パイプ	φ150mm・(H850)		1	-	1	ヶ所	
○	塩ビ製パイプ	φ150mm・(H460)		1	-	1	ヶ所	
○	塩ビ製パイプ	φ150mm・(H470)		1	-	1	ヶ所	
75v	屋外排水配管	φ75mm・硬質塩ビ管・平均深さ450mm		17.49	-	17.49	m	
100v	屋外排水配管	φ100mm・硬質塩ビ管・平均深さ450mm		36.61	-	36.61	m	
150v	屋外排水配管	φ150mm・硬質塩ビ管・平均深さ450mm		11.90	-	11.90	m	



1階排水設備図

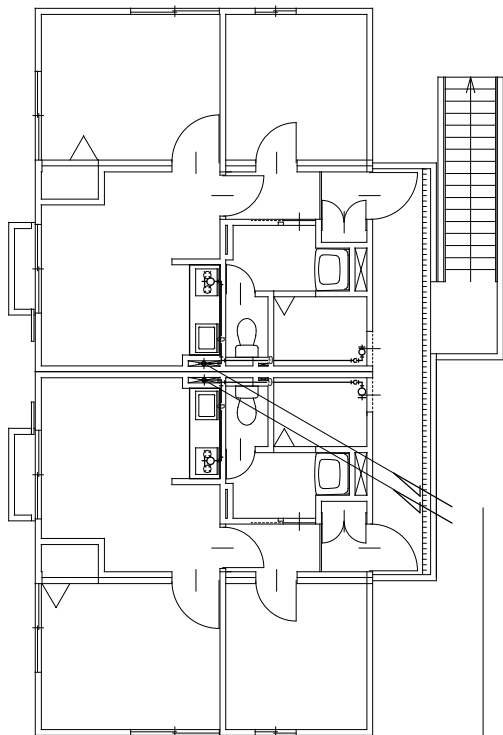
業務名称	排水設備図
図面名称	排水設備図
縮尺	1/100
図面番号	
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

所在地	
所有者住所	
所有者	



202号室

201号室



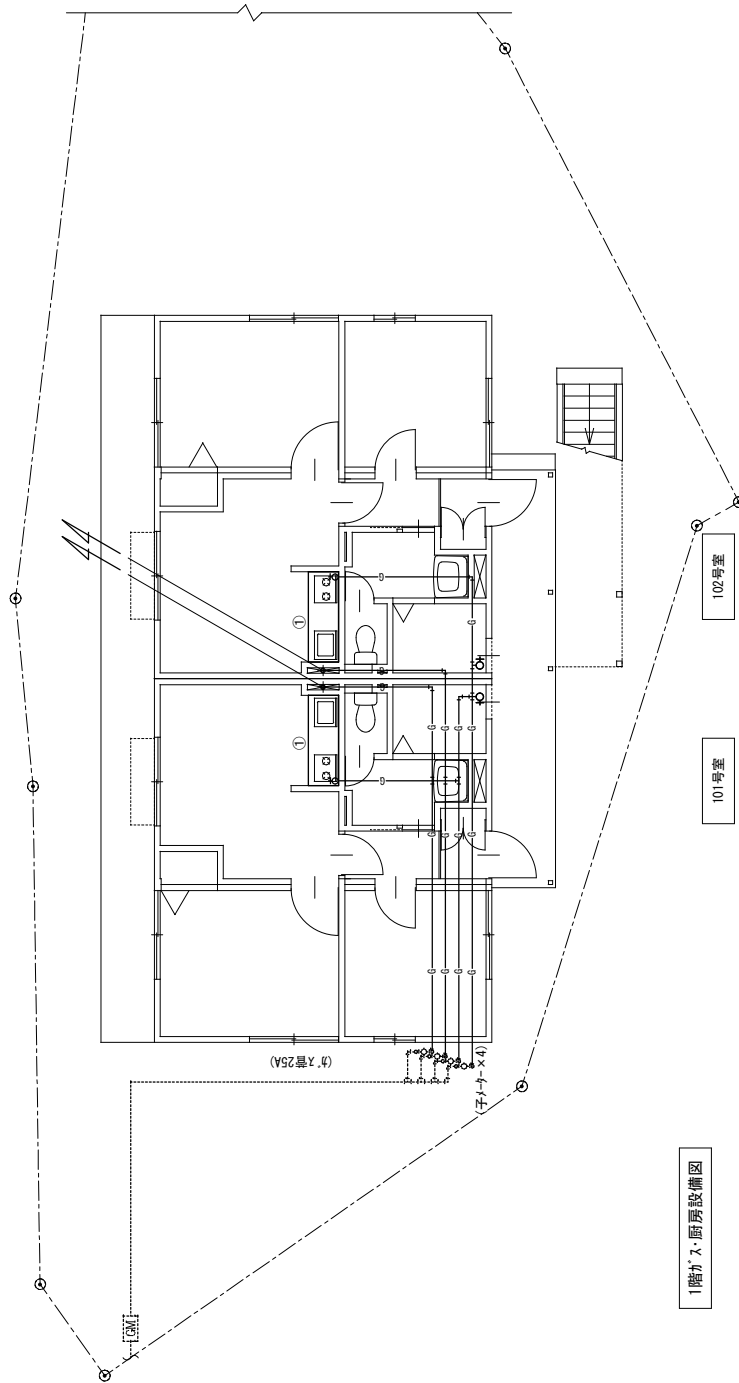
2階ガス・厨房設備図

ガス・厨房設備凡例

記号	名称	仕様	101号室	102号室	201号室	202号室	合計	単位	備考
○	ガス検取付	アパナ・ガス用・1口ガス	2	2	2	2	8	ヶ所	
□	ガスボイラ	幅1,700mm	1	1	1	1	4	ヶ所	①

ガス設備凡例

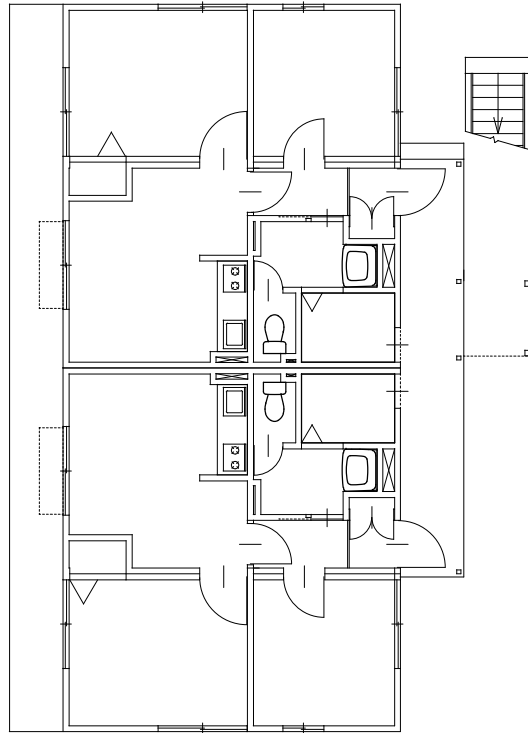
記号	名称	仕様	1階	2階	合計	単位	備考
—G—	ガス管	アパナ・ガス用・15A	50.70	13.00	63.70	m	



1階ガス・厨房設備図

業務名称	ガス・厨房設備図	
図面名称	ガス・厨房設備図	
縮尺	1/100	図面番号
受注者の名称		資格及び登録番号 作成者氏名

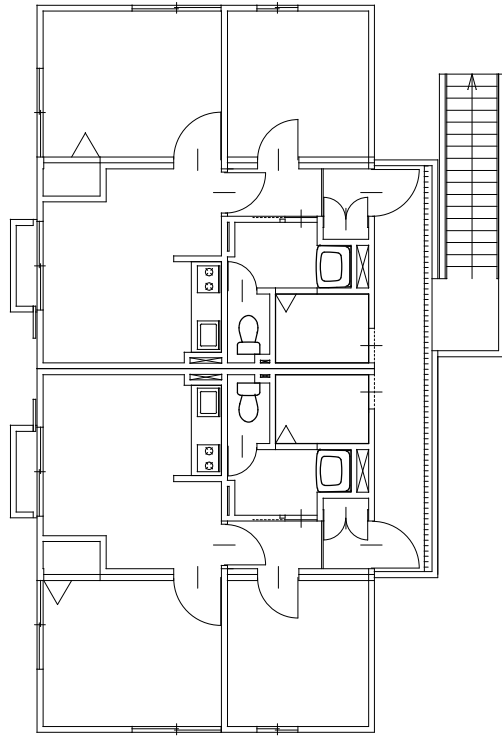
所在地	
所有者住所	
所有者	



101号室

102号室

1階衛生設備図



201号室

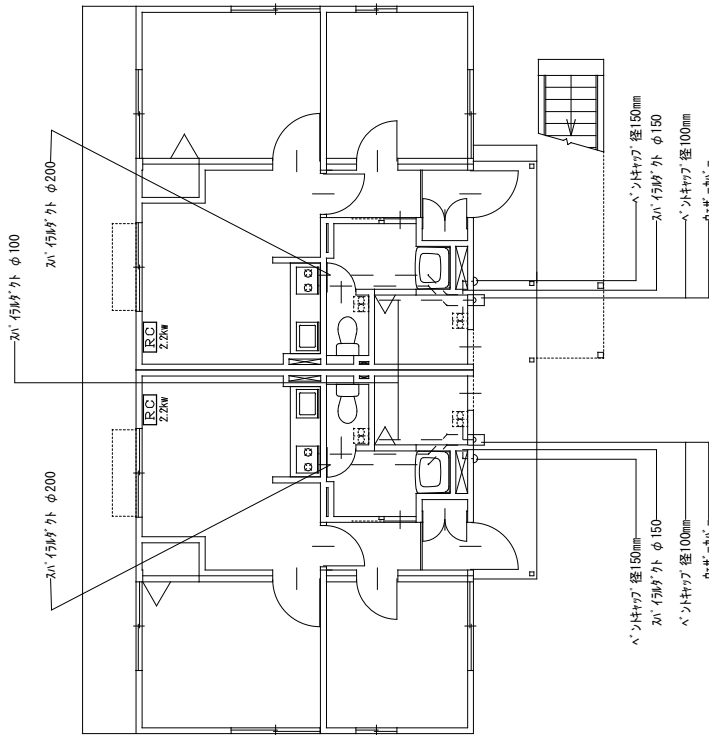
202号室

2階衛生設備図

衛生設備凡例		仕様	合計				備考
記号	名称		101号室	102号室	201号室	202号室	単位
□	洗面台	幅1,200mm×奥行1,600mm	1	1	1	1	4 基
○	水洗洋風便器(隠掛式)	隅付巾-カク	1	1	1	1	4 ヶ所
○	温水洗浄式便座	便座保温・温風乾燥なし	1	1	1	1	4 ヶ所
□	洗面化粧エプロン	幅800mm・巾700mm・混合水栓・化粧鏡付	1	1	1	1	4 ヶ所

業務名称	
図面名称	衛生設備図
縮尺	1/100
図面番号	
受注者の名称	資格及び登録番号 作成者氏名

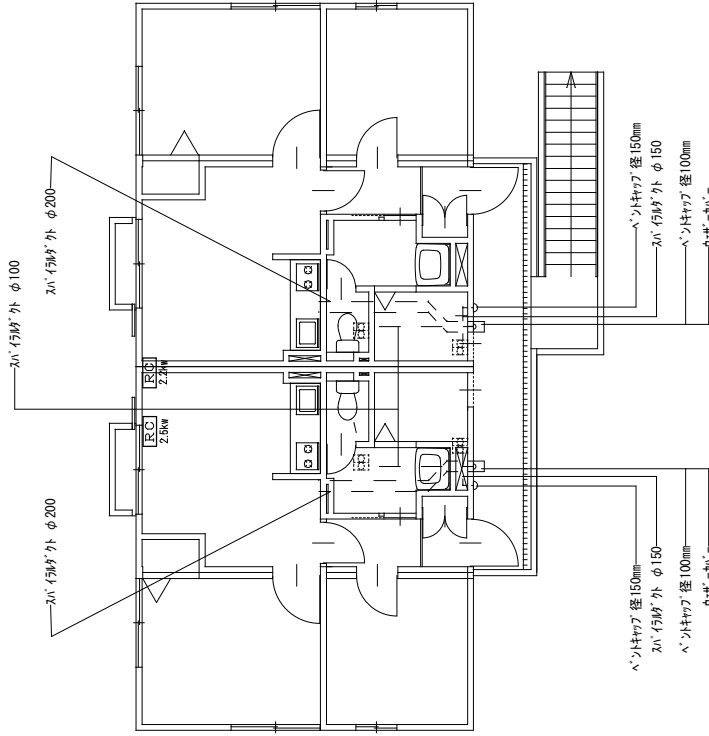
所在地	
所有者住所	
所有者	



101号室

102号室

1階空調設備図



201号室

202号室

2階空調設備図

空調設備凡例	記号	名称	仕様	101号室	102号室	201号室	202号室	合計	単位	備考
	○	7枚製・径150mm		1	1	1	1	4	ヶ所	
	○	7枚製・径100mm		1	1	1	1	4	ヶ所	
	□	厚0.5mm・亜鉛鉄板・口径100mm		-	-	-	-	8.00	m	
	-	厚0.5mm・亜鉛鉄板・口径150mm		-	-	-	-	3.20	m	
	-	厚0.5mm・亜鉛鉄板・口径200mm		-	-	-	-	13.20	m	
	[RC]2.2kw	暖冷房除湿型・冷房能力2.2kw		1	1	1	1	3	台	
	[RC]2.5kw	暖冷房除湿型・冷房能力2.5kw		-	1	-	-	1	台	

業務名称	空調設備図	
図面名称	縮尺	1/100
図面番号	図面番号	1/100
受注者の名称	資格及び登録番号	作成者氏名